

55年6月～56年7月当時國務院文化部芸術事業管理局副局長。55年8月中印友好協合理事。59年11月当時文化部芸術事業管理局長。60年7月全国文芸工作者代表大会主席団員。8月中国文学芸術界連合会第三期全国委員会委員、中国舞蹈工作者協会副主席。

周 菊 珍〔女〕 Chou Chü-chên

59年3月第二期全国人民代表大会福建省代表。

周 吉 一 Chou Chi-i

53年7月中国新民主主義青年団第二期中央委員。当時人民解放軍華東軍区および第3野戦軍政治部青年部長。

周 玉 成 Chou Yü-chêng

59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員（特別招請人士）。

周 欽 岳 Chou Chin-yüeh

四川省の人。元重慶新蜀報総経理。49年～53年1月西南軍政委員会委員兼副秘書長。53年1月西南行政委員会委員兼秘書長。54年8月第一期全国人民代表大会四川省代表。55年4月当時政治協商会議重慶市委員会代表。59年3月第二期全国人民代表大会四川省代表。4月同大会第1次会議で「農民とともに労働し、労働の中で思想を向上させよう」と題して発言。

周 桂 林 Chou Kui-lin

59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員（農民代表）。60年4月当時四川省郵県紅光

公社副社長。

周 惠 Chou Hui

55年2月湖南省人民委員会委員。60年5月当時中共湖南省委員会書記。

周 惠 儂〔女〕 Chou Hui-nung

59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員（中国文学芸術界連合会）。

周 庆(慶)祥 Chou Ching-hsiang

59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員（教育界）。

周 鯨 文 Chou Ching-wên

文芸作家。早稲田、ミシガン、ロンドン各大学に学び、帰国して東北大学の副校長兼法学院長。日華事変中香港で「時代批評」誌編集。44年9月中国民主同盟中央常務委員。46年8月東北行政委員会委員。49年10月政務院政治法律委員会委員。54年12月政治協商会議第二期全国委員会委員（中国民主同盟）。56年2月民主同盟第二期中央常務委員。57年春香港に赴く。59年1月著書「風暴10年」。同年春来日、財界文化人らと意見を交換。61年当時香港で「時代批評」誌を主編発行。

周 杰(傑) Chou Chieh

55年2月湖北省人民委員会委員。政治協商会議第一期湖北省委員会副主席。

周 建 人 Chou Chien-jên

浙江省紹興の人。周樹人、周作人の三弟。

生物学研究者。上海商務印書館編集員。49年国民民主促進会中央常務理事。47年ダーウィンの「種の起源」翻訳。48年華北人民政府教育部教科書編審委員会副主任。49年10月～54年9月中央人民政府政務院出版総署副署長。49年10月中ソ友好協会総会理事、浙江省人民政府副主席。50年4月民主促進会第三期中央常務理事會副主席。54年8月第一期全国人民代表大会浙江省代表。9月同大会常務委員会委員。11月國務院高等教育部副部長。12月政治協商会議第二期全国委員会委員（中国民主促進会）。56年2月中央標準語普及工作委員会委員、9月中国ネパール友好協会会長。58年11月浙江省省長(再選)。12月中国民主同盟第三期中央常務委員会常務委員、中国民主促進会第五期中央委員会副主席。59年3月第二期全国人民代表大会浙江省代表。4月政治協商会議全国委員会委員（中国民主促進会）、常務委員、同会第1次全体会議主席団員、第二期全国人民代表大会第1次会議主席団員、同常務委員会委員。同大会第1次会議で「大いに働き、遅れたところを補おう」と題して発言。中国人民対外文化協会常務理事。61年9月中国ネパール友好協会会長。

周 建 南 Chou Chien-nan

56年6月中国電機工程学会籌備委員会副主任委員。61年4月國務院対外經濟聯絡局副局長。10月第一機械工業部副部長。

周 元 亮 Chou Yüan-liang

60年1月北京郵電学院副院長。

周 光 Chou Kuang

54年8月長春市人民政府副市長を解任、同市人民政府市長。55年2月吉林省人民委員会委員。58年7月吉林省副省長。

周 光 垣 Chou Kuang-yüan

元中原臨時人民政府民政部副部長。49年末中央人民政府最高人民檢察署中南分署副檢察長。52年8月中南軍政委員会政治法律委員会委員。54年2月人民解放軍慰問代表団第5總分団（中南）副団長。

周 光 远(遠) Chou Kuang-yüan

魯迅美術学院卒業。55年10、11月の間中共見本市代表団工作員として来日。当時中国国際貿易促進委員会美術設計師。

周 光 春 Chou Kuang-chun

山東の人。49年山東省人民政府委員。52年10月華東軍政委員会財政部部長。当時山東省人民政府財政經濟委員会副主任。54年11月國務院第4辦公室副主任。56年3月國務院科学規劃委員会副秘書長。

周 孝 德 Chou Hsiao-tê

(Chew How-teck) 1892～

福建省の人。シンガポール在住華僑。ゴム業。通源有限公司董事。周孝徳有限公司および金福昌火鋸有限公司の経営者。56年8月シンガポール工商業貿易視察団団員として中共訪問。

周 宏 濤 Chou Hung-tao 1916～

浙江省の人。国立武漢大学卒業。43年～46年国防最高委員会秘書。46年～48年国民政府秘書。48年～57年總統府秘書（機要室主任）。50年～59年国民党中央委員会副秘書長。58年3月財政部政務次長。7月同次長(再任)。59年8月中央日報社常務董事。

周 康 民 Chou Kang-min



50年3月国营中国糧食公司最高責任者。55年1月～59年3月国務院糧食部部長助理。60年9月糧食部副部長。

周 广(廣)仁 Chou Kuang-jên

53年6月中華全国民主青年連合会第二期全国委員会候補委員。8月ブカレストの第4回世界青年学生平和懇親大会中共青年芸術団員。

周 兴(興) Chou Hsing 1908～

江西省水豊の人。25年共産主義青年団に加入。25年～27年湖南農民協会内で組織活動。27年毛澤東指導の銅鼓農民暴動に参加。その後国府軍に対しゲリラ活動。29年湖南遊撃総司令。30年「鎮圧反革命派委員会」委員。同会の「保安局」改編により、その副局長。50年～53年1月西南軍政委員会委員。53年1月当時西南軍政委員会公安部部長。1月西南行政委員会委員。54年4月当時中共中央西南局委員。9月政務院公安部副部長。11月国務院公安部副部長。58年4月当時最高人民検察院副檢察長。11月最高人民検察院檢察委員会委員。59年3月第二期全国人民代表大会雲南省代表。4月同大会法案委員会委員。

周 鋼 鳴 Chou Kang-ming

55年2月広西省人民委員会委員。56年2月中国亜洲団結委員会委員。

周 鯁 生 [名, 覽]

Chou Kêng-shêng [Lan] 1888～

湖南省長沙の人。英エジンバラ大学、仏パリ大学卒業。パリ大学法学博士。帰国後上海商務印書館編集、北京大学政治学主任教授。32年武漢大学政治学部長。45年6月同大学総長。49年～53年1月中南軍政委員会委員兼同

委員会文化教育委員会副主任。12月中国人民外交学会副会長。53年1月中国政治法律学会理事。54年8月第一期全国人民代表大会安徽省代表。55年1月当時外交部顧問。56年1月当時外交学会代理会長。3月中国国際貿易促進委員会の対外貿易仲裁委員会副主席、同月政治法律学会第二期理事。58年4月訪日中国法律家代表团副団長、当時、国政法学会理事、中国人民外交学会副会長。7月中国人民保衛世界和平委員会委員。59年3月第二期全国人民代表大会安徽省代表。4月同大会法案委員会委員。著書「近代欧洲外交史」(27年)「国際法大綱」(29年)「近代欧洲政治史」(32年)等。

周 克 Chou Kê

53年7月中華全国民主青年連合会第二期中央委員。

周 谷 城 Chou Ku-chêng 1910～

湖南省益陽の人。北京師範大学卒業。中山大学社会学科教授。日華事変中暨南大学教授。49年当時復旦大学教授。49年末～54年6月華東軍政委員会文化教育委員会委員。8月第一期全国人民代表大会湖南省代表。55年2月湖南省第一期人民代表大会代表。58年12月中国農工民主党主席団員、同会中央委員。59年3月第二期全国人民代表大会湖南省代表。4月同大会第1次会議主席団員。60年3月同大会第2次会議主席団員。著書「中国社会の現状」, 「中国社会機構」, 「中国社会の変遷」。

周 昆 田 Chou Kun-tien 1906～

安徽省の人。国立中央大学卒業。36年～42年蒙蔵委員会首席秘書。42年～44年, 46年～48年同委員会委員。44年～46年新疆省政府委員。48年～49年蒙蔵委員会副委員長。49年～

50年同委員長。50年以来国府行政院顧問。

周 作 人 [豈明] Chou Tsuo-jên

[Chi-ming] 1885～

浙江省紹興県の人。筆名啓明、仲密、知堂。日本文学研究者、小説家。周樹人(魯迅)の弟、周建人の兄。師学堂、日本立教大学文科卒業。帰国後北平で魯迅等と共に「文学研究会」を組織。24年国立北京大学東方文学(日本文学)系主任教授、燕京大学教授、国立北平大学女子師範学院講師。中共政權成立後は隠棲、60年現在引続き翻訳著述に専念。著書「欧洲文学史」「談龍集」「談虎集」「自己的園地」「芸術と生活」「雨天的書」「夜誦抄」「知堂文集」「永日集」「看雲集」「日本の詩歌」「過去的生命」「周作人書信」「瀉集」「苦雨齋序跋文」等。中共政權成立後は周啓明の名で「日本狂言選」(翻訳)を、周遐壽の名で「魯迅の古家」「小説中の人物」を発表。

周 作 民 Chou Tsuo-min 1882～

江蘇省淮安県の人。京都帝国大学経済学部卒業。辛亥革命の時帰国。南京政府財政部に入り、南北和議後北京政府財政部庫藏司長。16年交通銀行。17年金城銀行総經理。28年張作霖北京撤退に際し臨時治安維持会委員。31年国民會議到北京代表として参加、国民政府財政委員会委員。32年東北政務委員会委員。54年11月当時中国銀行董事。12月政治協商会議第二期全国委員会委員(特別招請人士)。

周 士 現(觀) Chou Shih-kuan

45年12月中国民主建国会常務委員。54年9月当時中国人民志願軍陸上部隊代表团代表。12月政治協商会議第二期全国委員会委員(中国民主建国会)。55年4月民主建国会中央常務

委員兼組織委員会副主任委員。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(中国民主建国会)。

周 士 第 Chou Shih-ti 1904～

湖南省長沙の人。40年第18集團軍第120師参謀長。延安の日本解放同盟に關係。人民解放軍第1戦野軍兵団司令を経て、49年4月太原市軍事管制委員会委員。50年1月成都軍管委副主任兼成都市長。50年7月～53年1月西南軍政委員会委員。51年人民解放軍防空司令兼落下傘司令員。54年8月第一期全国人民代表大会東北軍区代表。9月国防委員会委員。55年9月1級八一勳章、1級独立自由勳章および1級解放勳章、人民解放軍大将。58年4月当時国防委員会委員。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(中国共産党)、同会第1次全体会議主席団員。国防委員会委員。

周 子 健 Chou Tzu-chien

56年10年国務院第1機械工業部部長助理。60年9月第1機械工業部副部長。

周 子 禎 Chou Tzu-chên

59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(特別招請人士)。

周 至 柔 Chou Chih-jou 1899～

浙江省臨海県の人。22年保定軍官学校卒業。26年北伐に参加。27年21師参謀長、旅長、師長、軍長を歴任。33年欧米視察。34年～38年杭州中央航空学校校長。36年, 39年, 42年航空委員会主任。37年～38年中国空軍総司令。38年空軍軍官学校教育長。40年空軍参謀学校教育長を兼任。44年国民党中央執行委員。46年6月国防部空軍総司令。50年～54年参謀総長。54年～57年8月總統府国防最高會議秘書長。



57年8月台湾省政府委員兼主席。58年国民党中央常務委員。

周志宏 Chou Chih-hung

55年6月中国科学院技術科学部委員。59年3月第二期全国人民代表大會上海市代表。4月同会第1次會議で「鋼鉄冶金技術に関するいくつかの意見」と題して発言。

周志俊 Chou Chih-chün

55年3月山東省人民委員会委員。56年12月全国工商業連合会第二期執行委員(山東省)。

周思誠 Chou Ssu-chêng

54年12月政治協商會議第二期全国委員会委員(特別招請人士)。56年2月国民党革命委員会第三期中央委員。58年12月同第四期中央委員会委員。

周而复(復) Chou Êrh-fu

江蘇省の人。作家。日華事変初期中共地区に入り、戦後上海、香港、北京間を往来して工作に従事。49年当時中共中央華東局統一戦線工作部秘書長兼上海市統一戦線工作部副部長。49年～54年6月華東軍政委員会文化教育委員会委員。53年10月中国作家協家理事会理事。12月訪印中共文化代表団副団長。55年4月～6月文化代表団副団長としてインド、ビルマ、インドネシア訪問。6月中国インドネシア友好協会理事。56年4月中印友好協会理事。58年5月当時中共上海市委員会宣伝部副部長。7月中国人民保衛世界和平委員会委員。59年4月中国人民对外文化協会秘書長、同会常務理事。9月对外文化連絡委員会委員。60

年1月「上海の朝」(全4部のうち1部)を出版。2月ラテンアメリカ国家主権經濟解放平和大会出席代表団員(26日北京 出発)。3月中国ラテンアメリカ友好協会副会長、同会常務理事。訪メキシコ代表団員(5日)。60年4月中国アフリカ人民友好協会常務理事。著書「医師バツーン」(中共文芸賞)、「高原短曲」,「飜身的年月」,「晋察冀行」等。

周赤萍 Chou Chih-ping

60年10月当時中共雲南省委員会書記。

周錫年 Chou Hsi-nien

広東省東莞県の人。香港生れ。香港在住華僑。豪商周卓凡の子で周竣年の従弟。23年香港大学医科卒業。後ロンドン大学に学び同時に王室眼科病院およびロンドン耳鼻咽喉科病院の輔佐医師となり、眼科博士および耳鼻咽喉科博士。27年ウィーン大学卒業。帰香後開業。30年～35年香港大学医科眼科の講師兼任。政庁衛生局議員、香港中華医学会会長、孔聖会名誉会長、東莞商会支配人、華商總會名誉支配人、南華体育会名誉董事等を歴任。56年当時立法局首席華人代表。エカフェ貿易部会の第1回香港会議議長。60年6月香港産業連合会(香港政庁60, 6, 29設立)会長。

周拾祿 Chou Shih-lu

54年7月当時華東農業科学研究所副所長。12月政治協商會議第二期全国委員会委員(自然科学団体)。55年2月江蘇省人民委員会委員。56年2月九三学社第四期中央委員会委員。57年9月九三学社全国整風工作會議において右派分子として批判さる。

周秋野 Chou Chiu-yeh

55年4月中共駐ユーゴスラヴィア大使館

参事官。60年7月当時駐ユーゴスラヴィア大使館臨時代辦。

周叔迦 Chou Shu-chia

53年6月中国仏教協会副秘書長兼常務理事。54年12月中ソ友好協会總會第二期理事会理事。56年2月中国亞洲團結委員会委員。9月中国ネパール友好協会副会長。59年11月当時中国仏教協会副会長。

周叔弼 Chou Shu-tao

安徽省の人。49年当時天津啓新セメント公司総経理。49年9月政治協商會議第一期全国委員会委員。50年1月政務院財政經濟委員会委員。天津市人民政府副市長。53年1月華北行政委員会委員。11月全国工商業連合会第一期執行委員。54年8月第一期全国人民代表大會天津市代表、同大会予算委員会委員。12月政治協商會議第二期全国委員会委員(全国工商業連合会)。55年1月天津市副市長。56年6月全国人民代表大會常務委員に補選。12月全国工商業連合会第二期執行委員(天津市)。11月～57年全国人民代表団員としてソ連、東欧訪問。58年4月当時天津市副市長。59年3月第二期全国人民代表大會河北省代表。4月政治協商會議第三期全国委員会委員(中華全国工商業連合会)。第二期全国人民代表大會予算委員会委員。同大会第1次會議主席団員。同大会常務委員会委員。同大会第1次會議で「改造を強化し積極的に服務しよう」と題して発言。60年3月同大会第2次會議主席団員。

周竣年 Chou Chün-nien 1893～

広東省東莞県の人。香港生れ。香港在住華僑。弁護士。前香港華人代表周少岐の子。18歳英オックスフォード大学に入り法律を学

び、14年文学士および弁護士。香港に帰り東華医院経理、保良局総理を歴任。23年治安判事、華商總會名誉理事。29年以降衛生局議員、内河船舶商会代表、児童保護会幹事、港口整理会委員、東莞商会代表、南華体育会正会長、中華体育会名誉会長、華人体育協進会名誉会長、ボーイ・スカウト香港分会幹事、セント・ジョージ救傷隊名誉会長兼財政委員、海盜防犯会委員、電話会委員、内河船舶会委員、水害救済会委員、香港大学司書等を歴任。この間31年立法局議員、35年再任。56年英国政府よりナイトに列せられサーの称号を受く。56年当時行政部首席華人代表。

周駿鳴 Chou Chün-ming

河南省確山の人。32年すでに共産ゲリラ活動に従事。35年江西省ソヴィエト区での教育を終えて河南湖北省境で地下運動に従事。39年中共新4軍連隊長。中共政權成立後華東軍区及び第3野戦軍の総参謀長代理。52年華東治水本部副司令。54年11月国務院水利部副部長。59年4月政治協商會議第三期全国委員会委員(特別招請人士)。9月林業部副部長。

周純全 Chou Chun-chüan 1904～

湖北省の人。54年2月当時人民革命軍事委員会総後勤部副部長。8月第一期全国人民代表大會志願軍代表。9月同大会常務委員会委員、国防委員会委員。55年9月1級八一勳章および1級解放勳章。人民解放軍中將。59年3月第二期全国人民代表大會軍隊代表。4月同大会予算委員会委員、常務委員会委員、国防委員会委員。

周書楷 Chou Shu-kai 1913～

湖北省の人。英ケンブリッジ、ロンドン両大学修学。48年～49年国府外交部情報司次長。



50年～51年駐フィリピン大使館参事官。52年同大使館公使。54年同代理大使。56年4月外交部常務次長。59年3月～60年7月外交部政務次長。60年5月僑務委員会委員長、政務委員。7月マダガスカル共和国独立式典特使。

周小燕〔女〕 Chou Hsiao-yên

湖北省の人。声楽家。53年3月当時「全国大衆歌曲評奨華東区初選委員会」委員。10月中国文学芸術界連合会第二期全国委員会委員。中国人民第3回訪鮮慰問団員。12月中央音楽学院華東分院声楽系主任。54年4月中ソ友好協会ソ連メーデー参観団団員。8月第一期全国人民代表大会湖北省代表。59年3月第二期全国人民代表大会湖北省代表。60年7月全国文芸工作者代表大会主席団員。10月当時音楽家協会上海分会副主席。

周小舟 Chou Hsiao-chou

現在50歳。戦争中冀中で活動。55年2月当時中共湖南省委員会第1書記、同省人民政府副主席。同月湖南省副省長、政治協商会議第一期湖南省委員会主席。56年9月中共八大会で中共湖南省委員会第1書記の資格で「農業生産合作社強化の問題」について発言。58年5月中共第八期中央委員会候補委員。

周祥初 Chou Hsiang-chu

54年12月政治協商会議第二期全国委員会委員（特別招請人士）。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員（特別招請人士）。

周筱沛 Chou Hsiao-pei

55年2月河南省人民委員会委員。

周鍾(鐘)嶽 Chou Chung-yüeh 1878～

雲南省の人。日本弘文学院卒業。19年雲南

省政府主席代理。39年～44年内政部長。44年考試院副院長、国民政府委員。54年12月政治協商会議第二期全国委員会委員（特別招請人士）。

周信仁 Chou Hsin-jên

53年10月当時志願軍2級英雄1等功臣。55年6月青海省海北藏族自治州中級人民法院院長。

周信芳〔藝名、麒麟童〕

Chou Hsin-fang [Chi-lin-tung]

浙江省寧波の人。少時より芸界に入り京劇鬚生(男優)。京劇改良運動を指導。49年9月政治協商会議第一期全国委員会委員。53年2月当時華東京劇研究院院長。10月中国文学芸術界連合会第二期全国委員会委員、中国戯劇家協会常務理事、中国人民第3回訪鮮慰問団総団副団長。54年8月第一期全国人民代表大会上海市代表。55年2月上海市人民委員会委員。4月梅蘭芳と共に舞台生活50年を記念表彰さる。59年3月第二期全国人民代表大会上海市代表。60年7月全国文芸工作者代表大会主席団員。8月中国文学芸術界連合会第三期全国委員会委員、中国戯劇家協会副主席。

周振华(華) Chou Chên-hua

55年10月～56年3月当時中共唐山地方委員会書記。

周新武 Chou Hsin-wu

55年3月國務院広播(放送)事業局副局長。56年2月中央標準語普及工作委員会委員。59年9月広播事業局副局長。

周新民 Chou Hsin-min 1897～

安徽省桐城の人。36年日本明治大学卒業。安徽省公立法政専門学校学監主任兼教員、上

海法政学院教務長、復旦大学教授を歴任。44年9月民主同盟中央常務委員兼政治局員。49年9月政治協商会議第一期全国委員会副秘書長。10月最高人民檢察署委員兼秘書長。54年8月第一期全国人民代表大会安徽省代表。12月政治協商会議第二期全国委員会委員(中国民主同盟)。55年7月中国人民外交学会第三期理事会理事。56年2月民主同盟第二期中央常務委員会委員。58年12月中国民主同盟第三期中央常務委員会委員。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(中国民主同盟)、同会提案審査委員会委員。

周震麟〔道腴〕 Chou Chên-lin

[Tao-yü] 1875～

湖南省寧郷県の人。日本法政大学卒業。前清時代京師大学堂教授。21年国民党広東支部総務部長。27年南京国民政府委員。28年国民革命軍京津占領後旧政府機関引継のため北平に赴き、私立北平民国学院長。51年10月政治協商会議第一期全国委員に補充。54年8月第一期全国人民代表大会湖南省代表。59年3月第二期全国人民代表大会湖南省代表。

周仁 Chou Jên 1884～

江蘇省南京の人。冶金技術者。15年米コーネル大学卒業。28年中央研究院技術科学部長。48年中国科学院院士。54年1月当時中共北京市東単区委員会書記、東単区人民政府区長、同区人民代表。8月第一期全国人民代表大会山東省代表。55年5月中国科学院技術科学部学部委員。6月同学部常務委員会委員。58年4月当時中国金属学会理事長。9月中華人民共和國科学技術協会全国委員会委員。12月当時中国科学院上海分院副院長。59年3月第二期全国人民代表大会山東省代表。4月同大会第1次會議で「印度の政治家が当面する局面

に対して賢明なる行動をとるように希望する」と題して共同発言。9月当時中国科学院冶金陶瓷研究所所長。

周仁山 Chou Jên-shan

53年1月～54年8月当時青海省民族事務委員会主任委員。54年8月第一期全国人民代表大会青海省代表。9月同大会民族委員会委員(漢族)。56年6月当時中共青海省委員会副書記。59年3月第二期全国人民代表大会西藏代表。4月民族委員会委員。60年9月当時中共西藏工作委員会副書記兼自治区準備委員会常務委員。

周世釗 Chou Shih-chao

55年2月湖南省人民委員会委員。58年12月中国民主同盟第三期中央委員会委員。59年3月第二期全国人民代表大会湖南省代表。60年2月当時湖南省副省長。

周西风(風) Chou Hsi-fêng

55年8月当時中国第1機械工会全国委員会副主席。57年12月中華全国総工会第八期候補執行委員。

周政新 Chou Chêng-hsin

53年3月当時河南省人民政府財政庁副庁長。55年2月河北省人民委員会委員。

周全杰(傑) Chou Chüan-chieh

55年4月西康省涼山彝族自治州副州長(漢族)。

周善培〔孝怀(懷)〕 Chou Shan-pei

[Hsiao-huai] 1875～

浙江省諸暨の人。前清の進士。日本留学。帰国後四川省警察総局総辦。広東将辦学堂総辦。



四川成綿道提法使、駐日公使館参事官を歴任。50年政務院政治法律委員会委員、当時実業家。54年12月政治協商会議第二期全国委員会委員(特別招請人士)。著書「虚字使用法」,「四書精訳」。

周祖晃 Chou Tsu-huang

55年2月広西省人民委員会委員。

周蒼柏 Chou Tsang-po

湖北省の人。工商界代表者。49年当時華中化工廠董事長。49年10月政務院財政經濟委員会委員,中南軍政委員会委員兼同委員会輕工業部副部長。53年1月中南軍政委員会委員を解任。中南行政委員会委員。11月全国工商業連合会第一期執行委員。54年12月政治協商会議第二期全国委員会委員(中華全国工商業連合会)。55年2月湖北省人民委員会委員。政治協商会議第二期湖北省委員会副主席。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(中華全国工商業連合会)同常務委員。

周瘦鵠 Chou Shou-chüan

59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(特別招請人士)。

周錚 Chou Chêng

広東省海南島文昌県の人。現在49歳位。46年~49年当時シャム瓊崖同郷会主席。50年中央人民政府華僑事務委員会委員。54年9月第一期全国人民代表大会華僑代表。55年2月広東省人民委員会委員。59年3月第二期全国人民代表大会華僑代表。9月国務院華僑事務委員会委員。

周增华(華) Chou Tsêng-hua

54年11月最高人民法院審判員。

周太玄 Chou Tai-hsüan

四川省成都の人。仏パリ大学理学博士。国立成都大学動物学教授,国立北平研究所特約研究員を歴任。49年末~53年1月西南軍政委員会委員。53年1月西南行政委員会委員。12月政治協商会議第二期全国委員会委員(特別招請人士)。56年5月科学院編訳出版委員会委員。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(中国農工民主党)。

周詒春 Chou I-chun 1883~

湖北省の人。米エール大学,ウィスコンシン大学卒業。セント・ジョーズ大学名誉文学博士。24年~28年中華教育文化基金委員会董事。32年~34年燕京大学総長。35年~37年実業部次長。37年~45年貴州省政府財政庁長。45年1月国民政府顧問。8月農林部長。47年4月衛生部長。56年1月政治協商会議第二期全国委員会特別招請委員。

周澤昭 Chou Tsê-chao

54年8月第一期全国人民代表大会四川省代表。55年5月中国科学院生物地学学部委員。59年3月第二期全国人民代表大会四川省代表。

周达(達)夫 Chou Ta-fu

55年7月中国人民外交学会第三期理事会理事。10月当時遼寧省民政庁長。56年2月国民党革命委員会第三期中央委員。

周竹安 Chou Chu-an

54年10月~57年12月中共駐ブルガリア大使。56年1月「中国ブルガリア間パートナー協定および文化合作協定56年度執行計画」に署名。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(対外和平友好団体)。

周仲英 Chou Chung-ying

55年11月中央人民公安学院副院長。59年3月第二期全国人民代表大会湖北省代表。4月政治協商会議第三期全国委員会委員(特別招請人士)。第二期全国人民代表大会第1次會議で「西藏人民は新しく生れた」と題して共同発言。9月国務院国家經濟委員会副主任。

周傳典 Chou Chuan-tien

53年3月鞍山鋼鐵公司製鉄工場長,特等労働模範。5月中華全国総工会第七期候補執行委員。55年2月遼寧省人民代表大会鞍山市代表。57年12月全国総工会第八期候補執行委員。

周东光 Chou Tung-kuang

54年11月最高人民検察院検察員。

周濤 Chou Tao

55年10月当時中共雲南省曲靖地方委員会宣伝部副部長。

周同 Chou Tung

元駐ウラジオストック総領事。52年国務院外交部人事司長。

周同庆(慶) Chou Tung-ching

55年5月中国科学院物理学数学化学学部委員。

周南 Chou Nan

60年4月南京航空学院副院長。

周楠 Chou Nan

55年2月広東省人民委員会委員。広東高級人民法院院長。56年5月ブラッセルの国際民主法律工作者協会第6回大会出席。中国政治法律協会代表団員。

周培源 Chou Pei-yüan

物理学者(力学)。29年カリフォルニア工芸学院卒業,その後国立清華大学教授。43年渡米軍事的研究に従事。50年清華大学物理学部長兼同校副理事長。53年7月~55年12月当時北京大学教務長,華北区高等学校学生募集委員会主任委員。53年9月当時中華全国自然科学専門学会連合会組織部長,中国物理学会責任者。9月ブダペストの国際科学工作者協会第3回代表大会およびポーランド科学院コペルニクス没後410年記念科学会議に出席。53年末中国物理学会理事長。54年8月第一期全国人民代表大会江蘇省代表。55年5月中国科学院物理学数学化学学部委員。6月同学部常務委員会委員。同月モスクワ大学200周年記念会出席。56年2月九三学社第四期中央委員会委員。3月当時国際科学工作者協会理事。12月九三学社第五期中央委員会副主席,同常務委員,同組織部部長。58年4月当時中国力学学会副理事長,中国物理学会理事長。9月科学技術協会書記処書記,同協会委員。59年3月中共へ入党,当時北京大学副校長(58年始~60年6月)。3月第二期全国人民代表大会江蘇省代表。4月政治協商会議第三期全国委員会委員(九三学社代表),同常務委員。60年1月印度科学大会第47期年回(ボンペー)参加。3月世界和平理事会ニューデリー會議出席代表団員。4月中国アフリカ人民友好協会理事。61年7~8月原水爆禁止世界大会参加代表団長として来日。

周梅英 Chou Mei-ying 1920~

61年3月訪日中国婦人代表団員,当時全国婦女連合会国際連絡部副部長。

周梅影〔女〕 Chou Mei-ying

55年6月中国インドネシア友好協会理事。



周 范(範)文 Chou Fan-wèn

49年12月国民党革命委員会候補中央委員兼組織部副部長。56年2月同第三期候補中央委員。58年12月同第四期中央委員会候補委員。

周 百 鍊 Chou Po-lien

61年11月当時台湾省政府委員会委員。

周 彬 Chou Pin

60年1月武漢市水運工程学院副院長。

周 敏 Chou Min

61年4月中共駐ユーゴ大使館参事官。

周 佛 海 Chou Fuo-hai 1897~1945

湖南省人。日本京都帝大卒。留学中中国共産党一大大会に留日代表として出席、中央副委員長に推される。間もなく転向。帰国後国立広東大学、上海大夏大学教授。中央陸軍軍官学校政治訓練処長を経て1929年~31年国民政府訓練總監部政治訓練処長、江蘇省政府委員兼教育庁長。35年第五期国民党中央執行委員、中央党部民衆訓練部長等を歴任。38年国民党中央宣伝部長。同年末汪精衛と行を共にし対日和平運動に奔走。40年3月汪精衛政府財政部長、警政部長、軍事委員会常務委員。汪政権の中心的人物と目されたが、終戦後奸漢として刑死。C.C団(特務工作機関)の領袖、政治理論家として重きをなし「三民主義の理論的体系」その他著書訳書多し。

周 文 江 Chou Wèn-chiang

54年8月第一期全国人民代表大会解放軍華東軍区代表。当時戦闘英雄。59年3月第二期全国人民代表大会軍隊代表。4月同大会第1次会議主席団員。60年3月同大会第2次会議

主席団員。

周 文 龍(龍) Chou Wèn-lung

53年1月中央人民政府政務院華北行政委員会倉庫調整委員会副主任。3月当時人民解放軍華北軍区後勤部部長。55年8月国務院石油工業部副部長。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(特別招請人士)。9月石油工業部副部長。10月中国ルーマニア科学技術協力議定書に調印。60年2月全国教育、文化、衛生、体育等方面の先進単位先進工作者代表大会準備委員会委員。6月全国文教先進工作者代表大会主席団員。

周 炳 琳 Chou Ping-lin

49年10月中国人民保衛世界和平委員会宣伝部長(56年在職)。53年3月当時中国国民党革命委員会団結委員。54年12月政治協商会議第二期全国委員会委員(対外平和友好団体)。55年6月ヘルシンキ世界平和大会中共代表団団員。56年2月国民党革命委員会第三期中央委員。58年12月同第四期中央委員会委員。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(対外平和友好団体)。

周 保 中 [本名、余紹黄] Chou

Pao-chung [Yü Shao-huang] 1903~  
雲南省大理県の人。民家族。モスクワ中山大学卒業。35年当時東北抗日連軍第5軍長。「虎将」の称あり。46年東北民主連軍副司令。47年吉林省人民政府主席。48年東北軍区副司令。49年末~53年1月西南軍政委員会委員。50年~53年1月雲南省軍政委員会副主任兼雲南人民政府副主席。51年解放軍第4野戦軍副司令。53年1月西南行政委員会委員。54年3月第一期全国人民代表大会雲南省代表。9月国防委員会委員。55年9月1級八一勳章、1級独立自由勳章および1級解放勳章。56年9

月中共第八期候補中央委員。59年3月第二期全国人民代表大会雲南省代表。4月政治協商会議第三期全国委員会委員(少数民族代表)。同常務委員。国防委員会委員。民族委員会委員。

周 邦 道 Chou Pang-tao

江西省瑞金の人。現在59歳。南京高等師範、東南大学卒業。教育庁長、考銓処長、考試院参事、台中農学院教授、東海大学兼任教授を歴任。61年3月国府考試院考選部政務次長。

周 風(風)九 Chou Fèng-chiu

55年2月武漢長江大橋技術顧問委員会委員。56年1月政治協商会議第二期全国委員会特別招請委員。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(特別招請人士)。

周 風(風)鳴 Chou Fèng-ming

61年2月当時杭州市副市長。

周 北 峯 Chou Pei-fèng

49年当時北京市人民政府参事。同年末~54年6月綏遠省人民政府委員兼民政庁庁長。54年8月内蒙古自治区人民政府委員。当時内蒙古自治区人民政府民政部副部長。8月第一期全国人民代表大会内モンゴ代表。55年4月内モンゴ自治区人民委員会委員。59年3月第二期全国人民代表大会内モンゴ自治区代表。

周 鳴 鶴 Chou Ming-chi

59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(特別招請人士)。

周 有 光 Chou Yu-kuang

56年2月当時中国文字改革委員会音標化研究部副主任。同月中央標準語普及工作委員会

委員。

周 有 才 Chou Yu-tsai

54年8月第一期全国人民代表大会甘肅省代表。58年5月甘肅省第一期人民代表大会第5次會議にて全国人民代表大会資格を剝奪さる。

周 游 Chou Yu

60年3月中華全国新聞工作者協会常務理事、同会書記処書記。5月当時中国チェコ友好協会理事。

周 豫 同 Chou Yü-tung 1898~

浙江省瑞安の人。歴史学者。「教育雑誌」、「民鐸雑誌」編集者。安徽大学、暨南大学、上海復旦大学教授。上海市高教連主席。開明書店重役。49年末~54年6月華東軍政委員会文化教育委員会委員。55年2月上海市人民委員会委員。

周 揚 [起应]

Chou Yang [Chi-ying]

湖南省の人。現在54歳。大夏大学卒業。日本留学。文芸理論家。戦争中延安大学校長、魯迅芸術学院教授として文化活動を指導。「秧歌」(田植歌、農民歌舞)を新しい農民芸術とすることに努力。49年7月中華全国文学芸術界連合会副主席兼常務委員。9月政治協商会議第一期全国委員会委員。10月中央人民政府政務院文化教育委員会委員兼文化部副部長、中ソ友好協会理事。「文芸報」(北京)社社長。53年1月婚姻法貫徹運動委員会委員。10月中国作家協会理事会副主席、中国文学芸術連合会第二期全国委員会副主席。54年5月中国人民対外文化協会理事。54年5月~61年5月当時中共中央宣伝部副部長。54年8月第一期全国人民代表大会広東省代表。12月第2回全ソ作家代表大会に中国作家協会代表団団長とし



て列席。55年5月中国科学院哲学社会科学学部委員。56年2月中央標準語普及工作委員會委員。3月国務院科学規劃委員會委員。9月中共第八期候補中央委員、八全大会で「教条主義、セクト主義は芸術家の自由を束縛する」と発言。57年9月10月社会主義革命40周年慶祝準備委員會委員。58年11月第2回全国青年社会主義建設積極分子大会において「文化革命に関し」報告。59年3月第二期全国人民代表大会広東省代表。4月政治協商會議第三期全国委員會委員（中国文学芸術界連合会代表）、同常務委員。60年6月全国文教先進工作者代表大会主席団員。8月中国文学芸術界連合会第三期全国委員會副主席、同委員、中国作家協會副主席。著書「マルクス主義と文芸」（44年）。

周 湧 Chou Yung

53年9月当時人民解放軍遼東軍区副司令。

周 雍 能 [敬中] Chou Yung-nêng  
[Ching-chung]

江西省鄱陽県の人。江西武備学堂および北京匯文大学卒業。江西軍旅長、警備司令をつとめ、22年国民党員として渡米。その後中央党部総理辦公処秘書、香港晨報社長、広州大本營機要秘書、軍事委員會秘書、国民革命総司令部秘書、鄱北財政処長を歴任。27年江西省政府委員兼財政委員兼財政庁長、南京特別市財政局長、安徽省政府委員兼財政庁長。28年上海特別市政府秘書長。行政院駐平政務委員會調査処長。36年上海市府参事。48年以來国府立法委員。

周 力 Chou Li

54年10月当時国務院 对外貿易部 輸入局專員。

周 立 Chou Li

59年4月政治協商會議第三期全国委員會委員（中国科学技術協会）。

周 立 波 [立波] Chou Li-po [Li-Po]

浙江省の人。作家。34年中国左翼作家同盟に加入、中国共産党に入党。36年北京解放地区に逃亡し、紅軍に入隊、魯迅芸術大学院教授。49年7月中華全国文学芸術界連合会全国委員會委員。52年「暴風驟雨」でスターリン賞。53年3月スターリン逝去弔問団団員として訪ソ。10月中国文学芸術界連合会第二期全国委員會委員。同月中国作家協會 理事会理事。54年5月中国人民对外文化協會理事。8月第一期全国人民代表大会湖南省代表。12月中ソ友好協會總會第二期理事会理事。59年3月第二期全国人民代表大会湖南省代表。5月中ソ友好協會總會第三期理事会理事。60年8月中国文学芸術界連合会第三期全国委員會委員。

周 亮 Chou Liang

54年7月当時中共駐北ヴェトナム大使館臨時代理大使。

周 林 Chou Lin

貴州省の人。貴州大学卒業。50年～53年1月西南軍政委員會委員。53年11月西南行政委員會委員。54年8月第一期全国人民代表大会貴州省代表。当時貴州省人民政府副主席。55年2月貴州省省長。56年6月全国人民代表大会第3次會議で民族委員會委員に補選。9月中共八全大会に中共貴州省委員會第1書記の資格で「貴州省山岳地区の發展」について発言。58年8月当時貴州軍区政治委員。9月貴州省省長。59年3月第二期全国人民代表大会貴州省代表。4月同大会第1次會議主席団員、民族委員會委員。60年4月中国アフリカ人

民友好協會理事。

周 林 度 Chou Lin-tu

59年3月第二期全国人民代表大会広東省代表。

周 綸 Chou Lun

53年10月当時中央人民政府交通部築港工程局長。

周 礼 Chou Li

49年当時中共湖南省委員會組織部長。49年末～53年1月中南軍政委員會委員。54年2月当時人民解放軍慰問代表団第5總分団(中南)副団長。8月第一期全国人民代表大会湖南省代表。55年2月湖南省人民委員會委員、政治協商會議第一期湖南省委員會副主席。58年7月湖南省省長。59年3月第二期全国人民代表大会湖南省代表。60年6月当時湖南省委員會書記。

周 烈 承 Chou Lieh-chêng

53年1月～54年3月当時中央人民政府对外貿易部交際処科長。

秋 結 实 Chiu Chieh-shih

西藏族。54年1月青海省海西蒙蔵ハザック族自治区人民政府副主席。

習 因 壽 Hsi Yin-shou

59年6月当時国府駐バンクーバー総領事館簡任総領事。

习(習) 仲 勛(勳) Hsi Chung-hsün

1912～

陝西省富平県の人。現在54歳。26年共産主義青年団に加入。27年革命失敗後逮捕下獄。32年「両当兵変」を指導。陝西渭北で遊撃戦

に従事。日華事変中は陝甘寧辺区の防衛を担当。45年中共第七期候補中央委員。49年当時中共中央西北局書記、解放軍第1野戦軍兼西北軍区 政治委員。10月西北軍 政委員会 副主席、中央人民政府委員、人民革命軍事委員會委員。52年8月政務院文化教育委員會副主任、中央人民政府国家計画委員會委員。53年1月憲法起草委員會委員、西北行政委員會副主席。2月中央選挙委員會委員。7月当時中共中央委員会宣伝部部長。9月中央人民政府政務院秘書長。54年7月第一期全国人民代表大会西安市代表。9月国務院秘書長。56年9月中共第八期中央委員。59年2月中国政府代表団長としてライブチヒ春季博覧会に出席。3月第二期全国人民代表大会陝西省代表。4月同第1次會議主席団員。国務院副総理、同秘書長。9月訪ソ中共經濟視察団団長。60年9月ビーク大統領国葬(東独)参加中共代表団団長。

习(習) 东 光 Hsi Tung-kuang

53年12月当時中央人民政府地質部辦公庁副主任。

戎 子 和 [伍胜(勝)] Jung Tzu-hê

[Wu-shêng]

山西省靈邱の人。山西大学卒業。35年山西省犠牲救国同盟常任委員會委員。薄一波と共に遊撃戦を指導。41年晋冀魯豫辺区副主席兼財政局長。48年8月華北人民政府委員兼財政部部長。49年10月政務院財政部副部長。54年11月国務院財政部副部長。59年3月先進生産者代表會議準備委員會委員。9月財政部副部長。60年2月全国教育文化衛生体育等方面先進單位と先進工作者代表會議準備委員會委員。6月全国文教先進工作者代表大会主席団員。

祝 华(華) Chu Hua

53年11月全国工商業連合会 第一期 執行委



員。56年12月同連合会第二期執行委員（国营企業，合作社企業全国機構）。

祝志澄 Chu Chih-chêng

48年8月中華全国総工会執行委員。54年12月政治協商会議第二期全国委員会委員（中華全国総工会）。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員（中華全国総工会）。

荀昌五 Hsün Chang-wu

56年8月国務院森林工業部部長助理。

荀肇玉 Hsün Chao-yü

54年11月最高人民法院審判員。

初大吉 Chu Ta-chi

56年2月，58年12月九三学社第四期及び第五期中央委員会委員。

所仁克增 Suren-getseng

西藏族。55年1月西康省人民委員会委員。3月西康省藏族自治州副州長。

所仁克尊 大喇嘛 Sureng-getsun Doloma

西藏族。54年6月当時西康省藏族自治区人民政府財政処処長。

諸福棠 Chu Fu-tang

53年5月当時北京儿童医院院長。世界医学會議中国代表団員。54年8月第一期全国人民代表大会北京市代表。55年6月中国科学院生物学地学部委員。59年3月第二期全国人民代表大会北京市代表。4月同大会第1次會議で「医学科学躍進につぐ躍進」について合同發言。60年2月当時北京市中ソ友好協会副会長。

徐以新 Hsü I-hsin

江蘇省の人。モスクワ大学卒業。現在55歳位。52年中央人民政府外交部ソ連東欧司司長。53年1月「中国ルーマニア科学，技術協力協定」「同バーター協定」調印式に参列。「中国ハンガリア53年度貨物バーターおよび支払協定」調印式に参列。6月当時中国チェコ科学技術合作連合委員会委員。54年5月～57年5月駐アルバニア大使。11月アルバニア「解放」10周年慶祝大会中共代表団団員。55年3月中共・アルバニア文化合作協定55年執行計画調印代表。5月大使兼中共中央代表としてアルバニア労働党代表大会参加。58年4月駐ノルウェー大使。

徐运(運)北 Hsü Yün-pei

48年8月全国総工会執行委員。51年西南軍政委員会土地改革委員会委員。52年12月政務院衛生部副部長。53年5月全国総工会第七期執行委員。54年11月国務院衛生部副部長。56年3月国務院科学規画委員会副秘書長。9月中共8全大会で「衛生工作中的經驗と教訓」について發言。59年3月第三期全国人民代表大会山東省代表。9月衛生部副部長。60年論文「偉大なる人民衛生工作の展開」を發表（紅旗6号）。60年6月全国文教先進工作者代表大会主席団員。

徐永煥 Hsü Yung-ying

55年7月当時中国人民外交学会編訳部主任。同月同学会第三期理事会理事。12月当時国務院外交部アメリカ・オーストラリア司長。

徐永才 Hsü Yung-tsai

56年12月当時中国国際貿易促進委員会工作員。

徐永昌 [次辰] Hsü Yung-chang

[Tzu-chên] 1889～1959

山西省崞県の人。陸軍大将。16年北京陸軍大学卒業。27年北伐に参加。第12路軍総司令。閻錫山国民革命軍北路総司令の第3軍長。28年国民政府軍事委員会委員，第3集團軍第3軍長，綏遠省政府主席，第33師長。29年河北省政府主席。30年山西綏遠両省衛戍司令。31年～36年山西省政府主席，第5軍長，中央陸軍第33軍長。東北政務委員会北平移転後同委員会委員。35年第五期中央監察委員。37年国民軍事會議本部長。38年～45年国民軍事會議作戰部長。日華事変中は軍事委員会軍令部長兼西安公署主任。ミズリー号上の日本降伏調印式中国首席代表。46年陳誠軍政部長に代り軍事三人委員会の国府代表。陸軍大学校長。48年12月孫科内閣の国防部長兼陸軍大学校長。49年3月～4月何応欽内閣の国防部長。6月閻錫山内閣の政務委員。49年～50年行政院政務委員。55年以來総統府資政。59年7月死去。

徐盈 Hsü Ying

55年3月国務院宗教事務局副局長。

徐英 Hsü Ying

54年3月当時中共中央華北局辦公庁副主任。59年3月～60年8月駐モロッコ大使館参事官。

徐詠平 Hsü Yung-ping

浙江省の人。35年中央政治学校卒業。36年～41年教育部編集員。41年～42年重慶社会福祉日報記者。43年～49年広西中央日報発行人。50年以來国民党本部第4組組長。51年以來陸軍政治大学教授。著書「中国の民主問題」「外蒙古」。

徐嘉瑞 Hsü Chia-jui

雲南省の人。49年末～53年1月西南軍政委員会委員。53年1月西南行政委員会委員。54年8月第一期全国人民代表大会雲南省代表。55年2月雲南省人民委員会委員。59年3月第二期全国人民代表大会雲南省代表。8月中国文学芸術界連合会第三期全国委員会委員，中国・ヴィエトナム友好協会雲南分会成立副会長。

徐介藩 Hsü Chieh-fan

59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員（特別招請人士）。

徐海东 Hsü Hai-tung 1900～

湖北省黄陵県の人。22年江西軍に投じ，25年小隊長。27年故郷で中共入党。労働運動を指導。紅軍第4方面軍の四川移駐後，第25軍を指導。34年西遷後は第15軍団司令。日華事変中は山東，江蘇方面に遊撃。44年当時魯蘇予辺区軍司令。54年6月中央人民政府人民革命軍事委員会委員。9月国防委員会委員。56年9月中共第八期中央委員。59年4月国防委員会委員。

徐愷延 Hsü Kai-yen

浙江省出身。現在52歳。浙江大学卒業。57年10月訪日中国塩業視察団団員。

徐覚非 Hsü Chieh-fei

49年当時湖北省人民政府農林庁長。49年末～54年6月湖北省人民政府委員。54年12月～60年4月北京農業機械化学学院院長。

徐煥昇 Hsü Huan-shêng 1907～

江蘇省の人。江蘇薬学専門学校，空軍軍官学校修学。39年～40年中国空軍第8集團軍司令。41年～44年駐ソ大使館空軍武官。44年～45年空軍第4路軍副司令。45年～46年中米連翼副司令。



令。48年～50年空軍第3区司令。50年～51年国府国防部総務司長。51年～52年空軍政治部主任。52年空軍参謀長。

徐 寄 廣 Hsü Chi-ching

54年11月当時中国銀行董事。

徐 毅 民 Hsü I-min

55年9月中共駐ビルマ大使館付副武官。60年10月当時駐イラク大使館付武官。

徐 今 强 Hsü Chin-chiang

54年6月当時政務院燃料工業部石油管理総局副局長。

徐 欣〔女〕 Hsü Hsin

現在38歳。50年3月中国郵電工会全国委員会副主席。53年8月同会第二期全国委員会副主席。58年3月訪日中国郵電工会代表団副団長。59年3月第二期全国人民代表大会河北省代表。

徐 启(啓)文 Hsü Chi-wên

55年2月湖南省副省長。61年5月当時湖南省委員会書記。

徐 景 明 Hsü Ching-ming

現在38歳。57年12月訪日中国化学工業視察団団員。

徐 經 滿 Hsü Ching-man 1918～

広東省順徳県の人。日本明治大学卒業。もと国民党中央宣伝部専員。55年～56年当時総統府専員。56年4月中華民国各界日本親善訪問団随行秘書として来日。

徐 慶 鐘 Hsü Ching-chung 1907～

台湾省台北市の人。31年台北帝大卒業。45

年農学博士。台湾大学作物系主任。台湾省行政長官公署参議、土地銀行常務董事、土地研究委員会委員、台湾省政府農林庁長、台湾省政府委員を歴任。54年6月～57年8月台湾省政府委員(留任)。61年5月当時国民党中央委員会副秘書長。

徐 建 春〔女〕 Hsü Chien-chun

54年中共入党。山東省農業多収模範。55年7月ワルシャワの第5回世界青年学生和平懇親会中共青年代表団員。9月全国青年社会主義建設積極分子大会主席団員。57年5月中国共産主義青年団中央委員。59年3月第二期全国人民代表大会山東省代表。4月同大会第1次会議で「私たちはこんないい生活を創造した」について発言。

徐 健 生 Hsü Chien-shêng

54年8月第一期全国人民代表大会貴州省代表。55年2月貴州省副省長。58年9月貴州省副省長。59年3月第二期全国人民代表大会貴州省代表。4月同大会第1次会議で「貴州の貧困な様相は変わりつつある」について発言。11月当時中共貴州省委員会常務委員。

徐 元 泉 Hsü Yüan-chüan

55年2月吉林省副省長。60年6月当時中共吉林省委員会常務委員。7月吉林省副省長。

徐 光 Hsü Kuang

53年7月中華全国民主青年連合会第二期全国委員会委員。同月中国新民主主義青年団第二期中央委員。

徐 光 霄 Hsü Kuang-hsiao

58年2月中国アラブ連合友好協会理事。60年2月国務院文化部副部長。

徐 光 达(達) Hsü Kuang-ta

長征に従軍し35年陝西省に達す。その時より彭徳懐の麾下となる。日本降服後の内戦時には北西部戦線にあり。48年初め第2軍団第1野戦軍司令となる。49年北西軍管委員会委員兼江蘇人民政府委員兼第1野戦軍第2軍団司令兼第1野戦軍装甲兵団司令。50年朝鮮戦線の「中国人民義勇軍」に加わる。53年北西軍区空軍司令。55年大将に任官。56年中央委員会委員、現に同委員会委員、国防委員、人民解放軍装甲兵団司令。

徐 光 耀 Hsü Kuang-yao 1924～

作家。42年河北省寧晋県遊撃大隊に参加。46年冀中地区「抗戦8年創作運動」に参加。47年華北連合大学文学部に短期入学。52年訪ソ。53年6月中華全国民主青年連合会第二期全国委員会候補委員。作品「闘争中成長壮大」「平原烈火」。

徐 向 前〔象謙〕 Hsü Hsiang-chien  
[Hsiang-chien] 1902～

山西省五台の人。太原師範学校、黄埔軍官学校第一期卒業。五台山壮志中学附属小学校教師。25年北伐に参加。26年中共入党、武昌軍事政治学校(黄埔軍官学校武昌分校)教官。27年広州暴動に参加、失敗。紅軍第4師参謀長、師長。海陸豊ソヴィエト区教導団に参加。同団消滅後、上海に逃れ、29年6月武漢附近の鄂予皖ソヴィエト区に赴く。31師長。31年紅軍第4方面軍総司令。32年紅軍を率いて四川に新ソヴィエト区を建設、部隊を8万人に拡充。36年紅軍主力の西遷に響応して各部隊を西康に集中、7月甘肅に入る。37年第8路軍129師副師長。38年河北省の日本軍背後地に解放地区組織工作を指導。39年山東省において第8路軍第1縦隊司令兼中共中央山東局委

員。45年中共党7全大会において中央委員会委員。46年人民解放軍華北軍区副司令。48年8月華北人民政府委員。第5野戦軍第1集团軍司令兼太原前線人民解放軍司令、第18兵团軍司令兼政治委員。49年5月太原軍事管制委員会主任。9月政治協商会議第一期全国委員会委員。10月中央人民政府委員、人民革命軍事委員会委員兼総参謀長、華北軍区副司令。54年6月人民革命軍事委員会副主席。8月第一期全国人民代表大会軍隊代表。9月同大会常務委員会委員、国防委員会副主席。9月1級八一勳章、1級独立自由勳章および1級解放勳章、元帥。56年9月中共第八期中央委員。59年3月第二期全国人民代表大会軍隊代表。4月第二期全国人民代表大会第1次會議主席団員、同大会常務委員会委員。国防委員会副主席。

徐 行 Hsü Hsing

53年7月中国新民主主義青年団第二期中央委員会候補委員。

徐 孝 剛〔申甫〕 Hsü Hsiao-kang  
[Shên-fu] 1880～

四川省華陽県の人。前清時代四川陸軍速成学堂総辦。13年四川陸軍第4師長。17年四川省政務庁長。26年～27年第21軍参謀長。31年一時四川劉湘の最高顧問。49年末～53年1月西南軍政委員会委員。53年1月西南行政委員会委員。55年1月政治協商会議第一期四川省委員会副主席。

徐 恒 祿 Hsü Hêng-lu

53年10月当時志願軍2級英雄特等功臣。59年3月第二期全国人民代表大会軍隊代表。



徐 洽 时(時) Hsü Hsia-shih

59年4月政治協商會議第三期全國委員會委員(特別招請人士)。

徐 晃 Hsü Huang

55年8月國務院外交部新聞司副司長。60年3月中駐東獨大使館參事官。

徐 康 良 Hsü Kang-liang 1907~

浙江省の人。黄埔軍官学校空軍軍官学校修学。漢口中央航空学校長。45年~46年中国空軍第3路司令。46年~48年空軍第2区司令。48年~51年空軍幹部学校長。51年~52年国府軍訓練司令部總司令。52年以来空軍副總司令。

徐 国 賢 Hsü Kuo-hsien

60年4月当時新疆軍区副司令。

徐 国 珍 Hsü Kuo-chên

54年8月当時人民解放軍甘肅軍区副司令。12月甘肅省人民委員會委員。

徐 佐 夏 Hsü Tsuo-hsia

54年8月第一期全國人民代表大會山東省代表。59年3月第二期全國人民代表大會山東省代表。4月同大会第1次會議で「印度の政治家が当面する局面に対して賢明なる行動をとるように希望する」について合同發言。

徐 塞 Hsü Sai

54年11月最高人民檢察院檢察員。58年4月当時最高人民檢察院檢察員。

徐 士 高 Hsü Shih-kaio

59年3月第二期全國人民代表大會山東省代

表。同年4月同大会第1次會議で「電力工業科学研究工作に関するいくつかの意見」について發言。

徐 子 榮(榮) Hsü Tzu-jung

元人民解放軍政治委員。49年未中央人民政府政務院公安部辦公庁主任。52年政務院公安部副部長。53年1月婚姻法貫徹運動委員會委員。54年8月第一期全國人民代表大會河南省代表。56年9月中共第八期候補中央委員。59年3月第二期全國人民代表大會河南省代表。4月政治協商會議第三期全國委員會委員(共産党)。第二期全國人民代表大會法案委員會委員。9月公安部副部長。

徐 子 光 Hsü Tzu-kuang

56年12月全國工商業連合会第二期執行委員(山東省)。

徐 四 民 Hsü Ssu-min 1917~

福建省廈門の人。ラングーン在住華僑。廈門大学卒業。貿易商。日華事変中抗日運動に従事。ビルマ華僑救災總會理事。ビルマ華僑日本品ボイコット總會常務理事。日本軍ビルマ占領後中国に逃れんとし果さず、ビルマの抗日運動に協力。戦後ラングーンに帰り新仰光報副經理。華商會總幹事。中共成立後親共華僑のリーダー。中共系華僑諸団体の總元締になったといわれ、また52年中共に入党ともいわれる。54年9月中共全國人民代表大會ビルマ華僑代表。中共駐緬大使館顧問。

徐 志 Hsü Chih

60年10月当時瀋陽市副市長。

徐 志 芬〔女〕 Hsü Chih-fên

59年3月第二期全國人民代表大會黑竜江省代表。4月同大会第1次會議で「黒竜江は荒廢の代名詞でなくなった」について合同發言。

徐 芝 寅〔女〕 Hsü Chih-yin

53年4月中華全國民主婦女連合会第二期執行委員兼常務委員。54年8月第一期全國人民代表大會江蘇省代表。

徐 日 宗 Hsü Jih-tsung

ビルマ在住華僑。戦後ビルマに渡り中共系教員連合会を指導。

徐 寿 軒 Hsü Shou-hsüan

元東北人民政府委員兼衛生部第1副部長。49年未政務院財政經濟委員會中央財經人事局副局長。49年12月民主同盟中央委員に補選。51年政務院財政經濟委員會辦公庁主任兼副秘書長。54年8月吉林省長春市人民政府副市長。12月政治協商會議第二期全國委員會委員(中国民主同盟)。55年2月吉林省副省長。56年2月民主同盟第二期中央常務委員會委員。58年7月吉林省副省長。12月中国民主同盟第三期中央常務委員會常務委員、同会委員。59年3月第二期全國人民代表大會吉林省代表。

徐 淑 希 Hsü Shu-hsi 1892~

広東の人。香港大学、19年米コロンビア大学卒業。25年コロンビア大学博士。23年~27年燕京大学政治系主任教授兼教務委員會主席。法律研究所所長。社会系主任兼教授。研究院委員會主席。社会科学院院長。法学院々長。東北外交研究委員會委員。国連調査団中国代表處専門委員。京都、上海の太平洋會議中国代表。32年~33年国際連盟中国代表団顧問。36年~38年および40年~47年外交部顧問。43年~46年外交部ソ連および亜西司長。47年国連總會安保理事会および中間委員會中

国代表。48年国連国際法委員會委員。50年安保理事会副代表。調査ならびに調停に関する陪審員。56年2月国府駐ペルー大使。4月2等景星勳章。7月駐ボリヴィア大使兼任。ペルー大統領就任儀式祝賀特使。ボリヴィア大統領就任儀式祝賀特使。58年6月当時駐ボリヴィア大使。8月第13回国連總會全權代表。60年9月第15回同会全權代表。著書「中国領土主權保全論」「滿洲問題」「中国の外交關係」。

徐 俊 Hsü Chün

53年7月中国新民主主義青年団第二期中央委員會候補委員。

徐 舜 英〔女〕 Hsü Shun-ying

56年2月国民党革命委員會第三期候補中央委員。

徐 书(書)楷 Hsü Shu-kai

56年12月当時中国進出口公司天津分公司經理。

徐 少 岩 Hsü Shao-yên

60年3月当時民族文化宮博物館館長。

徐 肖 冰 Hsü Hsiao-ping

映画人。53年10月中国文学芸術界連合会第二期全國委員會委員。54年6月スターリン賞および北鮮2級国旗勳章。8月第一期全國人民代表大會江蘇省代表。12月中ソ友好協會第2回理事会理事。59年3月第二期全國人民代表大會江蘇省代表。5月中ソ友好協會第三期理事会理事。60年8月中国文学芸術界連合会第三期全國委員會委員。

徐 捷 Hsü Chieh

54年10月当時人民解放軍湖北軍区副參謀長。

徐 紹 清 Hsü Shao-ching

53年8月湖南省中国人民第3回朝鮮訪問慰



問文芸団団員。54年12月政治協商會議第二期全国委員会委員（中国文学芸術界連合会）。

徐 鍾 佩 Hsü Chung-pei 1917~

江蘇省の人。中央政治学校卒業。45年~48年中央日報ロンドン駐在通信員。国府国民大会代表。著書「英国より帰って」「台北と余」。

徐 淨 武 Hsü Ching-wu

53年7月中国新民主主義青年団第二期候補中央委員。

徐 繩 武 Hsü Shêng-wu

55年6月~56年12月当時中国国際貿易促進委員会連絡部副部長。55年6月アルゼンティン国際貿易促進委員会第2回大会に中共代表として出席。

徐 振 騏 Hsü Chên-chi

56年1月政治協商會議第二期全国委員会特別招請委員。59年4月政治協商會議第三期全国委員会委員（中国科学技術協会）。

徐 深 吉 Hsü Shên-chi

55年9月1級八一勳章及び1級解放勳章を授与せらる。57年12月当時中共空軍副司令員（中將）。

徐 森 玉 Hsü Sên-yü

53年6月中国仏教協会理事。59年3月第二期全国人民代表大会上海市代表。

徐 慎 Hsü Shên

61年2月当時旅大副市長。

徐 瑞 意 Hsü Jui-i

(Chee Swee-ee) 1902~

ベナン生れ。マライのパリック・パラウ在

住華僑。ベナンのセント・ザビエル学院卒業。飼料ならびに肥料商、治安判事。

徐 瑞 云(雲) Hsü Jui-yün

55年1月浙江省人民委員会委員。

徐 瑞 林 Hsü Jui-lin

55年2月当時中共河北省通県地方委員会書記。

徐 崇 林 Hsü Chung-lin

四川省の人。45年12月民主建国会委員。49年未~53年1月西南軍政委員会委員。53年1月西南行政委員会委員。54年8月第一期全国人民代表大会四川省代表。55年4月民主建国会中央常務委員。

徐 世 賢 Hsü Shih-hsien 1903~

浙江省の人。国立北平法律学校修学。台湾省保安司令、上海高等法院特別刑事署檢察長、国防部軍法委員会委員長を歴任。55年~56年当時行政院司法行政部常務次長。台湾大学法学院教授。

徐 世 昌 Hsü Shih-chang 1857~1936

河北省天津人。元大總統。前清進士。前清時代に兵部侍郎、民政部尙書、東三省総督、郵電部尙書、軍機大臣、参謀総長を歴任。1912年清国朝廷最高顧問、同年清帝退位後宣統帝師傅。民国成立後14年国務總理。15年袁世凱の帝制問題起るとともに辞任。16年一時国務總理に再任したが、18年段祺瑞等北方武断派の新国会により大總統に選任。22年6月第1次奉直戦後辞任し以後天津に閑居。

徐 政 聞 Hsü Chêng-wên

35年南満医科大学卒業。35年~38年東京大

学医学部小児科に留学。57年12月訪日中華医学総会代表団団員。

徐 赤 文 Hsü Chih-wên

55年1月浙江省人民委員会委員。59年3月第二期全国人民代表大会浙江省代表。4月同大会第1次会議で「印度干涉者の挑発を中国人民はもう黙ってほっておくわけにはいかない」について合同発言。

徐 雪 寒 Hsü Hsüeh-han

元華東財政經濟委員会運輸部長、上海鉄道管理局局長。49年未~54年6月華東軍政委員会財政經濟委員会委員。52年8月中央人民政府对外贸易部副部長。53年1月「中国ルーマニア53年度バーターおよび經濟協定」「中国ハンガリア53年度バーター支払協定」に中共側代表として調印。4月「中独53年度バーター取引および支払協定」に中共側代表として調印。54年2月ポーランド訪問商務代表団団長。11月国務院对外贸易部副部長。55年1月「中国ルーマニア55年度バーター支払協定」、「55年度中国ブルガリア・バーター支払協定」、「55年度中国ポーランド・バーター支払協定」に中共側代表として署名。

徐 雪 尘(塵) Hsü Hsüeh-chên

56年2月民主同盟第二期候補中央委員。

徐 节(節)庵 Hsü Chieh-an

56年12月全国工商業連合会第二期執行委員（河北省）。

徐 楚 波 Hsü Chu-po 1899~

河北省威県の人。直隸高等師範史地専修科卒業。河北威県教育局長、天津中日中学、北京師大附属女子中学、北京成達中学、河北高

等中学、輔仁男子中学、市立一中、大同中学など各校教師を歴任。52年当時北京市人民政府委員会委員。54年12月政治協商會議第二期全国委員会委員（教育界）。55年2月北京市人民委員会委員。56年8月中国民主促進会第四期中央委員会委員兼常務委員会委員。58年12月中国民主促進会第五期中央委員会常務委員。59年4月政治協商會議第三期全国委員会委員（中国民主促進会）。

徐 鼎 [健青] Hsü Nai

[Chien-ching] 1910~

安徽省歙県の人。北京中国大学卒業。湖北省咸豊県県長、湖北省政府設計委員会専任委員、軍政部参議兼組長、軍政部儲備司副司長、遼北省政府委員兼秘書長兼建設庁長、東北行轅政務委員会政務処処長、台湾省政府専門委員、東南長官公署政務処処長、行政院参事兼組長を歴任。52年經濟部常務次長。54年6月~57年4月經濟部政務次長。

徐 澤 [澤之] Hsü Tsé

[Tsé-chih] 1903~

浙江省呉興県の人。26年国立北京大学卒業。34年ハンブルグ大学政治経済学博士。英、仏、独、日、露、瑞六カ国語に精通。司法部編訳官、各大学教授、講師。29年~30年駐スウェーデン公使館外交官補。30年~36年駐ハンブルグ副領事。37年~38年駐オスロ公使館書記官。38年~41年駐ベルリン大使館書記官。41年~43年外交部課長。44年~50年駐リオデジャネイロ大使館1等書記官。50年~52年駐グアテマラ総領事。51年グアテマラ国アーベンズ大統領就任式特派使節。52年駐コスタリカ公使館代理公使。53年同国フィギュラス大統領就任式特派使節全權公使。54年第9回国連総会主席中国代表顧問。55年9月~57年7月駐エクアドル公使。56年8月エクアドル大統領



領就任儀式祝賀大使級專使。57年2月3等景星勳章。56年～57年6月当時駐サルバドル公使。58年11月同公使解任。

徐 達(達)深 Hsü Ta-shên

53年8月～56年1月当時中共駐ソ大使館商務参事官。59年2月当時外交部西欧司々長。

徐 達(達)本 Hsü Ta-pên

48年華北人民政府国家企業局副局長。53年7月当時政務院燃料工業部副部長。54年11月國務院燃料工業部副部長。59年9月煤炭工業部副部長。

徐 淡 庐(盧) Hsü Tan-lu

四川省の人。現在47歳位、人民解放軍西藏軍区政治部連絡部長。60年3月中国ラテンアメリカ友好協会常務理事、同会理事。5月ヴェネズエラ訪問中国芸術団副団長。

徐 馳 Hsü Chih

53年1月当時政務院重工業部計画司長。55年1月國務院重工業部部長助理。59年9月冶金工業部副部長。60年1月免冶金工業部部長助理。

徐 中 齊 Hsü Chung-chi 1908～

四川省の人。黄埔軍官学校、ウィーン警察学校卒業。39年～40年および43年～44年重慶市警務局長。40年～43年中央警察大学代理部長。44年～46年成都市警務処長。48年以来国府立法委員。

徐 中 夫 Hsü Chung-fu

55年9月中共駐パキスタン大使館文化参事官。56年10月～61年4月駐スウェーデン大使館文化参事官。

徐 鑄 成 Hsü Chu-chêng

江蘇省宜興の人。北京清華大学卒業。新聞評論家。大公報編集局長、論説主幹、文滙報主筆を歴任。終戦後文滙報編集局長。49年未～54年6月華東軍政委員会文教委員会委員。全国新聞協会委員。54年8月第一期全国人民代表大会広東省代表。57年7月文滙報社長兼総編集として羅隆基右派グループの路線に奉仕し反党反人民反社会主義活動を行ったかどにより批判される。58年2月第一期全国人民代表大会第5次会議に於て「右派分子」として代表の資格を剝奪される。60年1月右派分子の指定を除かれる。

徐 长(長)勛(勳) Hsü Chang-hsün

59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(特別招請人士)。

徐 重 九 Hsü Chung-chiu

60年8月当時中共駐チェコ大使館武官。

徐 传(傳)奇 Hsü Chüan-chi

60年6月当時合肥市副市長。

徐 特 立 [懋循] Hsü Tê-li

[Mao-hsün] 1877～

湖南省長沙の人。湖南師範学校卒業。小学校教師。1909年江蘇教育会職員。辛亥革命の時中国革命同盟会に加入。15年当時毛沢東が学んでいた湖南第1師範学校に奉職。20年留仏独苦学。23年長沙に帰りふたつの師範学校を創設。国民党入党。27年長沙事件の際李維漢とともに武漢に逃亡、同地にて李の勧告に

より共産党に入党。直ちに江西省に赴き南昌反乱に参加、この企画失敗後、革命軍とともに広東省經由上海に逃亡。28年モスクワ中山大学で2年修学。30年帰国。江西ソヴェト区教育委員会助理委員。34年大西遷に参加。35年教育人民委員。45年中共第七期中央委員。49年当時中共中央宣伝部副部長。49年10月中央人民政府委員兼政務院文化教育委員会委員。54年8月第一期全国人民代表大会湖南省代表。9月同大会常務委員会委員。56年9月中共第八期中央委員。58年4月当時中国地理学会名誉理事長。59年3月第二期全国人民代表大会湖南省代表。4月同大会第1次会議主席団員。同大会常務委員会委員。60年3月第二期全国人民代表大会第2次会議主席団員。6月全国文教先進工作者代表大会主席団員。

徐 德 操 Hsü Tê-tsao

少将。55年9月1級解放勳章。58年9月当時工程兵団副司令官。

徐 德 明 Hsü Tê-ming 1918～

東北民主連軍(第4野戦軍の前身)第2縦隊副政治委員兼吉林市軍事管制委員会主任。中共黨員。55年10月中共見本市代表団秘書長として来日。当時中国絲綢公司上海分公司經理。56年12月当時中国絲綢公司副經理。

徐 培 根 Hsü Pei-kên 1898～

浙江省の人。陸軍幹部学校、ドイツ幹部学校卒業。38年～39年軍事委員会陸軍作戦部第2庁長。41年駐米陸軍武官。43年～50年幹部学校長。51年～54年副参謀長。54年国府国防大学校長。

徐 伯 昕 Hsü Po-hsin

54年8月第一期全国人民代表大会四川省代表。55年1月政治協商会議全国委員会副秘書長。56年8月民主促進会第四期中央委員会常

務委員会委員。58年12月中国民主促進会第五期中央委員会常務委員兼秘書長。59年3月第二期全国人民代表大会四川省代表。4月政治協商会議第三期全国委員会委員(中国民主促進会)、同会副秘書長。同会第1次全体会議主席団員。

徐 柏 園 Hsü Po-yüan 1902～

浙江省蘭谿県の人。26年国立東南大学、上海商学院卒業。寧波商業学校教員。杭州民国日報編集人。浙江省国民党部秘書。広東国民日報編集人。交通部秘書。30年～33年米シカゴ、イリノイ、カリフォルニア各大学修学。33年交通部中国電気公司副總經理、中央電気計画委員、郵政送金儲蓄銀行常務理事、交通部購買委員会委員、中央電気公募委員会委員。35年北平交通銀行經理。36年天津交通銀行經理。38年第1回国民参政員、交通銀行昆明分行經理。39年四行連合総署副秘書長。その後主として郵政、交通、電気、銀行等の公営事業に従事。46年～48年俞鴻鈞財政部長の下に財政部次長。49年中央銀行副総裁、中国銀行代理董事長。50年4月中央銀行董事長。51年～52年台湾銀行董事長。52年中国銀行總經理。53年台湾省財政庁長。54年6月～58年3月財政部部長。56年9月国際貨幣基金および国際復興開発銀行理事会第11回年会中華民国代表団首席代表。60年7月中央銀行総裁。61年2月中央銀行理事同常務理事。

徐 眉 生 Hsü Mei-shêng

55年5月山東省人民委員会委員。59年3月第二期全国人民代表大会山東省代表。4月同大会第1次会議で「印度の政治家が当面する局面に対して賢明なる行動をとるように希望する」について合同発言。



徐美峰 Hsü Mei-fêng

60年11月当時政治協商會議南京市委員會副主席。

徐彬如 Hsü Pin-ju

59年4月政治協商會議第三期全國委員會委員(中國農工民主黨)。

徐斌洲 Hsü Pin-chou

58年6月当時軍事學院副政治委員。60年4月國務院農業機械部副部長。

徐敏〔女〕 Hsü Min

53年4月中華全國民主婦女連合會第二期候補執行委員。

徐傅霖〔夢巖〕 Hsü Fu-lin

[Mêng-yên] 1880~

廣東省和平縣の人。北洋法律學校、日本法政大學卒業。北京國會衆議院議員、上海中華新報主宰、高等法院院長、民社黨中央執行委員會代理主任委員を歴任。47年~48年國民政府政府委員。48年副總統に立候補、總統顧問。54年總統選挙に立候補。56年当時總統府資政。

徐平 Hsü Ping

54年4月当時中華全國總工會執行委員。60年9月当時中國鐵路工會全國委員會副主席。

徐平羽 Hsü Ping-yü

53年8月当時上海市人民政府秘書長。54年5月中國人民對外文化協會理事。55年2月上海市人民委員會委員。59年4月中國人民對外文化協會常務理事。60年2月文化部副部長。3月中國ラテンアメリカ友好協會理事、同會常務理事。4月中國アフリカ人民友好協會副會長。同協會常務理事、理事。6月当時中共上海市委員會宣傳部副部長。7月全國文芸工

作者代表大會主席團員。8月中國文學藝術界連合會第三期全國委員會委員。

徐步 Hsü Pu

58年7月当時南京副市長。61年6月当時南京市委員會書記、南京市長。

徐步寬 Hsü Pu-kuan

55年2月熱河省人民委員會委員。

徐方庭 Hsü Fang-ting

53年6月西南教育局長なるも黨章に違反し分離主義的傾向の故を以て記過処分。54年9月西南軍政委員會文化教育委員會委員を解任。60年12月当時教育部普通教育司司長。

徐萌山 Hsü Mêng-shan

53年6月中華全國民主青年連合會第二期全國委員會委員。58年7月中國人民保衛世界和平委員會委員。59年4月政治協商會議第三期全國委員會委員(台灣民主自治同盟)。12月当時台灣民主自治同盟秘書長。

徐璞 Hsü Pu

54年11月最高人民法院審判員。

徐迈(邁)进(進) Hsü Mai-chin

49年北京軍事管制委員會文化接管委員會委員兼新聞出版部部長。同年末政務院新聞總署辦公廳主任。51年政務院文化教育委員會辦公廳主任。54年11月國務院廣播(放送)事業局局長。12月政治協商會議第二期全國委員會委員(新聞出版界)。58年4月当時國務院第2辦公室副主任。59年4月政治協商會議第三期全國委員會委員(新聞出版界代表)。9月國務院文教辦公室副主任。60年1月業餘教育委員會委員。6月全國文教先進工作者大會主席團員、同會秘書長。

徐明 Hsü Ming

55年1月~60年8月中共駐東獨大使館參事官。60年9月当時外交部ソ連東歐司副司長。

徐明 Hsü Ming

55年2月湖南省人民委員會委員。58年7月湖南省副省長。

徐野〔女〕 Hsü Yeh

53年7月中國新民主主義青年團第二期候補中央委員。57年5月中國共產主義青年團中央委員。

徐有声 Hsü Yu-shêng

54年11月最高人民法院審判員。

徐力 Hsü Li

55年~58年8月中共駐インドネシア大使館參事官。

徐立清 Hsü Li-ching

河南省の人。現在55歳位。南開大學修學。江西ソヴェト時代よりの幹部。人民解放軍第1野戦軍第22兵团政治委員、中共中央新疆分區副書記、新疆省人民政府委員を歴任。53年3月~55年9月当時中央人民政府人民革命軍事委員會總幹部管理部副部長。54年6月~55年2月当時解放軍總政治部副主任。8月第一期全國人民代表大會華東軍區代表。59年3月第二期全國人民代表大會軍隊代表。4月政治協商會議第三期全國委員會委員(中國共產黨代表)、同常務委員。

徐麟村 Hsü Lin-tsun

54年9月廣西省人民政府委員、当時同政府

財政經濟委員會副主任。

茹欲立〔卓亭〕 Ju Yü-li [Chuo-ting]

陝西省三原縣の人。元衆議院議員。28年國民政府審計院副院長。31年~32年監察院審計部長。49年中央人民政府最高人民檢察署西北分署副檢察長。49年未~53年1月西北軍政委員會委員。53年1月西北行政委員會委員。59年4月政治協商會議第三期全國委員會委員(特別招請人士)。

舒軍 Shu Chün

56年2月民主同盟第二期候補中央委員。

舒羣 Shu Chün

53年10月中國作家協會理事會理事。

舒行 Shu Hsing

58年9月吉林軍區副司令員。60年11月当時吉林駐軍首長。

舒自清 Shu Tzu-ching

55年1月ボンベイの國際連合所屬アジア洲極東地區事務委員會に中共代表として出席。55年1月~56年4月当時中國國際貿易促進委員會副秘書長。

舒舍予 Shu Shê-yü

59年3月第二期全國人民代表大會北京市代表。4月政治協商會議第三期全國委員會委員、常務委員(中國文學藝術界連合會代表)。60年3月第二期全國人民代表大會第2次會議主席團員。

舒綉文〔女〕 Shu Hsiu-wên

59年3月第二期全國人民代表大會安徽省代表。



舒 繡 文 Shu Hsiu-wên

54年12月政治協商會議第二期全國委員會委員(中國文學藝術界連合會)。59年3月第二期全國人民代表大會安徽省代表。

舒 新 城 Shu Hsin-chêng 1892~

教育學者。湖南高等師範學校英語部卒業。多年中等教育に従事。五・三十事件前後のミッショ教育反対、教育権回収運動の理論家といわれる。中華書局編集主任。54年8月第一期全國人民代表大會湖南省代表。59年3月第二期全國人民代表大會上海市代表。4月同大會第1次會議で「文教事業の徹底的革命」について合同發言。著書「近代中国留学史」「近代中国教育思想史」。

舒 宗 鑾 Shu Tsung-liu

56年2月国民党革命委員會第三期候補中央委員。58年12月国民党革命委員會第四期中央委員會候補委員。

舒 同 Shu Tung

江西省東郷の人。現在56歳。27年江西第1師範卒業。中共に入党。34年~35年大西遷に参加。39年晋察冀辺区軍政治部主任。その後同辺区政治委員會政治部長。49年~53年7月当時中共中央華東局宣伝部部長。華東人民革命大學校長、華東軍区政治部主任。49年末~53年1月華東軍政委員會委員。49年末~54年6月同委員會文化教育委員會主任。53年1月華東行政委員會委員。54年8月第一期全國人民代表大會山東省代表。55年1月当時中共山東省委員會第1書記。3月山東省人民委員會委員。56年9月中共第八期中央委員。58年9月当時濟南軍区政治委員。59年3月第二期全國人民代表大會山東省代表。60年3月同大會第3次會議主席團員。

召 西 里 Chao Hsi-li

傣族。55年6月雲南省西雙版納傣族自治州人民委員會委員。

召 存 信 Chao Tsun-hsin

傣族。53年1月雲南省西雙版納傣族自治州人民政府主席、同自治區協商委員會主席。54年8月第一期全國人民代表大會雲南省代表。55年2月雲南省人民委員會委員。6月雲南省西雙版納傣族自治州州長。59年3月第二期全國人民代表大會雲南省代表。4月同大會第1次會議で「社会主義祖国の統一と民族の団結は各民族人民の最大の利益である」について合同發言、民族委員會委員。

尙 子 錦 Shang Tzu-chin

55年6月当時湖南省商業庁庁長。58年7月湖南省副省長。

尙 明 Shang Ming

53年3月~54年5月当時中国人民銀行總行辦公庁主任。

尙 叶(業)榮(榮) Shang Yeh-jung

53年7月中国新民主主義青年團第二期中央委員。

承 澹 盒 Chêng Tan-hê

54年12月政治協商會議第二期全國委員會委員(醫藥衛生界)。55年5月中国科学院生物学地学学部委員。

松 松 [松國松] Sung Sung

[Sung Kuo-sung]

53年11月全國工商業連合會第一期執行委員。56年12月同連合會第二期執行委員(西藏)。

松 布 Sung Pu

トルコ族。53年1月当時青海省人民政府人民監察委員會副主任。6月中国仏教協會理事。54年8月第一期全國人民代表大會青海省代表。12月青海省人民委員會委員。59年3月第二期全國人民代表大會青海省代表。4月同大會第1次會議で「草原に昇って落ちない太陽」について發言、民族委員會委員。

松 謀 Sung Mou

西藏族。53年西南少数民族參觀團團長。6月中国仏教協會理事。54年8月第一期全國人民代表大會雲南省代表。59年4月政治協商會議第三期全國委員會委員(特別招請人士)。第二期全國人民代表大會第1次會議で「社会主義祖国の統一と民族の団結は各民族人民の最大の利益である」について合同發言。

松溜 阿受木尼亞(亞)

Sung-liu A-ka-mu-ni-ya

59年4月政治協商會議第三期全國委員會委員(宗教界)。60年10月当時中国仏教代表團副團長、当時政協委員。61年1月ビルマ訪問中国仏教代表團副團長、当時中国仏教協會副會長。

邵 毓 麟 Shao Yü-lin 1907~

浙江省鄞縣の人。九州帝國大學卒業。34年四川大學教授。37年~38年駐橫濱總領事。36年~46年大元帥府秘書。41年~43年外交部情報司司長。45年桑港會議中国代表團員。48年国連朝鮮委員會中国代表付として韓国に派遣。8月張群に隨行來日。49年9月兼駐韓國外交代表。49年~51年駐韓國大使。52年以來行政院設計委員會委員、外交部顧問、總統府國策顧問。57年1月駐トルコ大使。

邵 逸 周 Shao I-chou 1895~

安徽省休寧の人。14年ロンドン大学王室礦業學院、16年ロンドン科学工業學院卒業。16年~19年ビルマ礦務公司冶金技師。20年~23年萍郷煤礦技師長。24年~27年安徽官礦技師長。28年~30年蕪湖市政準備処処長。31年~41年国立武漢大学工學院長兼教授。42年~45年資源委員會甘肅油礦局副經理。46年~48年資源委員會鞍山鋼鐵公司總經理。49年~52年駐日代表團日本賠償および返還物資接收委員會委員兼第3組專門委員、駐日代表團商務專員。52年~53年駐日大使館商務參事官。53年以來米援運用委員會副秘書長。

邵 宇 Shao Yü

美術家。52年12月世界人民和平大會に中国文芸界代表として訪ソ。59年4月当時中国美術家協會常務理事。60年11月当時中国美術家協會書記処書記。61年1月中国美術家代表團を引率オーストラリア訪問。

邵 凱 Shao Kai

55年6月当時瀋陽市副市長

邵 鏡 三 Shao Ching-san

54年8月中国キリスト教三自愛國運動委員會常務委員。

邵 均 Shao Chün

55年1月黒龍江省人民委員會委員。56年2月民主同盟第二期中央委員會委員。

邵 公 文 Shao Kung-wên

60年3月中国ラテンアメリカ友好協會常務理事。4月中国アフリカ人民友好協會理事。



邵 光 华(華) Shao Kuang-hua

53年1月当時雲南省瀘西县人民法院代理院長。

邵 恒 秋 Shao Hêng-chiu

53年3月～54年3月当時中国国民党革命委員会南京市分部責任者。6月中華全国民主青年連合会第二期全国委員会委員。56年2月国民党革命委員会第三期候補中央委員。58年12月国民党革命委員会第四期中央委員会候補委員。

邵 紅 叶(葉) Shao Hung-yeh

54年7月当時天津日報社副社長兼編集。55年4月中国新聞工作者連誼会天津市分会会長。

邵 子 言 Shao Tzu-yên

四川省重慶の人。現在55歳位。53年4月総工会ブルガリア・メーデー参観団団長。当時重慶市総工会主席。5月中華全国総工会第七期執行委員。57年12月中華全国総工会第八期執行委員。58年4月当時中国第2機械工会全国委員会主席。59年3月先進生産者代表会議準備委員会委員。4月政治協商会議第三期全国委員会委員(中華全国総工会代表)。

邵 式 平 Shao Shih-ping

江西省の人。現在58歳。北京師範大学中退。26年三・一八学生運動事件の指導者。後江西省農村で紅軍指導。日華事変中陝甘寧辺区で陝北公学の教務部長、晋察冀抗日大学分校校長。49年江西省人民政府主席。同年末～53年1月中南軍政委員会委員。53年1月中南行政委員会委員。10月中国人民第3回訪鮮慰問団総団副団長兼第5総分団長。54年7月第一期全国人民代表大会江西省代表。55年2月江西省人民委員会委員、同省省長。5月当時中共江西省委員会第2書記。56年9月中共第八期候補中

央委員。58年6月江西省省長。59年3月第二期全国人民代表大会江西省代表。

邵 循 恰 Shao Hsün-chia

56年12月当時中国国際貿易促進委員会仲裁部副部長。

邵 循 正 Shao Hsün-chêng

福建省閩侯の人。国立清華大学卒。仏、独に留学。ベルシヤ文の研究者。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(特別招請人士)。

邵 象 伊 Shao Hsiang-i

56年10月当時山西医学院院長。

邵 象 华(華) Shao Hsiang-hua

53年11月当時鞍山市中ソ友好協会副会長。54年4月～56年4月鞍山鋼鉄公司技術処処長。8月第一期全国人民代表大会鞍山市代表。10月当時鞍鋼公司技師長。55年5月中国科学院技術科学学部委員。12月当時中国科学院金属研究所學術委員会会員。59年3月第二期全国人民代表大会遼寧省代表。

邵 井 蛙〔女〕 Shao Ching-wa

50年7月中国紡織工会第一期全国委員会副主席。53年8月同第二期副主席。56年4月当時全国先進生産者代表会議主席団員。57年12月中華全国総工会第八期執行委員。

邵 石 痴 Shao Shih-chih

55年1月四川省人民委員会委員。

邵 荃 麟 Shao Chüan-lin

浙江省寧波の人。作家、文芸理論家。日華事変中桂林で出版社「文化供応社」を経営、一時三聯書店編集副主任。52年～53年当時全国文学工作者協会創作委員。53年10月中国作

家協会理事会副主席兼創作委員会副主任。54年8月第一期全国人民代表大会四川省代表。56年12月中国作家協会書記処書記。59年3月第二期全国人民代表大会四川省代表。4月中国人民对外文化協会常務理事。60年7月全国文学芸術界連合会第三期全国委員会委員。中国作家協会副主席。著書、多くの短篇および戯曲「鱗鱗寨」等。

邵 宗 汉(漢) Shao Tsung-han

江蘇省の人。現在41歳位。日華事変中国際新聞社編集人。44年重慶新華日報に入社。終戦後香港に赴く。53年民主同盟中央委員兼組織部副部長。北京光明日報主筆。婚姻法貫徹運動委員会委員。54年5月中国人民对外文化協会理事。8月第一期全国人民代表大会江蘇省代表。56年2月民主同盟第二期中央委員会候補委員。60年3月中華全国新聞工作者協会常務理事。11月当時外交部新聞司副司長。

邵 天 任 Shao Tien-jên

60年5月当時国务院外交部法律条約司副司長。60年10月～61年1月当時中国・ビルマ国境合同委員会顧問。ビルマ大統領から中国ビルマ国境問題解決の功により勲章を授けられる。

邵 乃 奋(奮) Shao Nai-fên

60年7月当時中華全国総工会国際連絡部副部長。

邵 裴 子 Shao Pei-Tzu

55年1月浙江省人民委員会委員。58年12月中国国民党革命委員会第四期中央委員会委員。

邵 文 杰(傑) Shao Wên-chieh

55年1月当時河南省計画委員会副主任。2月河南省人民委員会委員。58年12月河南省副省長。

邵 丙 鈞 Shao Ping-tiao 1919～

浙江省の人。57年11月訪日中国第1機械工会代表団員。

邵 力 子〔凤(鳳)寿、仲輝〕 Shao Li-tzu  
[Fêng-shou, Chung-hui] 1881～

浙江省紹興県の人。前清の挙人。上海震旦書院卒業。16年上海民国日報編集長。26年国民党中央執行委員会委員。27年～31年国民革命軍秘書長。32年甘肅省政府主席。33年～36年陝西省政府主席。37年～38年中央宣伝部長。40年駐ソ大使。43年国民参政会秘書長、憲政促進委員会秘書長。46年政治協商会議国民党代表。49年3月国共平和会談国府側代表。49年9月政治協商会議第一期全国委員会常務委員。10月中央人民政府政務院政務委員兼華僑事務委員会委員、中ソ友好協会理事。12月国民党革命委員会中央委員会常務委員。同月中国人民外交学会理事。中国人民世界平和擁護委員会常務委員、中国人民抗米援朝総会常務委員。54年8月第一期全国人民代表大会浙江省代表。9月同大会常務委員会委員。12月政治協商会議第二期全国委員会委員(国民党革命委員会)。55年4月チェコ解放10周年慶祝典礼参加中共政府代表団員、ヘルシンキ世界平和大会中共代表団員。7月中国人民外交学会第三期理事会理事。56年2月中央標準語普及工作委員会委員。同月国民党革命委員会第三期中央委員。ストックホルム世界平和理事会特別会議中共代表団員。57年2月国民党革命委員会台湾平和解放工作委員会副主任委員。58年7月中国人民保衛世界和平委員会常務委員、同会委員。12月中国国民党革命委員会第四期中央委員会委員、同常務委員。59



年3月第二期全国人民代表大会浙江省代表。4月政治協商會議第三期全国委員会委員(中国国民党革命委員会), 同常務委員, 同会提案審査委員会委員。第二期全国人民代表大会提案審査委員会委員。同大会第1次会議主席団員。同月同大会常務委員会委員, 法案委員会委員。同大会第1次会議で「印度干涉者の挑発を中国人民はもう黙ってほっておくわけにいかない」について合同発言。「印度政治家が当面する情勢に善く自らを処すことを希望する」について発言。5月中ソ友好協会第三期理事会理事。中ソ友好協会総会第三期副会長。8月全国人民代表大会蒙古訪問中共代表団員。9月華僑事務委員会委員。60年3月第二期全国人民代表大会第2次会議主席団員, 提案審査委員会委員。政治協商會議第三期全国委員会第2次会議提案審査委員会委員。

#### 邵良礎(礎) Shao Liang-chu

59年3月第二期全国人民代表大会広東省代表。4月同大会第1次会議で「祖国の統一は各民族の最大の利益」について合同発言。

#### 商广(廣)文 Shang Kuang-wên

55年3月訪日貿易代表団員として来日。当時中国産産出口公司副經理。56年12月当時同公司經理。

#### 商震[啓字] Shang Chên

[Chi-yü] 1884~

河北省の人。保定陸軍速成学堂, 北京陸軍大学卒業。青年時代革命運動に挺身。20年~25年山西第1混成旅長, 兵工廠総辦, 山西暫編第1師長。26年綏遠都統。27年国民革命北路総司令閻錫山の下に第1軍長兼国民政府軍事委員会委員。28年国民革命軍第3集團軍第1軍長太原政治分会委員。北伐完了後河北省政

府委員兼主席, 後北平臨時政府分会委員兼任。29年山西省政府委員兼主席, 民政庁長。同年末国民党中央候補監察委員会委員。30年第4軍長。31年第32軍長および国民党第四期中央候補監察委員会委員。32年東北政務委員会委員。35年河南省政府委員兼主席, 第五期中央監察委員。日華事変前華北第2軍団長。開戦後第1戦区司令官, 第2軍団長, 第6戦区司令官, 国民軍事委員会主任, 国民軍事委員会外交局長, 駐米中国軍事使節団員, ダンバートン・オークス會議中国代表。この間綏遠, 山西, 河南, 河北各政府主席。46年2月国連軍事参謀委員会中国代表兼駐米軍事使節団長。7月何応欽將軍と交代。47年帰国後蔣主席侍従武官長。47年~49年対日理事会中国代表兼中国駐日代表団団長。その後日本に居住。

#### 章夷白 Chang I-po

陝甘寧辺区政府民政庁副庁長。49年12月中央人民政府政務院財政經濟委員会中央財經人事局局長。54年11月国務院人事局局長。59年9月内務部副部長。60年6月全国文教先進工作者代表大会主席団員。

#### 章維仁 Chang Wei-jên

61年3月当時江蘇省人民委員会秘書長。

#### 章一之 Chang I-chih

54年8月河北師範学院副院長, 当時河北省人民政府教育庁長。

#### 章蘊[女] Chang Yün

安徽省の人。現在44歳位。復旦大学卒業。49年3月中華全国民主婦女連合会執行委員。49年末~53年1月華東軍政委員会委員。49年末~54年6月同委員会土地改革委員会委員。52年当時中共中央華東局婦女工作部長, 上海市婦女連合会主任。12月当時中華全国民主婦

女連合会秘書長。53年1月婚姻法貫徹運動委員会委員。4月中華全国民主婦女連合会第二期常務委員会副主席。6月コペンハーゲンの世界婦人大会に中共代表団副団長として出席。54年8月第一期全国人民代表大会安徽省代表。12月政治協商會議第二期全国委員会委員(全国民主婦女連合会)。12月婦女代表団団長として訪仏。56年3月全国文盲一掃協会委員。9月中共第八期中央委員会候補委員。57年6月当時中共婦女工作委員会書記。9月中華全国婦女連合会第三期執行委員会副主席。59年3月第二期全国人民代表大会安徽省代表。4月政治協商會議第三期全国委員会委員(中華全国婦女連合会代表), 同会常務委員。同会第1次全体会議主席団員。第二期全国人民代表大会法案委員会委員。60年2月三八国際婦女節準備委員会委員。

#### 章央芬[女] Chang Yang-fên

53年4月当時瀋陽市中国医科大学婦嬰医院院長。6月コペンハーゲンの世界婦人大会出席中共代表団員。54年8月第一期全国人民代表大会瀋陽市代表。56年6月頃上海第2医学院副院長。59年3月第二期全国人民代表大会江蘇省代表。

#### 章嘉呼图(圖)克图 Jangja Hotokto 1890~

青海省大正県の人。蒙古族。活仏。32年撫蒙宣化使。35年~50年国民党中央監察委員会委員。37年~48年国民政府委員。30年蒙藏委員会委員。47年護国浄覚輔教大師。48年5月総統府資政。50年~52年国民党中央評議員。52年国民党中央評議委員。

#### 章格 Chang Kê

56年12月当時中国進出口公司上海分公司副經理, 五金進口公司, 機械進口公司, 運輸機械進口公司, 儀器進口公司副經理兼任。

#### 章汉(漢)夫 Chang Han-fu

江蘇省常州の人。現在54歳。清華大学卒業。日華事変中重慶で新華日報に勤務。当時周恩來の秘書。45年サンフランシスコ會議に中共側代表董必武の随員として出席。戦後上海で「群象」誌, 英文刊行物等を出版。国民党によって停刊されるや香港に移る。49年上海「解放」後上海軍管会外僑事務処処長。10月政務院外交部副部長兼条約委员会主任委員。53年1月北京で中蒙郵政, 電信両協定に調印。2月北京で「中蒙非貿易信用供与協定」に調印。54年8月第一期全国人民代表大会江蘇省代表。11月国務院外交部副部長。当時中国銀行董事。55年4月アジア・アフリカ會議中共代表団員。7月中国人民外交学会第三期理事会理事。56年9月セイロンとの外交関係樹立文書に調印。中共エジプト文化合作協定批准書の議定書交換に中共側代表として出席。中共第八期中央委員会候補委員。59年2月インド訪問。9月外交部副部長。対外文化連絡委員会委員。59年中国人民外交学会理事。60年4月周総理のビルマ, インド, ネパール訪問に随行。5月同カンボディア, ヴィエトナム訪問に随行。61年5月ラオス問題ジュネーブ擴大會議代表団員。

#### 章鉅林 Chang Chü-lin

53年6月中華全国民主青年連合会第二期全国委員会候補委員。

#### 章元善 Chang Yüan-shan

45年12月中国民主建国会常務委員。54年12月政治協商會議第二期全国委員会委員(民主建国会)。55年4月民主建国会第一期中央常務委員兼常務委員会工商研究委員会副主任委員。59年4月政治協商會議第三期全国委員会委員(中国民主建国会)。



章士釗【行嚴】 Chang Shih-chao  
[Hsing-yên] 1881~

湖南省長沙の人。東京正則英語学校、英エッソバラ大学卒業。11年第1革命勃発直後帰国、上海民立報主筆、浙江教育司長、北京大学校長等を歴任。24年段祺瑞の下に司法総長、教育総長。満洲事変後上海で弁護士。38年国民参政会参政員。49年国共和平会談国府側代表。9月政治協商会議第一期全国委員会委員。10月政務院政治法律委員会委員。当時弁護士。54年8月第一期全国人民代表大会湖南省代表。12月政治協商会議第二期全国委員会委員（特別招請人士）。59年3月第二期全国人民代表大会湖南省代表。4月同大会第1次会議の主席団員。政治協商会議第三期全国委員会委員（特別招請人士）。60年3月第二期全国人民代表大会第2次会議主席団員。著書「中等国文典」「弗羅乙絃伝」「名家小説」「名学稽古」等。毛沢東の老師で現在も親密な関係ありといわれる。時に香港に至り英国その他と接触。

章次公 Chang Tzu-kung

56年2月中国亜洲団結委員会委員。5月当時北京市衛生部漢方医顧問。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員（医薬衛生界代表）。

章振乾 Chang Chên-chien

56年8月民主同盟第二期中央委員会候補委員。

章新 Chan hsien

53年3月当時中共湖南省永明県委員会書記。

章乃器 Chang Nai-chi 1894~

浙江省青田県の人。浙江省立商業学校卒業。浙江実業銀行副經理。中国銀行学界常務理事。

光華大学教授、安徽省財政庁長を歴任。35年12月上海文化界救国会を組織、機関誌「生存綫」「暴風雨」を發行。日華事変中抗日民族統一戦線「七君子」の一人として活動。45年12月黄炎培らと民主建国会を設立、その常務委員。49年9月政治協商会議第一期全国委員会常務委員。10月中央人民政府政務院政務委員。52年8月政務院糧食部部長。53年1月選挙法起草委員会委員。9月~54年2月当時抗米援朝總會常務委員。54年10月中国人民第3回訪鮮慰問団総団副団長。11月全国工商業連合会第一期副主任委員。54年4月~55年10月当時世界平和擁護委員会常務委員。54年8月第一期全国人民代表大会四川省代表。11月中国銀行常務董事。12月政治協商会議第二期全国委員会委員（民主建国会）。55年2月民主建国会總會第一期中央常務委員会副主任委員。56年6月全国人民代表大会提案審査委員会副主任委員。12月全国工商連第二期副主任委員。57年6月中国民主建国会と中華全国工商業連合会より反社会主義右派分子として徹底的に批判さる。58年1月糧食部部長を罷免。2月第一期全国人民代表大会第5次会議において「右派分子」の理由により代表資格を剝奪。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員（民主建国会代表）。著書「國際金融問題」「中国貨幣論」。

章澤 Chang Tsé

49年4月中国新民主主義青年団中央委員会常務委員兼中央書記処候補書記。49年当時中共中央東北局青年工作委員会副書記。49年~54年9月東北人民政府文化教育委員会委員。53年7月中国新民主主義青年団第二期中央委員会常務委員兼中央書記処書記。54年8月第一期全国人民代表大会遼寧省代表。56年1月中国オリンピック委員会委員。

章智 Chang Chih

60年9月当時中国鉄路工会全国委員会秘書長。

章任堪 Chang Jèn-kan 1903~

復旦大学。東呉大学卒業。30年~31年米ハーバード大学研究員、同大学法学博士。国立中央大学、司法院法官訓練所、東呉大学、朝陽法学院教授、北平、上海、南京各地方法院判事、検事、浙江高等法院判事、国府駐日代表団専門委員等を歴任。52年駐日大使館参事官。56年10月離任帰国。

章伯鈞 Chang Po-chün 1896~

安徽省桐城の人。武昌高等師範外国文学系卒業。桐城師範学校長。後ドイツ留学、その当時国民党工作に参加。北伐の際帰国してこれに参加。国共分裂後革命軍に随い江西へ、ついで広東に退却、最後に上海租界に逃避、第3党の基礎を作る。日華事変中参政会に参加。44年9月張瀾等と民主同盟を組織。49年9月政治協商会議全国委員会常務委員。10月中央人民政府委員会委員兼政務院交通部部長、政務院政務委員。11月中国農工民主党主席。12月民主同盟中央常務委員兼中央政治局員。51年12月農工民主党中央委員会および中央執行局主席。53年1月選挙法起草委員会委員。2月中央選挙委員会委員。3月スターリン逝去弔問団団員として訪ソ。6月民主同盟中央委員会副主席。10月中国人民第3回訪鮮慰問団総団副団長。53年11月~54年4月当時世界平和理事会理事。53年11月ウィーンの世界平和理事会に出席。54年5月世界平和理事会ベルリン特別会議中共代表団理事。8月第一期全国人民代表大会安徽省代表。9月国務院交通部部長。12月政治協商会議第二期全国委員会常務委員会副主席。56年2月民主同盟第二期中央委員会および常務委員会副主席。

11月~57年1月全国人民代表大会代表団副団長としてソ連、東欧を訪問。57年9月鳴放時代において、政治設計院等の主張をなしたため農工民主党全国整風工作会議において、黄琪翔、李伯球らと共に反共産党反社会主義右派分子として批判さる。58年1月交通部部長を罷免。2月第一期全国人民代表大会第5次会議において右派分子の理由により代表資格を取消される。12月中国民主同盟第三期中央常務委員会常務委員。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員、同常務委員（民主同盟）。

章伯森 Chang Po-sên

55年2月湖南省人民委員会委員。58年7月湖南省副省長。

章萍 Chang Ping

48年8月全国総工会候補執行委員。53年4月総工会訪ソ、メーデー参観団員。53年5月全国総工会第七期執行委員。

章文 Chang Wên

55年12月当時中共駐アルバニア大使館3等書記官。

章文晋 Chang Wên-chin

河北省の人。燕京大学修学。モスクワ中山大学卒業。52年天津市外事処処長。54年12月~56年3月当時国務院外交部亜州司副司長。55年7月中国人民外交学会第三期理事会理事。56年3月パキスタン成立記念式典出席中共代表団団員（団長賀竜）。60年1月当時第1亜州司司長。

章泯 Chang Min

53年10月中国文学芸術界連合会第二期全国委員会委員。



章名濤 Chang Ming-tao

55年5月中国科学院技術科学学部委員。6月同学部常務委員会委員。56年6月電機工程学会準備委員会副主任委員。

章明 Chang Ming

53年12月当時遼東省蓋平県県長。

焦維眞〔女〕 Chiao Wei-chên

54年8月中国キリスト教三自愛国運動委員会常務委員。

焦煥輝 Chiao Huan-hui

55年2月広東省人民委員会委員。

焦寰五 Chiao Huan-wu

59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員（中華全国工商業連合会）。

焦菊隱 Chiao Chü-yin 1902～

北京の人。もと南京戯劇音楽研究員，中華戯劇専科学校長。49年3月北京の文芸座談会に出席。53年2月北京市戯曲編導委員会顧問。53年8月～54年10月当時北京人民芸術劇院副院長。54年5月対外文化協会理事。12月政治協商会議第二期全国委員会委員（中国文学芸術界連合会）。55年6月ヘルシンキの世界平和大会出席中共代表団団員。56年4月全国新劇競演会の北京人民芸術劇院出演に「明るい空」にて1等監督賞を獲得。58年4月当時中国戯劇家協会理事会主席。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員（中国文学芸術界連合会）。

焦玉波 Chiao Yü-po

56年1月当時全国供銷合作總社生産資料供応2局局長。

焦康寿 Chiao Kang-shou

60年7月中共蘇州市委員会第1書記。

焦国籍 Chiao Kuo-nai

55年2月山西省副省長。59年3月第二期全国人民代表大会山西省代表。

焦实齐(齊) Chiao Shih-chi

54年12月政治協商会議第二期全国委員会委員。56年2月国民党革命委員会第三期候補中央委員。58年12月国民党革命委員会第四期中央委員会委員。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員（特別招請人士）。

焦若愚 Chiao Juo-yü

53年9月当時瀋陽市中ソ友好協会会長。54年8月まで瀋陽市人民政府市長。当時瀋陽市各界人民代表会議協商委員会主席。54年8月第一期全国人民代表大会瀋陽市代表。56年2月当時中共瀋陽市委員会書記。60年4月当時遼寧省委員会常務委員。6月当時瀋陽市民兵政治委員。

焦善民 Chiao Shan-min

55年1月国務院建築工程部部长助理。

焦夢(夢)曉 Chiao Mêng-hsiao

54年6月浙江省師範学院副院長兼浙江省人民政府教育庁副庁長。

焦鳴鑾 Chiao Ming-luan

59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員（特別招請人士）。

焦林义(義) Chiao Lin-i

59年3月第二期全国人民代表大会広東省代表。60年10月当時中共広州市委員会書記。12

月広州市副市長。

蔣渭川〔惟正〕 Chiang Wei-chuan  
〔Wei-chêng〕 1901～

台湾省宜蘭県の人。故蔣渭水の弟。宜蘭公学堂卒業。台湾商業新報発行人。戦前台湾文化協会，台湾民党を組織，反日運動のため入獄。戦後台湾省政治建設協会を組織，台湾省参議会議員。49年台湾省政府民政庁庁長。50年～60年9月当時行政院内政部常務次長。

蔣緯國 Chiang Wei-kuo

(Chian-Wêgo) 1916～

浙江省の人。蔣介石の第二子（養子ともいわれる）。東呉大学卒業。独ミュニッヒ陸軍士官学校，米ケンタッキー州フォード・ノックス第1装甲軍団，インディアナ州ラムガータンク訓練所，中国人機械化部隊学校，米マックスウェル航空部隊技術学校に学ぶ。37年～39年ドイツにて少尉。40年～45年中国第1歩兵師団少佐。45年中国遠征軍第206新鋭師団中佐，教官および大隊長。45年～46年中国装甲部隊第1タンク連隊部隊長。48年～49年同連隊長代理。49年～50年大佐，装甲部隊代理司令。50年～53年同司令。53年～54年米カンサス州の大学にて研究。54年少将国防部第3庁長代理。57年1月国府軍事使節団団員として来日。著書，「歩兵はその攻撃力を如何にして持続するや」。

蔣勻田 Chiang Yün-tien 1904～

安徽省蚌埠の人。27年呉淞政治大学卒業。30年国家社会党に参加。46年政治協商会議連絡秘書。47，8年および50年行政院政務委員。49年東南軍政長官公署政務委員。48年～50年行政院顧問。49年以来国策顧問。

蔣恩鎧 Chiang Ên-kai

56年6月当時国府駐越南代理公使。56年～60年9月駐マダガスカル，タナナリブ（マダカスカル）公使館公使待遇総領事。60年7月マダカスカル共和国独立式典大使副特使。8月駐マラガシ（マダカスカル）大使。

蔣介石〔名，中正〕

Chiang Chieh-shih

(Kai-shek) 〔Chung-chêng〕 1887～

浙江省奉化県溪口の人。1907年保定軍官学校入学。10年日本振武学校卒業。士官候補生として高田の第13野砲連隊に入る。11年辛亥革命に参加。24年黄埔軍官学校校長。26年国民党2全大会にて党中央執行委員，国民革命軍総司令となり，武漢を占領。27年上海，南京を占領，中央党部および国民政府を南京に移す。ついで北伐を再開し，張宗昌軍の反撃に敗れ日本に亡命。同年末帰国。28年国民革命軍総指揮に就任，第2次北伐戦を開始し，北京を占領。政治上の責任を汪兆銘に委ねて軍権を掌握。30年中共軍討伐を開始。その後満洲事変，広東国民政府樹立，福建革命等の政治的難関を突破。その間31年12月一時下野帰郷。32年南京に帰還，軍事委員会委員長兼参謀総長，36年12月西安で張学良のため監禁，間もなく釈放（西安事件）。37年日華事変勃発後中共と結び対日戦を指導。43年9月国民政府主席，国民党総裁，軍事委員会主席，最高国防会議議長その他。47年3月行政院院長兼任。48年5月国民大会において初代総統。49年1月国共和解のため総統の職を李宗仁副総統に代行させ引退。国民党最高政策機関として設置された非常委員会の委員長。同年末台湾に移り，50年3月総統復帰。54年3月総統に再選。58年10月ダレスとの共同声明。12月光復大陸設計委員会第5次全体会議に於て憲法改正には反対の旨を声明。60年3月総統に三選。



61年5月自由アジア確保に関するジョンソン米副大統領との共同声明。国連とその憲章規定の基本原則の目的擁護に関するペルー国大統領との共同声明。著書「西安半月記」「中国の命運」「中国の中のソ連」等。

#### 蔣 毅 Chiang I

53年6月中華全国民主青年連合会常務委員。7月中国新民主主義青年団第二期中央委員。同月ブカレストで開催の第2回世界青年代表大会および第4回世界青年学生平和友誼懇親節に青年代表団団員として出席。当時青年団華北工作委員会秘書長。54年2月当時新民主主義青年団華北工作委員会副書記。

#### 蔣 君 章 Chiang Chün-chang 1906~

江蘇省の人。国立中央大学卒業。41年~45年総統府秘書。45年~47年最高国防会議秘書。48年国民党中央政治会議秘書。48年~49年国民党宣伝部秘書長。49年新生報編集主任。49年~50年国民党総裁事務局副処長。50年~52年国民党改造委員会第4組副主任。著書「戦時中国の経済再建問題」「台湾と本土」。

#### 蔣 經 國 Chiang Ching-kuo 1906~

浙江省奉化県の人。蔣介石と先夫人陳潔如との間に生る。14歳~28歳ロシア留学、各科の軍事学を学ぶ。37年帰国。40年~45年江西省南部で行政督察専員。45年~47年東北外交委員。48年上海経済査察官。49年~50年国民党台湾党部主任。50年~54年国防部総政治部主任。52年国民党中央委員。54年国防最高会議副秘書長。58年7月行政院政務委員。60年7月陸軍2級上將。妻はロシア人、子女数名。当時11月国軍退除役官兵就業輔導委員会主任委員。

#### 蔣 彦 士 Chiang Yèn-shih 1915~

浙江省の人。42年米ミネソタ大学博士。42年~45年ミネソタ大学講師兼助教授。46年FAO派遣中国代表団顧問。47年南京大学教授。48年中央農業研究所一般作物ならびに特殊作物課長。48年中国農村復興委員会執行官。

#### 蔣 光 鼐 [憬然] Chiang Kuang-nai [Ching-ian] 1889~

広東省東莞の人。保定軍官学校卒業。広東軍に服務、後陳銘枢に従い19路軍総指揮。北伐時代は「常勝將軍」の名を獲得。第1次上海事件（一・二八事件）の後福建省主席、その後李濟深、蔡廷鍇等と福州で人民政府を樹立し、失敗して香港に逃れ、同地で中華民族革命大同盟の代理主席。49年9月政治協商会議全国委員会常任委員。12月国民党革命委員会中央常務委員。51年北京市人民政府委員会委員。52年8月中央人民政府紡織工業部部長。53年11月ウィーンにて開催の世界平和理事会主席。54年7月中ソ友好協会理事。8月第一期全国人民代表大会広東省代表。9月国務院紡織工業部部長。55年2月北京市人民委員会委員。56年2月国民党革命委員会中央常務委員に再任。58年4月当時紡織工業部部長。国民党革命委員会第四期中央委員会委員、同常務委員。59年3月第二期全国人民代表大会広東省代表。3月先進生産者代表会議準備委員会委員。4月紡織工業部部長。第二期全国人民代表大会第1次会議で「全国の人民に安くて美しい衣類を供給しよう」について発言。

#### 蔣 克 誠 Chiang Kê-chêng

60年5月当時吉林軍区副司令員。

#### 蔣 克 定 Chiang Kê-ting

53年7月当時人民革命軍事委員会対外連絡処副処長。55年8月当時国防部対外連絡処代理処長。56年2月当時国防部外事処処長。

60年9月駐ビルマ大使館武官。

#### 蔣 谷 峰 Chiang Ku-fêng

60年5月当時中国共産主義青年団吉林省委員会書記。61年6月訪ソ（沿海辺区）吉林省代表団団長。

#### 蔣 在 球 Chiang Tsai-chiu

53年6月中華全国民主青年連合会第二期全国委員会候補委員。54年8月第一期全国人民代表大会広西省代表。59年3月第二期全国人民代表大会広西僮族自治区代表。

#### 蔣 次 升 Chiang Tzu-shêng

59年3月第二期全国人民代表大会甘肅省代表。4月同大会第1次会議で「祖国の獣医学遺産を継続しよう」について発言。

#### 蔣 兆 和 Chiang Chao-hê

画家、早く両親を失い苦学、40年前後「蔣兆和画冊第1集」を発表、認めらる。54年5月美術方面3等獎受賞者。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員（中国文学芸術界連合会）。

#### 蔣 廷 黻 [授章] Chiang Ting-fu

[Shou-chang] 1895~

湖南省邵陽の人。米オベリン大学、独ベルリン大学に学び、23年米コロンビア大学博士。23年~35年国立清華大学および南開大学教授。35年渡英。35年~36年および38年~45年行政院政務処長。36年~38年駐ソ大使。43年国連善後救済総署協定中国代表、45年1月全国善後救済総署署長。47年11月国連常任中国代表兼安保理事会中国代表、ユネスコ中国

代表。48年6月復興総署署長。48年9月~56年3月国連常任中国代表兼安保理事会代表。1等卿雲勲章授与。9月原子力機構規約国際会議首席代表。11月第11回国連総会全権代表。57年8月第12回同会全権代表。58年8月第13回、59年8月第14回同会首席全権代表。9月国連駐在大使級常任代表。59年当時中央研究院院士。60年9月第15回国連総会首席全権代表。61年11月、駐米大使兼国連常任代表。著書「最近中国史」「中国外交史文書選」「近代外交史資料輯要」。

#### 蔣 鼎 文 Chiang Ting-wên 1898~

浙江省の人。保定軍官学校卒業。31年~32年第9軍軍長。33年長江防衛司令官。34年~37年福建綏靖主任。37年西安行營主任。38年~41年陝西省政府主席。42年~44年第1戦区総司令。47年国府戦略顧問委員会委員。49年西南軍隊査閲使。

#### 蔣 天 鶴 Chiang Tien-hê 1903~

細菌学者、中国科学院医学部門の研究員。56年10月~11月アジア太平洋電子顕微鏡会議出席のため団員として来日。

#### 蔣 南 翔 Chiang Nan-hsiang

49年9月政治協商会議全国委員会委員。10月中央人民政府政務院文化教育委員会委員。中国人民世界平和擁護委員会常務委員。52年11月~55年12月当時清華大学校長。53年7月中国新民主主義青年団第二期中央委員会常務委員。9月当時抗米援朝総会常務委員。54年8月第一期全国人民代表大会北京市代表。56年9月中共第八期中央委員会候補委員、中共8全大会にて清華大学校長の資格で「高等教育の質を向上させるために努力せよ」と発言。



57年5月中国共産主義青年団中央委員会委員。  
59年3月第二期全国人民代表大會北京市代表。  
9月中国・アルバニア友好協会会長。60年1  
月教育部副部長。61年2月アルバニア労働党  
第4次代表大會参加中共代表団員。

蔣牧良 Chiang Mu-liang

53年10月中国作家協会理事会理事。

蔣夢麟 [兆賢] Chiang Mêng-lin

[Chao-hsien] 1886~

浙江省余姚の人。上海南洋大学および京師  
大学堂に学び、後渡米、12年カリフォルニア  
大学卒業。コロンビア大学博士。18年上海に  
おいて「新教育」発刊。20年北京大学教授。  
23年~27年同校校長代理。華府会議に際し中  
国人民代表として渡米。28年~29年浙江大  
学校長。28年~30年教育部部長。30年~45年  
国立北京大学総長。32年東北政務委員会委員。  
38年国立西南連合大学董事会董事。40年中華  
教育文化基金董事会主席、国府行政院設計委  
員会土地組召集人。42年~50年中国全国紅十  
字協会会長。45年~47年行政院秘書長、北京大  
学教授。47年~48年国民政府政務委員、太平洋  
問題研究所中国支部長。48年国府顧問委員、  
戡乱建国動員委員会委員長。48年~56年当時  
中国農村復興委员会主任委員。55年行政院經  
济安定委員会委員。57年当時中華科学協進會  
責任者。60年9月第15回国連総会全權代表。11  
月当時行政院石門水庫建設委員会主任委員。

蔣默掀 Chiang Mo-hsien

国府經濟部参事、糖業公司顧問を歴任。同  
公司駐日代表として約3年間東京駐在。61年  
5月駐日大使館經濟参事官。

蔣約翰 Chiang Yüeh-han

54年8月中国キリスト教三自愛国運動委員  
会常務委員。

蔣翼振 Chiang I-chên

54年8月中国キリスト教三自愛国運動委員  
会常務委員会委員兼全国委員会委員。55年10  
月当時キリスト教燕京協和神学院副主席。

蔣勳材 Chiang Li-tsai

61年6月免国府考試院考選部秘書、任考選  
部参事。

蕭一山 Hsiao I-shan 1902~

江蘇省銅山の人。国立北京大学卒業、英ヶ  
ンブリッジ大学留学。国立北京大学史学系教  
授、北京大学女子師範学院歴史教授、国立清  
華大学教授を歴任。後河南大学文学院院长兼  
史学系主任。38年~48年国民参政会委員。48年~  
56年当時監察委員。著書「清代通史」「現在  
秘密結社に関する資料」「太平天国叢書」等。

蕭一舟 Hsiao I-chou

河北省の人。54年9月広西省人民政府副主  
席。55年2月広西省副省長。

蕭殷 Hsiao Yin

広東省の人。初級中学卒業後、美術専門学  
校に1年通学。その後小学教師、新聞記者、  
雑誌編集者等をへて、32年広州、香港等で売  
文生活。日華事変中、太行山の後方地区で文  
化宣伝工作に従事。この間大腿骨負傷。42年  
延安に帰り、中央研究院で文学理論研究。45  
年10月北京で新聞を刊行、国共相尅激化に伴  
い停刊。ついで張家口で晋冀日報副刊を編集。  
47年華北連合大学文学部教授。56年3月中国  
作家協会青年作家工作委員会副主任兼委員。

蕭永清 Hsiao Yung-ching 1918~

北京大学卒業。57年北京大學法律系主任。

61年3月訪日中国法律家代表団団員。

蕭英 Hsiao Ying

60年12月当時北京市地質学院副院長。

蕭应(應)棠 Hsiao Ying-tang

60年9月アラブ連合訪問中国軍事代表団団  
員。少将。

蕭(肖)華(華) Hsiao Hua 1911~

湖南省の人。34年紅軍第15師政治委員。37  
年東進挺進縱隊長。39年魯西軍区司令。第115  
師政治部主任、魯西行政公署主任。49年9月  
政治協商会議全国委員会委員。人民革命軍事  
委員会總政治部副主任。53年1月婚姻法貫徹  
運動委員会副主任。11月当時中華全国体育總  
会副主席。54年1月当時人民解放軍總政治部  
副主任。55年9月1級八一勳章、1級独立自由  
勳章および1級解放勳章、上將。56年2月中  
央標準語普及工作委員会委員。9月中共第八  
期中央委員会委員、中央監察委員会委員兼副  
書記。12月解放軍總幹部部長。59年5月中ソ  
友好協会総会第三期理事会理事。60年7月当  
時中共安徽省滁県委員会第1書記。60年10月  
当時中国人民解放軍總政治部副主任。

蕭華(華)清 Hsiao Hua-ching

50年~54年9月西南軍政委員会文化教育委  
員会委員。54年1月当時重慶市文教委員会副  
主任、9月解任。55年7月中国人民外交学会  
第三期理事会理事。56年2月民主同盟第二期  
中央委員。58年12月民主同盟第三期中央委員。  
59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員  
(中国民主同盟)。60年4月当時民盟四川省委  
員会副主任委員。6月当時政協重慶区委員会  
副主席。

蕭寒 Hsiao Han

60年4月当時中共広西省柳州市委員会第1  
書記。

蕭灌恩 Hsiao Kuan-ên 1912~

江蘇省の人。26年国立中央大学卒業。交通  
部民間航空局代理局長。59年6月国際民航組  
織第十二期大会中華民国代表。

蕭毅肅 Hsiao I-su 1898~

四川省の人。雲南軍官学校卒業。陸軍副總  
司令、陸軍参謀長、国防部副参謀総長を歴任。  
54年~56年当時行政院国防部動員計画局長。  
60年11月当時国防最高会議国家計画局長。

蕭軍 [田軍]

Hsiao Chün [Tien-chün]

北満出身。34年頃上海の文壇に登場、魯迅  
門下の一人。「八月的鄉村」(34年)「同行者」  
「江上」(36年)「愛すればこそ」(36年)等を  
発表、36年「第三代」を発表して作家として  
の地位確立。日華事変中中共地区で活動、終  
戦後ハルピンの東北大学文学院院长となり、週  
刊新聞「文化報」を主編。54年頃より中共文  
壇で批判され、肅清されたといわれる。

蕭(肖)勁光

Hsiao Ching-kuang 1904~

湖南省長沙の人。露語をよくす。妻はロシ  
ヤ人。20年~24年モスクワに留学。帰国後黄  
埔軍官学校に学び、27年~31年再びモスクワ  
に赴く。33年当時江西ソヴェト区に入り第  
一方面軍の軍団総指揮。36年山西遠征の時紅  
軍第29軍の組織に協力、その軍長を兼任。37年  
留守部隊在延安第8路軍總参謀長、のち陝甘寧  
辺区留学処主任を兼任。45年中共第七期中央  
委員会候補委員。戦後林彪とともに東北へ挺  
身し、東北人民解放軍副司令。49年中南軍員会  
委員兼湖南軍区司令。50年9月人民解放政委



軍海軍司令。54年9月国防委員会委員。11月國務院国防部副部長。12月中ソ友好協会総会第二期理事会理事。55年9月1級八一勳章、1級独立自由勳章および1級解放勳章、当時海軍大将。56年9月中共第八期中央委員会委員。59年4月国防委員会委員。5月中ソ友好協会総会第三期理事会理事。9月国防部副部長。

蕭 桂 昌 Hsiao Kui-chang

51年7月広東市党委員会副書記、同市政府財政經濟委員会委員、翌年同委員会第3書記。57年國務院化学工業部副部長。59年9月國務院化学工業部副部長。

蕭(肖) 慧 納 Hsiao Hui-na

56年9月当時武漢市婦女連合会主任。

蕭 健 Hsiao Chien

53年7月中国新民主主義青年団第二期中央委員。10月第3回訪鮮慰問団第7総分団副団長として北鮮を訪問。

蕭 賢 法 Hsiao Hsien-fa

61年6月当時國務院宗教事務局責任者。

蕭 元 礼 Hsiao Yüan-li

55年2月江西省人民委員会委員。60年10月当時駐広州部隊首長。

蕭 公 權 Hsiao Kung-chüan 1897~

江西省泰和県の人。59年7月当時ワシントン州立大学教授、中華民国中央研究院院士。

蕭 向 榮(榮) Hsiao Hsiang-jung

湖南省の人。49年中共中央華南局機関紙「南南日報」(広東)社長。50年広州警備司令部政

治委員。53年当時中共中央中南局広州分局宣傳部長。53年2月人民革命軍事委員会辦公庁主任。55年2月國務院国防部辦公庁主任。5月ワルシャワ会議に出席。9月1級八一勳章および1級解放勳章、当時中將。60年10月中国訪朝軍事友好代表団団員。

蕭 向 前 Hsiao Hsiang-chien 1914~

瀋陽出身。中共黨員。東京高等師範修学。中共中央社会部調査科長。51年頃中共中央統一戦線工作部海外經濟研究室副主任。中国紅十字会秘書。54年10~11月の間中国紅十字会訪日代表団秘書として来日。55年、10~11月の間中共見本市代表団副団長として来日。57年12月訪日中国紅十字会代表団団員。59年当時中国人民外交学会副秘書長。

蕭 洪 启(啓) [鴻启] Hsiao Hung-chi (Hung-chi)

中共黨員。53年5月中華全国総工会第七期執行委員。54年中国鉄路工会全国委員会副主席。56年当時中共中央書記処辦公庁第1科員。56年11月工会代表団団員として来日。57年12月中華全国総工会第八期執行委員。61年1月訪日中華全国総工会代表団団員。

蕭(肖) 克 Hsiao Kê 1909~

湖南省嘉禾県の人。上將。郷里の師範学校に2年半在学。黄埔軍官学校卒業。26年広東にて蔣介石麾下の憲兵。27年中共入党。張發奎下の「鉄軍」第24師(師長葉挺)に投じ、南昌暴動失敗後、300人の独立遊撃隊を訓練、井崗山に至り、28年~29年1月紅軍李明瑞軍參謀。ついで朱徳と共に江西、福建に進み、第4軍団団長。31年紅軍第17師長。32年9月紅軍第9軍軍長。33年単独で湖南軍と戦い、後西湖ソヴェト区に赴き、34年10月賀竜部隊と合流、紅軍第2方面軍に編入さる。35年11月西遷を

始め36年8月甘肅に到着。37年第31軍軍長、その後8路軍に属し、38年初頭8路軍第120師副師長(師長は賀竜)。45年終戦と共に熱河に進出。49年華北軍区副司令。53年~54年当時中央人民政府人民革命軍事委員会軍訓部部長。54年8月第一期全国人民代表大会華北軍区代表。9月国防委員会委員。11月~59年9月国防部副部長。55年9月1級八一勳章、1級独立自由勳章および1級解放勳章、上將。56年9月中共第八期中央委員会委員。57年11月中国人民解放军訓練總監部部長。59年4月国防委員会委員。9月農懇部副部長。

蕭 国 貴 Hsiao Kuo-kui

54年8月中国キリスト教三自愛国運動委員会常務委員。

蕭 采(彩)峰 Hsiao Tsai-fêng

48年8月中華全国総工会執行委員。53年5月同第七期執行委員。57年12月全国総工会第八期執行委員。

蕭 作 梁 Hsiao Tsuo-liang

湖南省の人。国立政治大学卒業。39年独ベルリン大学博士。39年~45年国立四川大学教授。43年~44年米国の招聘に依り派遣教授として渡米。45年~46年湖南大学教授。46年~49年同済大学、政治大学教授。51年~54年国民党中央設計委員。著書「Die Chinesische Revolution von 1911 und die Grossmächte」

蕭 作 霖 Hsiao Tsuo-lin

56年2月国民党革命委員会候補中央委員。

蕭 三 [蕭愛(愛)梅] Hsiao San

[Hsiao Ai-mei,] (Emi Siao) 1896~  
湖南省の人。長沙師範卒、20年仏国留学。

21年中共黨員。その後モスクワ東方勤労者共産大学に学ぶ。25年帰国したが27年共産革命敗退後ソ連邦に亡命。28年~39年「国際文学」誌中国版編集長。34年第1回作家大会に参加。40年帰国。プーシュキン、ゴーリキー等ソ連作家の研究翻訳に従事。日華事変中延安中共中央文化運動委員会委員。49年モスクワのプーシュキン100年祭に参加。全国文連常任委員兼連絡処長、政務院文化部对外文化事務連絡局長、中ソ友好協会総会理事兼副総幹事。50年10月世界平和理事会理事、抗米援朝総会常務委員。53年10月全国文連第二期全国委員、中国作家協会理事兼外国文学委員会主任。54年5月人民对外文化協会理事。この間世界平和理事会出席のため53年6月ブダペスト、11月ウィーン、54年5月ベルリンを訪問。7月文化代表の一員としてチリを訪問。8月第一期全国人民代表大会湖南省代表。56年2月中央標準語普及工作委員会委員。58年7月中国人民保衛世界和平委員会委員。9月中国ハンガリー友好協会副会長。59年3月第二期全国人民代表大会湖南省代表。4月中国人民对外文化協会常務理事。5月中ソ友好協会総会第三期理事会理事。9月对外文化連絡委員会委員。60年3月中国ラテンアメリカ友好協会理事。4月当時中国作家協会对外文学連絡委員会主任。8月中国文学芸術界連合会第三期全国委員会委員。著書は「同志毛沢東の青少年時代」「人物と記念」「魯迅論」等、外にロシア文学の翻訳紹介多し。

蕭 自 誠 Hsiao Tzu-chêng 1907~

湖南省邵陽の人。30年中央政治学校入学。米シカゴ大学およびハーバード大学留学。35年~45年軍事委員会秘書。45年~46年行政院秘書。49年~51年中央日報社副発行人。50年~52年国民党中央改造委員会委員。51年~52年8月同4組(設計)組長、国民党發言人。52



年中央日報發行人。

蕭 雋 英 Hsiao Chün-ying

広東省大埔県の人。広東大学卒業。北伐期間は第1軍政治部員、後日本に亡命、早稲田大学で政治経済を研究。帰国後広州の中山大学教授。一時「羣声報」を経営。広州陥落後重慶で、譚平山等と三民主義連合会を組織。後香港に移る。49年12月国民党革命委員会中央委員。55年1月政治協商會議第一期広東省委員会副主席。2月広東省人民委員会委員（文化局長）。56年2月国民党革命委員会中央委員に再任。4月中印友好協会理事。58年12月中国国民党革命委員会第四期中央委員会委員。59年2月政治協商會議広東省第二期委員会副主席。61年11月全国人民代表大会広東省代表。

蕭 純 Hsiao Chün

60年5月当時中共錦州市委員会第1書記。

蕭 松 立 Hsiao Sung-li

50年～54年9月西南軍政委員会財政經濟委員会委員。53年11月全国工商業連合会第一期執行委員。54年7月第一期全国人民代表大会四川省代表。55年1月四川省人民委員会委員。56年12月全国工商連第二期執行委員（四川省）。59年3月第二期全国人民代表大会四川省代表。4月同大会第1次會議で「改造に当って、党の指導を割引きしないで受け取ること」について合同發言。

蕭 新 槐 Hsiao Hsin-huai

55年1月天津市人民委員会委員。59年4月政治協商會議第三期全国委員会委員（特別招請人士）。

蕭 靖 Hsiao Ching

53年2月当時中共吉林省委員会工業部部長。

60年5月当時吉林省副省長。

蕭 先 蔭 Hsiao Hsien-yin

61年5月国府立法院副秘書長。

蕭 錚 Hsiao Chêng 1905～

浙江省の人。国立北京大学および独ベルリン大学卒業。35年～50年国民党中央執行委員会委員。41年中国土地調査会長。47年經濟部次長。48年立法委員。台湾土地銀行董事長。57年当時中国土地改革協会責任者。60年9月当時中国地征(土地税)研究所所長。

蕭 則 可 Hsiao Tsê-kê

53年11月全国工商業連合会第一期執行委員。55年1月四川省人民委員会委員。56年12月全国工商連第二期執行員（四川省）。59年3月第二期全国人民代表大会四川省代表。4月同大会第1次會議で「改造に当って、党の指導を割引きしないで受け取ること」について合同發言。

蕭 忠 國 Hsiao Chung-kuo

59年9月国府行政院參事。

蕭 长 华(華) Hsiao Chang-hua

59年3月第二期全国人民代表大会河北省代表。

蕭 陳 人 Hsiao Chên-jên

55年5月当時国務院第1機械工業部基本建設司副司長。

蕭 同 茲 Hsiao Tung-tzu 1894～

湖南省の人。17年湖南工業大学卒業。31年～50年国民党中央執行委員会委員、中央党部宣伝部委員。32年～50年中央通訊社社長。50年国民党中央評議員。中央通訊社監査委員長。

55年総統府国策顧問。

蕭 敏 頌 Hsiao Min-sung

55年2月湖南省人民委員会委員。56年2月民主同盟第二期中央委員会委員。

蕭 文 Hsiao Wên

55年2月広東省人民委員会委員。元軍政部粵南（広東省南部）特派員公署（国府側）副特派員。

蕭 文 玉 Hsiao Wên-yü

53年8月当時中共福建省福安地方委員会書記。

蕭 方 洲 Hsiao Fang-chou

55年3月当時中国国際貿易促進委員会副秘書長。56年9月ユーゴスラヴィアの国際博覧会に展覽団団長として出席。58年2月中国アラブ連合友好協会理事。59年当時中国・アジア・アフリカ團結委員会委員。59年1月海事仲裁委員会委員、同会副主席。10月当時中国国際貿易促進委員会秘書長。60年4月中国・アフリカ人民友好協会常務理事、同会理事。

蕭 望 东 Hsiao Wang-tung

江西省の人。49年末～53年1月華東軍政委員会委員。53年当時中共蘇北区委員会書記。58年12月当時南京地区駐軍首長、中將。59年3月第二期全国人民代表大会軍隊代表。

蕭 明 Hsiao Ming

湖南省新田の人。51年2月当時北京市人民政府委員、および政務院人民監察委員会委員。53年2月当時北京市中ソ友好協会副会長。5月中華全国総工会第七期執行委員。54年12月政治協商會議第二期全国委員会委員。56年2月同會議北京市委員会副主席。57年12月中華全国総工会第八期執行委員。60年11月駐ビル

マ大使館文化參事官。

蕭 林 Hsiao Lin

56年12月全国工商業連合会第二期執行委員（上海市）。59年9月国務院華僑事務委員会委員。60年8月当時中国漁業協会上海市分会会長。

鍾(鍾) 介 民 Chung Chieh-min

60年11月当時中国民主社会党中央海外委員会主任委員。

鍾(鍾) 漢 华(華) Chung Han-hua

57年4月最高人民法院審判委員会委員。

鍾(鍾) 期 光 Chung Chi-kuang

江西省出身。日華事変中新4軍第1支隊政治部副主任。陳毅に従って蘇北に渡江後第1師政治部主任、蘇中軍区政治部主任（41年当時）。56年9月中共第八期中央委員会候補委員。

鍾(鍾) 毅 Chung I

56年1月当時国務院国家計画委員会交通運輸計画局副局長。著書「第1次5カ年計画中の運輸と郵電業」。

鍾(鍾) 惠 瀾 Chung Hui-lan

熱帯病学者。53年2月全パキスタン第2回医学会議中共代表団団員。53年～55年当時北京中央人民醫院院長。54年12月政治協商會議第二期全国委員会委員。55年5月中国科学院生物学地学学部委員。56年5月中国パキスタン友好協会理事。58年4月当時中華医学会副会長。59年4月政治協商會議第三期全国委員会委員（医薬衛生界代表）、同常務委員。

鍾(鍾) 敬 文 Chung Ching-wên 1903～

広東省の人。学者、評論家。北京大学で方



言調査会を組織、周作人らの歌謡研究会と協力し民俗学研究。広東中山大学にうつり、民俗学会を起し蛋族研究。かつて来日。戦後一時香港で活躍。53年10月中国文学芸術界連合会全国委員会委員、中国作家協会理事会理事。54年12月北京師範大学教授。編著「広東における魯迅」。

鍾(鍾) 慧 成 Chung Hui-chêng  
53年6月中国仏教協会理事。

鍾(鍾) 庆(慶)发(發) Chung Ching-fa  
56年1月中共駐インドネシア大使館参事官。59年3月第二期全国人民代表大会華僑代表。9月国務院華僑事務委員会委員。60年2月当時華僑事務委員会辦公庁主任。

鍾(鍾) 庆(慶)瀾 Chung Ching-lan  
59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(中国医業衛生界)。

鍾 國 器 Chung Kuo-chi  
福建省の人。ビルマ在住華僑。業種業。華商商会理事、監事を歴任。

鍾(鍾) 子 云(雲) Chung Tzu-yün  
山東省出身。48年ハルビン市長。51年遼西省撫順鉄山局長。同年9月遼西省人民政府委員。53年1月遼西省人民政府委員解任。55年1月国務院燃料工業部部長助理。12月同院煤炭工業部部長助理。59年9月煤炭工業部副部長(再任)。60年11月中国科学技術代表団を率いポーランド訪問。

鍾(鍾) 师 統 Chung Shih-tung  
54年5月当時中央体育学院院長。58年2月中国・アラブ連合友好協会理事。59年9月体

育運動委員会委員。

鍾(鍾) 俊 麟 Chung Chün-lin  
54年12月瀋陽農学院副院長。55年2月遼寧省人民委員会委員。

鍾(鍾) 人 仿 Chung Jên-fang  
55年10月当時人民解放軍装甲兵少将。

鍾(鍾) 成 亮 Chunng Chêng-liang  
56年1月政治協商会議第二期全国委員会委員(特別招請人士)。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(特別招請人士)。

鍾(鍾) 赤 兵 Chung Chih-ping  
49年人民解放軍第4野戦軍代表として政治協商会議に出席。52年当時人民革命軍事委員会民用航空局局長兼中央航空公司理事長。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(特別招請人士)。

鍾(鍾) 体 乾 [均猷] Chung Ti-chien [Chün-yu] 1889~  
四川省の人。四川武備学堂卒業。15年頃日本陸軍士官学校在学。帰国後劉存厚の部下。26年師長。28年成都市長。中共政府成立後国民党革命委員会四川省分部準備委員会召集人。50年四川省人民政府副主席。50年~53年1月西南軍政委員会委員。53年1月西南行政委員会委員。7月四川省人民政府副主席再任。54年8月第一期全国人民代表大会四川省代表。55年1月四川省副省長。56年2月国民党革命委員会中央委員。58年12月国民党革命委員会第四期中央委員会委員。59年3月第二期全国人民代表大会四川省代表。

鍾(鍾) 夫 翔 Chung Fu-hsiang  
51年中央人民政府政務院郵電部中南郵電管理局局長。53年9月郵電部副部長。54年11月

国務院郵電部副部長。同月北京郵電学院院長。59年9月第1機械工業部副部長。60年6月全国文教先進工作者代表大会主席団員。9月第3機械工業部副部長。

鍾(鍾) 望 阳(陽) Chung Wang-yang  
55年7月当時上海市人民委員会文化局副局長。

鍾(鍾) 民 Chung Min  
49年10月~54年6月華東軍政委員会政治法律委員会委員。53年~54年上海総工会第1副主席。53年5月中華全国総工会第七期執行委員。54年12月政治協商会議第二期全国委員会委員。55年1月上海市工会連合会第二期委員会委員兼主席。2月上海市人民委員会委員。55年4月~5月ソ連メーデー参観代表団団長として訪ソ。57年12月中華全国総工会第八期執行委員。59年3月第二期全国人民代表大会上海市代表。60年4月当時上海市中ソ友好協会副会長。同月上海市業余工業大学開校とともに初代校長となる。5月当時上海市総工会主席。8月当時平和委員会上海市分会副主席。

鍾(鍾) 明 Chung Ming  
55年6月当時広州市副市長。57年11月当時広州市委員会書記。58年6月当時広州市委員会委員。60年12月広州市副市長。

鍾 裕 光 Chung Yü-kuang  
浙江省紹興県の人。現在60歳。サイゴン在住華僑。パリ大学卒業。家具建築商。サイゴン客家中華理事会理事長。

鍾(鍾) 林 Chung Lin  
49年10月中央人民政府政務院中央技術管理局局長、政務院財政經濟委員会委員兼重工業

部副部長(54年9月まで)。60年3月中華全国新聞工作者協会理事会常務理事。

常 一 彬 Chang I-pin  
55年1月黒竜江省人民委員会委員。57年12月中華全国総工会第八期執行委員。

常 蔭 集 Chang Yin-chi  
55年3月山東省人民委員会委員。

常 家 鎧 Chang Chia-kai  
58年6月~59年6月当時国府駐長崎領事。

常 玉 林 Chang Yü-lin  
55年2月熱河省人民委員会委員。

常 乾 坤 Chang Chien-kun  
中將。もと人民革命軍空軍司令部副司令。55年7月当時人民解放軍空軍副司令。55年9月1級解放勲章。58年9月当時空軍副司令員。

常 彦 卿 Chang Yèn-ching  
54年5月当時中独技術ならびに技術科学合作常任委員会代理委員、中央人民政府対外貿易部国外貿易司第2局副局長。60年5月当時国務院対外貿易部プラント設備局長。61年4月対外經濟連絡総局副局長。

常 香 玉 [女] Chang Hsiang-yü  
豫劇女優。「愛玉劇社」の指導者。52年第1回全国戯曲競演会で個人賞獲得。12月演劇界代表として、モスクワ、ウィーンの世界人民平和大会に参加。53年初め4カ月に互り朝鮮訪問。4月中華全国民主婦女連合会第二期執行委員。10月中国文学芸術界連合会第二期全国委員会委員。54年8月第一期全国人民代表大会河南省代表。55年2月河南省人民委員会委員。59年3月第二期全国人民代表大会河



南省代表。60年6月全国文教先進工作者代表大会主席団。7月全国文芸工作者代表大会主席団。60年8月中国文学芸術界連合会第三期全国委員会委員。

常 芝 青 Chang Chih-ching

54年9月西南軍政委員会文化教育委員会委員を解任。60年3月中華全国新聞工作者協会常務理事。4月中国 アフリカ人民友好協会理事。

常 順 祥 Chang Shun-hsiang

56年12月当時中国食品出口公司上海分公司副經理。

常 書 鴻 Chang Shu-hung

画家。51年10月訪印緬文化代表団団員。57年12月訪日中国敦煌芸術展代表団団長、当時敦煌文物研究所所長。60年8月中国文学芸術界連合会第三期全国委員会委員。

常 城 Chang Chêng

53年7月中国新民主主義青年団第二期中央委員会候補委員。

常 青 Chang Ching

河南省樊川県の人。中農出身。54年6月中国人民解放軍華北軍区特等功臣。56年1月中共邢台地区委員会副書記。

常 任 俠 Chang Jên-hsia

54年8月当時中央美術学院教授。59年9月国務院華僑事務委員会委員。

常 黎 夫 Chang Li-fu

陝西省の人。50年3月西北軍政委員会秘書長。53年1月西北行政委員会委員、秘書長。

54年11月～59年6月国務院副秘書長。60年5月当時中国人民保衛世界和平委員会陝西省分会主席。10月当時政協陝西省委員会副主席。

淨 严(嚴) Ching Yèn

53年6月中国仏教協会理事。

聶 荣(榮)臻 Nieh Jung-chên 1899～

四川省江津の小農出身。元帥。五・四運動に参加。20年渡仏苦学。21年社会主義青年団ならびに中共党に加入。パリ大学で電気技術を1年、ベルギーの労働大学で自然科学を2年研究。23年パリで電気技師。24年在欧中共委員会よりモスクワの東方労働大学に派遣さる。25年夏帰国。26年3月まで黄埔軍官学校政治部秘書。ついで両湖(湖南、湖北両省)国民党軍隊内で赤化工作に従事。27年上海で労働者を組織、中共南昌前線委員会書記。葉挺師団内の団政治委員となり南昌暴動に参加、同年末の広東コンミュンに第11軍の党代表として参加し、失敗後香港に逃る。30年河北軍事委員会に工作。31年江西ソヴェト区に到り、工農紅軍政治部副主任。後第1軍政治委員。37年日華事変勃発後第8路軍第115師副師長兼政治委員。11月晋察冀軍司令、中共中央華北局第2書記。45年中共中央委員。48年8月華北人民政府政府委員。49年中国人民解放軍第5野戦軍司令。49年10月中央人民政府委員、人民革命軍事委員会委員兼副総参謀長。華北行政委員会委員、華北軍区司令。後代理総参謀長。54年9月第一期全国人民代表大会華北軍区代表、同大会常務委員、国防委員会副主席。10月天津衛戍司令。55年9月1級八一勳章、1級独立自由勳章および1級解放勳章。55年末～56年1月東独ピーク大統領誕生80年祝典に中共を代表して出席し、ルーマニアをも訪問。56年2月朱徳に随ってモスクワ訪問。9月中共第八期中央委員会委員。11月国務院

副総理。57年3月ガーナ独立式典に中共政府特使として参列。57年7月全国科連第一期全国委員会第2次拡大会議の席上「社会主義の科学事業を堅く守れ」と題し演説。58年4月当時国務院副総理。国防委員会副主席。当時科学規画委員会主任。10月国務院科学技術委員会主任(旧国家技術委員会、科学規画委員会を合併設立)。59年3月第二期全国人民代表大会四川省代表。4月国務院副総理。科学技術委員会主任。国防委員会副主席。9月論文「10年来のわが国科学技術事業の発展」を発表(人民日報27日)。科学技術委員会委員。

聶 鶴 亭 Nieh Hê-ting 1908～

安徽省黟県の中農出身。南昌軍官学校、黄埔軍官学校に入学。25年中共に加入。安徽省合肥で組織工作。26年葉挺麾下の独立連隊の中隊長。27年南昌暴動に参加。失敗後30年まで上海で党工作に従事。30年江西ソヴェト区に派遣され、団長、師長、参謀長歴任。大西遷の際には紅軍第1方面参謀長。53年10月当時人民解放軍裝甲兵団副司令。

聶 洪 鈞 [鴻鈞] Nieh Hung-chün

[Hung chün]

湖北省の人。49年末湖北省人民政府副主席。53年1月中南行政委員会委員。55年1月国務院糧食部副部長。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(特別招聘人士)。9月糧食部副部長。

聶 轰(轟) Nieh Hung

56年2月国民党革命委員会候補中央委員。58年12月中国国民党革命委員会第四期中央委員会委員。

聶 国 青 Nieh Kuo-ching

湖北省の人。49年当時中国民主同盟湖北省

支部臨時工作委員会主任。49年末～53年1月中南軍政委員会委員兼政治法律委員会委員。53年1月中南行政委員会委員。54年8月第一期全国人民代表大会湖北省代表。12月湖北省人民政府副主席。55年2月湖北省副省長。56年2月民主同盟第二期中央委員会委員。

聶 紺 弩 Nieh Kan-nu

湖北省の人。著述家、言語学者。30年代に作品「解」をもって知らる。49年末～53年1月中南軍政委員会文化教育委員会委員。49年～53年当時中原大学文学院院长。53年当時中国文字改革協会理事。53年10月中国作家協会理事會理事(古典文学部副部長)。著書「早醒記」「歴史の秘奥」「蛇と塔」「離感集」「夜戯」等。

聶 眞 Nieh Chên

53年～54年世界平和擁護委員会華北総分会副主席、華北抗米援朝総分会主席。55年1月中国人民大学副校長。56年3月政治協商会議全国委員会学習委員会副主任委員。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(教育界代表)。9月中国ブルガリア友好協会副会長。

聶 补(補)吾 Nieh Pu-wu

56年12月新郷師範学院副院長。

繩(繩) 吉 倫 Shêng Chi-lun

54年12月 国務院郵電部長 途電信 総局 副局長。

饒 毓 泰 Jao Yü-tai

54年12月政治協商会議第二期全国委員会委員。55年5月中国科学院物理学数学化学学部委員。59年4月政治協商会議第三期全国委員



会委員（無党派民主人士）。

饒 興(興) Jao Hsing

56年10月国務院水利部部長助理。59年9月中央氣象局副局長。

饒 興(興)礼 Jao Hsing-li

農業労働模範。54年8月第一期全国人民代表大會湖北省代表。59年3月第二期全国人民代表大會湖北省代表。4月同大会第1次會議で「西藏人民は新しく生れてた」について合同発言。

饒 子 健 Jao Tzu-chien

日華事変中新4軍第4師第12旅旅長。淮北蘇皖辺区軍区副司令。55年2月江蘇省人民委員会委員。

饒 思 誠 Jao Ssu-chêng

江西省の人。教育界の名士。49年末～53年1月中南軍政委員会委員。江西省人民政府副主席。53年1月中南行政委員会委員。55年2月江西省副省長。60年7月当時同。

饒 守 坤 Jao Shou-kun

55年9月1級解放勲章を授与さる。60年11月当時駐上海部隊首長。

饒 彰 风(風) Jao Chang-fêng

広東省大埔の人。南京中央大学農学系及び政治系卒業。31年棲棲と雑誌「天王星」を創刊、間もなく国民政府に弾圧され、香港に逃る。日華事変勃発後従軍。45年9月香港に帰り「華商報」発刊に従事。46年シンガポールで「新華周刊」を刊行し失敗。中共の広東占領後、招かれて広州新聞処長および中共中央華南局機関紙「南方日報」社長を兼任。52年

広東省統戦工作部副部長。53年10月朝鮮へ慰問行。54年10月広東省人民政府秘書長。55年1月政治協商会議第一期広東省委員会副主席。7月中国人民外交学会第三期理事会理事。

饒 正 錫 Jao Chêng-hsi

湖北省の人。49年まで第1野戦軍政治副委員、同年党中央委員会新疆支部員（53年常務委員）。51年新疆人民政府に入りウルムチ市長、ウルムチ党部主任。53年5月当時中共中央新疆分局常務委員。11月当時人民革命軍事委員会総後勤部衛生部長。55年9月1級解放勲章。60年5月当時総後勤部副部長。

饒 漱 石 Jao Shu-shih 1901～

江西省臨川県の人。上海大学出身、労働運動に従事。27年の武漢革命失敗後米、仏、ソ連等で苦学。「救国時報」を発行。39年冬延安から安徽に行き、劉少奇の下に中共中央華南局副書記および宣伝部長。41年皖南事件後は陳毅の新4軍政治委員兼任。43年2月華中局書記。45年軍事調停処執行総部政治顧問。後赴満、東北人民解放軍政治委員。48年華東人民解放軍政治委員。49年2月北京新民主主義青年団組織準備委員。4月陳毅部隊とともに南下。華東軍政委員会主席、中共中央華東局書記。10月中央人民政府委員会委員。53年1月憲法起草委員会委員、華東行政委員会主席。53年頃中共中央組織部部長、中央人民政府国家計画委員会委員。55年4月の中共第七期5中全会にて「反党連盟」結成の名の下に高崗とともに正式に肅清さる。

饒 斌 Jao Pin

56年9月当時第1汽車製造廠長。同月中共8全大会において「技術の学習に努力せよ」と発言。60年1月第1機械工業部副部長。

穰 明 德 Jang Ming-tê

56年10月国務院交通部部長助理。

申 云(雲)浦 Shên Yün-pu

49年末～54年9月西南軍政委員会文化教育委員会委員。54年4月中共貴州省委員会副書記。8月第一期全国人民代表大會貴州省代表、当時貴州省人民政府副主席。55年2月政治協商會議第一期貴州省委員会主席。

申 希 礼 Shên Hsi-li

53年11月全国工商業連合会執行委員。56年12月同連合会第二期執行委員（河北省）。

申 紀 兰(蘭)〔女〕 Shên Chi-lan

53年当時山西省平順県西溝村李順達農林畜牧生産合作社社長、新民主主義青年団員、労働模範。4月中華全国民主婦女連合会第二期執行委員。6月コペンハーゲンの世界婦人大会に婦人代表として出席。54年8月第一期全国人民代表大會山西省代表。59年3月第二期全国人民代表大會山西省代表。4月同大会第1次會議で「五欠は五有に」と題して合同発言。

申 健 Shên Chien

51年1月中共駐インド大使館参事官。54年10月～55年1月当時同大使館臨時代辦。55年1月同大使館参事官。59年10月当時中国人民外交学会理事。60年3月中国ラテンアメリカ友好協会常務理事、同会理事。4月当時外交部米豪司司长。11月駐キューバ大使。

申 光 Shên Kuang

山東省の人。もと北京電信総局器材処処長。49年中央人民政府政務院郵電部辦公庁主任。55年1月国務院郵電部部長助理。59年9月郵

電部副部長再任。

申 效 增 Shên Hsiao-tsêng

53年7月中国新民主主義青年団第二期中央委員会候補委員。

申 之 瀾 Shên Chih-lan

53年3月当時新民主主義青年団瀋陽市委員会書記。60年10月当時遼寧省人民委員会秘書長。

申 志 賢 Shên Chih-hsien

55年8月中国煤礦(炭礦)工会全国委員会主席団員、同組織部長。56年11月工会代表団員として来日。

申 昌 淳 Shên Chang-chun

55年10月～56年3月当時中共黒竜江省樺川県委員会副書記。

申 伯 純 Shên Po-chun

元18集団軍総部秘書長、中共中央統一戦線工作部交際処処長。49年中央人民政府政務院秘書庁副主任。51年～52年当時政務院秘書庁主任。54年12月政治協商會議第二期全国委員会委員（55年1月副秘書長）。55年3月国務院機関事務管理局副局長。56年12月当時世界平和擁護委員会上海市分会副秘書長。59年4月政治協商會議第三期全国委員会委員（特別招請人士）。59年当時同会副秘書長。

申 葆 文 Shên Pao-wên

49年末～54年6月華東軍政委員会人民監察委員会委員。50年当時中国農工民主党および民主同盟中央委員。56年2月民主同盟第二期中央委員会委員。



## 辛 安 亭 Hsin An-ting

49年末～54年6月甘肅省人民政府委員。50年当時蘭州市軍事管制委員会文教処処長。54年8月第一期全国人民代表大会山西省代表。

## 辛 易 之 Hsin I-chih

60年5月当時中共重慶市委員会書記。

## 辛 葭 舟 Hsin Chia-chou

55年3月山東省人民委員会委員。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員（特別招請人士）。

## 辛 嘉 功 Hsin Chia-kung

60年6月当時中共重慶市南岸区委員会第1書記。

## 辛 冠 浩(潔) Hsin Kuan-chieh

59年9月国務院对外文化連絡委員会委員。61年5月ラオス問題ジュネーブ会議中共代表団顧問。

## 辛 毅 Hsin I

山東省済南の人。中共黨員。55年3月～4月中共貿易代表団団員（中国化工雜品進出口公司代表）として来日。56年当時北京市人民委員会外事処処長。11月～57年1月の間北京市人民委員会代表団員としてソ連および東欧を訪問。58年9月中国イラク友好協会理事。60年3月中国ラテンアメリカ友好協会理事。4月中国アフリカ人民友好協会理事。5月当時北京市人民委員会副秘書長。

## 辛 志 超 Hsin Chih-chao

49年10月中央人民政府政務院副秘書長兼人事局予算室主任。54年2月当時政治協商会議全国委員会副秘書長。8月第一期全国人民

代表大会山東省代表。10月同大会常務委員会副秘書長。12月政治協商会議第二期全国委員会委員，中ソ友好協会第二期全国代表大会代表。56年2月民主同盟第二期中央委員会委員。58年12月中国民主同盟第三期中央常務委員会常務委員，同会委員。59年当時同委員会副秘書長。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員（中国民主同盟）。59年当時同委員会副秘書長。

## 辛 樹(樹)幟 Hsin Shu-chih

湖南省長沙の人。無党無派民主人士。英エジンバラ大学にて生物学を研究。広州国立中山大学理科生物系教授。53年西北農学院院長。54年12月政治協商会議第二期全国委員会委員（教育界）。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員（教育界代表）。

## 辛 束 Hsin Shu

60年5月当時旅大市副市長。

## 辛 甫 Hsin Fu

53年7月中国新民主主義青年団第二期中央委員。54年10月当時同青年団武漢市委員会書記。12月政治協商会議第二期全国委員会委員。

## 辛 蘭(蘭)亭 Hsin Lan-ting

59年1月新疆ウイグル自治区副主席。3月第二期全国人民代表大会新疆ウイグル自治区代表。

## 晋 巩(鞏) Chin Kung

もと中共中央社会部第2室第1副主任。49年末政務院情報総署国外調査研究局局長。52年中共中央社会部对外調査局長。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員（特別招請人士）。

## 秦 怡 Chin I

59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員（中華全国婦女連合会）。

## 秦 育 之 Chin Yü-chih

53年11月全国工商業連合会執行委員。55年2月湖北省人民委員会委員。56年12月全国工商連第二期執行委員（湖北省）。

## 秦 雨 屏 Chin Yü-ping

56年9月中共八全大会で「工業と手工業の生産協力を強化せよ」と発言，当時中共長沙市委員会書記。60年12月湖南省人民委員会委員（補選）。

## 秦 加 林 Chin Chia-lin

60年12月当時中共駐英国代辦処参事官，同臨事代辦。

## 秦 基 伟(偉) Chin Chi-wei

河南省の人。第2野戦軍第3兵团第10軍副軍長，志願軍第10軍長，第4兵团副司令員を歴任。55年2月雲南省人民委員会委員，昆明軍区副司令。58年11月雲南省人民委員会委員。59年3月第二期全国人民代表大会軍隊代表。60年2月ビルマ訪問友好代表団中国軍事友好代表団副団長(中将)。61年10月当時中国人民解放军昆明軍区司令。中将。

## 秦 元 邦 Chin Yüan-pang

広東省梅県の人。日本早稲田大学に留学。40年広東省翁源県長。後広州中山大学の経済系主任，広東省人民政府教育庁副庁長を歴任。55年2月広東省人民委員。56年2月国民党革命委員会中央委員。58年12月国民党革命委員会第四期中央委員会委員。

## 秦 孝 儀 Chin Hsiao-i

湖南衡山の人。40歳（61年5月当時）。中央委員会第4組副主任，総統府秘書を歴任。61年5月中国国民党中央委員会副秘書長。

## 秦 淑 貞〔女〕 Chin Shu-chên

55年2月雲南省人民委員会委員。

## 秦 祥 宝 Chin Hsiang-pao

59年3月第二期全国人民代表大会江蘇省代表。

## 秦 振 武 Chin Chên-wu

侗族。55年2月広西省人民委員会委員。

## 秦 慎 之 Chin Shên-chih

56年5月中共駐パキスタン大使館1等書記官。60年8月駐イラク大使館参事官。9月当時駐イラク大使館臨時代辦。

## 秦 仁 昌 Chin Jên-chang

54年8月第一期全国人民代表大会雲南省代表。55年5月中国科学院生物学地学学部委員。56年当時雲南大学教授。59年3月第二期全国人民代表大会雲南省代表。4月同大会第1次会议で「深山で油，砂糖，粉を，古林で棉紙，ゴムを」について発言。

## 秦 澤 Chin Tsè

53年12月当時中央人民政府第1機械工業部辦公庁副主任。

## 秦 天 眞 Chin Tien-chên

55年2月貴州省人民委員会委員。

## 秦 德 Chin Tè

56年1月当時青年団黒竜江省双城県委員会



書記。

秦 德 君〔女〕 Chin Tê-chün

54年12月政治協商會議第二期全国委員会委員。56年2月国民党革命委員会中央委員。59年4月政治協商會議第三期全国委員会委員(特別招請人士)。

秦 德 純〔紹文〕 Chin Tê-chun

[Shao-wên] 1893~

山東省沂水の人。16年保定軍官学校卒業。22年陸軍大学校卒業。27年河南保衛軍第4軍長、国民革命軍第25軍長。28年国民革命軍第2集団軍第14軍長、第2集団軍副総参謀長、山東省政府委員。32年東北政務委員会委員、北平軍事整理委員会常務委員。33年北平軍事分会委員。34年察哈爾省政府主席兼民政庁長。35年冀察政務委員会委員、北平市長、国民党中央監察委員会委員。37年北平市長兼第29軍副軍長。40年軍法総監部副総監長。44年11月兵役部政務部長。46年白崇禧の下に初代国防部次長。48年5月国防部次長重任、青島市長兼任。

秦 必 相 Chin Pi-hsiang

侗族。59年3月第二期全国人民代表大会貴州省代表。

秦 邦 宪(憲)〔博古〕 Chin Pang-hsien  
[Po-ku] 1907~1946

浙江省寧波県人。蘇州省立第2工業学校を卒業。25年中共に入党。上海大学に入り瞿秋白や施存統の薫陶をうく。26年モスクワに留学し、30年まで東方勤労者共産大学(クウトベ)で学ぶ、在学中劉群先と結婚、帰国後上海中華全国総工会で工作し、李立三主義反対の急先鋒となる。35年西北ソヴェト区主席兼外

交委員、政治委員、組織部長の各職に就任。36年西安事変に際しては周恩来とともに中共代表として西安に赴き、抗日民族統一戦線結成の交渉に当り、日華事変中は中共中央委員兼書記処書記として活躍。46年4月飛行機事故にて死亡。

秦 望 山 Chin Wang-shan 1891~

福建省晋江县の人。福州中学卒。民国初年革命運動に奔走、福建靖国軍に参加、国民党の武装を提唱。国民党福建省党部委員、国民党参政会参政員、厦門江声日報董事長(36年頃)、監察部監察委員等を歴任。その後フィリピン、北ボルネオ等に居住、中共制圧後香港に移る。57年1月福州に帰り、政治協商會議福建省委員会委員。

秦 穆 伯 Chin Mu-po

60年9月中央財政金融学院副院長。

秦 力 眞 Chin Li-chên

53年6月当時中央人民政府簽證処処長。55年10月当時国務院外交部領事司副司長。59年9月華僑事務委員会委員。60年1月当時国務院外交部領事司司長。

秦 力 生 Chin Li-shêng

53年1月西康省人民政府委員、西南軍政委員会土地革改委員会委員辞任。60年9月当時中国科学院副秘書長。

秦 和 珍 Chin Hê-chên

55年3月山東省人民委員会委員。

莘 耘 尊 Hsin-Yün-tsun

55年2月吉林省人民委員会委員。

仁 希 丹 倫 策 仁 班 覺

Rimshi-tanlon Tsering-ponchuk

西藏族。55年9月西藏自治区準備委員会準備処副処長、当時班禅堪布會議庁委員会委員。

仁 欽 札 木 苏(蘇) Ringching Jamts

59年2月吉林省人民委員会委員。59年3月第二期全国人民代表大会吉林省代表。4月同大会第1次會議で「5つの困難を乗り越えて甜菜の大増産をかちとろう」について発言。

誥 厚 慈 Chên Hou-tzu

55年2月河北省人民委員会委員。

## す

水 祥 雲 Shui Hsiang-yün

浙江省の人。45年~49年上海労働組合長。48年中国労働連盟秘書長。56年当時中華民国郵務工会全国連合会長。

帥 孟 奇〔女〕 Shuai Mêng-chi

49年中央人民政府政務院人民監察委員会委員。当時中華全国民主婦女連合会組織部部长。53年4月中華全国民主婦女連合会第二期執行委員。54年8月第一期全国人民代表大会湖南省代表。56年9月中共第八期候補中央委員、中央監察委員会委員。57年9月中華人民共和國全国婦女連合会第三期執行委員会執行委員。59年3月第二期全国人民代表大会湖南省代表。60年4月当時中共中央組織部副部长。

隋 芸 生 Sui Yün-shêng

53年1月旅大市人民政府委員辞任。59年9月国務院科学技術委員会委員。

隋 經 仁 Sui Ching-jên

55年2月北京市人民委員会委員。

隋 性 初 Sui Hsing-chu

53年6月当時中共江蘇省崑山県委員会書記。

鄒 煒 Tsou Wei

53年7月中国新民主主義青年団第二期中央委員会候補委員。

鄒 雲 亭〔芸汀〕 Tsou Yün-ting

[Yün-ting]

59年6月当時国府駐アルゼンティン国大使館1等秘書。

鄒 儀(儀)新〔女〕 Tsou I-hsin

54年12月政治協商會議第二期全国委員会委員(中華全国民主婦女連合会)。59年4月政治協商會議第三期全国委員会委員(中華全国婦女連合会)。

鄒 子 齡(齡) Tsou Tzu-ling

56年12月全国工商業連合会第二期執行委員(雲南省)。

鄒 斯 頤 Tsou Ssu-i

53年12月当時中央人民政府対外貿易部第3局專員。60年10月キューバ訪問中国貿易代表団副団長。

鄒 清 之 Tsou Ching-chih

(Tsing-tsi) 1909~

台湾省新竹県の人。国立上海商業学院修業。46年広東省参事。46年~47年台湾省政府参事。47年~50年新竹県長。49年台湾省政府委員、台湾省民政庁長。54年6月台湾省政府委員。57年8月台湾省政府委員。



鄒 大 鵬 Tsou Ta-pêng

終戦後東北行政委員会委員、長春市市長。49年10月政務院情報総署長（当時中共中央社会部秘書長）。52年中共中央社会部副部長兼第3局長。53年3月当時人民革命軍事委員会連絡部部長。54年12月政治協商会議第二期全国委員会委員。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員（中国共産党）。9月対外文化連絡委員会副主任兼委員。

鄒 荻 帆 Tsou Ti-fan

49年末政務院文化教育委員会対外文化連絡事務局連絡処処長。53年11月当時対外文化連絡事務局辦公室主任。54年2月政務院対外文化連絡事務局処長。

鄒 得 心〔女〕 Tsou Tè-hsin

53年4月中華全国民主婦女連合会第二期候補執行委員。10月当時同連合会国際工作部副部長。54年12月フランス訪問婦人代表団の一員として渡仏。雑誌「新中国婦女」編集者。60年4月国際婦女大会（デンマーク）参加中国婦女代表団団長。

鄒 博 文 Tsou Po-wên

54年12月当時中共駐チェコスロヴァキア大使館商務副専員。

鄒 秉 文 Tsou Ping-wên 1891~

江蘇省呉县人。米国留学、農林学専攻。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員。

鄒 魯〔海濱〕 Tsou Lu

[Hai-pin] 1882~1954

広東省人。国民党西山派領袖。清末広東にありて教育事業に携わる。早くより革命運動に加わり第2革命失敗後日本、南洋に亡命、

反袁世凱工作に努力。24年国民党第1期中央執行委員会委員。その後広東大学学長たりしが共産派と合わず国民党代表として北京に去る。26年国民党内反共分子を北京西山に集め所謂西山会議を開催、共産党排除、中央執行委員会の上海移転等を決議。27年武漢国民政府共産党を排除し、漢、寧両政府及び西山会議派の妥協成立後国民党中央特別委員、中央党部青年部委員、国民政府委員等歴任。その後蒋介石一派と合わず29年末後は汪兆銘等の改組派と合作。30年閻錫山、馮玉祥等北方軍閥と結び北方拡大会議を開催せるも失敗。31年広東派に合流汪兆銘と共に広東に入り中央執監委員、非常会議常務委員。同年末広東南京の妥協成るや国民党第4次中央執行委員会委員、国民政府委員。32年西南政務委員会成立と共に常務委員、次いで国立中山大学校長。36年万国大学会議に出席。39年2月国民党中央執行委員会常務委員、国防最高委員会委員、政府委員、中山大学校長。

鄒 魯 風(風) Tsou Lu-fêng

もと遼寧省人民政府副主席。49年9月~10月東北人民政府文化教育委員会委員。53年9月当時中国人民大学副校長。54年9月東北人民政府文化教育委員会委員を解任。59年6月免中国人民大学副校長、任北京大学副校長。7月北京市経済学会理事会会長。

寸 树(樹)声 Tsun Shu-shêng

55年2月雲南省人民委員会委員。56年2月民主同盟第二期中央委員会委員。58年12月中国民主同盟第三期中央委員会委員。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員（中国民主同盟）。61年6月当時政協雲南省委員会副主席。

## せ

井 助 国 Ching Chu-kuo

54年11月最高人民検察院検察員。58年4月当時最高人民検察院検察員。

西 仁 白 克 Hsi-jên-pai-kê

タジック族。54年9月新疆塔什庫干塔吉克族自治州人民政府主席。

西 謀 珍〔女〕 Shimochin

蒙古族。54年6月新疆巴音郭楞蒙古自治州人民政府副主席。

成 安 玉 Chêng An-yü

56年11月~58年12月 国務院 郵電部部長助理。

成 学 愈 Chêng Hsüeh-yü

61年6月当時中緬辺界連合委員会地図小組中国側代表。

成 曉 法 Cheng Hsiao-fa

59年3月第二期全国人民代表大会四川省代表。

成 鈞 Chêng Chün

中將。元新4軍第2師第5旅長。46年華中野戦軍第4縦隊司令。48年華東野戦軍第7縦隊司令。49年解放軍第9兵团第25軍長兼福建軍区副政治委員。55年9月1級解放勲章。59年3月第二期全国人民代表大会軍隊代表。

成 舍 我 Chêng Shè-wuo 1898~

湖南省の人。21年国立北京大学卒業。北京

世界日報発行人。48年国府立法委員。

成 盛 三 Chêng Shêng-san

53年11月全国工商業連合会執行委員。55年11月当時吉林省工商連常務委員。56年12月全国工商業連合会第二期執行委員（吉林省）。59年3月第二期全国人民代表大会吉林省代表。4月同大会第1次会議で「労働と服務を基礎にしてより一層改造しよう」について発言。

成 仿 吾〔名、瀨〕 Chêng Fang-wu

[Hao] 1887~

湖南省新化県の人。13年日本に留学、岡山第6高等学校を経て東京帝大造兵科卒業。「創造社」幹部、創造社の各種出版を主宰。28年創造社閉鎖後歐洲に留学。31年帰国。34年共産軍の西遷に従う。48年10月華北人民政府委員。49年10月政治協商会議第一期全国委員会委員。52年10月東北師範大学校長。54年8月第一期全国人民代表大会広西省代表。55年2月吉林省人民委員会委員。8月広島における原水爆禁止世界大会出席のため団員として来日。56年2月中国亞洲團結委員会委員。59年3月第二期全国人民代表大会広西僮族自治区代表。59年当時中国アジアアフリカ團結委員会委員。60年4月中国アフリカ人民友好協会常務理事、同会理事。8月中国文学芸術界連合会第三期全国委員会委員。著書、批評集「使命」、創作集「流浪」。

盛 岳 Shêng Yüeh

56年6月当時国府外交部亜西司長。59年11月駐ウルグァイ公使。60年5月免外交部亜西司長。

盛 瑾〔女〕 Shêng Chin

53年7月ウィーンの世界教育工作者代表大



会に出席，当時中国教育工会全国委員会労保部副部長。60年8月当時中国教育工会全国委員会主席団委員。

盛 建 林 Shêng Chien-lin

山東省出身。現在36歳。57年10月訪日中国食品出口公司代表団員。

盛 康 年 Shêng Kang-nien

香港の財界有力者。53年11月中華全国工商業連合会第一期執行委員。54年12月政治協商會議第二期全国委員会委員（中国民主建国会）。56年12月全国工商連第二期執行委員（上海市）。

盛 世 才 Shêng Shih-tsai 1895~

奉天省出身。27年日本陸軍大学校卒業。33年4月政変によって新疆督軍金樹仁が新疆を追われるや当時辺防督辦であった盛世才が新疆北部に反乱を起した馬仲英をおさえ，同年8月蔣介石より新疆省政府主席に任命せられた。他方国府派遣の黄慕松の對馬仲英工作が失敗するや馬は再び反盛世才の軍を起し，省城ウルムチ周辺の要地を占領。盛はソ連軍の援助により34年1月馬軍を撃破した。馬軍は南方へ敗退の途次カシガルの東トルキスタン共和国軍を壊滅させてそこに拠ったが，まもなく省政府軍に追われソ連に逃亡してのち盛は新疆をソ連の衛星地域として全省の実権を把握。35年5月新疆省とソ連間に借款協定成立後，親ソ反日態度を濃化。37年8月中ソ不可侵条約締結後は盛はその親ソ政策をはばかることなく遂行した。37年より中共黨員毛沢民，陳潭秋らを招聘，40年11月ソ連代表と盛世才間に錫鉞租借条約締結。41年4月の日ソ中立条約の締結，同年6月の独ソ開戦によって彼の地位は動揺し，42年4月，彼は省政

府内の中共黨員多数を逮捕及び軟禁し，重慶への帰順が決定するや，その主な者を処刑。43年5月ソ連はこの地油田開発権を放棄，翌年2月ソ連軍隊は全省から退去，かくて新疆は漢民族中心主義の地域となる。44年カザック人の大反乱起り彼はその責を問われ同年11月その職を免ぜられ，吳忠信が省主席となった。

盛 宣 懷 [杏蓀] Shêng Hsüan-huai  
[Hsing-sun] 1847~1916

江蘇省生れ。前清政府郵伝部大臣にして漢冶萍煤鉄公司の大株主。李鴻章門下の俊秀で，1892年天津海関道，96年蘆漢，南部鉄路督辦。1902年工部侍郎となり，更に同年通商条約改訂委員を命ぜられ，1908年郵電部侍郎，再び通商条約改訂委員に累進，官界に威勢を張ったが，袁世凱と合はずして下野。1910年中国赤十字社総理に任ぜらる。同年袁世凱失脚後稅務大臣となり，翌年郵伝部侍郎，次で大臣となり，御史石長信の發議たる鉄道国有を主張したが，同年5月幹線鉄道国有の上諭發せらるるや猛烈な反対を受け，殊に「四川鉄道風潮」の血の反乱を惹起するに至り，遂には第1革命の導因ともなり，免職されて来日。のち再び帰国して上海に到り，専ら財界の重鎮としておさまっていたが1916年上海に歿す。

盛 形 笙 Shêng Tung-shêng

江西省の人。50年~53年1月西北軍政委員会財政經濟委員会委員兼畜牧部副部長。53年1月西北行政委員会委員。54年8月第一期全国人民代表大会甘肅省代表。55年5月中国科学院生物学地学学部委員。57年7月中国科学院北京座談会で反動言論を批判せらる。59年4月政治協商會議第三期全国委員会委員。

齊(齊) 渭 川 Chi Wei-chuan  
60年6月当時青海軍区副政治委員。

齊(齊) 雨 民 Chi Yü-min  
蒙古族。54年1月青海省西蒙，蔵，ハサック族自治州人民政府委員。

齊(齊) 越 Chi Yüeh  
53年6月中華全国民主青年連合会第二期全国委員会委員。

齊(齊) 燕 銘 [振勛]  
Chi Yèn-ming [Chên-hsün]

河北省宛平県の人。蒙古旗籍。北京中国大学国学系卒業。33年中法大学および母校の講師。日華事変勃發後延安に行き中共に入党。49年末中央人民政府委員会办公厅主任兼政務院副秘書長，当時中共中央統一戦線部秘書長。54年8月第一期全国人民代表大会河北省代表。11月国務院副秘書長，兼国務院總理辦公室主任。56年10月~58年9月国務院專家局局長。59年3月第二期全国人民代表大会河北省代表。9月国務院副秘書長。60年2月文化部副部長。7月全国文芸工作者代表大会主席団員。8月中国文学芸術界連合会第三期全国委員会委員。12月中国・カンボディア友好協会成立会長，同常務理事。

齊(齊) 規(觀)山 Chi Kuan-shan  
53年7月~56年1月当時新華社記者。60年3月中華全国新聞工作者協会常務理事。

齊(齊) 堅 如 Chi Chien-ju  
56年2月民主同盟第二期中央委員会候補委員。

齊(齊) 光 波 Chi Kuang-po

60年11月中国・ネパール境界連合委員会中国代表団顧問。

齊(齊) 思 和 [致中] Chi Ssu-hé  
[Chih-chung]

河北省寧津の人。米ハーバード大学歴史科卒業。35年北平師範大学歴史系教授，北京大学文學院史学系講師。燕京大学教授ならびに同校校務委員会委員。49年1月毛沢東の8項目対時局声明を支持した燕京大学14教授中の一人。

齊 世 英 Chi Shih-ying 1898~  
奉天省鉄嶺県の人。京都帝大卒業。独ハイデルベルヒ大学卒業。25年東北国民外交処主任。28年張作霖の死後奉天に赴き国民党の東北進出を図る。その後中央政治會議特務秘書。48年以来国府立法委員。

齊(齊) 全 科 Chi Chüan-kê  
55年6月当時中共石家荘市委員会工業部部长。60年8月当時河北省冶金工業庁副主任。

齊(齊) 速 Chi Su  
58年3月~61年4月中央美術学院副院長。

齊(齊) 仲 桓 Chi Chung-huan  
黒竜江省の人。50年中南軍政委員会衛生部副部長。51年同部部长。53年1月中南行政委員会委員。7月同委員会衛生局局長。55年2月湖北省人民委員会委員。同月国務院衛生部部长助理。56年7月中ソ文化合作協定締結のため訪ソ。

齊(齊) 廷 汉(漢) Chi Ting-han  
53年5月中華全国総工会第七期執行委員。57年12月全国総工会第八期執行委員。



齐(齊)白石 [名, 璜, 字, 蘋生]

Chi Pai-shih

[Huang, Pin-shêng] 1860~1957

南画家。湖南省湘潭の人。木工出身。彫金篆刻をよくす。もと北京芸術学院中国画科教授。主として花卉草木虫魚を描く。53年10月中国文学芸術界連合会第二期全国委員会委員, 中国美術家協会主席。54年5月対外文化協合理事。8月第一期全国人民代表大會湖南省代表。55年12月東独芸術科学院通訊院士。56年2月中国亜洲団結委員会委員。57年9月死去。「斎白石画冊」, 詩稿1巻。

齐(齊)文儉 Chi Wèn-chien

55年2月河南省副省長, 河南省計画委員会主任。58年2月河南省副省長。

齐(齊)保山 Chi Pao-shan

60年12月当時集寧市市長。

芮正臬 Jui Chêng-kao

59年10月~60年5月国府駐ヴァチカン大使館参事官。60年7月~11月駐トルコ大使館参事官。61年6月駐コンゴ(レオポルドヴィル)大使館参事官。

芮廷玉 Jui Ting-yü

56年12月全国工商業連合会第二期執行委員(陝西省)。

税西恒 Shui Hsi-hêng

50年~54年9月西南軍政委員会文化教育委員会委員。54年12月政治協商会議第二期全国委員会委員。55年1月四川省人民委員会委員。56年2月九三学社第四期中央委員会委員。58年12月九三学社中央委員会第五期中央委員会

常務委員。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(九三学社)。60年4月当時重慶水道公司總工程師。

石英 Shih Ying

49年末~54年6月華東軍政委員会財政經濟委員会委員。54年8月福建省人民政府委員(工商庁庁長)を解任。55年2月上海市人民委員会委員(輕工業辦公室主任)。61年4月国務院対外經濟連絡総局副局長。

石覺 Shih Chüeh

59年7月国府連合勤務総司令(陸軍2級上將)。61年6月連任。

石玉璞 Shih Yü-pu

56年12月全国工商業連合会第二期執行委員(河南省)。

石金河 Shih Chin-hé

55年11月当時中共南疆区委員会秘書長。

石現之 Shih Hsien-chih

54年12月甘肅省人民委員会委員。

石更 Shih Kêng

61年4月当時中国共産主義青年団広西僮族自治区委員会書記。

石子珍 Shih Tzu-chên

52年11月当時寧夏省人民政府財政庁庁長。54年9月寧夏省人民政府委員を解任。

石志群 Shih Chih-chün 1924~

河北省の人, 中国京劇院秘書。56年5月~6月京劇代表団秘書として来日。

石志仁 Shih Chih-jên

鉄道専門家。49年10月中央人民政府鉄道部副部長兼機務総局局長。54年8月第一期全国人民代表大會河北省代表。11月国務院鉄道部副部長。55年5月中国科学院技術科学学部委員。58年4月当時中国機械工程学会理事長。59年3月第二期全国人民代表大會河北省代表。9月鉄道部副部長。

石志本 Shih Chih-pên

55年9月1級解放勲章授与。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(特別招請人士)。

石汝麟 Shih Ju-lin

54年4月当時内蒙古自治区人民政府農牧部副部長。

石少华(華) Shih Shao-hua

53年10月当時新華社記者。58年9月中国・イラク友好協合理事。59年4月政治協商会議第二期全国委員会委員(中国文芸界代表)。9月新華通訊社副社長。60年3月中華全国新聞工作者協会常務理事。7月全国文芸工作者代表大會主席団員。8月中国文学芸術界連合会第三期全国委員会委員, 中国撮影学会主席。

石筱山 Shih Hsiao-shan

54年12月政治協商会議第二期全国委員会委員(医業衛生界)。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(医業衛生界)。

石新安 Shih Hsin-an

55年2月貴州省人民委員会委員。

石世庆(慶) Shih Shih-ching

解剖学者, 中共の医科大学講師。56年10月

~11月アジア太平洋洲電子顕微鏡会議出席のため団員として来日。

石生 Shih Shêng

56年10月中共駐外蒙大使館商務参事官。60年6月当時駐イエメン公使館商務参事官。

石西民 Shih Hsi-min

41年新4軍従軍の新華日報記者。52年11月当時中共江蘇省委員会宣伝部長。56年3月中共上海市委員会宣伝部部長。60年4月当時上海市中ソ友好協会会長。5月中共上海市委員会候補書記。10月当時保衛世界和平委員会上海市分会副主席。61年10月当時上海市中ソ友好協会会長。

石泉 Shih Chüan

55年6月当時中国民主促進会地方組織代表。

石增荣(榮) Shih Tsêng-jung

54年8月第一期全国人民代表大會ハルビン市代表, 49年末~54年8月松江省人民政府委員。59年3月第二期全国人民代表大會黒竜江省代表。

石兆棠 Shih Chao-tang

広西省柳州の人。現在57歳位。暨南大学卒業。日本に留学し経済学研究。戦時中, 中山大学講師, 広西建設研究会研究員, 広西日報社長。50年厦門大学経済系教授。55年広西大学教務長。2月広西省人民委員会委員, 政治協商会議第一期広西省委員会副主席。59年3月第二期全国人民代表大會広西僮族自治区代表。4月同大会第1次会議で「広西僮族自治区教育事業の大発展」について合同発言。著書「科学概論」。



## 石 堂 Shih Tang

河北省の人。現在47歳位。大西遷時代は共産軍幹部。54年9月広西省人民政府委員、人事庁庁長。

## 石 拔 英〔女〕 Shih Pa-ying

53年中華全国民主婦女連合会第二期候補執行委員。

## 石 邦 智 Shih Pang-chih

湖南省の人。苗族。53年1月中南行政委員会委員。当時湖南省湘西苗族自治州人民政府主席。54年8月第一期全国人民代表大会湖南省代表。55年2月湖南省人民委員会委員。59年3月第二期全国人民代表大会湖南省代表。4月同大会第1次会議で「湘西各民族人民は躍進また躍進する」について発言。民族委員会委員。

## 石 鳳 翔 Shih Fêng-hsiang 1896~

湖北省孝感の人。京都工業大学紡績科卒業。帰国後保定工業学校、武昌甲種工業学校教員。楚興紡績学校校長。20年裕華紡績廠を設立、総工程師、石家荘大興紡績廠廠長。34年西安に大華紡績廠を設立。以上三公司の総經理。終戦後台湾省桃園県に大奏紡績廠を設立。その董事長。

## 石 耀 Shih Yao

53年7月中国新民主主義青年団第二期中央委員会候補委員。

## 石 磊 Shih Lei

54年5月当時中共河北省寧津県委員会宣伝部部長。58年4月当時中国重工業全国委員会主席団委員。

## 石 魯 Shih Lu

58年2月中国 アラブ連合友好協会理事。  
60年4月中国 アフリカ人民友好協会理事。

## 赤江 羅桑意西 Trijang Lobsan-ishi

西藏族。赤江活仏。54年第一期全国人民代表大会大会西藏代表。9月同大会民族委員会委員。56年4月西藏自治区準備委員会全体委員、同委員会宗教事務委员会主任。59年3月第二期全国人民代表大会大会西藏代表。4月西藏暴動に際し中共國務院は反逆者として一切の職務を罷免。

## 席 文 光 Hsi Wên-kuang

54年12月政治協商会議第二期全国委員会委員（中華全国工商業連合会）。56年3月中国国際貿易促進委員会対外貿易仲裁委員会委員。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員（中華全国工商業連合会）。

## 席 炳 午 Hsi Ping-wu

53年5月中華全国総工会第七期執行委員、当時山西省工会連合会主席。同月ハンガリアのメーデー参観代表団団長。55年2月山西省人民委員会委員。57年12月中華全国総工会第八期執行委員。

## 席 凤(鳳)洲 Hsi Fêng-chou

55年1月当時國務院農業部辦公庁副主任。58年4月当時農業部対外連絡局局長。60年3月中国ラテンアメリカ友好協会理事。6月当時中国農学会秘書長。

## 戚 云(雲)〔女〕 Chi Yün

53年7月当時中華全国民主婦女連合会国際工作部副部長。54年12月訪仏婦人代表団団員として渡仏。55年6月世界母親大会出席代表団団員としてスイス訪問。60年12月当時全婦連国際連絡部副部長。

## 戚 景 龙(龍) Chi Ching-lung

54年8月遼東省人民政府委員解任。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員（中国民主促進会）。

## 戚 庆(慶)才 Chi Ching-tsai

54年8月中国キリスト教三自愛国運動委員会常務委員。

## 戚 元 德〔女〕 Chi Yüan-tê

59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員（中華全国総工会）。

## 戚 祥 麟 Chi Hsiang-lin

53年11月全国工商業連合会執行委員。56年12月同連合会第二期執行委員（湖南省）。

## 戚 慕 光 Chi Mu-kuang 1918~

浙江省の人。55年1月~2月中共学術視察団秘書として来日。55年~59年当時中国人民保衛世界和平委員会辦公室主任。中国 アジア アフリカ団結委員会委員。

## 切 群 加 Chieh-chün-chia

西藏族。53年12月青海省海南藏族自治州人民政府副主席。

## 雪古巴 嘉様凱珠

Shakapa Gyayang-keitrup  
56年4月西藏自治区準備委員会財政処副処長。

## 雪康 土登尼瑪 Shokang Tuteng-nima

西藏族。53年6月中華全国民主青年連合会第二期全国委員会常務委員。7月ブカレスト

の世界青年学生懇親会に出席、当時拉薩市愛国青年文化連誼会主任委員。56年4月西藏自治区準備委員会全体委員、当時拉薩市愛国青年文化連誼会副主任委員。

## 薛 毓 麒 Hsüeh Yü-chi 1917~

江蘇省の人。39年中央政治学校卒業。45年濠メルボルン大学卒業。45年~46年マニラ副領事。46年~48年駐比大使館2等書記官。48年~49年外交部条約司国連科長。49年~50年条約司次長。50年~51年欧洲司および亜東司次長。51年~55年条約司長。55年国連派遣中国代表代理。56年5月国連扶養義務会議代表。9月原子力機構規約国際会議代表。58年2月国連海洋法会議代表。60年8月駐国連代表団公使級副代表。著書“International Regional System”

## 薛 燄 Hsüeh Yèn

元広州市人民政府公安局局長、55年6月広州市副市長。

## 薛 海 萍 Hsüeh Hai-ping

56年3月当時中共陝西省延安県委員会書記。

## 薛 覺 先 Hsüeh Chüeh-hsien

粵劇俳優。54年12月政治協商会議第二期全国委員会委員（中国文学芸術界連合会）。

## 薛 岳〔伯陵〕 Hsüeh Yüeh

[Po-ling]  
広東省樂昌県の人。保定軍官学校卒業。25年まで蔣介石の東征国民革命軍第14師副師長、第1師長。27年新編第2師長。28年北伐に参加、広東国民政府軍事委員会委員、広西陸軍軍官学校長、西南軍事委員会委員。30年



第5軍軍長。36年中央監察委員。37年貴州省政府主席兼雲南貴州綏靖副主任。38年第9戰区總司令。38年~45年湖南省政府主席。45年第9戰区司令官。5月徐州綏靖公署主任。48年5月總統府參軍長。10月戰略顧問委員會委員。49年~50年廣東省主席。50年海南島防衛總司令。50年~56年, 60年當時總統府戰略顧問委員會顧問。58年7月行政院政務委員。

薛 奇 Hsüeh Chi

53年7月當時東北煤礦管理局副局長。55年12月當時中央豎井國家驗收委員會主任。煤炭(石炭)工業部瀋陽管理局副局長。

薛 愚〔慕回〕 Hsüeh Yü

[Mu-hui] 1898~

湖北省樊城の人。濟南齊魯大學理化學科を卒業。仏パリ大学博士。25年北京清華大學理化學科教授。47年中国科学工作者協會委員, 九三学社会員。53年3月北京市選挙委員会委員, 当時九三学社中央委員, 北京医学院薬学系主任教授。54年8月第一期全国人民代表大会湖北省代表。55年1月中国科学院代表として全インド科学大会に出席, 全パキスタン科学促進会にも参加。55年2月北京市人民委員会委員。12月中共学術視察団団員として来日。56年2月九三学社第四期中央委員会委員。6月九三学社組織部副部長。57年8月九三学社全国整風工作會議に於て右派分子として批判される。59年4月政治協商會議第三期全国委員会委員(九三学社)。

薛 公 綽 Hsüeh Kung-chuo

生理学者。53年2月~5月中国科学院訪ソ代表団団員として訪ソ。55年11月北京医学院副院長。56年2月九三学社第四期中央委員会委員。58年5月当時中国医学科学院副院長。

12月九三学社第五期中央委員会常務委員。59年当時中華医学会秘書長。60年11月中華医学会医学代表団を率いて訪英。

薛 光 Hsüeh Kuang

53年6月当時中共中央東北局財經工作部副部長。

薛 光 前 Hsüeh Kuang-chien

(Sih Paul K. T) 1909~

上海の人。東吳大学卒業, イローマ大学博士, カロル大学法学博士。36年~38年鉄道部技術顧問。38年~43年交通部技術顧問, 首席書記官, 副監督長, 監督長を歴任。41年~42年東吳大学法律科教授。44年~45年外交部技術顧問。45年~46年在伊公使格代理大使。46年~49年在伊公使格参事官。47年~49年バルカン問題国連特別委員会中国代表団長。51年以降米セントポール大学極東研究会会長兼教授。56年10月第9回ユネスコ大会代表。60年11月第11回ユネスコ大会代表。著書「孔子よりクリスト迄」(イタリー語)「米国における神聖」「より偉大なる完成」。

薛 向 晨 Hsüeh Hsiang-chên

54年9月当時西北行政委員会民族事務委員会副主任委員。59年9月国务院民族事務委員会委員。60年12月民族事務委員会副主任。

薛 宏 福 Hsüeh Hung-fu

53年1月当時青海省人民政府商業庁庁長。54年12月青海省人民委員会委員。

薛 克 明 Hsüeh Kê-ming

53年1月当時青海省人民政府公安庁庁長。58年7月青海省副省長(再選)。

薛 子 正 Hsüeh Tzu-chêng

元人民解放軍軍区参謀長。49年末~54年北京市人民政府委員兼秘書長。55年2月北京市副市長。56年11月国务院国家經濟委員会副主任。59年4月政治協商會議第三期全国委員会委員(中国共産党)。5月当時中共党統一戦線工作部副部長。

薛 志 龙(龍) Hsüeh Chih-lung

53年11月全国工商業連合会第一期執行委員。

薛 壽 衡 Hsüeh Shou-hêng

56年6月当時国府駐シドニー総領事。60年7月免シドニー総領事。11月外交部参事。

薛 綬 宸 Hsüeh Shou-chên

49年末~54年8月松江省人民政府委員。55年1月黒竜江省人民委員会委員。

薛 春 圃 Hsüeh Chun-pu

55年1月中共駐北鮮大使館商務参事官。

薛 少 卿 Hsüeh Shao-ching

55年9月1級解放勳章を授与する。60年9月国务院第3機械工業部副部長。

薛 尚 实 Hsüeh Shang-shih

元中共山東省青島市委員会副書記。53年12月同濟大学校長。57年12月中華全国総工会第八期執行委員。

薛 樵 Hsüeh Chiao

51年中央人民政府政務院情報総署国外調査研究局局長。52年中共中央社会部国内調査研究局局長。54年5月中国人民対外文化協理會理事。

薛 人 仰 Hsüeh Jên-yang

60年11月国府内政部常務次長。

薛 迅〔女〕 Hsüeh Hsin

湖南省の人。48年8月河北省人民政府委員, 中共河北省委員会組織部長。52年8月河北省副主席。54年8月第一期全国人民代表大会河北省代表。59年4月免石油工業部部長助理。任北京師範大学副校長。

薛 代 强〔別号, 子嘉〕

Hsüeh Tai-chiang [Tzu-chia]

江蘇省啓東県の人。メキシコ・タンピコ華僑。国立中央大学文学士。フランス・トゥールーズ大学法学博士。現在タンピコ領事。59年6月当時駐エクアドル国府大使館参事官。60年4月免駐エクアドル大使館参事官。4月駐アルゼンティン国府大使館参事官。著作「古国の賦税」「民国25年」「中国外交年鑑」等。

薛 篤 弼〔子良〕 Hsüeh Tu-pi

[Tzu-liang] 1890~

山東省の人。13年山西法律専門学校卒業。28年内政部長。後衛生部長, 国民党中央執行委員会委員, 總統府顧問, 翁内閣の水利部長を歴任。48年5月~11月社会部長。56年1月政治協商會議第二期全国委員会特別招請委員。59年4月政治協商會議第三期全国委員会委員(特別招請人士)。

薛 品 軒 Hsüeh Pin-hsüan

59年4月政治協商會議第三期全国委員会委員(中国民主建国会)。

薛 暮 桥(橋) Hsüeh Mu-chiao

經濟学者。日華事変前, 雑誌「中国農村」によって農村問題の研究, 啓蒙に当り, 戦争



中は華中抗日大学、43年山東大学教授。49年10月政務院財政經濟委員会委員、兼同委員会秘書長、同委員会中央私營企業局局長。52年5月中国国際貿易促進委員会委員、当時国家統計局局長。54年8月第一期全国人民代表大会江蘇省代表。9月同大会法案委員会委員。11月国務院国家計画委員会副主任、同院国家統計局局長。12月中ソ科学技術合作委員会代表団長として訪ソ。55年5月中国科学院哲学社会科学学部委員。56年6月国務院科学規劃委員会副秘書長。59年3月第二期全国人民代表大会江蘇省代表。4月同大会予算委員会委員、同会副主任委員。9月国家經濟委員会副主任兼委員。解任国家計画委員会副主任。10月論文「社会主義社会的按勞分配制度」を発表（人民日報23日）。60年12月国家計画委員会副主任。国家經濟委員会副主任解任。著書「中国農村經濟常識」「思想方法与学習方法」「中国革命の基本問題」。

薛 万 祥 Hsüeh Wan-hsiang

54年8月第一期全国人民代表大会甘肅省代表。

薛 明 Hsüeh Ming

55年2月遼寧省人民委員会委員。

薛 兰(蘭)斌 Hsüeh Lan-pin

54年12月甘肅省人民委員会委員。

千 家 駒 Chien Chia-chü 1910~

浙江省武義の人。35年当時北京大学法学院経済学系講師。終戦後香港の民主同盟支部責任者。かつて「文匯報」の経済週刊を編集。49年末中央人民政府政務院財政經濟委員会委員、兼同委員会中央私營企業局副局長。53年11月全国工商業連合会第一期執行委員。54年

11月国務院中央工商行政管理局副局長。12月政治協商会議第二期全国委員会委員。55年5月中国科学院哲学社会科学学部委員。56年2月北鮮慰問。同月民主同盟第二期中央委員会委員。3月政治協商会議學習委員会委員。12月全国工商連 第二期 執行委員（特別招請）。58年12月中国民主同盟第三期中央常務委員会常務委員。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員（中国民主同盟）。9月中央工商行政管理局副局長。著書「中国の内債」「広西省經濟研究」。

先 喀 居美多杰 Senge Chumi-dorji

西藏族。56年4月西藏自治区準備委員会委員。59年3月西藏反乱事件により西藏自治区準備委員会委員及び一切の職務を剝奪さる。

宣 鐵 吾 Hsüan Tieh-wu 1905~

浙江省諸暨県の人。黄埔軍官学校第一期卒業生。憲兵団団長、警備司令部參謀長、浙江省保安処長、第3戦区督察団長、三民主義青年団中央幹事を歴任。48年淞滬警備司令。蔣介石の13名の親衛隊的將官の一人といわれる。

洗 依 Hsien I

53年12月当時中共西北局組織部党員管理处処長。60年3月駐チェコスロヴァキヤ大使館參事官。

詹 化 雨 Chan Hua-yü

59年3月西藏自治区準備委員会委員。60年2月当時解放軍西藏軍区代理政治委員。10月当時中共西藏工作委員会常務委員。

詹 才 芳 Chan Tsai-fang

日華事変中第18集団軍晋冀辺軍区冀西軍区第3軍分区副司令。中国人民解放軍成立後第

4野戦軍第1兵団第46軍長。50年朝鮮戦争に参加したといわれる。52年8月~53年1月中南軍政委員会政治法律委員会委員。57年9月当時広州地区駐軍首長（中將）。59年3月第二期全国人民代表大会軍隊代表。4月国防委員会委員。

詹 东 洛桑郎杰

Chandung Lobsan-namgyel

西藏族。56年4月西藏自治区準備委員会財政經濟委員会副主任。59年3月西藏自治区準備委員会委員。

詹 武 Chan Wu

(Chan Mou) 1919~

浙江省の人。元陝甘寧辺区人民銀行經理。49年末中国人民銀行国外業務管理处副処長、中国銀行副經理。53年1月~55年3月当時中国人民銀行国外業務局局長。5月当時中国銀行副總經理。54年11月当時中国銀行董事、副總經理。55年3月~4月中共貿易代表団員として来日。

翦 伯 贊 Chien Po-tsan 1898~

湖南省桃源の人。もと国民党員。26年~27年北伐の際国民革命に参加政治活動を行う。31年国民党第4次全国代表大会山西省代表。覃振司法院副院長に随行して欧洲視察。戦争中湖南藍田国民学院教師、史学を研究。戦後上海に移る。49年春パリの平和大会に出席。9月政治協商会議に出席。10月政務院文化教育委員会委員、中ソ友好協会総会理事。54年8月第一期全国人民代表大会湖南省代表。9月同大会民族委員会常務委員。当時北京大学史学系主任。55年5月中国科学院哲学社会科学学部委員。6月中国インドネシア友好協理

事。12月中共學術視察団員として来日。56年11月中国エジプト友好協会理事。58年2月中国 アラブ連合友好協会理事。7月中国人民保衛世界和平委員会委員。59年3月第二期全国人民代表大会湖南省代表。9月国務院民族事務委員会委員。11月中国・ビルマ友好協会副会長。

錢 伟(偉)长(長) Chien Wei-chang

清華大学物理学および応用数学教授。ジェット機の権威といわれる。51年10月インド・ビルマ訪問文化代表団員。52年5月中緬友好協会副会長。53年5月~55年3月当時清華大学教務長。53年6月中華全国民主青年連合会常務委員。9月当時中華全国自然科学専門学会連合会常務委員。54年5月中国人民对外文化協会理事。8月第一期全国人民代表大会江蘇省代表。同月世界民主青年連盟理事会北京会議列席中共代表団代表。55年5月中国科学院物理学数学化学学部委員。56年2月中国民主同盟第二期中央委員会委員。12月清華大学副校長。57年7月中華全国自然科学専門学会連合会第一期全国委員会第2次拡大会議に於て右派分子として批判される。58年2月第一期全国人民代表大会第5次會議に於て「右派分子」の理由により代表資格を剝奪。60年11月右派分子のレッテルを除かる。

錢 永 萱 Chien Yung-hsüan

新民主主義青年団員。労働模範。かつて東ドイツに中共見本市代表団工作員として赴いたことあり。鞍山鋼鐵公司技術員。55年10~11月の間 中共見本市代表団 工作員 として来日。

錢 永 銘 Chien Yung-ming 1885~

上海生れ。神戸高等商業卒業。27年~29年



浙江省政府財政庁長。その後上海銀行公会副会長、上海商会会長、北京銀行公会副会長、南京東南大学校長、暨南大学校長、中華職業教育会会長歴任。38年交通銀行董事長、郵政貯蓄匯業総局監理委員会主席。中国太平保險有限公司総経理。46年1月政治協商会議に民主同盟代表（交通銀行代表）として参加。

錢 瑛〔女〕 Chien Ying

49年中南軍政委員会人事部長。当時中共中央中南局 組織部副部長 兼婦女工作 委員会書記。52年11月政務院人民監察委員会副主任。53年1月婚姻法貫徹運動委員会委員。4月中華全国民主婦女連合会第二期執行委員。54年8月第一期全国人民代表大会山東省代表。9月国務院監察部部長。56年6月全国人民代表大会第3次會議提案審査委員会委員。9月中共八全大会で「官僚主義と戦え」と題して発言、中共第八期中央委員会委員、中央監察委員会委員、同監察委員会副書記。57年9月中華人民共和国全国婦女連合会第三期執行委員会執行委員。59年3月第二期全国人民代表大会山東省代表。4月同大会提案審査委員会委員。内務部部長。

錢 益 民 Chien I-min

55年2月湖北省高級人民法院院長。

錢 应(應)麟 Chien Ying-lin

35年当時北平の大学生として一二・九運動に参加。49年11月鉄道計画総局局長。50年3月兼任鉄道組織調査委員会常務委員、同会停車場調査委員。55年1月～57年10月国務院鉄道部部長助理。57年10月～60年3月河北省唐山鉄道局局長兼中共党省委員会書記。60年3月北京鉄道局局長兼共産党委員会書記。北京鉄道学院院長、免唐山鉄道学院院長。12月国務

院鉄道部副部長。

錢 嘉 光 Chien Chia-kuang

53年10月当時天津紡織機械廠副廠長。54年8月第一期全国人民代表大会天津市代表。59年3月第二期全国人民代表大会河北省代表。4月同大会第1次會議で「今日一日苦しくても明日は無上のしあわせがある」と題して発言。

錢 学 森 Chien Hsüeh-sên 1912～

江蘇省無錫の人。34年上海交通大学卒（機械工学専攻）直ちに清華大学奨学資金により渡米、カリフォルニア工科大学にて航空力学を専攻。4カ年後同学卒業。のち、同学助教授。46年同工科大学の教授。のち「グーゲンハイムジェット推進力本部」理事となる。50年中共の大陸制圧と共に帰国を試みたがハワイでアメリカに逆送される。55年10月アメリカより帰国、中国科学院の下に設立予定の力学研究所準備委員会主任となる。56年1月政治協商会議第二期全国委員会委員（無党派民主人士代表）。3月国務院科学規画委員会委員。4月全国先進生産者代表會議主席団員。5月当時中国科学院力学研究所所長。58年4月当時中国力学学会理事長、中国自動化学会準備委員会主任委員。12月中国共産党に入党。当時中国科学院編訳出版委員会主任。59年3月第二期全国人民代表大会広東省代表、60年3月同大会第2次會議主席団員。61年11月中国自動化学会会長に当選。

錢 其 琛〔公南〕 Chien Chi-chên  
[Kung-nan] 1901～

江蘇省の人。24年国立交通大学卒業。32年～48年交通部技師。43年～45年交通部郵電局代理局長。43年～48年電信総局長代理。47年以来国民大会代表。48年電信総局長。48年～

49年国際高周波無電放送会議中国代表。50年交通部常務次長。56年3月第11回国際電信連合会行政理事会會議代表。57年4月第13回同代表。59年4月第14回同代表。60年7月当時電信総局局長。61年4月第16回同代表。

錢 杏 村〔邨〕[筆名一阿英、張若、方英]  
Chien Hsing-tsun [A-Ying,  
Chang-Juo, Fang-Ying] 1905～

安徽省の人。文芸批評家。蔣光慈等とともに「太陽月刊」を創刊、ついで「海風週報」を主宰、文芸批評および論文を発表。「太陽社」解散後現代文学史、ついで清末文学史の研究に専念。対日戦中は大同大学院長。また上海で「中国文化史料供給社」を創設。新4軍の陣中演劇運動を指導し「李闖王」の演出を担当。49年7月中華全国文学芸術界連合会全国委員会委員兼指導部副部長、天津市人民政府文芸局局長。53年10月中国文学芸術界連合会第二期全国委員会委員、中国作家協会理事會理事。54年3月当時華北文学芸術界連合会準備委員会主任。55年6月当時中国文学芸術界連合会副秘書長。60年8月同連合会第三期全国委員会委員。著作、「創作と生活」「アンドレエフ評伝」「現代中国文学論」「中国現代文学作家」「中国新文学運動史資料」「中国新文学大系史料索引」「小説閑談」「晚清小説史」等。詩集「暴風雨の前夜」「荒土」「夜航集」(小説)等。

錢 鈞 Chien Chün

59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(特別招請人士)。60年6月当時浙江軍区副司令員。

錢 三 强 Chien San-chiang 1910～

浙江省吳興の人。原子核物理学。文字言

語学者錢玄同の子息。36年北平清華大学物理学系卒業後、北平研究院物理研究所で研究。37年フランスへ留学、国立フランス学院で近代物理学を専攻。キュリー物理研究所研究員、原子物理学を専攻。49年フランスより帰国。中央研究院、清華大学、北京研究院等の教授。5月中華全国民主青年連合会副主席。9月政治協商会議全国委員会委員。50年4月パリ平和大会に出席。中国科学工作者協会理事、抗米援朝総会委員、政務院文化教育委員会委員、中ソ友好協会総会理事。53年1月当時世界人民平和大会中共代表団団員。2月政治協商会議全国委員会常務委員。2月～5月中国科学院訪ソ代表団団長。3月スターリン逝去弔問団団員。7月～55年6月当時中国科学院近代物理研究所所長。53年9月中華全国自然科学専門学会連合会常務委員、当時中国物理学会副理事長。54年2月当時中国科学院訪ソ代表団団長。4月科学院秘書処秘書長。8月第一期全国人民代表大会山東省代表。55年5月中国科学院物理学数学化学学部委員。6月同学部常務委員会委員。56年3月国務院科学規画委員会委員。57年7月中華全国自然科学専門学会第1期全国委員会第2次擴大會議に於て曾昭倫、錢偉長の反社会主義活動を批判。9月中華人民共和国科学技術協会第一期全国委員会委員。59年9月当時中国科学院副秘書長。10月論文「大きく発展しつつある中国の原子力平和利用」を発表(人民日報11日)、当時中国科学院原子力研究所所長。59年当時中国物理学会副理事長。

錢 之 光 Chien Chih-kuang

中共黨員。49年政務院紡織工業部副部長。52年政務院財政經濟委員会委員兼任。53年1月北京における「中国・ルーマニア科学および技術協力協定」調印式に列席。54年11月国務院紡織工業部副部長。56年9月中共八全大



会において「紡織工業を發展せしめよ」と発言。59年3月第二期全国人民代表大會山東省代表。9月紡織工業部副部長。

錢 志 道 Chien Chih-tao

53年1月東北人民政府候補委員解任。55年1月國務院第2機械工業部部長助理。5月中国科学院技術科学学部委員。6月同学部常務委員会委員。

錢 思 亮〔惠嘯〕 Chien Ssu-liang

[Hui-chou] 1908~

浙江省杭県の人。31年国立清華大学卒業。32年米イリノイ大学卒業。34年同大学博士（「具有旋光性之雙輪基質變為不旋光体之速度」研究）。34年~40年国立北京大学教授。41年~45年新アシア化学薬学研究所研究員。45年~46年經濟部化学工業部長。46年~49年国立北京大学化学系主任教授。49年~51年国立台湾大学研究部長。51年国立台湾大学総長。51年~52年中国化学協会理事長および中国科学振興協会理事長。

錢 俊 瑞 Chien Chün-jui 1903~

江蘇省無錫県の人。日本に留学。26年中共に入党。34年中国農村經濟研究会に入り、「会報」「中国農村」等の編集、マルクス主義の宣伝に従事。37年日華事変勃発後上海にて活動。新4軍に従い揚子江南北において戦闘、文化宣伝に従事、中共中央華中局文化事業委员会主任。戦後北平の新華社を主宰ついで総編集。華北大学教育長。陳紹禹および張聞天等の文理派に属す。華北人民政府高等教育委員会副主任。49年6月ワルシャワで開催のポーランド労働組合第2回大会に中共代表として出席。10月政務院教育部副部長、同院文化教育委員会委員、中ソ友好協会総会総幹事。

12月中国人民外交学会理事、53年2月~54年1月当時文化教育委員会秘書長。53年3月スターリン逝去弔問団団員として訪ソ。54年4月~6月中ソ友好協会ソ連メーデー参観団団長。5月中国人民対外文化協会理事。8月第一期全国人民代表大會江蘇省代表。9月同大会法案委員会委員。11月國務院第2辦公室副主任、文化部副部長。12月政治協商會議第二期全国委員会委員。同月中ソ友好協会第二期理事会秘書長。55年5月中国科学院哲学社会科学学部委員。6月~11月当時文化部長不在中代理部長。7月中国人民外交学会理事。同月同学会第三期理事会理事。56年2月中央標準語普及工作委員会委員。3月國務院科学規画委員会委員、全国文盲一掃協会委員。7月中ソ文化合作協定締結のため中共側代表団長として訪ソ。9月中共第八期中央委員会候補中央委員。57年9月ソ連社会主義革命40周年慶祝準備委員会委員。59年3月第二期全国人民代表大會江蘇省代表。4月政治協商會議第三期全国委員会委員（中国対外和平友好団体）、同常務委員。3月中ソ友好協会第三期理事会秘書長。9月國務院文教辦公室副主任。同月文化部副部長。11月中ソ友好協会訪ソ代表団団員。60年1月业余教育委員会委員。5月全国文教先進工作者代表大會主席団員。8月中国文学芸術界連合会第三期全国委員会委員。

錢 昌 照〔乙黎〕

Chien Chang-chao [I-li] 1900~

江蘇省常熟県の人。英ロンドン大学卒業。国民政府外交部秘書、文官処秘書等を経て、31年国民政府教育部常務次長。同年末政変により辞任。32年再任。49年9月政治協商會議第一期全体會議特別招待代表、同會議全国委員会委員。10月政務院財政經濟委員会委員、同委員会中央財經計画局副局長。54年2月当時抗米援朝總會常務委員。8月第一期全国人

民代表大會山東省代表。9月同大会法案委員会委員。56年2月国民党革命委員会中央委員。58年12月国民党革命委員会第四期中央委員会常務委員。59年3月第二期全国人民代表大會山東省代表。4月同大会法案委員会委員。同大会第1次會議で「山東工業躍進のいくつかの経験」について発言。

錢 昌 祚〔華覺〕 Chien Chang-tsu

[Hua-chüeh] 1901~

江蘇省常熟県の人。23年米マサチューセッツ工科大学工学士（機械工学、航空工学）。浙江省公立工業学校機械科および電気科教授。北京清華学校工学系教授。33年~36年航空委員会技術部長。36年~38年空軍機械学校長。46年~49年国防部調査研究部長。49年~52年国府經濟部次長。52年国府米援運用委員会委員。59年2月当時外匯貿易審議委員会副主任委員。3月1959年度中日貿易計画會議代表団員。

錢 筱 璋 Chien Hsiao-chang

54年3月当時北京電影製片廠長。60年3月中国新聞工作者協会常務理事。7月全国文艺工作者代表大會主席団員。

錢 鍾〔鍾〕韓 Chien Chung-han

53年6月全国民主青年連合会全国委員会委員。54年12月南京工学院副院長。56年2月九三学社第四期中央委員会委員。

錢 信 忠 Chien Hsin-chung

49年中共中央委員会第2回會議に第2野戦軍を代表して出席。50年7月西南軍管委員会委員、兼同会文化教育委員、兼衛生部長。53年西南行政委員会成行立後もこれらの職に止まる。55年衛生部国家衛生委員会委員。56年國務院科学計画委員会委員。57年衛生部副部長。

58年4月当時中華全国自然科学専門学会連合会常務委員。9月中華人民共和国科学技術協会第一期全国委員会委員。59年9月衛生部副部長(再任)。60年4月中国アフリカ人民友好協会理事。

錢 崇 澍 Chien Chung-shu

54年2月~55年6月当時中国科学院植物研究所所長。54年8月第一期全国人民代表大會浙江省代表。55年5月中国科学院生物学地学学部委員。6月同学部常務委員会委員。58年4月当時中国植物学会理事長。59年3月第二期全国人民代表大會浙江省代表。4月政治協商會議第三期全国委員会委員（中国科学技術協会）、同常務委員。第二期全国人民代表大會第1次會議主席団員。同會議で「科学研究もやはり大衆とともに歩まなければならない」について合同発言。60年3月同大会第2次會議主席団員。4月中国アフリカ人民友好協会常務理事。

錢 正 英〔女〕 Chien Chêng-ying

49年4月中華全国民主婦女連合会執行委員。山東省黄河河務局副局長。華東軍政委員会水利部副部長。52年11月政務院水利部副部長。54年6月華東軍政委員会財政經濟委員会委員解任。8月第一期全国人民代表大會江蘇省代表。11月國務院水利部副部長。59年3月第二期全国人民代表大會江蘇省代表。9月水利電力部副部長。

錢 靜 人 Chien Ching-jên

60年4月中国アフリカ人民友好協会理事。8月中国文学芸術界連合会第三期委員会委員。



錢祖倫 Chien Tsu-lun

55年1月国府駐日大使館空軍武官。

錢孫(孫)卿 Chien Sun-ching

53年11月全国工商業連合会第一期執行委員。54年6月華東軍政委員会財政經濟委員会委員解任。8月第一期全国人民代表大会江蘇省代表。55年2月江蘇省人民委員会委員。56年12月全国工商連第二期執行委員(江蘇省)。58年2月第一期全国人民代表大会第2次會議に於て「右派分子」の理由により代表資格を剝奪さる。

錢泰 [嗒平]

Chien Tai [Cieh-ping] 1888~

浙江省嘉興の人。パリ大学法学博士。帰国後北京政府司法部秘書参事。19年パリ講和會議中国代表団専門委員。後華府會議参加。帰国後外交部条約委員会副委員長、代理外交部次長、編訳処処長。21年連盟總會中国代表。33年~42年駐ベルギー公使。42年外交部次長。43年~44年駐ベルギー大使、44年~49年駐フランス大使。現在米国ニューヨーク。

錢大衛(衛) Chien Ta-wei

53年7月当時中華全国民主青年連合会駐世界青連連絡員。同月ブカレストの世界青年代表大会中共青年代表団団員。54年8月世界民主青年連盟理事会北京會議中共代表団団員。56年1月当時中華全国学生運動連合会副秘書長。2月学生代表団団員としてオーストリア訪問。5月アジア・アフリカ学生会議国際準備委員。58年4月中華全国青年連合会第三期全国委員会委員。60年4月中国アフリカ人民友好協会常務理事。61年5月国際学生連合会執行委員会(キューバ)中国代表団団長。当時中華全国青年連合会国際連絡部副部長。

錢大鈞 [慕尹] Chien Ta-chün

[Mu-yin] 1892~

江蘇省崑山県の人。前清江蘇陸軍小学堂、保定陸軍軍官学校に学ぶ。第1革命軍に加わり南京攻略に従事。日本に亡命、16年日本陸軍士官学校卒業。19年帰国、粵軍第1師参謀。24年黄埔陸軍軍官学校教官。25年同校学生隊参謀長、陳炯明討伐に従事、第1師副師長。26年第1師長、第20師長。27年北路軍總指揮、第8路軍右翼軍總指揮等歴任。28年国民革命軍第1集團軍第32軍長、軍事委員会委員、淞滬警備司令、江蘇省政府委員、29年第13軍司令官。30年第3教導師を組織し兼師長。同年陸軍大演習参観のため渡日、帰国後武漢要塞司令兼中央陸軍軍官学校武漢分校教育長。31年陸軍第89師長。32年師長解任。武昌行營参謀長。江南剿匪總司令、陸軍空軍總司令部高級参謀等歴任。35年第五期中央執行委員。36年軍事委員会黄埔行營侍從室主任。39年~40年航空委員会委員長。42年~44年軍政部次長。45年大元帥副官。45年8月上海市長。46年市長職を呉国楨にゆずり退官。46年国府戰略顧問委員会委員。

錢端升 Chien Tuan-shêng 1899~

江蘇省上海の人。米ハーバード大学博士。国立北京大学および国立北京師範大学講師。国民党中央宣伝部国際組編纂員、国民政府大学院文化事業処処長、国立中央大学法学院政治学系副教授、国立清華大学政治学教授を歴任。のち北京大学法学院院長。49年10月政務院文化教育委員会委員12月中国人民外交学会副会長。50年当時中国政治法律学会準備委員、のち同学会副主席。53年1月当時北京政法学院院長、北京市各界人民代表會議協商委員会副主席、5月~55年10月当時中国教育工会全国委員会副主席。53年10月中国人民第3回訪

鮮慰問団第1總分団長。54年8月第一期全国人民代表大会上海市代表。9月同大会法案委員会委員。12月政治協商會議第二期全国委員会委員、同全国委員会常務委員。55年1月中国科学院代表団団長として全インド科学大会に出席。同月全パキスタン科学促進会第七期會議に参加。6月ヘルシンキ世界平和大会中共代表団団員。7月~56年8月当時世界平和理事会理事。55年7月各国議會連盟参加の人民代表執行委員会委員。10月~11月当時政治協商會議北京市委員会副主席。11月北京における日本憲法擁護国民連合訪華代表団との共同コミュニケ調印式に参加。56年2月民主同盟第二期中央委員会委員、同中央常務委員会委員。3月中国政治法律学会第二期副会長。同月世界平和理事会特別會議中共代表団団員としてスウェーデン訪問。5月中国ブラジル友好協会理事、兼同協会副会長。58年2月第一期全国人民代表大会第5次會議に於て「右派分子」の理由により代表資格及び法案委員を罷免された。59年4月政治協商會議第三期全国委員会委員(特別招請人士)。著書「仏国の政治組織」等。

錢端有 Chien Tuan-yu

55年1月天津市人民委員会委員。59年3月第二期全国人民代表大会河南省代表。

錢仲举 Chien Chung-chü

55年8月第一期全国人民代表大会遼寧省代表。59年3月第二期全国人民代表大会遼寧省代表。

錢抵千 Chien Ti-chien

60年9月アラブ連合訪問中国軍事代表団団員。12月ビルマ訪問軍事代表団団員。当時解

放軍總政治部宣伝部宣伝処処長。

錢天鶴 [安濤] Chien Tien-hê

[An-tao] 1893~

浙江省杭州の人。18年米コーネル大学農学士。帰国後南京金陵大学農学科教授兼蚕科主任。19年~23年南京大学助教授、浙江公立農業専門学校校長、杭州緯成公司部長。27年~29年教育部社会教育司長。29年~32年国立中央研究院首都自然史博物館長、浙江省林務局長。32年~37年実業部中央農業実験所副所長。38年~40年經濟部農林司長。40年~47年農林部次長。47年~48年国連食糧農業機構地区顧問。48年~51年中国農村復興委員会農業改良組長および農民組織次長。52年以来同委員会委員。

錢稻孫(孫) Chien Tao-sun 1887~

浙江省呉興の人。幼少の頃より日本にあり慶応普通部、東京高等師範附属中学卒、その後イタリア、ローマ大学卒業。帰国後教育部主事、視学、僉事(主事)、国立北京大学東方文学系講師。27年国立清華大学外国文学系講師、北京法制学院、朝陽大学、民国大学等教授歴任。39年北京大學復活するや同大学本部秘書長、のち校長。中共政權成立後も北京大学教授。

錢萍 Chien Ping

53年10月当時中ソ石油股份公司副總經理。56年9月当時新疆石油管理局副局長。

錢文極 Chien Wên-chi

(Tsien Wen-jih)

江蘇省の人。現在45歳。北京電信技術科学研究所主任。57年2月東京で開催の国際地球観測年西太平洋地域連絡會議に出席。



錢 穆 [賓四] Chien Mu  
[Pin-ssu] 1895~

江蘇省無錫県の人。かつて燕京、北京、西南連大、華西、齊魯の各大学教授および江南大学文学院長を歴任。香港新亜書院院長。55年6月香港大学名誉法学博士。60年1月6ヶ月の予定で米国へ学術講演旅行に向った。著書「論語要略」「近年学術思想史」「国学概論」等。

錢 銘 岐 Chien Ming-chi

中共党员。中共中央統一戦線工作部員、中華全国総工会国際部秘書。国務院監察部部長錢琪の弟といわれる。56年11月中共工会代表团秘書として来日。

錢 用 和 [女] [名, 祿園]

Chien Yung-hè [Lu-yüan]

江蘇省常熟の人。務本女塾師範科、国立女子高等師範卒業。22年江蘇省教育庁勤務。25年~27年欧米教育視察。帰国後北京師大、上海暨南大、南京金陵女大、重慶女師院、交通大学等の教授。江蘇省教育庁、南京市政府社会局、教育部賑濟委員会等に勤務。戦時中新生活運動促進会婦女指導委員会、中国戦時児童保育会、中国婦女自衛抗戦将士慰勞總會等にて活躍。国民参政第二期参政員、国民党6全大会代表、中央候補監察委員、国民大会代表、国民憲政促進会常務委員。48年国府監察委員、中華婦女反共抗ソ連合会常務委員。

錢 李 仁 Chien Li-jèn

53年6月中華全国民主青年連合会副秘書長。7月中国新民主主義青年団第二期中央委員。同月ブカレストにて開催の世界青年代表大会中共青年代表团員。54年8月世界民主青年連盟理事会北京会議中共代表团員。57年

5月中国共産主義青年団中央委員会常務委員。58年4月中華全国青年連合会第三期全国委員会常務委員。9月中国・イラク友好協合理事。59年当時中国・アジア・アフリカ団結委員会委員。59年4月当時中華全国青年連合会秘書長。政治協商会議第三期全国委員会委員(中華全国青年連合会)。12月当時中国共産主義青年団国際連絡部部長。60年3月中国共産主義青年団中央委員会常務委員。60年9月当時中華全国青年連合会第三期全国委員会秘書長。中国・ラテンアメリカ友好協会常務理事。61年2月第8回世界青年連合懇親大会準備委員会大会(ヘルシンキ)に中国青年代表団を率いて参加。

錢 令 希 Chien Ling-hsi

55年6月中国科学院技術科学学部委員。56年1月政治協商会議第二期全国委員会特別招請委員。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(教育界代表)。

鮮 維 峻 Hsien Wei-chün

回族。日華事変中陝甘寧辺区政府の三辺区専員公署副専員。49年中央人民政府民族事務委員会委員。

鮮 于 煥 Hsien Yü-huan

55年2月熱河省人民委員会委員。

鮮 英 [特生] Hsien Ying

[Tê-shêng] 1885~

四川省充県の人。四川陸軍速成学校および北平陸軍大学卒業。四川陸軍第10師長。重慶銅元局長。36年四川第13行政督察専員。49年中共政權成立後、中国民主同盟西南総支部臨時工作委員会委員。50年西南軍政委員会委員。53年1月西南行政委員会委員。54年7月第

一期全国人民代表大会重慶市代表。55年1月四川省人民委員会委員。56年2月民主同盟第二期中央委員会委員。

冉 雪 峰 Jan Hsieh-fêng

56年1月政治協商会議第二期全国委員会特別招請委員。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(中国医薬衛生界)。

全 候 城 Chüan Hou-chêng

60年11月当時中国民主社会党秘書長。

全 名 鈺 Chüan Ming-yü

56年1月政治協商会議第二期全国委員会特別招請委員。

然 巴 囊 吉 旺 堆

Rampa Namgyel-wangdui

53年2月西藏達頼喇嘛(ダライラマ)駐京辦事処処長。

そ

祖 拉 力 Tsu-la-li

54年9月新疆塔什庫爾干塔吉克族自治区人民政府副主席。

祖 龍(龍) 哈 的 尔(爾) Tsu-lung-ha-tê-êrh

59年3月第二期全国人民代表大会新疆ウイグル自治区代表。60年7月全国文芸工作者代表大会主席団員。

楚 云(雲) Chu Yün

53年3月当時新民主主義青年団天津市委員会書記。7月同青年団第2次全国代表大会に

て第二期中央委員。

楚 溪 春 Chu Hsi-chun

58年12月国民党革命委員会第四期中央委員会委員。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(民革代表)。

楚 崧 秋 Chu Sung-chiu

60年11月当時中国国民党第4組副主任。

楚 图(圖) 南 Chu Tu-nan 1899~

雲南省文山県の人。中学卒業後北京高師にて歴史地理を専攻。マルクス主義的学術団体「労働学会」に入会。23年卒業帰郷し雲南中学教師。28年国民党の「清党」を逃れ、ハルピンにて教師、捕われて長春で投獄。31年出獄。37年日華事変勃発後、昆明の雲南大学文学史学科主任教授。44年10月民主同盟に参加、中央委員及び常務委員となる。戦争後期、李公樸、聞一多等とともに国民党特務の監視を受け、46年間一多、李公樸の暗殺の際、重慶をへて上海に逃れ、法商学院の教授。48年秋、中共軍の江北進出後、北京に赴き、師範大学の教授。49年9月政治協商会議全国委員会委員。民主同盟西南総支部臨時工作委員会主任委員。53年1月西南行政委員会委員。3月~54年7月当時文官一掃工作委員会主任委員。53年5月民主同盟7中全会主席団員。8月当時政治協商会議全国委員会常務委員。54年2月当時抗米援朝總會常務委員。5月中国人民対外文化協会理事、同協会常務理事、同協会会長。7月当時世界平和理事会ベルリン特別会議中共代表团代表。8月第一期全国人民代表大会雲南省代表。12月政治協商会議第二期全国委員会委員、同常務委員。同月中ソ友好協会第2次全国代表会代表。55年3月アジア諸



国会議中共代表団員、同会議中国準備委員会委員。6月ヘルシンキ世界平和大会中共代表団員。7月当時世界平和理事会理事。9月～11月当時北ヨーロッパ訪問古典歌舞劇団団長。56年1月中国オリンピック委員会委員。2月民主同盟第二期中央委員会委員、同中央常務委員会委員。58年7月中国人民保衛世界和平委員会常務委員。11月第二期全国人民代表大會雲南省代表。12月中国民主同盟第三期中央委員会副主席。59年3月第二期全国人民代表大會雲南省代表。4月政治協商會議第三期全国委員会委員（対外友好団体）、常務委員。9月対外文化連絡委員会副主任委員（再任）。10月中国建国10周年祝賀日本各界代表団と中国側団体との共同声明に調印。60年1月ビルマ訪問中国文化友好代表団団長。3月中国ラテンアメリカ友好協会会長。4月中国アフリカ人民友好協会常務理事。7月全国文芸工作者代表大會主席団員。8月中国文学芸術界連合会第三期全国委員会委員。10月中国人民団体と日本12訪華代表団との共同声明に署名。61年5月キューバ訪問中国友好代表団団長。11月訪日中国人民救済総会代表団長（中国人民対外文化協会会長）。

楚普噶瑪巴 貝日多吉

Trupu-kamapa-peljidorji

西藏族。56年4月西藏自治区準備委員会全体委員。59年3月西藏暴動に際し、国務院は反逆者としてその職を罷免す。

蘇(蘇) 育民 Su Yü-min

53年10月中国人民第3回訪鮮慰問団員。54年12月政治協商會議第二期全国委員会委員。59年4月政治協商會議第三期全国委員会委員(文学芸術界代表)。

蘇(蘇) 永和 Su Yung-hé

55年1月四川省人民委員会委員。

蘇(蘇) 延賓(賓) Su Yèn-pin

54年6月華東軍政委員会人民監察委員会委員解任。59年4月政治協商會議第三期全国委員会委員（特別招請人士）。

蘇(蘇) 華(華)〔女〕 Su Hua

53年4月中華全国民主婦女連合会第二期候補執行委員。54年8月第一期全国人民代表大會福建省福州市代表。55年2月福建省人民委員会委員。

蘇(蘇) 桓 Su Huan

60年3月北京市建築工業学院副院長。

蘇(蘇) 琦 Su Chi 1928～

福建省の人。中国人民対外文化協会工作人員。56年5、6月の間京劇代表団通訳として来日。

蘇(蘇) 毅然 Su I-ian

55年3月安徽省人民委員会委員。58年11月安徽省副省長（再選）。

蘇(蘇) 惠〔女〕 Su Hui

56年10月中華全国華僑連合会常務委員。57年9月中華人民共和國全国婦女連合会第三期執行委員会執行委員。59年3月第二期全国人民代表大會華僑代表。9月華僑事務委員会委員。

蘇(蘇) 杰 Su Chieh

60年12月国務院鉄道部副部長。

蘇(蘇) 謙益 Su Chien-i

綏遠省の人。49年綏遠省軍政委員会委員。

同省人民政府委員、同政府人民監察委員会主任。当時中共綏遠省委員会副書記。53年1月綏遠省人民政府副主席。54年3月～6月当時中共中央内蒙古分局副書記。54年6月綏遠省軍政委員会委員、および同省副主席解任、内モン自治区人民政府副主席。8月第一期全国人民代表大會内モン代表。9月同大会民族委員会委員（漢民族）。55年4月内モン自治区人民委員会副主席。56年9月中共8全大会にて「包頭工業基地建設中の従業員生活問題」について発言、当時中共内モン自治区委員会書記。58年6月内モン自治区副主席。59年3月第二期全国人民代表大會内モン自治区代表。4月同大会民族委員会委員。同大会第1次會議で「包頭一建設中の鋼都」と題して発言。60年5月当時包頭市委員会第1書記。

蘇(蘇) 廣(廣)銘 Su Kuang-ming

56年3月第二期全国人民代表大會黒竜江省代表。4月同大会第1次會議で「党は私に大きい榮譽を与えた」について発言。

蘇(蘇) 綱 Su Kang

60年6月当時中共湖南省委員会常務委員。

蘇(蘇) 鴻綱 Su Hung-kang

54年9月西南行政委員会文化教育委員会委員解任。55年2月雲南省人民委員会委員。

蘇(蘇) 克勤 Su Kè-chin

54年12月当時中央民族学院副院長。58年6月当時民族研究所副所長。59年9月国務院民族事務委員会委員。60年3月中国ラテンアメリカ友好協会理事。

蘇 根柱 Su Kên-chu

(Soh Koon-choo) 1908～

福建省の人。シンガポール在住華僑。ゴム業。南洋樹膠製造廠有限公司董事、宜昌有限公司董事。56年8月シンガポール工商業貿易視察団団員として中共を訪問。

蘇 彩軒 Su Tsai-hsüan

(Soh Ckai-hian) 1898～

福建省の人。シンガポール在住華僑。ケープル、鉄器、漆、工業用品等の輸出入竜川有限公司董事兼經理。大華有限公司機器廠董事。56年7月シンガポール工商貿易視察団建築材料および五金組副組長として日本ついで中共を訪問。

蘇(蘇) 子衡 Su Tzu-hêng

59年4月政治協商會議第三期全国委員会委員（台湾民主自治同盟）。

蘇(蘇) 資琛 Su Tzu-chên

53年1月陝西省人民政府委員。当時中国民主同盟西北総支部委員。54年8月第一期全国人民代表大會陝西省代表。59年3月第二期全国人民代表大會陝西省代表。

蘇(蘇) 从(從)周 Su Tsung-chou

58年12月中国国民党革命委員会第四期中央委員会委員。60年6月当時民革北京市委員会副主任委員。

蘇(蘇) 振華(華) Su Chên-hua 1909～

湖北省の人。18歳にして中国工農紅軍に投じ、林彪の下で中隊長。34年第3軍第5師、第13連政治委員。37年第2縦隊の先鋒として河北、山東、河南軍区設立に参加、次でその政治委員となる。日華事変中熱河、山西、チハル、河北省境に転戦。49年第2野戦軍の1軍団政治委員。49年貴陽解放とともに貴陽



軍管委員会主任、貴州軍区政治委員、貴州省人民政府行政委員、同省中共支部書記。50年西南軍政委員会委員。53年1月西南行政委員会委員。その後人民解放軍海軍副政治委員。54年9月国防委員会委員。55年9月1級独立自由勳章および1級解放勳章を授与さる。56年2月当時人民解放軍海軍上將。9月中共第八期中央委員会候補委員。58年3月当時海軍司令部政治委員。59年4月国防委員会委員。

蘇(蘇) 振 寿 Su Chên-shou

福建省竜岩県の人。在タイ華僑。現在70歳位。タイ国中華総商会執監委員、福建会館主席、天華医院董事、黄魂中学校董事を歴任。52年福建省竜岩県人民政府委員。54年9月第一期全国人民代表大會華僑代表。56年当時竜岩帰国華僑連誼会主任。59年4月政治協商會議第三期全国委員会委員(華僑代表)。

蘇(蘇) 新 Su Hsin

羌族。52年12月四川省蔵族自治区人民政府副主席。54年8月第一期全国人民代表大會四川省代表。9月同大会民族委員会委員。55年11月当時四川省成都一阿壩公路工程处处长。12月四川省阿壩蔵族自治州副州長。59年3月第二期全国人民代表大會四川省代表。4月同大会民族委員会委員。

蘇(蘇) 井 規(觀) Su Ching-kuan

中共黨員。中国人民革命軍事委員会衛生部副部長。49年10月政務院衛生部副部長。51年政務院文化教育委員会委員。中華全国科学界代表大會準備委員。中国医務工会工作委員会主任。54年11月國務院衛生部副部長。12月政治協商會議第二期全国委員会委員(医業衛生界)。58年4月当時中華全国自然科学専門学会連合会常務委員。59年4月政治協商會議第三

期全国委員会委員(医業衛生界)。9月衛生部副部長。

蘇(蘇) 靜 Su Ching

55年9月1級解放勳章を授与さる。10月~56年3月当時人民解放軍中將。

蘇 兆 征(徵) Su Chao-chêng

1883~1929

広東省香山県人。海員出身。1921年の香港海員ゼネストを指揮し、その後国共合作時代には国民党内で活躍し、26年国民革命軍の武漢占領後は武漢市政府委員、国民党農工部長にあげられた。27年国共分裂後退任。同年の広東コンミュニオン成立に際して広東ソヴェト政府主席、中央委員、労工部長、組織部長を歴任。28年コミンテルン第6回大会には中国代表として出席、コミンテルン執行委員。またプロフィンテルン執行委員にも選ばれ太平洋労働組合書記局創立委員となった。29年病死。

蘇(蘇) 长 有 Su Chang-yu

東北工業部建設工程公司哈爾濱工程処の瓦工班長。建築業界の労働模範。「蘇長有煉瓦積法」あるいは分段煉瓦積法を考案。54年8月第一期全国人民代表大會哈爾濱市代表。57年12月中華全国総工会第八期執行委員。

蘇(蘇) 殿 选(選) Su Tien-hsian

54年8月第一期全国人民代表大會河南省代表。59年3月第二期全国人民代表大會河南省代表。

蘇(蘇) 楠 Su Nan

53年当時大公報国際組組長。53年~55年当時日本関係論文を屢々大公報に発表。

蘇 文 通 Su Wên-tung

タイ生れ。原籍福建省同安県。タイ在住華僑。42年バンコックに泰生有限公司を創設しゴム、木材、米、砂糖、金属、建築材料を取扱う。47年資本金1千万バーツの泰生保険倉庫有限公司を創立しその総経理。49年登記資本2千万バーツの工程機械有限公司を創設しその総経理となり、米国インターナショナル・ハーヴェスター会社の全タイ総代理権を獲得し、耕耘機、自動車、冷蔵庫の販売を開始。また暹羅農場有限公司製糖廠、碧武里実業有限公司製糖廠の董事長となり、精糖事業にも従事。

蘇(蘇) 步 青 Su Pu-ching 1902~

浙江省の人。数学者。54年5月当時復旦大学教務長。12月政治協商會議第二期全国委員会委員(自然科学団体)。同月中ソ友好協会第2次全国代表会代表。55年5月中国科学院物理学数学化学学部常務委員。6月同学部常務委員会委員。6月~56年3月当時復旦大学教授。55年12月訪日科学代表团団員。56年2月中国亞洲團結委員会委員。同月民主同盟第二期中央委員会委員。当時中国科学院数学教授。3月復旦大学と科学院との共同による数学研究室の創立に当る。58年12月民主同盟第三期中央委員会委員。59年3月第二期全国人民代表大會上海市代表。4月同大会第1次會議で「中国科学の技術協会は国民經濟計画の表現のために闘おう」について発言。「文教事業の徹底的革命」について合同発言。9月中華人民共和国科学技術協会第一期全国委員会主席団委員。59年当時中国・アジア・アフリカ團結委員会委員。60年1月当時復旦大学副校長。

蘇(蘇) 炳 文 Su Ping-wên 1891~

奉天省新民県人。保定軍官学校卒。福建、東北等において旅長、師長等を歴任。32年ホロンバイル事件を起し、ソ連に逃亡。34年上海に帰り蘇州に隠棲。54年12月政治協商會議第二期全国委員会委員(特別招請人士)。

蘇(蘇) 幼 农(農) Su Yu-nung

48年華北人民政府華北郵政総局局長。49年10月政務院郵電部郵政総局局長。53年1月北京における中共・外蒙間郵政、電信両協定調印式に郵政総局局長として列席。

蘇(蘇) 林 Su Lin

52年12月~53年9月当時満洲里市長。53年9月当時中共満洲里市委員会書記。57年12月中華全国総工会第八期候補執行委員。58年4月当時中国民用航空工会工作委員会主任。

蘇(蘇) 灵(靈)揚〔女〕 Su Ling-yang

55年2月北京市人民委員会委員。

宋 亚(亞)田 Sung Ya-tien

56年12月当時中国国際貿易促進委員会辦公室主任。

宋 一 痕 Sung I-hên

55年2月雲南省人民委員会委員。

宋 一 平 Sung I-ping

53年3月当時新民主主義青年団中央委員会書記処書記。7月同団第二期中央委員。58年3月当時中共武漢市委員会書記。59年3月第二期全国人民代表大會湖北省代表。4月同大会第1次會議で「工業建設を指導することに關するいくつかの問題」「西藏人民は新しく生れでた」について合同発言、「新生の無視できない力、街道工業」について発言。



宋 筠 Sung Yün

59年4月政治協商會議第三期全國委員會委員(特別招請人士)。

宋 云(雲)彬 Sung Yün-pin

浙江省の人。現在59歳位。作家。華東文学連合会執行委員。浙江大学教授。53年2月当時浙江省人民政府文化教育委員会副主任委員。11月華東作家協会理事。54年8月第一期全国人民代表大會浙江省代表。55年1月浙江省人民委員会委員。2月政治協商會議第一期浙江省委員会副主席。56年2月民主同盟第二期中央委員会委員。58年2月第一期全国人民代表大會第5次會議に於て「右派分子」の理由により代表資格を剝奪される。59年4月政治協商會議第三期全國委員會委員(特別招請人士)。60年11月右派分子のレッテルを除かれる。

宋 应 Sung Ying

中共川西(四川省西部)区委員会組織部長兼成都市委員会第2書記。地質学者。52年8月中央人民政府地質部副部長。53年2月中国科学院訪ソ代表団団員。54年2月当時地質学理事会常任理事。11月国务院地質部副部長。59年4月政治協商會議第三期全國委員會委員(特別招請人士)。9月地質部副部長。

宋 学 飞(飛) Sung Hsüeh-fei

60年10月当時北京衛戍区副司令員。

宋 鏐 [敬明] Sung Ê

(Soong Ngo) [Ching-ming] 1899~

湖南省湘潭の人。16年烟台海軍学校入学。のち南京魚雷銃砲学校専科卒業。海上勤務後士兵隊長、見習生教育主任、教導隊教務主任、江防総部教練官。39年~42年海軍軍官学校教

育主任、軍令部兵器実験所研究員、第2庁上校参謀。42年~44年作戦部科長、陸軍大学戦術教官および武官訓練班教官。44年駐米大使館海軍上校副官兼駐米海軍訓練処長、海軍官兵総隊長。45年駐英海軍武官兼駐英軍事代表団員、駐英海軍領隊官、駐英海軍訓練処長。46年10月海軍総部作戦署署長、少将。48年副参謀長。49年参謀長。50年~54年国防参謀次長。

宋 侃 夫 Sung Kan-fu

49年当時中共湖北省長沙市委員会書記。同年末湖北省人民政府委員。51年~54年12月当時武漢市副市長。55年1月武漢市長。3月~7月当時中共武漢市委員会第2書記。56年9月中共8全大会において、「野菜と特産物の貿易管理の方法を改めよ」と発言、当時中共武漢市委員会第1書記。58年3月当時湖北委員会常務委員。

宋 希 濂 Sung Hsi-lien

黄埔軍官学校出身。新疆省警備司令として機械化部隊を率いウルムチに駐在したことあり、48年華中掃共総司令部(総司令は白崇禧)副司令となる。国民党川湘鄂辺区綏靖公署主任、中將。59年12月特赦釈放。

宋 季 文 Sung Chi-wên

49年当時南京市人民政府財政局長。49年~54年6月華東軍政委員会財政經濟委員会委員。55年2月上海市人民委員会委員。57年1月上海市副市長(計画委員会工作担任)。58年11月上海市副市長。

宋 教 仁 Sung Chiao-jên 1881~1913

湖南省人。日本鉄道学校、早稲田大学に学ぶ。留学中黄興、陳天華等と結び帰国後長沙に

において華興会を組織革命運動を推進。1904年事を挙げんとして露見し、日本に亡命。中国同盟会司法部検事長に選出され主として文筆による革命思想の宣揚に努む。12年革命後南京臨時政府の法制院総裁。13年唐紹儀内閣農林総長。その間12年中国同盟会は統一共和党、国民共進会、共和実進会、国民公党を合併して国民党を結成。閻錫山、楊增新、陳炯明等の軍閥をも包含して袁世凱大總統に対立したが、13年上海において袁の刺客に死し、反袁の第2革命勃発の導火線となる。

宋 玉 璽 Sung Yü-hsi

55年6月当時中共河南省委員会宣伝部部長。

宋 景 毅 Sung Ching-i

55年1月天津市人民委員会委員。59年7月当時天津市副市長。

宋 庆(慶)齡(齡) [女]

Sung Ching-ling 1890~

上海生れ。故孫文未亡人。孔祥熙夫人宋霽齡の妹、宋子文および蒋介石夫人宋美齡の姉。米ウェルズレイ大学卒業。12年南京臨時政府孫文大總統の秘書。第2革命失敗後孫文に従い日本に亡命。14年日本において孫文と結婚。孫文北京に客死後、26年国民党第2次中央執行委員会委員、国民党極左派を率いて活動。27年国民政府の武漢移転と共に、武漢政治委員会委員、国民政府委員。同年ソ連人顧問ボロジンおよび共産派が武漢を追われた際、陳友仁と共に渡欧。41年皖南事変以降公然と蒋介石政権を非難。46年政治協商會議に出席。49年9月第一期政治協商會議全國委員會委員。10月中央人民政府副主席、中ソ友好協会総会副会長。50年第2回世界平和擁護者大会において世界平和會議委員。51年春スターリン平

和賞受賞。11月中国人民保衛兒童全國委員會主席。中華全国民主婦女連合会名誉主席、中国人民救済総会主席を兼務。52年12月世界人民平和大会出席代表団団長として訪ソ。53年1月憲法起草委員会委員。2月中央選挙委員会委員。54年8月第一期全国人民代表大會上海市代表。9月同大会第1次會議主席団団員、同大会常務委員会副委員長。12月政治協商會議第二期全國委員會委員、同委員会副主席。同月中ソ友好協会第2次全國代表会代表、同協会総会第二期会長。55年7月全国人民代表大會第2次會議主席団団員、同団常務主席。同月各国議會連盟参加の人民代表団主席団員、同団執行委員会委員。9月全国青年社会主義建設積極分子大会名誉主席団員。55年12月~56年2月の間、インド、ビルマ、パキスタン政府の招請をうけ全国人民代表大會常務委員会副委員長として三国訪問。56年6月全国人民代表大會第3次會議主席団団員。8月インドネシア大統領および同政府の招請をうけ、全国人民代表大會常務委員会副委員長としてビルマ経由インドネシア訪問。57年9月十月社会主義革命40周年慶祝準備委員会委員(副主任委員)。中華人民共和国全国婦女連合会第三期執行委員会名誉主席。58年4月当時中国人民保衛兒童全國委員會主席。59年3月第二期全国人民代表大會上海市代表。4月同大会第1次會議の主席団。中華人民共和国副主席。5月中ソ友好協会総会第三期会長。9月「中国の解放—中ソ友好一人類の未来に向っての躍進」と題する論文を発表。(紅旗18号)。

宋 洁(潔)涵 Sung Chieh-han

59年3月第二期全国人民代表大會吉林省代表。60年5月当時中共長春市委員会第1書記。



宋 光 Sung Kuang  
60年12月当時瀋陽市副市長。

宋 宏 Sung Hung  
53年7月新民主主義青年団第二期中央委員。  
55年1月浙江省人民委員会委員。7月ワルシ  
ャワにおける第五期世界青年および学生平和  
友誼交歓会参加の青年代表団員。

宋 广(廣)常 Sung Kuang-chang  
53年1月遼西省人民政府委員解任。54年9  
月最高人民法院東北分院副院長解任。55年2  
月最高人民法院審判委員会委員。57年8月最  
高人民法院審判副庭長。

宋 衡 之 Sung Hêng-chih  
広東省広州市の人。香港大学卒業。外交官、  
領事官試験合格。広東省政府科長、参議。戦  
地服務隊隊長、広東国民大学教授。マナグワ  
領事、代理総領事。56年6月当時国府駐ニカ  
ラグア代理公使。

宋 克 强 Sung Kê-chiang  
55年4月～56年12月当時中国畜産公司(中共  
側)副經理。

宋 克 难(難) Sung Kê-nan  
60年5月当時中共安東市委員会第1書記。

宋 子 純 Sung Tzu-chun  
53年11月全国工商業連合会第一期執行委員。  
54年8月第一期全国人民代表大会山西省  
代表。55年2月山西省人民委員会委員。11月  
当時山西省工商連主任委員。56年12月全国工  
商連第二期執行委員(山西省)。59年4月政治  
協商会議第三期全国委員会委員(中華全国工  
商業連合会)。

宋 子 文 Sung Tzu-wên  
(T. V. Soong) 1891～

広東省の人。上海生れの所謂四大家族の一  
家。15年米ハーバード大学卒業。28年～31年  
行政院副院長兼財政部部長。30年～33年中国  
中央銀行総裁。32年～33年行政院代院長兼  
財政部部長。33年ロンドン世界經濟会議主席  
代表。35年～43年中国銀行董事会主席。この  
間38年全国航空委員会代行主席。40年～42年  
ルーズベルトに対する蔣介石の個人的代表  
者。42年～45年外交部部長。42年国民党中央  
執行委員会常務委員。44年11月国民政府政府  
委員。44年～45年行政院代院長。45年6月  
行政院院長。同年四行連合総署副主席、サン  
フランシスコ会議中国代表団団長。47年3月  
行政院院長を辞任。9月広東省政府主席。11  
月広東行營主任兼任。48年8月広州綏靖公署  
主任、同月広東地区經濟統制督導主任委員。  
49年1月広東省主席を辞任。5月赴仏。その  
後滞米。

宋 之 光 Sung Chih-kuang  
60年5月、61年10月当時中共外交部西欧司副  
司長。

宋 之 春 Sung Chih-chun  
53年3月～54年12月当時中央人民政府燃料  
工業部石炭管理総局副局長(55年7月燃料工  
業部廃止、石炭工業部設置)。

宋 之 的 Sung Chih-ti  
劇作家。報告文学作家。53年10月中国文学  
芸術界連合会第二期全国委員会委員。同月中国  
作家協会理事会理事。54年3月当時群衆歌  
曲評選委員。55年8月当時人民解放軍總政治  
部文化部文艺处处长。報告文学作品「1930年  
春太原」。日華事変中の劇本創作作品「国土至  
上」(老舎と共著)、「鞭」等。「解放」後「皇

帝和妓女」。

宋 时(時)輪 Sung Shih-lun 1910～  
湖南省の人。黄埔軍官学校卒。33年紅軍抗  
日大学参謀班卒業後瑞金に赴き団参謀長。36  
年第4集團軍第28軍軍長。王震、張宗遜につ  
いて賀竜部隊の三勇将といわれた。38年鄧華  
とともに先遣隊を率いて冀東に侵入、冀東挺  
進軍司令員。日華事変末期福州侵入。その後  
延安に帰り、中央党校に入校。戦後軍事調停  
執行組中共代表。47年華東野戦軍第10縱隊司  
令員兼渤海軍区司令員。49年人民解放軍第3  
野戦軍第9兵団司令員。5月上海市軍事管制  
委員会警備司令。50年1月～53年1月華東軍  
政委員会委員。50年6月兵団を指揮し舟山列  
島を「解放」。10月朝鮮戦線に出動。54年9月  
国防委員会委員、上將、南京総高級歩兵学校  
長。56年9月中共第八期中央委員会候補中央  
委員。58年4月当時海軍学院副院長。59年4  
月国防委員会委員。

宋 日 昌 Sung Jih-chang  
終戦前蘇中区行政公署民政処長。陳毅の下  
に新編第4軍の糧食部長。51年華東軍政委員  
会副秘書長兼民政部部長。54年2月華東抗米  
援朝總分會結成の全国人民解放軍慰問代表団  
第4分団副団長、同秘書長。当時中国科学院  
辦公庁副主任。5月中国人民对外文化協会理  
事。54年6月華東軍政委員会副秘書長解任。  
55年7月上海市副市長。57年1月上海市副市  
長再選(交通運輸、郊外地区農業担任)。59  
年4月上海市副市長。60年10月上海市中ソ友  
協副會長。

宋 叔 和 Sung Shu-hé  
54年12月政治協商会議第二期全国委員会委  
員(自然科学団体)。59年4月政治協商会議第

三期全国委員会委員(中国科学技術協会)。

宋 书(書)岱 Sung Shu-tai  
55年10月当時中共河北省河間県委員会副書  
記。

宋 曙 峰 Sung Shu-fêng  
61年3月インドネシア訪問中共芸術代表団  
副団長。

宋 劭 文 Sung Shao-wên 1906～  
山西省屯留の人。北京大学經濟系卒。36年  
抗日運動で北京において逮捕拘禁。37年日華  
事変勃発時、山西犠牲大同盟の宣伝部長。日  
本軍の太原占領後、山西新軍をひきいて遼県、  
五台山で遊撃戦を指揮。38年晋察冀辺区政府  
成立とともに、その政府主席。48年華北人民  
政府委員兼農業部長。49年9月華北解放区を  
代表して政治協商會議に出席。10月政務院財  
政經濟委員会委員。中央財政經濟計画局局長。  
53年2月～9月当時政務院財政經濟委員会秘  
書長。9月輕工業部副部長。54年11月国务院  
第4辦公室副主任、輕工業部副部長。55年1  
月当時中共ハンガリア科学および技術合作連  
合委員会中共側主席。56年3月全国文盲一掃  
協会委員。11月国务院国家經濟委員会副主任。  
59年3月先進生産者代表會議準備委員会委員。  
9月国家基本建設委員会副主任兼委員。

宋 劭 明 Sung Shao-ming  
54年2月開封市副市長。

宋 肖 頌 Sung Hsiao-sung  
55年9月当時鶴崗(黒龍江省)礦務局副局  
長兼東山縦礦礦長。



宋昇平 Sung Shêng-ping

56年6月当時国府外交部礼賓司幫辦(次長), 兼護照(旅券)科長。59年6月当時駐サンフランシスコ総領事館領事。

宋照礼 Sun Chao-li

50年9月中共駐ブルガリア大使館2等書記官。

宋振庭 Sung Chên-ting

60年5月当時中朝友協吉林省分会副会長。7月全国文芸工作者代表大会主席団。10月当時中共吉林省委員会宣伝部部長。

宋振鼎 Sung Chên-ting

54年8月内蒙古自治区人民政府委員に補充, 当時同人民政府林業部部長。55年4月内蒙古自治区人民委員会委員。

宋新怀(懷) Sung Hsin-huai

48年8月中華全国総工会執行委員。53年5月同会第七期執行委員会執行委員。10月中国人民第3回訪鮮慰問団第8総分団副団長。55年2月湖南省人民委員会委員。

宋星路 Sung Hsing-lu

60年5月当時中共青島市委員会書記処書記。

宋石 Sung Shih

54年12月当時中共駐チェコスロヴァキア大使館商務專員。60年1月駐グダンスク(ポーランド)総領事を免ず。

宋川 Sung Chuan

河南省の人。現在52歳位。53年4月~54年

10月当時中華全国総工会農林水利工会工作委員会副主任。53年9月ウィーンにおいて開催の世界労連第3回代表大会に中共工会代表団員として出席。54年6月河南省人民政府委員解任。8月第一期全国人民代表大会河南省代表。56年4月全国先進生産者代表会議主席団員。57年12月中華全国総工会第八期執行委員。58年3月先進生産者代表会議準備委員会委員。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(中華全国総工会)。60年8月当時中国農林工会副主席。

宋宗禹 Sung Tsung-yü

53年11月全国工商業連合会執行委員。55年11月当時遼寧省工商連執行委員。56年12月全国工商連第二期執行委員(遼寧省)。

宋乃德 Sung Nai-tê

54年11月国務院地方工業部副部長。(56年5月地方工業部廃止)。56年9月中共八全大会にて「わが国日用工業品の品質を高めよ」と発言, 当時国務院輕工業部副部長。59年3月第二期全国人民代表大会安徽省代表。9月輕工業部副部長。

宋倬雲 Sung Chuo-yün

54年6月国府駐日大使館隨員。61年同職。

宋达(達)泉 Sung Ta-chüan

土壤学者。55年12月~57年12月当時中国科学院林業土壤研究所副所長。

宋致和 Sung Chih-hê

53年2月当時鄭州市市長。55年2月河南省人民委員会委員。56年9月中共8全大会において、「農村税法を改めよ」と発言, 当時中

共河南省委員会財經貿易部部長。59年7月当時河南省委員会書記処書記。

宋中洲 Sung Chung-chou

54年8月当時湖北省黄石市代理市長。

宋仲元 Sung Chung-yüan

現在43歳。58年3月訪日中国郵電工会代表団員, 当時北京市郵電工会主席。60年4月当時北京市総工会常務委員。

宋忠福 Sung Chung-fu

中共軍師長といわれる。54年8月第一期全国人民代表大会西北軍区代表。戦闘英雄。人民功臣。

宋长华(華) Sung Chang-hua

56年4月西藏自治区準備委員会司法処副処長。

宋汀〔女〕 Sung Ting

59年3月第二期全国人民代表大会(北京市代表)。

宋哲元 Sung Chê-yüan 1885~1938

山東省人。多年馮玉祥に随従しその腹心の部下として国民軍の中堅たり。1924年馮の北京クーデター後師団長となり, 25年熱河都統。26年奉天軍に敗れ, 綏遠, 甘肅, 寧夏に退く。27年馮軍の北伐に加わるや第2集團軍第4方面軍総指揮となり, 次いで陝西省政府主席代理, 国民政府軍事委員会委員, 開封政治分会委員, 山東省政府委員を兼任。北伐完成後革命軍改編され第9師長となり, 陝西において甘肅の劉郁芬と共に西北警備に任ず。29年馮の反蔣介石軍事行動に際しては河南に進出したが敗れて陝西に退く。30年閩錫山の反蔣軍

を起すや馮に代り西北軍総指揮となったが再び敗れて山西省に退く。次いで西北軍は張学良に収編せられ東北第3軍長となり, 更に同年中央陸軍第29軍長。32年東北政務委員会の北平移轉後同会委員, 次いで張学良の北平綏靖公署主任就任と共に察哈尔省政府主席, 国民政府軍事分会委員となる。軍事分会撤廃と共に冀察綏靖主任。35年冀察政務委員会委員長, 第五期中央監察委員, 軍事委員会委員。37年7月蘆溝橋事件勃発迄対日交渉責任者であった。

宋登华(華) Sung Têng-hua

57年9月~60年8月当時中共駐東独大使館武官。

宋德和 Sung Tê-hê

(Soong, Norman) 1911~

広東省の人。34年燕京大学卒業。35年米ミズリー新聞学校卒業。35年~36年北平クロニクル記者。36年~37年南京チャイナプレス主任通信員。37年~38年ニューヨークタイムス中国編集局写真班兼通信員。40年~42年中央通訊社英文記者。42年~45年中国一ビルマー印度中央東部戦線派遣中央通訊社従軍記者。45年~50年中央通訊社東京支局長。50年以來 Pan-Asia Newspaper Alliance 經理, 同社副社長。

宋任远(遠) Sung Jên-yüan

59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(特別招請人士)。

宋任穷(窮) Sung Jên-chiung 1903~

湖南省瀏陽県の人。劉伯承將軍の片腕といわれた。27年湖南暴動時中共軍に入り政治工作に従事。30年林彪部隊の団政治委員。31年紅軍第5軍団政治委員。34年西遷に参加。37年



8路軍129師政治部副主任。38年9月冀南行政主任公署主任。42年山西省で敢死縦隊を組織して抗戦。43年中共中央党校入校。45年中共7全大会で候補中央委員。47年冀中軍区司令員。49年人民解放軍第2野戦軍第4兵团政治委員。4月南京軍事管制委員会成立と共にその副主任。50年雲南軍政委員会副主任，中共雲南省委員会書記。3月西南軍政委員会委員兼西南軍区副政治委員。52年8月西南軍政委員会副主席。53年1月西南行政委員会副主席。53年3月～54年1月当時中共中央西南局第1副書記。53年6月～7月新民主主義青年団第2次全国代表大会に出席。54年6月雲南省人民政府委員解任。9月国防委員会委員。12月，中ソ友好協会第2次全国代表会代表（軍隊）。55年9月1級八一勳章，1級独立自由勳章，解放勳章を授与さる。56年3月当時人民解放軍1級上將。9月中共第八期中央委員会委員中共中央副秘書長。中共8全大会において「集団指導の問題に対する認識と体験」と題して発言。11月国務院第3機械工業部部長。59年3月第二期全国人民代表大会雲南省代表。先進生産者代表会議準備委員会委員。4月第2機械工業部長。国防委員会委員。60年1月論文「プロレタリアートの指導する工業の基本方針」を發表（紅旗第2号）。61年10月中共中央東北局第1書記。

宋 棐 卿 Sung Fei-ching

天津東亜企業公司總經理。49年10月政務院財政經濟委員会委員。

宋 美 齡〔女〕 Sung Mei-ling

(Mayling Soong Chiang, Chiang Sung Mei-ling) 1901～

広東省の人。上海生れ。米ウエルズレイ大学文学士。27年蔣介石と結婚。30年～32年立法委員。29年～37年革命軍遺族学校長。37年

～38年中国航空委員会秘書長。38年婦女協会新生活運動理事長。42年蔣介石とともにインド訪問。43年カイロ会談に出席。46年～50年国民党中央執行委員。50年以来中国婦女反共抗ソ連合会長。

宋 敏 之 Sung Min-chih

55年11月～60年4月ハルビン工業大学副校長。

宋 文 Sung Wên

61年1月訪日中華全国総工会代表団秘書，当時総工会国際部員。

宋 平 Sung Ping

53年9月当時中央人民政府国家計画委員会労働工資（賃金）計画局長。同月政務院労働部副部長。54年9月東北人民政府文化教育委員会委員解任。11月国務院国家計画委員会委員。58年4月当時国家計画委員会副主任。59年9月国家計画委員会副主任兼委員。

宋 孟 邻〔鄰〕 Sung Mêng-lin

57年11月当時安徽省委員会組織部部長。59年11月当時安徽省委員会書記。60年5月安徽省副省長。

宋 友 田 Sung Yu-tien

52年11月当時中共寧夏省委員会秘書長。

宋 裕 和 Sung Yü-hê

中共黨員。新編第4軍の供給部長。49年華東財政經濟委員会副主任。10月政務院食品工業部副部長，兼財政經濟委員会委員。（50年食品工業部廃止）。52年8月政務院建築工程部副部長。54年8月第一期全国人民代表大会四川省代表。11月国務院建築工程部副部長。59

年9月建築工程部副部長。

宋 养〔養〕初 Sung Yang-chu

53年3月当時中国新民主主義青年団中央団校副校長。54年11月国務院国家計画委員会委員。55年12月当時同委員会重工業計画局局长。59年9月国家計画委員会副主任兼委員。著書「第1次5カ年計画中の冶金工業」。

宋 来 崇 Sung Lai-chung

現在42歳。中国国際貿易促進委員会職員。55年10，11月の間中共見本市代表団通訳として来日，渉外，会場接待担当。57年10月訪日中国食品出口公司代表団通訳。

宋 良 民 Sung Liang-min

61年2月当時訪中ソ友好協会代表団団員，当時中ソ友好人民公社副主任。

宋 黎 Sung Li

満洲生れ。現在46歳位。49年遼西省人民政府委員。52年同政府副主席。53年中共旅大市委員会副書記。54年8月第一期全国人民代表大会遼寧省代表。同月遼西省人民政府副主席解任。同月遼寧省旅大市市長。当時中共旅大市委員会第2書記。

宋 烈 Sung Lieh

54年6月河南省人民政府委員解任。一説に満洲生れ，現在46歳位，もと中共遼東省委員会統一戦線部長，56年当時漢口市公安局長といわれる。

宋 璉〔女〕 Sung Lien

中南区民主婦女連合会準備委員会副主任。52年3月中南軍政委員会政治法律委員会委員。54年8月第一期全国人民代表大会河南省代表。57年8月北京市人民検察院検察委員会委員。

58年2月第一期全国人民代表大会法案委員会委員（補選）。

宗 希 云〔雲〕 Tsung Hsi-yün

59年3月第二期全国人民代表大会吉林省代表。4月同大会第1次会議で「学習と生産に努力し躍進を続けよう」について発言。

宗 哲 Tsung Chê

西藏族。53年12月青海省海南藏族自治州人民政府副主席。

桑 吉 悦 希〔別名，天宝〕 Sangye-ihsî

[Tien-Pao] 1917～

西康省党壩県の人。西藏族。兄弟3人はラマ僧。34年紅軍の党壩侵入時土地の西藏族の駁巴連邦政府樹立に参加。少年先鋒隊に入り後この連邦政府の青年部部長。駁巴独立師政治委員として紅軍とともに延安に至る。延安の民族学院入学。戦後伊克昭盟に赴き武装部隊を組織し，馬鴻逵，胡宗南軍と戦闘。49年9月政治協商会議に西藏族の代表として参加。同会議全国委員会委員。10月政務院民族事務委員会委員。50年末西南軍政委員会委員。西康省藏族自治州人民政府主席。52年12月兼四川省藏族自治州人民政府主席，四川省藏族自治州第1回各族各界人民代表会議協商委員会主席。53年1月西南行政委員会委員。当時西南民族事務委員会副主任。2月政治協商会議全国委員会常務委員。54年2月人民解放軍慰問代表団第3総分団（西南）副団長。54年8月第一期全国人民代表大会四川省代表。9月同大会第1次会議主席団団員。55年1月西康省副省長。3月西康省藏族自治州（旧西康省藏族自治州）州長。7月全国人民代表大会第2次会議主席団団員。12月四川省阿壩藏族自治州（旧四川省藏族自治州）州長。56年3月当時西藏訪問中央代表団副団長。4月西藏自治区



準備委員会成立大会における中央代表団藏族代表。6月全国人民代表大会第3次会議主席団員。9月中共第八期中央委員会候補委員。58年4月当時四川省副省長。59年3月第二期全国人民代表大会四川省代表。4月同大会第1次会議主席団員。民族委員会委員、同会副主任委員。60年3月第二期全国人民代表大会第2次会議主席団員。

### 桑代海 Sang-tai-hai

藏族。53年12月青海省海北藏族自治州人民政府委員。

### 桑热(熱)嘉措 [桑若嘉錯] Sangye-gyatso

藏族。53年1月～54年6月当時青海省人民政府文教庁副庁長。54年12月政治協商会議第二期全国委員会委員(教育界)。同月青海省人民委員会委員。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(教育界)。

### 桑頗才汪仁增

Sanpo Tsewang-ringzing

藏族。56年4月西藏自治区準備委員会全体委員。59年3月当時中国人民解放军西藏軍区副司令員。4月国防委員会委員。10月西藏政治協商会議準備委員会副主任。

### 草明 [女] Tsao Ming 1913～

広東省順徳県生れ。作家。欧陽山夫人。32年中国左翼作家連盟に参加。35年上海で逮捕され翌年出獄。37年延安、戦後、東北に派遣され組合委員長の傍ら創作。東北文連の責任者。53年10月中国文学芸術界連合会第二期全国委員会委員、中国作家協会理事。54年5月中国人民対外文化協会理事。12月政治協商会議第二期全国委員会委員(中華全国婦女連合会)。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(中華全国婦女連合会)。60年8月中国

文学芸術界連合会第三期全国委員会委員。作品は「女の物語り」「なくした笑い」「原動力」「機関車」等。

### 曹依秀 [女] Tsao I-hsiu

59年4月第二期人民代表大会第1次会議で「社会主義祖国の統一と民族団結は各民族人民の最大の利益である」について合同発言。政治協商会議第三期全国委員会委員(医薬衛生界)。

### 曹軼欧 [女] Tsao I-ou

59年3月第二期全国人民代表大会江蘇省代表。

### 曹永湘 Tsao Yung-hsiang

60年11月当時総統府第2局長。

### 曹瑛 Tsao Ying

長く中共長沙市委員会書記。54年10月中共駐チェコスロヴァキア大使。55年4月チェコ「解放」10周年慶祝式典参加の中共政府代表団員。56年1月プラグで開催のワルシャワ条約会議に政府顧問としてオブザーバーの資格で出席。7月プラグにおいて、58年～62年中共・チェコ主要商品貿易議定書調印式に中共側代表団員として参列。60年5月中共・チェコ領事条約に調印(プラハ)。61年6月帰国(転任のため)。

### 曹海波 Tsao Hai-po

55年1月～61年4月武漢水運工程学院院長。61年4月中国科学技術大学副校長。

### 曹冠羣 [女] Tsao Kuan-chün

53年4月中華全国民主婦女連合会第二期執行委員。54年8月第一期全国人民代表大会陝西省代表。55年8月～56年4月当時中華全国

民主婦女連合会書記処書記。56年3月政治協商会議全国委員会学習委員会委員。57年9月中華人民共和国全国婦女連合会第三期執行委員。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(全国婦女連合会)。

### 曹煥文 Tsao Huan-wèn

54年4月当時太原市政協委員会副主席。8月第一期全国人民代表大会山西省代表。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(特別招請人士)。

### 曹菊如 Tsao Chü-ju

49年10月政務院財政經濟委員会委員。50年中央財政經濟計画局副局長。52年同局長。53年9月当時政務院財政經濟委員会副秘書長。同月中国人民銀行副行長。54年11月人民銀行常務董事。55年11月中共・北越両国貨幣公定レート協定に中共側を代表し調印。59年3月第二期全国人民代表大会青海省代表。先進生産者代表会議準備委員会委員。9月中国人民銀行行長。同月國務院華僑事務委員会委員。11月論文「10年来の金融事業」を発表(人民日報1日)。

### 曹吉庆(慶) Tsao Chi-ching

59年3月第二期全国人民代表大会遼寧省代表。

### 曹禺 [本名、萬家宝]

Tsao Yü [Wan Chia-pao] 1910～

湖北省潜江の人。劇作家。清華大学卒業後国立戲劇学校専任講師。演劇を研究。処女作「雷雨」4幕(34年)が、35年欧陽予倩の演出で成功を収めて一躍有名となる。37年南京に成立の中国戲劇学会の中心人物。46年老舎と

ともに渡米。帰国後も演劇映画に活躍。49年4月プラハにおける第1回世界平和擁護者大会に出席。7月中華全国文学芸術界連合会全国委員会委員。52年春、艾蕪、賀敬之らとともに工場に派遣されプロレタリア文学創作。53年5月～55年2月当時北京市人民芸術劇院院長。53年10月中国文学芸術界連合会第二期全国委員会委員。同月中国作家協会理事。54年3月当時抗米援朝総会委員。5月中国人民対外文化協会理事。8月第一期全国人民代表大会湖北省代表。12月中ソ友好協会第2次全国代表会代表(中国文学芸術界連合会)。55年2月北京市人民委員会委員。2月～7月当時北京市文学芸術工作者連合会副主席。7月当時中央戲劇学院副院長。56年12月中国作家協会書記処書記。58年7月中国人民保衛世界和平委員会常務委員。9月中国・モンゴル友好協会副会長。59年3月第二期全国人民代表大会湖北省代表。4月同大会第1次会議で「演劇芸術の質を向上しよう」につて発言。60年3月中国・ラテン・アメリカ友好協会理事。7月全国文芸工作者代表会主席団員。8月中国文学芸術界連合会第三期全国委員会委員。中国戲劇家協会副主席。「日出」(35年)、「原野」(37年)、「北京人」「家」「蛻変」(41年)、「橋」(民族工業の苦境を扱ったもの)の著がある。

### 曹桂生 Tsao Kui-shèng

54年9月中共駐北越大使館2等秘書。56年9月駐カンボディア経済使節団副団長。

### 曹言行 Tsao Yèn-hsing

土木建築学者。53年2月～5月の間中国科学院訪ソ代表団員。54年11月國務院国家建設委員会委員。58年4月当時中国土木工学会副理事長。59年9月国家計画委員会委員。



曹 克 强 Tsao Kê-chiang

56年1月～60年12月中共駐北鮮大使館参事官。

曹 谷 冰 Tsao Ku-ping

54年12月政治協商會議第二期全国委員会委員59年4月政治協商會議第三期全国委員会委員(新聞出版界)。

曹 錕 Tsao Kun 1862～1938

河北省人。民国のもと大總統。北洋武備学堂卒業後日清戦争に参加。その後袁世凱を助けて近代軍隊の創設に尽力。1912年第3師長。15～6年湖南、四川に駐屯。ついで直隸督軍に任じ、17年7月張勳の復辟事件にはこれに反対し討伐に参加。その後直隸軍閥の実力者として北方軍閥に伍し活躍。20年7月安福派との戦闘(安直戦)には奉天派張作霖と協力して勝利。22年4月第1次奉直戦には奉天派に勝ち、23年10月大總統に選任さる。24年9月第2次奉直戦争に際し馮玉祥のクーデターにより幽閉され、ついで11月辞任した。

曹 志 麟 Tsao Chih-lin

56年2月国民党革命委員会中央委員。58年12月国民党革命委員会第四期中央委員会委員。

曹 日 昌 Tsao Jih-chang

53年9月ブタペストにて開催の国際科学工作者協会第3回代表大会に出席。54年7月～55年2月当時科学院辦公庁副主任。55年2月上海市副市長。58年4月当時中国心理学副理事長。

曹 若 山 Tsao Juo-shan

山東省の人。現在55歳。在日華僑。日本明治大学修業。黄埔軍官学校第四期政治科卒業。国民党の北伐に参加。はじめ鄧演達派に属し鄧の死後胡漢民の新国民党に参加、党校訓練主任および青年部主任。36年日本に亡命。日華事変後山東行政人員訓練所教育長、庁長、道尹、華北政務委員会第1行政区長官を歴任。戦後香港に逃れ、50年日本に來り、現在華文日本通報社支配人兼編集長。

曹 若 茗 Tsao Juo-ming

53年2月当時広州市軍事管制委員会外事処処長。12月～54年7月当時広州市人民政府外事処処長。55年2月広東省人民委員会委員。55年6月～56年2月当時広東省人民委員会外事処処長。

曹 聚 仁 Tsao Chü-jên 1903～

浙江省の人。香港在住華僑。少年時代章太炎に師事。中央社記者、暨南、復旦、大夏大学教授を歴任。38年蔣経国が江西省南部で行政督察專員をしていた頃、その機関紙「正義日報」の編集長。後「前線日報」の主筆。50年上海より香港に移り、創墾社により文筆を業とす。著書「採訪新記」「蔣経国論」「文壇50年」「中国剪影」「乱世哲学」。

曹 庶 范 Tsao Shu-fan

61年5月当時天津市委員会書記。

曹 汝 霖 Tsao Ju-lin 1875～

早稲田大学卒。1916年段祺瑞内閣以來各内閣に交通、外交、財政の各総長に歴任。19年五四運動に際しては売国奴と目され学生達にその邸宅を焼かれた。その後天津に引退実業界に入り交通銀行総経理、中国通商及び中国実業両銀行の総経理を歴任。27年安国軍財政討論会長。28年兼任関税自主委員会委員。36

年冀察政務委員会委員。38年臨時政府行政委員会顧問兼日華経済協議会委員。終戦後日本ついで米国に亡命。

曹 祥 仁 Tsao Hsiang-jên

52年6月～54年10月中共駐ブルガリア大使。55年1月国务院第1機械工業部副部長。8月当時中共、東独技術および技術科学合作常任委員会中共組組長。

曹 聖 芬 Tsao Shêng-fên 1914～

湖南省益陽の人。37年中央政治大学卒業。37年～39年中央通訊社主筆。39年総統秘書。45年～48年国民政府秘書。48年～49年総統府秘書。50年同第1局副長。52年～53年中央日報副社長。55年以来中華日報発行人。61年6月中国国民党中央委員会第4組主任解任、中央日報社長。著書「従日用常行中認識蔣総統」。

曹 靖 华(華) Tsao Ching-hua 1897～

河南省廬氏の人。多年ソ連に留学。魯迅の最も信頼した友といわれる。また中国へソ連文学をロシア語原書から紹介した最初の人戦争中西南連合大学教授。49年北京清華大学教授。全国文連委員。中ソ友好協会総会理事。53年2月～56年6月当時北京市中ソ友好協会副会長。53年10月中国文学芸術界連合会第二期全国委員会委員、中国作家協会理事会理事。11月当時北京大学教授。54年8月第一期全国人民代表大会河南省代表。12月中ソ友好協会総会第2回理事会理事。56年6月当時北京大学俄羅斯語言(ロシア語)文学系主任。57年9月ソ連社会主義革命40周年慶祝準備委員会委員。59年3月第二期全国人民代表大会河南省代表。5月中ソ友好協会第三期理事会理事。60年7月全国文芸工作者代表大会主席団員。8月中国文学芸術界連合会第三期全国委員会委員。61年10月当時北京市中ソ友好協会

副会長。代表的翻譯は「鉄の流れ」,「われは働く人民の子」「虹」「ツァリイテン」「防衛戦」「油槽船デービン号」「城と年」を始め十数冊。

曹 达(達)諾夫 Tsao-ta-nuo-fu

54年11月～58年6月当時中国人民解放軍新疆軍区政治部副主任。

曹 痴 Tsao Chih

55年2月湖南省人民委員会委員。

曹 中 樞 Tsao Chung-shu

終戦後国府が瀋陽に創立した国立中正大学教授。民主同盟東北総支部委員。50年中国進出口(輸出入)公司副經理。54年6月中共貿易訪問団団長としてジュネーブより訪英。54年11月～55年1月当時中国進出口公司經理代理。55年10月～12月の間中共見本市代表団団長として訪日。56年12月当時進出口公司經理。

曹 荻 秋 Tsao Ti-chiu

四川省の人。50年西南軍政委員会委員、重慶市人民政府副市長。51年同市長。53年1月西南行政委員会委員。3月～9月当時中共重慶市委員会書記。54年2月当時人民解放軍慰問代表団第3総分団副団長。5月～6月当時中共重慶市委員会第1書記。54年7月第一期全国人民代表大会重慶市代表。55年2月当時中共重慶市委員会書記、同市政協委員会主席。12月上海市副市長。56年1月当時中共上海市委員会副書記。6月全国人民代表大会第3次会议提案審査委員会委員、同副主任委員。57年1月上海市副市長(常務副市長)。58年11月上海市副市長。59年3月第二期全国人民代表大会上海市代表。60年6月当時上海市委員会書記。9月中国・モンゴル友好協会副会長。同月モンゴル訪問中蒙友好協会代表団団



長。61年10月当時上海副市長。

曹伯聞 Tsao Po-wên 1889~

湖南省長沙県人。保定陸軍軍官学校卒早稲田大学に学ぶ。長く湖南省政府の民政関係責任者。54年12月政治協商会議第二期全国委員会委員（特別招請人士）。55年2月湖南省人民委員会委員、湖南省高級人民法院院長。同月政治協商会議第一期湖南省委員会副主席。56年2月国民党革命委員会中央委員。57年6月第一期全国人民代表大会第4次会議において湖南省代表に補選。58年12月国民党革命委員会第四期中央委員会委員。59年3月第二期全国人民代表大会湖南省代表。

曹文彦 Tsao Wên-yên 1908~

浙江省の人。53年米カリフォルニア大学博士。36年~44年在オーストリア副領事、領事。44年~45年英文中国年鑑主筆。51年 Free China Review 発行人兼主筆。53年~54年国民党中央委員会秘書。47年~55年建国学院法律商科教授、国立台湾大学法学部教授。54年~55年教育部国際文教処長。55年以来教育部基準著作物の翻訳出版委員会主任、東呉大学校長。56年~57年6月当時私立東呉大学法学院院長。（在台湾）。

曹孟君〔女〕 Tsao Mêng-chün

長沙省立女子師範学校で最初に断髪し退校処分を受けたといわれる。国民党の南京奠都後、南京婦女文化促進会で托児所開設。「抗日七君子」事件のさい入獄。戦時中漢口で王崑崙と結婚、重慶歌樂山で第一保育院を経営。戦後、上海に帰り中央銀行研究員、「現代婦女」を編集。49年中国人民救国会代表として政治協商会議に出席。53年1月婚姻法貫徹運動委員会委員、同副秘書長。1月~7月当時中華全国民主婦女連合会副秘書長。53年4月中華

全国民主婦女連合会第二期執行委員、同常務委員。同月世界婦人大会出席中共代表団団員。6月コペンハーゲンにて開催の世界婦人大会出席。10月中国人民第3回訪鮮慰問団第1総分団副秘書長。54年5月中国人民対外文化協会理事。7月当時中ソ友好協会理事。8月第一期全国人民代表大会湖南省代表。12月政治協商会議第二期全国委員会委員（民主婦女連合会）。同月中ソ友好協会総会第2回理事會理事。55年3月アジア諸国会議中共代表団団員。6月~56年2月当時中華全国民主婦女連合会書記処書記。55年6月当時世界母親大会準備委員会委員。11月中国・エジプト友好協会理事。57年9月中華人民共和國全国婦女連合会主席団委員、同会書記処書記、同会執行委員。58年2月中国アラブ連合友好協会理事。7月中国人民保衛世界和平委員会委員。59年3月第二期全国人民代表大会湖南省代表。4月政治協商会議第三期全国委員会委員（中華全国婦女連合会）。同月中国人民対外文化協会常務理事。5月中ソ友好協会総会第三期委員会理事。60年4月国際婦女大会（デンマーク）参加中国婦女代表団団員。12月当時中国紅十字会総会理事。61年1月アジア・アフリカ婦女会議（カイロ）参加中国婦女代表団団員。

曹野 Tsao Yeh

60年5月当時中共沙市委員会書記。

曹又參 Tsao Yu-tsan

54年9月寧夏省人民政府委員解任。12月甘肅省人民委員会委員。

曹翼遠 Tsao I-yüan 1909~

浙江省の人。42年~43年貴州省安竜県長。44年~45年総統府秘書。45年~48年国民政府秘書。48年~49年総統府秘書。50年行政院顧

問。50年~52年考試院銓叙部顧問および組長。52年国府銓叙部政務次長。

曹里槐 Tsao Li-huai

福建省の人。延安時代第18集団軍留守部隊司令部参謀長。人民解放軍第15兵团第49軍長。51年朝鮮に出動。54年6月当時人民解放軍中南軍区空軍司令。56年2月当時人民解放軍広州駐軍領導機關責任者、空軍中將。56年10月当時人民解放軍空軍副司令。

曹魯 Tsao Lu

50年政務院輕工業部食品工業室主任。54年5月当時同部輕工業管理局副局長。57年6月国務院食品工業部部長助理。59年国務院輕工業部部長助理。9月外蒙古ウランバートルに政府代表団主席として赴き1956年協定による経済、技術援助として中共の手になる2工場を譲渡。60年5月輕工業部副部長。

庄(莊) 唯 Chuang Wei

61年1月訪ビルマ中国電影代表団団員。

庄炎林 Chuang Yèn-lin

53年7月新民主主義青年団第二期中央委員会候補委員。55年2月福建省人民委員会委員。

庄 燄 Chuang Yèn

53年4月~54年5月当時中華全国総工会国際連絡部副部長。53年9月ウィーンにて開催の世界労連第3回代表大会中共工会代表団員。

庄(莊) 果 Chuang Kuo

54年5月当時湖北省人民政府財政經濟委員会副主任。

庄(莊) 希泉 Chuang Hsi-chüan

福建省廈門の人。現在72歳位。シンガポール南洋女子中学創立発起人、フィリピン前駆日報経営者。一時北京帰国華僑連誼会副主席、中国民主同盟所属。49年政務院華僑事務委員会副主任委員、兼同委員会生産救済司司長。54年9月第一期全国人民代表大会華僑代表。同月同大会代表資格審査委員会委員。11月国務院華僑事務委員会副主任。56年6月全国帰国華僑連合会準備委員会副主任委員、同常務委員。10月同連合会副主席。59年3月第二期全国人民代表大会華僑代表。4月同大会代表資格審査委員会委員。9月体育運動委員会委員。華僑事務委員会副主任兼委員。

莊奎章 Chuang Kui-Chang 1899~

福建省惠安県の人。現在シンガポール在住華僑。文具用品商、光明書店経営者。56年7月シンガポール工商業貿易視察団団員として日本ついで中共訪問。

莊惠泉 Chuang Hui-chüan

(Chuang Hui-tsun) 1900~

福建省安溪県の人。シンガポール在住華僑。印刷業兼文具商。馬華印刷有限公司董事兼經理。56年8月シンガポール工商業貿易視察団団員として中共を訪問。

庄(莊) 进(進)輝 Chuang Chin-hui

61年2月当時水利電力工会全国委員会秘書長。

庄(莊) 世平 Chuang Shih-ping

59年3月第二期全国人民代表大会華僑代表。

庄(莊) 成宗 Chuang Chêng-tsung

香港在住。56年3月政治協商会議広東省第



一期委員会常務委員, 当時香港福建商会主席。

庄(莊) 长 恭 Chuang Chang-kung

福建省の人。現在62歳位, 米国留学, 科学院有機化学研究所長といわれる。54年4月科学院物理数学化学部副主任。8月第一期全国人民代表大会福建省福州市代表。55年5月中国科学院物理学数学化学部委員。6月同学部常務委員会委員。56年3月国务院科学規画委員会委員。59年3月第二期全国人民代表大会福建省代表。

庄(莊) 田 Chuang Tien

海南島崖瓊万寧県生れ。北伐に参加。モスクワに留学し軍事を研究。帰国後江西紅軍に参加し, 団長, 団政治委員。34年西遷に参加。40年日本軍海南島作戦中, 馮白駒と崖瓊抗日独立縦隊を組織し, 副司令。46年1月政治協商会議の際南京に赴き崖瓊縦隊の北方移動を談合して成らず, その後広東南部で遊撃工作。49年1月桂滇黔辺縦隊成立と共に司令。51年冬越南国境に集結。人民解放軍雲南軍区副司令員兼西南軍政委員会委員。53年1月西南軍政委員会委員解任。一説に第2野戦軍第5兵团第16軍軍長, 貴州省軍区副司令員, 貴州省人民政府委員といわれる。

庄(莊) 慕 兰(蘭) [女]

Chuang Mu-lan

新民主主義青年団員。国务院対外貿易部通訳(英語専門)。55年3, 4月の間中共貿易代表団通訳として来日。

庄(莊) 明 远(遠) Chuang Ming-yüan

59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(中国農工民主党)。

庄(莊) 明 理 Chuang Ming-li

福建省晋江生れ。マレー華僑。元国民党員。

少時泉州の培元中学入学。後ペナンで兄と協成公司を經營し, 華僑送金貿易に従事。戦前「現代日報」を經營。40年国外追放処分を受け帰国, 重慶に居住。45年マレーに帰り, 同地の民主同盟に加入。ペナンの民主同盟機関紙「商業日報」の社長。民主同盟ペナン支部副主席。49年政務院華僑事務委員会委員, 政治協商会議全国委員会委員。53年11月全国工商業連合会第一期執行委員。54年9月第一期全国人民代表大会華僑代表。56年2月中国亞洲団結委員会委員。6月全国帰国華僑連合会準備委員会副主任, 同委員会副秘書長。10月同連合会副主席兼秘書長。同月国务院華僑事務委員会副主任, 同常務委員。56年12月全国工商連第二期執行委員(華僑)。58年7月中国アジア アフリカ団結委員会委員。59年3月第二期全国人民代表大会華僑代表。9月華僑事務委員会副主任兼委員。

庄(莊) 銘 耕 Chuang Ming-kêng

54年9月当時労働模範。56年4月当時全国先進生産者代表会議主席団員。59年3月第二期全国人民代表大会江蘇省代表。

庄(莊) 林 Chuang Lin

52年1月ハルビン鉄道管理局副局長。

曾 一 凡 Tsêng I-fan

54年11月国务院副秘書長。59年9月国务院副秘書長, 同参事室主任。

曾 远(遠) 輝 Tsêng Yüan-hui

53年9月当時内蒙古自治区人民政府外事処処長。55年8月当時内蒙古自治区人民委員会外事処処長。

曾 恩 波 Tsêng Ên-po

(Tsêng, Eddie) 1915~

広東省の人。広東嶺南大学修学。40年燕京

[Tao, Hsi-pai] 1894~

江蘇省常熟の人。18年上海セントジョーンズ大学卒。長沙湘雅大学英文教授。財政部関税委員, 煙酒事務署秘書。天津交渉公署第1科長ならびに会計処主任。江蘇省公署顧問。交通部秘書。国民政府参事処参議。金陵女子大学中国文学系主任。32年~36年大晩報を創刊その総経理, 総主筆。35年37年軍事委員会参事。38年~47年宣伝部国際宣伝処長兼中央政治学校新聞学院副院長。47年~48年新聞局次長。50年中国广播(放送)公司副総経理。50年~52年国民党中央改造委員。50年中央通訊社社長。52年中国广播公司総経理。60年当時中央通訊社社長。

曾 鏡 冰 Tsêng Ching-ping

45年中共七全大会で候補中央委員。華東軍政委員会土地改革委員会委員。52年福建省人民政府委員兼人民法院院長。54年6月華東軍政委員会土地改革委員会委員解任。55年2月福建省人民委員会委員。中共福建省委員会副書記といわれる。

曾 今 可 [名, 國珍] Tsêng Chin-kê

[Kuo-chên] 1901~

江西省泰和県の人。早稲田大学政治経済学部卒業。37年審計部浙江省審計処勤務。江西省保安司令部政治部上校科長, 江西政治日報社社長。広東, 浙江省政府参議。浙江省抗敵自衛総部政治部上校科長。湘鄂贛辺区挺進軍総部少将参議, 兼開平日報社社長代理。中央軍校西南遊撃幹部訓練班等の上校政治教官。中央文化運動委員会委員。46年正気出版社総幹事。48年台湾省通志館(文献委員会)主任秘書。「台湾詩報」および「台湾詩選」を主宰。

曾 庆(慶) 梅 Tsêng Ching-mei

55年3月安徽省人民委員会委員。60年7月

大学卒業。40年~41年香港 Daily Press 通信員。41年~42年香港 South China Morning Post 通信員。42年~45年中央通訊社従軍記者。45年~50年中央通訊社東京支局首席通信員。52年以来中央通訊社英語部部長。53年以来中央通訊社副総編集。

曾 汉(漢) 周 Tsêng Han-chou

54年6月中央人民政府最高人民法院副秘書長, 最高人民法院办公厅主任。11月最高人民法院庭長。55年2月最高人民法院審判委員会委員。58年4月当時最高人民法院庭長兼審判委員会委員。

曾 希 圣(聖) Tsêng Hsi-shêng

湖南省生れ。黄埔軍官学校出身。中央革命軍事委員会参謀。41年新4軍第7師司令。中共安徽省委員会書記。人民解放軍華東軍区政治部主任。50年1月華東軍政委員会委員。52年8月安徽省人民政府成立とともに政府主席。53年1月華東行政委員会委員。54年3月~56年3月当時中共安徽省委員会書記。54年8月第一期全国人民代表大会安徽省代表。9月同大会第1次会議提案審査委員会委員。55年3月安徽省人民委員会委員。56年9月中共第八期中央委員会委員。中共8全大会にて「安徽省の農業増産について」発言, 当時中共安徽省委員会第1書記。59年3月第二期全国人民代表大会安徽省代表。4月同大会第1次会議主席団。60年6月当時安徽軍区政治委員。

曾 毅 Tsêng I

華北大学工学院副院長。53年1月北京工業学院副院長。54年12月国务院高等教育部数学指導司司長。

曾 虚 白(筆名) [原名, 燾。字, 煦白]

Tsêng Hsi-pai



当時中共安徽省委員会書記処書記。

曾 宪(憲)輝 Tsêng Hsien-hui  
55年2月貴州省人民委員会委員。

曾 宪(憲)植〔女〕 Tsêng Hsien-chih  
53年1月～56年4月当時中華全国民主婦女連合会副秘書長。53年4月中華全国民主婦女連合会第二期執行委員，同常務委員。54年8月第一期全国人民代表大會湖南省代表。55年6月ヘルシンキ世界平和大会中共代表団員。57年9月中華人民共和国全国婦女連合会第三期執行委員会主席団員。59年4月政治協商會議第三期全国委員会委員（中華全国婦女連合会）。

曾 宪(憲)朴(樸) Tseng Hsien-pu  
53年8月当時政務院農業部特産司副司長。

曾 彦 修 Tsêng Yèn-hsiu  
53年8月当時中共中央華南分局宣伝部副部長。

曾 廣 漢 Tsêng Kuang-han  
広東省新会県の人。ホノルル在住華僑。国府農林部専員，国民党ハワイ総支部書記長，僑務委員会僑民視察専員等を歴任。

曾 广(廣)福 Tsêng Kuang-fu  
54年8月第一期全国人民代表大會山東省代表。59年4月政治協商會議第三期全国委員会委員（農民代表）。

曾 克 Tsêng Kê  
江西省の人。現在44歳位。人民解放軍総司令部作戦部第3局第1副局長。54年9月西南軍政委員会文化教育委員会委員解任。

曾 克 林 Tsêng Kê-lin  
55年9月1日終解放勲章を授与さる。58年12月当時中国人民解放軍海軍航空司令部副司令員。

曾 三 Tsêng San  
31年中共軍江西省放送本局幹部。54年8月第一期全国人民代表大會河北省代表。11月国家檔案（記録文書）局局長。56年9月中共八全大会にて「記録文書活動をよりよく国家建設のために奉仕させよ」と発言。59年9月国家檔案局局長。

曾 山 Tsêng Shan 1904～  
江西省の人。31年11月瑞金に中華ソヴィエト政府樹立当時，63名の中央執行委員の一人，江西ソヴィエト主席。中共中央華中局組織部主任。45年3月華中に建設大学設置と同時に校長。中共7全大会で中共中央委員会委員。中共中央華中局組織部長。48年8月華北人民政府財政經濟委員会委員。49年4月新民主主義青年団創立準備委員。49年10月政務院政務委員兼財政經濟委員会委員。政務院紡織工業部部長。華東軍政委員会副主席兼財政經濟委員会主任。人民銀行華東区行經理。51年治淮委員会主任兼任。52年8月政務院財政經濟委員会副主任。政務院商業部部長。53年1月華東行政委員会副主席。54年7月中華全国供銷（購販）合作総社監事会主任。54年9月國務院商業部部長。11月國務院第5辦公室副主任。12月政治協商會議第二期全国委員会委員（共産党）。56年4月全国先進生産者代表會議主席団員。5月アルバニア労働党代表大会に中共中央代表として参加。9月中共第八期中央委員会委員，中共8全大会にて「日用工業品の生産と分配の仕事を改善せよ」と発言。11月

商業部部長解任。58年10月当時中共交通工作部長。59年3月第二期全国人民代表大會山東省代表。同月先進生産者代表會議準備委員会委員。4月政治協商會議第三期全国委員会委員（共産党）。同月第二期全国人民代表大會予算委員会委員，常務委員会委員。60年11月内務部部長。61年2月アルバニア労働党第4次大会参加中共代表団員。3月ノルウェー共産党第10次大会参加中共代表。

曾 志〔女〕 Tsêng Chih  
湖南省宜章県の人。現在50歳位。33年中共に入党，かつて中共広州市委員会婦人工作部副部長，広州電業管理局長を歴任したといわれる。53年1月中南軍政委員会委員解任。54年8月第一期全国人民代表大會広州市代表。55年9月当時中共広州市委員会副書記。60年11月当時広州市中ソ友好協会副会長。

曾 惇 Tsêng Tun  
53年3月武漢市建築工人教育委员会主任委員，当時中共武漢市委員会宣伝部副部長。55年8月当時中国人民世界平和擁護委員会武漢分会副主席。59年4月当時湖北省委員会宣伝部部長。7月中国人民保衛世界和平委員会委員。60年5月当時第二期湖北省委員会常務委員。7月全国文芸工作者代表大会主席団。8月中国文学芸術界連合会第三期委員会委員。

曾 庶 凡 Tsêng Shu-fan  
54年9月西南軍政委員会人民監察委員会委員解任。56年2月民主同盟第二期中央委員会委員。57年6月第一期全国人民代表大會四川省代表(補選)。58年2月同大会第5次會議において「右派分子」の理由により代表資格を剝奪される。

曾 少 东 Tsêng Shao-tung

55年4月当時浙江省人民委員会副秘書長。

曾 昭 燭〔女〕 Tsêng Chao-yü  
54年12月政治協商會議第二期全国委員会委員（中華全国民主婦女連合会）。59年4月政治協商會議第三期全国委員会委員（中華全国婦女連合会）。61年5月当時南京博物院院長。

曾 昭 森 Tsêng Chao-sên  
米国に留学，コロンビア大学博士。教授。49年10月政務院文化教育委員会委員。

曾 昭 生 Tsêng Chao-shêng  
53年2月当時中国人民抗米援朝総会辦公庁主任。4月当時中国人民世界平和擁護委員会辦公庁主任。10月中国人民第3回訪鮮慰問団総団副秘書長。54年9月安東省における中国人民志願軍帰国部隊歓迎会抗米援朝総会代表。

曾 昭 掄〔叔伟(偉)] Tsêng Chao-lun  
[Shu-wei] 1898～  
湖南省湘郷県の人。清華学校卒業。米国マサチューセッツ工科大学留学。博士。帰国後南京中央大学理化学系助教，北京大学化学系教授，北京大学教務長兼校務委員会委員。49年6月華北人民政府華北高等教育委員会常務委員。9月中華全国第1次自然科学工作者代表大会準備委員会代表として政治協商會議に出席，同會議全国委員会委員。50年12月政務院教育部高等教育司司長。53年6月～54年6月当時政務院教育部副部長。53年10月～54年2月同時北京市抗米援朝分会副主席。54年2月人民解放軍慰問代表団直屬総分団副団長。4月当時世界平和擁護委員会北京市総分団副主席。5月～55年2月当時中華全国自然科学専門学会連合会副主席。54年8月第一期



全国人民代表大會湖南省代表。11月國務院高等教育部副部長。12月政治協商會議第二期全國委員會委員(教育界),中ソ友好協會第2次全國代表會代表(中國民主同盟)。55年5月中國科學院物理學數學化學學部委員。6月同常務委員會委員。56年2月中央標準語普及工作委員會委員。同月民主同盟第二期中央委員會委員,同中央常務委員會委員。7月中國化工學會準備委員會副主任委員。11月中國エジプト友好協會理事。58年2月第一期全國人民代表大會第5次會議において「右派分子」の理由により代表および予算委員の資格を剝奪される。59年4月政治協商會議第三期全國委員會委員(特別招請人士)。

曾紹山 Tsêng Shao-shan

湖南省人。中共軍の大西遷の際の幹部。共産軍の連、營、団、の各々長、軍政委、兵団政治委の各委員を歴任。55年5月旅大市中ソ連合軍事委員會委員。58年12月当時旅大地区に駐屯(中將)。濟南軍区司令員。上將。60年12月当時駐瀋陽部隊首長。

曾震五 Tsêng Chên-wu

湖南省の人。51年西北軍政委員會委員兼交通部副部長。53年1月西北行政委員會委員。10月中国人民第3回訪鮮慰問団第2總分団副団長。54年12月政治協商會議第二期全國委員會委員(特別招請人士)。同月陝西省人民委員會委員。56年2月国民党革命委員會候補中央委員。

曾世英 Tsêng Shih-ying

江蘇省人。18年蘇州師範學院卒業,米國シラキユース大学に留学,29年~46年中国地理調査所技師。43年~44年米国防省地図作成顧問。59年3月第二期全國人民代表大會江蘇省代表。著書「中華民国新地圖」。

曾生 [原名,振聲] Tsêng Shêng  
[Chên-shêng] 1910~

広東省恵陽の人。香港で勉学。後シドニーの父の膝下で6年間居住。帰国後広州大学教育系入学。陳濟棠の学生汪迫時香港に逃れ皇后号の海員。日華事変勃発後恵陽に帰り遊撃隊を組織。43年中共指導下の東江縦隊司令員。その後煙台で両広縦隊を編成,両広が中共支配下に入った後帰郷。広東省人民政府委員。54年8月第一期全國人民代表大會広東省代表。59年3月第二期全國人民代表大會広東省代表。6月当時南海艦隊首長。60年12月広東省副省長,広州市長。

曾成發 Tsêng Chêng-fa

福建省の人。ビルマ在住華僑。華商商会副理事長,義發会社の経営者。ソ連およびチェコの機械類のエージェント。ロータリー・クラブのメンバー。ビルマ政界に知人が多いといわれる。

曾甦元 Tsêng Su-yüan

54年12月政治協商會議第二期全國委員會委員(特別招請人士)。59年4月政治協商會議第三期全國委員會委員(同)。

曾澤远(遠) Tsêng Tsè-yüan

現在42歳。57年10月訪日中国農業技術団員。

曾澤生 Tsêng Tsè-shêng 1902~

雲南省永善県の人。黄埔軍官学校第四期卒業生。国府軍第182師師長。東北へ転戦し第60軍長。48年9月長春守備区より全軍中共軍へ寝返り改編,人民解放軍第50軍長,華南「解放」戦に参加。49年9月中国人民解放軍第4野戦軍代表として政治協商會議に出席。50年中南軍政委員會委員。10月人民解放軍第16兵

団第50軍長として朝鮮に出動。53年1月東北行政委員會委員。54年8月第一期全國人民代表大會長春市代表。9月東北行政委員會委員解任。同月国防委員會委員。55年9月1級解放勳章を授与さる。59年3月第二期全國人民代表大會吉林省代表。4月国防委員會委員。政治協商會議第三期全國委員會委員(特別招請人士)。

曾直 Tsêng Chih

60年11月國務院財政部副部長。

曾呈奎 Tsêng Chêng-kui

56年6月中ソ朝越四国漁業研究會議中共政府代表団代表。

曾滌 Tsêng Ti

53年3月~55年9月当時人民解放軍新疆軍区政治部副主任(少將)。60年5月当時新疆ウイグル自治区委員會書記。

曾傳六 Tsêng Chuan-liu

湖北省の人。中南軍政委員會貿易部部長兼物資管理局局長。53年1月中南行政委員會委員。11月全國工商業連合會執行委員。54年8月第一期全國人民代表大會河南省代表。11月國務院商業部副部長。59年3月第二期全國人民代表大會河南省代表。4月同大会第1次會議提案審查委員會委員。9月商業部副部長。60年3月第二期全國人民代表大會第2次會議提案審查委員會委員。

曾怒怀(懷) Tsêng Nu-huai

55年2月雲南省人民委員會委員。56年8月昆明市副市長。58年11月雲南省人民委員會委員。60年10月当時昆明市副市長。

曾濤 Tsêng Tao

60年3月中国ラテンアメリカ友好協會常務理事。6月当時新華社ハバナ(キューバ)分社長。61年5月ラオス問題ジュネーブ會議中共代表団顧問。操霜双束月当時國務院外事辦公室秘書長。

曾德林 Tsêng Tê-lin

53年7月新民主主義青年団第二期中央委員。54年3月当時同団重慶市委員會書記。57年5月中国共産主義青年団中央委員會常務委員。59年3月当時同委員會大学工作部部長。60年3月同委員會書記処候補書記(補選)。

曾美 Tsêng Mei

53年3月当時京津衛戍司令部副參謀長。54年10月当時人民解放軍京津衛戍司令部參謀長。55年9月1級解放勳章を授与さる。56年6月当時人民解放軍少將。

曾文昌 Tsêng Wên-chang

54年8月第一期全國人民代表大會雲南省代表。11月当時雲南省工業労働模範。59年3月第二期全國人民代表大會雲南省代表。

曾平 Tsêng Ping

53年9月~54年2月当時北京市中ソ友好協會總幹事。54年4月当時中ソ友好協會ソ連メーデー參觀団員。56年12月当時世界平和擁護委員會北京市分会副秘書長。

曾保堂 Tsêng Pao-tang

54年4月~55年8月当時人民解放軍山西軍区副司令員。

曾寶蓀[女] Tsêng Pao-sun 1894~

湖南省の人。16年ロンドン大学卒業。19年~20年湖南省立第1女子師範学校長。31年~



太平洋問題調査会京都会議中国代表。31年同杭州会議中国代表。38年印度タムバラム會議中国代表。40年国民参政會議員。48年以来国民大会代表。49年印度において開催の世界平和論者会(ガンジー主義者会)中国代表。52年婦人の地位に関する国連委員会中国代表。60年当時光復大陸設計研究委員会副主任委員。

曾約農 Tsêng Yüeh-nung

56年10月第9回ユネスコ大会中華民国首席代表。

曾涌泉 Tsêng Yung-chüan

湖南省の人。52年2月中共駐ソ大使館公使。10月彭明治のあとをうけて駐ポーランド大使。53年1月ワルシャワで行われた「中国・ポーランド文化合作協定53年度執行計画」調印式に駐ポーランド大使として参列。55年1月～57年6月駐東独大使。5月ドイツ「解放」10周年慶祝式典参加の中共政府代表団団員。12月ピーク大統領誕生80年祝典参加の中共中央派遣のドイツ統一社会党第3次代表大会参列代表団団員。59年9月外交部副部長再任。60年2月教育文化、衛生、体育関係社会主義建設先進グループ、先進活動家全国代表大会準備委員会委員。6月全国文教先進工作者代表大会主席団。61年6月中国チエコ領事条約批准書交換証書に署名。

操震球 Tsao Chên-chiu

55年3月安徽省人民委員会委員。

霜耐冬 Shuang Nai-tung

僂僂族。54年8月雲南省怒江僂僂族自治区人民政府副主席。

丛(叢)一平 Tsung I-ping

52年12月当時中共西安市委員会秘書長。58

年5月当時西安市委員会常務委員。

双(雙)清 Shuang Ching

55年2月貴州省人民委員会委員。同月政治協商會議第一期貴州省委員会副主席。56年2月民主同盟第二期中央委員会委員。59年4月政治協商會議第三期全国委員会委員(中国民主同盟代表)。

臧君宇 Tsang Chün-yü

55年9月～60年12月中共駐ノールウェー大使館参事官。

臧启(啓)怀(懷) Tsang Chi-huai

55年2月河北省人民委員会委員。

臧克家 Tsang Kê-chia 1910～

山東省の人。青島大学卒業。山東中学の国文教員。のち、詩人、作家。戦後短篇小説創作。文芸雑誌「文訊」編集。53年10月中国作家協会理事。56年12月同協会書記処書記。59年3月第二期全国人民代表大会山東省代表。60年8月中国文学芸術界連合会第三期全国委員会委員。

臧成耀 Tsang Chêng-yao

55年12月当時農業部經濟作物生産総局棉産処処長。

臧珍五 Tsang Chên-wu

60年3月北京農業機械化学学院副院長。

東雲章[名, 士方] Shu Yün-chang [Shih-fang] 1887～

江蘇省丹陽の人。10年京師大学堂卒業。11年陝西留学預備科教授。15年中国銀行に入る。18年漢口銀行副經理, 天津中国銀行副經理。36年

西安中国銀行総經理, 雍興公司総經理。戦後行政院紡績事業管理委員会主任委員, 中国紡織建設公司総經理。48年立法委員, 中紡公司董事。49年中紡公司董事長。51年雍興公司董事長。56年4月中華民国各界日本親善訪問団団員として来日。

粟树(樹)彬 Su Shu-pin

56年1月中国オリンピック委員会(中共側)委員。

粟裕 Su Yü 1909～

福建省出身。26年北伐の時, 第4軍独立団(葉挺)の学生隊に参加。その後中共に入党。27年8月南昌暴動に参加, 失敗後朱徳とともに井岡山に入り団長。29年江西省農民を組織し, 紅軍第64師長。31年林彪の第4軍教導營長, 紅軍大学生隊營長。32年紅軍第10軍参謀長。34年紅軍西遷直前, 方志敏とともに北上, 紅軍抗日先遣隊参謀長として浙江, 湖南, 福建省境一帯に遊撃戦を展開。方志敏が銃殺された後先遣隊司令に昇格。38年新4軍成立とともに江南に進出, 遊撃作戦を展開。39年新4軍蘇北指揮部副司令員。41年皖南事件後新4軍第1師長, 蘇中軍区司令兼政治委員。44年蘇浙皖辺区司令。45年中共7全大会で中共候補中央委員。49年華東軍政委員会副主席。人民解放軍第3野戦軍副司令員。10月中央人民政府人民革命軍事委員会委員。11月南京市長。その後人民革命軍事委員会副総参謀長。53年1月華東行政委員会副主席。54年8月第一期全国人民代表大会人民解放軍華東軍区代表。9月国防委員会委員。54年12月～55年6月当時人民解放軍総参謀長。54年12月中ソ友好協会第2次全国代表会代表(軍隊)。55年9月1級八一勳章, 1級独立自由勳章および1級解放勳章を授与さる。同月人民解放軍大將。56年9月中共第八期中央委員会委員。58

年10月免中国人民解放軍総参謀長。59年3月第二期全国人民代表大会軍隊代表。4月国防委員会委員。9月国防部副部長。

粟凌岐 Su Ling-chi

56年2月当時中共魯山県(河南省)委員会宣伝部副部長。

孙(孫)亚(亞)明 Sun Ya-ming 1914～

日本専修大学卒業。57年全国人民代表大会常務委員会法律室副主任。60年10月国際民主法律工作者第七期大会(ソフィア)中国代表団団員。61年3月訪日中国法律家代表団団員。

孙(孫)維世[女] Sun Wei-shih

53年6月中華全国民主青年連合会第二期全国委員会候補委員。54年4月～55年10月当時中国青年芸術劇院副院長。54年12月政治協商會議第二期全国委員会委員(新民主主義青年団)。同月中ソ友好協会第2次全国代表会代表。58年7月中国人民保衛世界和平委員会委員。59年4月政治協商會議第三期全国委員会委員(中国文学芸術界連合会)。

孙(孫)維忠 Sun Wei-chung

54年7月天津市労働模範。56年1月政治協商會議第二期全国委員会特別招請委員。59年4月政治協商會議第三期全国委員会委員(中華全国総工会)。

孙(孫)蔚如 Sun Wei-ju 1894～

陝西省の人。北京軍官学校卒業。32年第38師師長。かつて国民革命軍陸軍第17師師長(楊虎城軍)。36年西安事変の結果軍職を辞し, 陝西省政府主席。その後中国国民党革命委員会団結委員。49年国府第6戦区総司令当時中共に投降。50年西北軍政委員会委員, 政治法律



委員会委員。53年1月西北行政委員会委員、陝西省人民政府。財政經濟委員会委員。10月中国人民訪鮮慰問団第2総分団副団長。54年6月西北軍政委員会土地改革委員会委員解任。9月国防委員会委員。55年3月政協會議陝西省第一期委員会副主席。56年2月国民党革命委員会中央委員。58年8月陝西省副省長。12月国民党革命委員会第四期中央委員会委員。59年4月国防委員会委員。

孫(孫)毓棠 Sun Yü-tang 1910~

江蘇省無錫の人。国立清華大学歴史学系卒業。東京帝大大学院歴史学部で兩漢史を専攻。民主同盟員。清華大学教授。49年初め当時毛沢東支持声明派の一人。著書「海盜船」(34年出版)「夢郷曲」(35年出版)「宝馬」および未刊行の「兩漢史割記」。

孫(孫)軼青 Sun I-ching

53年7月新民主主義青年団第二期中央委員。55年7月ワルシャワにおける第5回世界青年および学生平和友誼交歓会参加の中共青年代表団員。60年3月中国共産主義青年団中央委員会常務委員会委員(増選)、中華全国新聞工作者協会理事会常務理事、同書記処書記。4月中国アフリカ人民友好協会理事。

孫(孫)雨亭 Sun Yü-ting

53年1月西南行政委員会民族事務委員会副主任。58年3月当時雲南省委員会統戰部部長。8月当時同委員会辺境工作委員会書記。60年10月当時雲南省委員会書記。

孫(孫)芸生 Sun Yün-shêng

60年4月当時中共柳州市委員会書記。

孫(孫)云(雲)鑄 Sun Yün-chu

54年2月当時地質学会理事会常任理事。55年6月中国科学院生物学地学学部委員。56年1月政治協商會議第二期全国委員会特別招請委員。2月九三学社第四期中央委員会委員。59年4月政治協商會議第三期全国委員会委員(中国科学技術協会)。

孫(孫)卫(衛)和 Sun Wei-hè

55年1月当時河南省人民政府交通庁副庁長。

孫(孫)越崎 Sun Yüeh-chi

51年政務院財政經濟委員会中央財經計画局副局長。54年12月政治協商會議第二期全国委員会委員(自然科学団体)。56年2月国民党革命委員会中央委員。58年12月国民党革命委員会第四期中央委員会委員。59年4月政治協商會議第三期全国委員会委員(中国科学技術協会)。

孫(孫)決 Sun Yang

55年10月当時国務院国家計画委員会研究編集室主任。56年11月国家計画委員会委員。

孫科 [哲生] Sun Kê

(Sun Fo) [Chê-shêng] 1895~

広東省の人。故孫文の子息。米カリフォルニア大学およびコロンビア大学卒業。35年国立復旦大学名誉法学博士。21年~26年広東市市長。26年交通部長、国民党中央党部青年部長、中央特別委員会委員。27年~28年財政部部長。28年~31年鉄道部部長、考試院副院長。32年~48年立法院院長。26年~50年国民党中央執行委員。46年政治協商會議議長。48年憲政下初代副総統に立候補したが選挙前にこれを辞退。48年4月「全国再建協会」という新政治団体を結成。5月立法院長。12月~49年

3月行政院長。7月国民党非常委員会委員。

孫(孫)格巴登 Senge Baldan

西藏族。55年5月~56年2月当時班禅額爾德尼駐京辦事処処長。56年4月西藏自治区準備委員会文教処処長。

孫(孫)汉(漢)章 Sun Han-chang

56年9月中共八大会にて「貴定県幹部の養成について」発言、当時中共貴州省貴定県委員会書記。

孫(孫)希同 Sun Hsi-tung

56年12月当時中国五金進口公司(中共側)員。

孫(孫)其祥 Sun Chi-hsiang

55年10月当時中共甘肅省礼県委員会農村工作部部長。

孫(孫)起孟 Sun Chi-mêng

安徽省休寧の人。蘇州の東呉大学卒業後上海申報の編集員。33年貴州に行き、顧祝同の四川剿匪総司令部秘書等。後貴州省立第一師範学校校長。星粵日報の副総編集人。黄炎培の指導する上海の職業教育社総書記。49年香港に赴き、通訊大学経営。10月政務院副秘書長兼人事局長。50年9月政務院人事部副部長。53年11月全国工商業連合会第一期執行委員。54年8月第一期全国人民代表大会安徽省代表。10月同大会常務委員会副秘書長。11月国務院第8辦公室副主任。12月政治協商會議第二期全国委員会委員(中国民主建国会)、同常務委員。56年12月全国工商業連合会第二期特別招請執行委員。59年4月第二期全国人民代表大会安徽省代表。同大会予算委員会副主任委員、同委員、同大会常務委員会副秘書長、同常

務委員。政治協商會議第三期全国委員会委員(中国民主建国会)、同常務委員。59年当時政治協商會議第三期全国委員会学習委員会副主任委員、同全国委員会工商業組長。60年2月中国民主建国会第二期中央委員会副主任委員。

孫(孫)揆一 Sun Kui-i

59年9月国務院国家統計局副局長。

孫(孫)毅 [燕士] Sun I [Yên-shih]

河北省の人、現在60歳位、保定軍官学校卒業、48年第17兵团司令員、50年中共軍河北軍区司令員、51年志願軍右翼軍司令員、53年特種部隊司令員といわれる。53年3月当時人民解放軍華北軍区副参謀長。55年9月1級八一勳章、1級独立自由勳章および1級解放勳章を授章さる。

孫(孫)毅华(華) Sun I-hua

人民解放軍川南(四川省南部)軍区衛生部部長。53年1月華西大学副校長。

孫(孫)儀之 Sun I-chih

58年9月当時中共軍総後勤部衛生部副部長。

孫(孫)吉玉 Sun Chi-yü

54年10月当時中共駐ブルガリア大使館商務副專員。

孫(孫)曉村(邨) Sun Hsiao-tsun

元南京国民政府資源委員会副主任。49年10月政務院財政經濟委員会委員。51年同委員会計画局副局長。51年~60年1月北京農業大学校長。53年1月当時中国民主建国会北京市分会主任委員。2月北京中ソ友好協会副会長。54年5月中国人民对外文化協会理事。8月第一期全国人民代表大会山東省代表。11月当時中国銀行董事。56年2月中国亞洲團結委員会委



員。3月当時政治協商會議全國委員會學習委員會委員。57年当時學術委員會委員。58年9月中国北ヴェトナム友好協会副会長。59年3月第二期全国人民代表大會山東省代表。4月政治協商會議第三期全國委員會委員(中国民主建國會), 同会常務委員, 同委員会副秘書長, 第二期全国人民代表大會提案審查委員會委員。59年当時中国 アジア アフリカ團結委員會委員。60年4月当時中国 ルーマニア友好協会理事。

孫 玉 書 Sun Yü-shu

52年9月国府駐日大使館1等書記官。

孫(孫) 欣 普 Sun Hsin-pu

現在42歳。58年3月訪日中国郵電工会代表団員, 当時中国郵電工会副国際部長。

孫(孫) 金 城 Sun Chin-chêng 1919~

南潘医科大学卒業。内科専門。西安医科大学講師。56年10月~11月アジア産業保健会議出席のため団員として来日。57年12月訪日中華医学總會代表団随員, 当時瀋陽医学院内科教研組講師。

孫(孫) 君 一 Sun Chün-i

54年12月青海省人民委員会委員。55年6月当時中共青海省委員会宣伝部長。58年4月当時青海省副省長。59年3月第二期全国人民代表大會青海省代表。60年11月当時中共青海省委員会常務委員。

孫 桂 籍 Sun Kui-chi 1911~

黒竜江省の人。国立北平大学に学ぶ。旅順, ついで長春市長。48年国府立法委員。

孫(孫) 桂 珍〔女〕 Sun Kui-chên

59年3月第二期全国人民代表大會河北省代

表。

孫(孫) 敬 之 Sun Ching-chih

53年5月当時中国地理学会書記, 中国人民大学經濟地理教研室主任。56年2月国際地理学科会議に出席の中共代表団員としてインド訪問。58年4月当時中国地理学会副理事長。

孫(孫) 敬 文 Sun Ching-Wên

河北省の人。49年チャハル省政府に入る。50年張家口市長, のち中共党チャハル省委員会第2書記。52年チャハル省人民政府副主席。54年8月当時政務院建築工程部城市(都市)建設局局長。11月国務院国家建設委員会委員。55年4月同院城市建设総局副局長。59年9月石油工業部副部長。

孫 景 華 Sun Ching-hua 1904~

福建省の人。35年ロンドン大学博士。44年資源委員会電気化学冶金廠副總經理。46年台湾アルミニウム廠總經理。50年以来台湾アルミニウム廠董事長。

孫(孫) 景 斌 Sun Ching-pin

56年1月当時中国科学院応用化学研究所学術委員会委員。

孫(孫) 劍 峨 Sun Chien-ê

59年2月~60年2月当時蘭州市市長。

孫(孫) 謙 Sun Chien

53年10月中国作家協会理事会理事。55年12月当時映画シナリオライター。

孫 元 良 Sun Yüan-liang 1904~

四川省華陽県の人。24年黄埔軍官学校卒業。26年北伐第1路軍第1營長。27年~29年日本陸軍士官学校に在学。特別砲兵隊長, 国民軍

孫(孫) 克 驥 Sun Kê-chi

60年6月当時駐昆明部隊首長。

孫(孫) 作 賓(賓) Sun Tsuo-pin

50年甘肅省党委員会主任補, 同年同省人民政府に入り, 同時に同省人民監察委員会委員長。53年9月当時中共中央西北局統一戦線工作部副部長。54年8月第一期全国人民代表大會青海省代表。12月青海省省長。

孫(孫) 志 遠(遠)〔女〕 Sun Chih-yüan

人民解放軍出身, 49年政協會議第1次全体會議に第1野戦軍代表の一人として出席。50年頃西南軍政委員会委員兼秘書長。52年11月政務院副秘書長。54年8月第一期全国人民代表大會四川省代表。11月国務院第3辦公室副主任。同月国務院国家建設委員会副主任。56年11月~61年4月国務院国家經濟委員会副主任。56年3月全国文盲一掃協会委員。58年5月中共第八期中央委員会候補委員。59年3月先進生産者代表會議準備委員会委員。4月政治協商會議第三期全國委員會委員(中国共産党), 同会常務委員, 提案審查委員会委員。9月国家經濟委員会副主任兼委員。61年1月第3機械工業部部長。

孫(孫) 叔 平 Sun Shu-ping

59年8月当時南京大学副校長。

孫(孫) 淑 芝〔女〕 Sun Shu-chih

54年12月政治協商會議第二期全國委員會委員(教育界代表)。59年4月政治協商會議第三期全國委員會委員(教育界代表), 同委員会第1次全体會議主席団員。

孫(孫) 純 Sun Chun

53年4月~54年12月当時対外貿易部進口(輸入)局副局長。

第2師第7団長。32年第5軍第259旅長。33年陸軍大学卒業。33年~37年第88師長, 第72軍軍長。39年欧米において軍事科学ならびに裝備を研究。44年第28集團軍副司令, 第29軍軍長。46年第47軍長。47年第16兵团司令官。49年各地に転戦したが, 部下の背反に遭い台湾に退く。著書「世界軍事史」「ナポレオン兵法」。

孫(孫) 光 瑞 Sun Kuang-jui

55年2月河北省高級人民法院院長。

孫(孫) 光 普 Sun Kuang-pu

56年12月当時中国糧穀油脂出口公司天津分公司經理。

孫(孫) 孝 菊〔女〕 Sun Hsiao-chü

全国鐵路模範(齊齊哈爾鐵路分局副調度長)。53年4月中国第2回全国婦人代表大會主席団員, 中華全国民主婦女連合会第二期執行委員, 同月総工会東独メーデー參觀団員, 同月~7月コペンハーゲンで開催の世界婦人代表大會出席代表団員。54年8月第一期全国人民代表大會黒竜江省代表。59年3月第二期全国人民代表大會遼寧省代表。60年2月当時瀋陽鐵路局客運室副主任。

孫(孫) 香 云(雲)〔女〕 Sun Hsiang-yün

54年8月第一期全国人民代表大會河南省代表。59年3月第二期全国人民代表大會河南省代表。

孫(孫) 康 Sun Kang

55年2月雲南省人民委員会委員。

孫(孫) 鴻 泉 Sun Hung-chüan

55年3月山東省人民委員会委員。



孙(孫) 书(書)棋 Sun Shu-chi

56年1月当時科学院应用化学研究所学术委员会委員。

孙(孫) 承 佩 Sun Chêng-pei

54年12月政治協商會議第二期全国委員会委員(九三学社)。56年2月九三学社第四期中央委員会委員。58年7月中国人民保衛世界和平委員会委員。58年12月九三学社第五期中央委員会常務委員, 同委員, 同秘書長。59年4月政治協商會議第三期全国委員会委員(九三学社)。

孙(孫) 松 山 Sun Sung-shan

54年6月当時旅大市人民代表大会代表。

孙(孫) 章 録 Sun Chang-lu

53年11月全国工商業連合会第一期執行委員。

孙(孫) 湘 Sun Hsiang

53年11月当時天津鉄路管理局副局長。

孙(孫) 照 森 Sun Chao-sên

55年2月遼寧省人民委員会委員。

孙(孫) 振 华(華) Sun Chên-hua

53年7月新民主主義青年団第二期中央委員。

孙(孫) 慎 Sun Shên

54年3月当時群众歌曲評選委員。55年6月~11月当時中国音楽家協会副秘書長。60年4月当時中国音楽家協会書記処書記。

孫 震 Sun Chên

60年11月当時総統府国策顧問。

孙(孫) 綏 之 Sun Sui-chih

56年12月全国工商業連合会第二期執行委員(貴州省)。

孫 瑞 荃 Sun Jui-chüan

60年9月国府駐タイ国ソクラ総領事。

孙(孫) 正 Sun Chêng 1930~

中共黨員。北京新聞学校卒業。中共中央社会部工運科職員。中国人民出版社職員。55年10月~11月の間中共見本市代表团工作員として来日。

孙(孫) 星 甫 Sun Hsing-fu

55年2月吉林省人民委員会委員。

孙(孫) 盛 渭 Sun Shêng-wei

60年4月中共駐ビルマ大使館参事官。

孙(孫) 盛 泉 Sun Shêng-chüan 1923~

遼寧省人。中共黨員。中共中央書記処員。55年3~4月エカフエ會議にオブザーバーとして出席の世界労連代表団の通訳として来日。55年8月広島における原爆禁止世界大会の際通訳として来日。56年11月中共工会通訳として来日。57年11月訪日中国第1機械工会代表团通訳。58年3月訪日中国郵電工会代表团通訳, 当時全国総工会通訳。60年7月訪日総評記念式典出席中共代表团通訳。8月第6回原水爆禁止世界大会(広島)参加中共代表团通訳。61年1月訪日中華全国総工会代表团通訳, 当時総工会国際部員。3月訪日中国婦人代表团通訳。

孙(孫) 先 风(風) Sun Hsien-fêng

中国国際貿易促進委員会職員。55年10~11月の間中共見本市代表团工作員として来日。

孙(孫) 先 余 Sun Hsien-yü

60年3月当時中共重慶市委員会書記。

孙(孫) 然 Sun Jan

53年7月当時政務院燃料工業部炭礦管理総局局長。

孙(孫) 蓀 荃〔女〕 Sun Sun-chüan

54年12月政治協商會議第二期全国委員会委員(九三学社)。56年2月九三学社第四期中央委員会委員。59年3月国務院参事室参事。

孙(孫) 大 光 Sun Ta-kuang

49年東北航運総局主任, 50年中ソ国境河川航行および構築協定に署名。53年9月当時政務院交通部計画司司長。54年6月東北航海学院院长解任。55年1月国務院交通部部長助理。5月~6月オランダで開催された燈台および航海問題国際會議に出席。59年1月中国国際貿易促進委員会委員。海事仲裁委員会主席。9月交通部副部長。

孙(孫) 仲 逸 Sun Chung-i

55年2月広西省人民委員会委員。5月广西農学院院長。59年4月政治協商會議第三期全国委員会委員(特別招請人士)。

孙(孫) 仲 德 Sun Chung-tê

54年6月安徽省人民政府委員解任。8月第一期全国人民代表大会安徽省代表。55年4月上海第2医学院院長。58年11月安徽省副省長。

孙(孫) 鼎 Sun Ting

59年4月政治協商會議第三期全国委員会委員(中華全国工商業連合会)。

孙(孫) 哲 Sun Chê

60年5月当時中共ウルムチ市委員会書記。

12月当時解放軍高級歩兵学校副校長。

孙(孫) 哲 昕 Sun Chê-hsin

56年12月全国工商業連合会第二期執行委員(山西省)。

孙(孫) 傳 祿 Sun Chuan-lu

55年8月当時広東省对外貿易局局長。

孙(孫) 殿 才 Sun Tien-tsai

寧夏省の人。中共寧夏省工作委員会書記。49年末西北軍政委員会委員兼寧夏省人民政府副主席。53年1月西北行政委員会委員。54年8月第一期全国人民代表大会甘肅省代表。9月甘肅省人民政府副主席に補充(寧夏省廃止)12月甘肅省副省長。58年5月甘肅省第一期人民代表大会第5次會議にて右派分子として全国人民代表大会代表資格を剝奪。60年1月右派分子の名称を除去せられた。

孫 宕 越 Sun Tang-yüeh 1907~

広東省の人。リヨン大学留学。34年~40年国立中山大学教授。41年~42年中央政治学校教授。51年以来台湾師範学校教授。50年以来海外通訳社長, 華僑月刊主筆。55年当時国府教育部高等教育司司長, 大学用書編審委員会秘書。60年12月免教育部高等教育司司長。

孙(孫) 东 川 Sun Tung-chuan

55年2月河北省農林庁農業機械管理局局長。

孙(孫) 德 和 Sun Tê-hê

冶金学者。54年8月第一期全国人民代表大会安徽省代表。55年6月中国科学院技術科学学部委員。55年12月中国科学院金属研究所学术委員会委員。59年3月第二期全国人民代表大会安徽省代表。4月同大会第1次會議で「黑色冶金設計工作の躍進」について発言。



孫(孫) 冰如 Sun Ping-ju

55年1月天津市人民委員会委員。

孫(孫) 孚凌 Sun Fu-ling

53年3月中華全国青年第2次代表大会準備委員会委員。6月当時北京市民主青年連合会副主席。同月中華全国青年連合会常務委員兼副秘書長。7月ブカレストにて開催の第3回世界青年代表大会および第4回世界青年および学生平和友好懇親節に出席の中共青年代表団団員。11月全国工商業連合会第一期執行委員。54年12月政治協商会議第二期全国委員会委員(中華全国民主青年連合会)55年2月北京市人民委員会委員。55年11月~56年1月当時北京市工商業連合会副主任委員。2月当時北京市公私合営製粉総廠廠長。56年12月全国工商業連合会第二期執行委員(北京市)。同会副秘書長。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(中華全国青年連合会)。61年9月当時中華全国青年連合会副秘書長。

孫(孫) 伏園(園) Sun Fu-yüan

53年10月中国文学芸術界連合会第二期全国委員会委員。60年8月中国文学芸術界連合会第三期全国委員会委員。

孫 文 [逸仙, 別字, 中山]

Sun Wên (Sun Yat-sen,)

[I-hsien Chung-shan] 1866~1925

広東省香山県(後中山県)の人。1878年ハワイに赴く。87年香港アリス医学校に転学。94年ハワイにて興中会を創立。そのご海外を転々としつつ、革命建国原理「三民主義」を提唱。98年日本に來り革命勢力の糾合をはかり、1905年中国革命同盟会を創立、後その総理。辛亥革命当時、アメリカにあり急遽帰国。11年12月臨時大總統に選挙せらる。革命勢力未熟のため袁世凱を代表とする封建的軍閥と

妥協。日本に亡命して中華革命党を組織(14年)、広東に軍政府を樹立、大元帥となる(17年)。後中華革命党を中国国民党と改め(19年)、この年『孫文学説』及び『実業計画』を発表。各地の軍閥と斗争しつつ革命勢力増強に努め、第1次国共合作を実現(24年)。連容共による革命戦術の決定的転換を断行し、三民主義および国民党の爾後のコースをあきらかにして24年4月『建国大綱』発表。同年12月日本で「大アジア主義」講演。国民党組織の改造、黄埔軍官学校設立(24年6月)等により南方革命軍を急速に充実し、全国統一を企図して北伐軍を起したが、時局收拾のため北上中、25年3月12日北京協和医院で病死。

孫(孫) 文淑 [女] Sun Wên-shu

53年4月全国民主婦女連合会第二期執行委員。54年8月第一期全国人民代表大会河北省代表。55年1月~59年6月國務院教育部部長助理。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(特別招請人士)。

孫(孫) 文成 Sun Wên-chêng

54年8月当時杭州市工会連合会主席。

孫 文石 Sun Wên-shih

59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(新聞出版界)。

孫(孫) 平 Sun Ping

53年12月本溪市市長解任。54年11月当時中共本溪市委員会副書記。

孫(孫) 平化 Sun Ping-hua 1917~

遼寧省の人。日本東京工業大学予科中退。中共黨員。東北行政委員会外事処幹部、東北經濟文化研究会同人、中共中央東北局第2処

副処長。中国人民对外文化協会連絡部副主任。中共中央社会部処長。55年3月~4月の間中共貿易代表団副秘書長として来日。56年5月~6月の間訪日京劇代表団副団長として来日。華僑事務委員会の対日連絡責任者といわれる。57年10月訪日中国農業技術団秘書長。当時中国人民对外文化協会秘書長。60年8月第6回原水爆禁止世界大会(広島)参加中共代表団副秘書長。9月当時中国人民外交学会理事。61年11月訪日中国人民救済総会代表団員。

孫 秉乾 Sun Ping-chien

遼寧省の人。早稲田大学卒業。在清津朝鮮領事館随修領事、外交部亞洲司科員および科長、駐バンコック領事、外交部専門委員を歴任。52年以来国府駐横浜総領事。60年5月駐大阪総領事。

孫 炳炎 Sun Ping-yên

(Soon Peng-yam) 1911~

福建省同安県の人。シンガポール在住華僑。森林有限公司総理。製材業、建築材料商、倉庫業を經營。シンガポール建築材料商工会主席。56年7月シンガポール工商業貿易視察団、建築材料および五金組正組長として日本ついで中共を訪問。

孫 碧奇 [璧琦] Sun Pi-chi (Pi-chi)

[Patrick Pichi Son]

浙江省の人。29年国立清華大学卒業。35年米スタンフォード大学卒業。34年~38年サンフランシスコ副領事。39年~41年クワラルムプールの副領事。42年~46年サンフランシスコ領事。47年~50年駐フィリピン大使館1等書記官。50年~51年駐タイ大使館参事官。50年国連アジアおよび極東經濟委員会第5回大会(バンコック)中国代表。51年同委員会第6回中国代表。FAO地区森林會議中国代表。

ILOアジア會議中国代表。51年駐タイ代理大使。59年6月当時駐サンフランシスコ公使待遇総領事。

孫(孫) 保基 Sun Pao-chi

59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(中国科学技術協会)。

孫 邦華 Sun Pang-hua

56年6月当時国府外交部専門委員。59年6月当時駐ウルグァイ公使館代理公使。

孫(孫) 凤(鳳)翕 Sun Fêng-hsi

54年8月中国キリスト教三自愛国運動委員会常務委員。

孫(孫) 宝三 Sun Pao-san

54年11月最高人民法院審判員。

孫(孫) 本旺 Sun Pen-wang

59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(特別招請人士)。

孫(孫) 治方 Sun Yeh-fang

53年12月上海財經学院院長解任。54年6月華東軍政委員会委員、同委員会財政經濟委員会委員を解任。11月國務院国家統計局副局長。59年9月国家統計局副局長(再任)。

孫(孫) 友樵 Sun Yu-chiao

56年12月全国工商業連合会第二期執行委員(安徽省)。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(中国民主建国会)。

孫(孫) 耀華(華) Sun Yao-hua

54年3月当時中南行政委員会副秘書長。55年1月武漢市副市長。7月中国人民外交学会第三期理事会理事。56年12月当時世界平和擁



護委員会武漢市分室副主席。59年4月政治協商會議第三期全國委員會委員（中國民主建國會）。

孫(孫) 乐(樂) 宜 Sun Lê-i

もと中共第4野戦軍の団長・師政委。52年広州公安局副局長。54年広州市政府秘書長。59年12月当時広州市副市長。60年3月中国ラテンアメリカ友好協会理事。4月当時対外文化協会広州分会副会長。

孫(孫) 乐(樂) 齋(齋) Sun Lê-chai

53年6月中国仏教協会理事。

孫(孫) 兰(蘭) Sun Lan

55年3月安徽省人民委員会委員。60年6月当時上海市教育局副局長。

孫(孫) 兰(蘭) 峰 [皖九] Sun Lan-fêng

[Wan-chiu]

山東省の人。もと国府軍兵団司令官。49年綏遠軍政委員会および綏遠省人民政府副主席。9月政治協商會議に特別招請代表として出席。53年1月綏遠省人民政府副主席再任。54年3月～6月当時内蒙古自治区協商委員会準備委員会副主席。4月当時成吉思汗陵遷移および新陵園建築委員会委員。6月綏遠軍政委員会副主席および綏遠省人民政府副主席を解任。同月内蒙古自治区人民政府副主席。12月政治協商會議第二期全國委員會委員（特別招請）。55年2月政治協商會議第一期内蒙古自治区委員会副主席。4月内蒙古自治区人民委員会副主席。59年4月政治協商會議第三期全國委員會委員（特別招請人士）。60年4月当時中国人民世界平和保衛委員会内蒙古分会副主席。5月当時政協内蒙古自治区委員会副主席。

孫(孫) 力 余 Sun Li-yü

53年8月当時瀋陽市副市長。54年6月瀋陽

市副市長解任。同月～55年1月当時国務院国家計画委員会技術合作局局長。56年11月国務院国家建設委員会秘書長。12月同委員会委員。

孫(孫) 立 基 Sun Li-chi

53年1月当時政務院對外貿易部第3局科長。55年3月～56年12月当時中国雜品出口(輸出)公司副經理。

孫 立 人 Sun Li-jên 1900～

安徽省舒城の人。清華大学卒業、米バーデュー大学卒業、ヴァージニア軍事学院卒業。42年～45年ビルマにおける戦闘に参加。43年～46年在印度中国軍新第1軍軍長。47年東北保安副司令、陸軍副総司令兼陸軍訓練司令官。49年東南軍政副長官兼台湾防衛司令長官。50年陸軍総司令兼台湾防衛司令。51年陸軍2級上將。54年6月任期満了を理由に総司令の職を免ぜられ、参軍長。55年8月参軍長免職(旧部下郭廷亮の「スパイ事件」に関し部下監督不行届の責任を感じ辞表を提出していたものといわれる)。

孫(孫) 犁 Sun Li

53年10月中国作家協会理事會理事。56年4月当時中国作家協会天津分会理事會理事。

孫 連 仲 [仿魯] Sun Lien-chung

[Fang-lu] 1893～

河北省雄県の人。馮玉祥軍の卒伍より身を起し累進、砲兵団長、衛隊旅長、砲兵旅長を経て27年国民革命軍第2集団軍第2方面軍總指揮兼第12軍長。かつて青海、甘肅各省政府主席。28年第2集団軍第12師長、国民政府軍事委員会委員、第31師長。同年京漢線方面に出動、西安附近において李雲竜軍を撃滅。30年討逆第26路軍總指揮兼第25師長。31年江西清鄉督辦、江西地方整理委員会委員、剿赤軍第2兵

団總指揮、共產軍討伐に従事、第30師長、35年第五期中央監察委員、第26路軍総司令、第5戦区副総司令を歴任。43年～45年第6戦区総司令、45年7月河北省政府主席兼第11戦区総司令。その後保定特別靖安公署主任。47年12月北平行営副主任兼河北省主席。間もなく省主席辞職。48年南京警備総司令。同年総統府上将参軍長。49年辞職。総統府戰略顧問委員会上将委員。

## た

多 永 安 Tuo Yung-an

傣族。53年7月徳宏傣族景頗族自治区人民政府副主席。60年10月当時徳宏傣族景頗族自治州副州長。

多 英 培 Tuo Ying-pei

傣族。53年徳宏傣族景頗族自治区協商委員会副主席。

多 科 Tuo Ku

西藏族。54年1月青海省海西蒙・蔵・ハサック族自治区協商委員会副主席。

多 吉 占 东 Dorji Samten

53年6月中国仏教協会理事。

多 吉 帕 姆 Tuo-chi-pa-mu

60年1月当時政協西藏委員会副主席。2月当時西藏自治区婦連委員。

多 杰 戈 且 Dorji Keteng

56年4月西藏自治区準備委員会文教処副処長。

多 日 吉 Tashi Choi

西藏族。53年12月青海省黄南族自治区協商會議副主席。

多 且 洛 桑 金 巴 Thupten Lobsanjimpa

西藏族。56年4月西藏自治区準備委員会全体委員。

多 福 拉 Tuo-fu-la

蒙古族。54年1月青海省海西蒙・蔵ハサック族自治区協商委員会副主席。

多 拉 Tala

56年1月青海牧区各民族参観団副団長。

多 拉 海 Talahai

西藏族。53年1月甘肅省甘南藏族自治区人民政府設立準備委員会委員。

尕 咯 杰 措 鏡 彭 Tuke Jetso-gyabon

西藏族。56年4月西藏自治区準備委員会全体委員。5月当時人民解放軍西藏軍区中將。

尕 烟 晋 車 益 西 多 吉

Tuchun Chintre-iseidorji

53年6月中国仏教協会常務理事。

大 鑫 Ta Hsin

53年6月中国仏教協会理事。

大 悲 Ta Pei

53年6月中国仏教協会理事。

太 空 Tai Kung

53年6月中国仏教協会理事。

尕 喜 德 Taijt

蒙古族。騎兵部隊の戦闘英雄。騎兵部隊副参謀長。



## 泰雨屏 Tai Yü-ping

中共長沙市委員会書記。56年9月八全大会において「工業と手工業の生産関係について」発言。

## 戴愛(愛)蓮〔女〕 Tai Ai-lien 1916~

西インド諸島のトリニダット島生れ。両親は広東人。13歳の時ロンドンに行き、9年間舞踊を勉強。39年始めて帰国。洋舞に中国民間の郷土的芸術様式をとり入れ、「中国舞踊」をつくりあげた。戦時中東トルキスタンでウィグル舞踊を研究、また重慶で国立歌劇学校、社会教育学院および陶行知のやっていた育才学校等で教鞭をとった。夫は漫画家の葉浅予。49年4月パリ平和擁護大会に中共代表団団員として参加。53年8月ブカレストにて挙行の第4回世界青年と学生平和友誼懇親節に出演の中共青年芸術団副団長。6月中華全国民主青年連合会第二期全国委員会委員。10月中国文学芸術界連合会第二期全国委員会委員。54年5月中国人民対外文化協理会理事。8月全国人民代表大会広東省代表。10月中国舞踏芸術研究会理事会副主席。55年10月北京舞踏学校校長。11月日本憲法擁護国民連合と中国人民対外文化協会との日中文化交流協定に調印。56年2月中国亜州団結委員会委員。同月民主同盟第二期中央委員会委員。58年7月中国人民保衛世界和平委員会委員。12月中国民主同盟第三期中央委員会委員。59年3月第二期全国人民代表大会広東省代表。59年当時中国アジアアフリカ団結委員会委員。60年3月中国ラテンアメリカ友好協理会理事。7月全国文芸工作者代表大会主席団員。8月中国文学芸術界連合会第三期全国委員会委員。中国舞踏工作者協会副主席。

## 戴安國 Tai An-kuo 1913~

浙江省の人。ベルリン大学およびアメリカ

航空学校卒業。39年~41年同済大学助教授。41年~43年兵器廠技師長。43年~46年貴陽航空発動機工場製作管理人。46年~48年交通部民航局長。49年~50年CAT総経理。50年以來復興航空総経理。

## 戴運軌 Tai Yün-kui

58年8月第2回原子能平和利用会議中華民国全権代表。

## 戴愧生 Tai Kui-shêng 1890~

福建省廈門の人。同文館卒業。フィリピン在住華僑。15年中華革命軍閩南司令官。22年東路討賊軍閩南財政処長兼道尹。国民会議フィリピン華僑代表。国民党第四期候補中央執行委員。僑務委員会常務委員。監察院甘肅寧夏青海区監察使。35年国民党第五期中央執行委員。52年国民党中央評議委員。

## 戴冀农(農) Tai Chi-nung

53年11月全国工商業連合会執行委員。

## 戴曉东 Tai Hsiao-tung

54年2月全国人民解放軍慰問代表団第6総分団副団長。7月中華全国供銷合作総社監事会副主任。58年9月貴州省副省長。61年10月当時中共貴州省委員会常務委員。

## 戴玉才 Tai Yü-tsai

59年3月第二期全国人民代表大会江蘇省代表。4月同大会第1次会議で「貧から富へ、富からさらに大きな富へ」について発言。

## 戴金璞 Tai Chin-pu

54年6月中国人民解放軍青海軍区政治部副主任。59年11月当時同職、中校。

## 戴戟〔孝悃〕 Tai Chi

[Hsiao-kun] 1893~

安徽省旌徳県の人。保定陸軍軍官学校卒業(陳銘枢、蔣光鼐等と同期)後閩軍参謀長。後陳銘枢に従い広東に至り、陳の参謀長兼西江講武学堂長。爾來陳の幕下にあつて、26年広東第1軍第24師長、29年第61師副師長兼第8旅長。30年同師長、江西省内の共匪討伐に従事。31年病氣辞職。同年末第19路軍京滬地方に入り滬甯警備司令。32年上海事変日華停戦交渉中国側代表の一人。停戦協定成立後混合委員会委員、後福建革命に参加。同革命失敗後蘇州に隠棲。48年中国国民党革命委員会上海市部準備委員会委員。49年末華東軍政委員会委員。53年1月華東行政委員会委員。55年3月安徽省人民委員会委員。56年1月政治協商会議第二期全国委員会委員(国民党革命委員会)。2月国民党革命委員会中央委員。58年12月国民党革命委員会第四期中央委員会委員。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(特別招請人士)。61年10月当時中国国民党革命委員会安徽省委員会副主任委員、省政協副主席。

## 戴今生 Tai Chin-shêng

53年6月中華全国民主青年連合会第二期全国委員会委員。55年8月当時武漢市民主青年連合会副主席。

## 戴济(濟)民 Tai Chi-min

59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(特別招請人士)。

## 戴子良 Tai Tzu-liang 1889~

広東省海豊県の人。郷里で農民運動に従事。27、8年頃マレイに行き、苦力から始めイギ

リス人のゴム園経営管理人。戦時中、華僑援護会や官文森等と「東江華僑帰国服務団」を組織して、南洋華僑の帰国対日戦参加を指導。戦後民主同盟に加入し、マレイ支部結成に努力し、その執行委員。46年国民大会召集のとき、民主社会党は、同党のマレイ代表として彼と李鉄民を推薦したが、これを拒絶。当時民主同盟東南亜支部執行委員。49年9月華僑代表の一人として、政治協商会議に出席。政務院華僑事務委員会委員。

## 戴松恩 Tai Sung-ên

55年5月中国科学院生物学地学学部委員。

## 戴粹倫 Tai Tsui-lun

[David C.L.Tai] 1912~

江蘇省の人。国立上海音楽学校卒業。ウィーン新音楽学校卒業。41年~45年国立重慶音楽学校校長。45年~49年上海市交響楽団団長。49年以來台湾師範学校音楽部長。

## 戴正华(華) Tai chêng-hua

54年9月当時東北人民政府文化教育委員会委員。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(医薬衛生界)。

## 戴正启(啓) Tai Chêng-chi

53年6月北京ソ連紅十字医院副院長。55年5月中央皮膚性病研究所副所長。

## 戴盛虞 Tai Shêng-yü

ペンシルバニア大学大学院を卒業。マサチューセッツ工科大学の研究員、のちペンシルバニア大学エール大学の研究員、現在コロンビア大学の「近代中国の人物と政治に関する



研究計画」の研究員。著書には Peking, Moscow and the Communist Parties of Colonial Asia (1954) がある。

戴宗唐 Tai Tsung-tang

60年10月国府考試院秘書を免ぜられ、同院参事に任ぜられる。

戴澤 Tai Tsê

画家。53年9月当時中央美術学院絵画系教授。54年8月全国水彩、速写展覧会に参加。

戴傳賢 [季陶] Tai Chuang-hsien  
[Chi-tao] 1890~

浙江省の人。天仇と号す。東京帝大卒業。つとに革命に投じ1913年孫文の秘書となり第2革命失敗後海外に亡命。19年山東問題起るや大いに排日を宣伝す。24年国民党中央執行委員会委員。宣伝部部长。25年孫文の死後国民党右派の巨頭として西山派に加わる。国民政府政府委員。26年~30年国立中山大学総長。28年国民党中央執行委員会常務委員。同年考試院院長。47年4月国府委員会および院改組後、考試院院長、国府委員重任。48年6月国史館館長。著書「三民主義的 哲学的基礎」「日本論」その他多し。

戴德 Tai Tê

60年12月 大連海運学院副院長。

戴佩宸 Tai Pei-chên

56年10月中共政府駐レバノン商務代表処副代表。

戴白韜 Tai Pai-tao

54年6月華東軍政委員会文化教育委員会委員解任。56年2月中央標準語普及工作委員会委員。59年3月第二期全国人民代表大会江蘇

省代表。

戴伯行 Tai Po-hsing

西南人民革命大学川西分校副校長。53年1月四川大学副校長。9月第1回全国綜合大学會議に出席。

戴文賽 Tai Wên-sai

天文学者。53年2月当時北京大学教授。56年4月全国先進生産者代表大会代表。58年4月当時中国天文学会副理事長。

戴文彬 Tai Wên-pin

59年4月政治協商會議第三期全国委員会委員 (特別招請人士)。

戴芳瀾 Tai Fang-lan

農業科学 (真菌学) 者。現在70歳。54年4月中ソ友好協会ソ連メーデー参観団団員。8月第一期全国人民代表大会湖北省代表。55年5月中国科学院生物学地学学部委員。6月同学部常務委員会委員。11月ドイツ訪問農業研究団員。同月ドイツ農業科学院通訊院士称号をうく。56年4月当時科学院植物研究所真菌植物病理研究室主任。北京農業大学教授。7月中共に入党。8月中国植物病学会理事長。59年3月第二期全国人民代表大会湖北省代表。

戴明予 Tai Ming-yü

53年6月当時唐山鋼廠廠長。

戴路 Tai Lu

華僑。広東省海南島人。現在40歳位。55年5月中共駐北越海防領事。

代本夏苏巴 Debôn Shasurpa

西藏族。55年7月当時西藏地方政府代表。

卓獻書 Chuo Hsien-shu

59年6月当時国府駐韓大使館1等秘書。

卓藏倉(倉) Chozan Tsang

53年6月中国仏教協会理事。

卓伯修 Chuo Po-hsiu

53年11月全国工商業連合会執行委員。

卓雄 Chuo Hsiung

満洲生れ。現在46歳位。モスクワにおいて特務訓練を受けたといわれ、46年林彪、高崗に随い東北民主進軍において郭峯とともに活動、48年第4野戦軍第15兵团副政治委員。49年公安部治安行政局長といわれる。55年4月国務院地質部副部長。59年9月地質部副部長。

澤丹卓噶 [女] Tseten Choge

西藏族。55年8月ラサ市愛国婦女連誼会主任。

諾索甫汉(漢) Nuo-suo-fu-han

哈萨ック族。54年4月新疆省哈萨ック自治区準備委員会副主任委員。

諾章洛桑堅贊

Nochang Lobsan Chenzan

西藏族。56年4月西藏自治区準備委員会全体委員。

筵移今 Ta I-chin

56年2月九三学社第四期中央委員会委員。

达(達) 园(圓) Ta Yüan

53年6月全国青年第2次代表大会に仏教代表として出席。同月中華全国民主青年連合会第二期全国委員会委員。

达(達) 夏甫 Ta-hsia-fu

蒙古族。54年8月全国人民代表大会新疆省代表。55年2月政治協商會議第一期新疆省委員会副主席。

达(達) 古 Ta-ku

西藏族。53年1月甘肅省南部牧区各民族参観団団長として北京訪問。7月当時甘肅省夏河県副県長。56年5月甘肅省牧区少数民族参観団団長。

达(達) 浦生 Ta-pu-shêng

回族。53年1月世界人民平和大会中共代表团団員。11月中国イスラム教協会委員会副主任。54年8月第一期全国人民代表大会江蘇省代表。12月政治協商會議第二期全国委員会委員、中ソ友好協会第2次全国代表大会代表。55年4月バンドンにおけるアジア・アフリカ会議出席中共代表团顧問。6月中国インドネシア友好協会理事。7月各国議会連盟参加の人民代表団執行委員会委員。56年2月中国亞洲團結委員会委員。6月全国人民代表大会第3次會議主席団員。11月中国エジプト友好協会副会長。58年2月中国アラブ連合友好協会副会長。7月中国人民保衛世界和平委員会委員。59年3月第二期全国人民代表大会江蘇省代表。4月政治協商會議第三期全国委員会委員(宗教界)、同会常務委員、同会第1次全体會議主席団員。中国人民对外文化協会常務理事。9月民族事務委員会委員。59年当時中国アジア アフリカ團結委員会委員。60年4月中国アフリカ人民友好協会常務理事。当時中国イスラム教協会副主任。9月当時中国政治法律学会理事。

达(達) 拉 洛桑三旦

Tala lobsan-samten

西藏族。56年4月西藏自治区準備委員会全



体委員。同月西藏自治区準備委員会公安処副  
処長。59年3月西藏反乱事件のとき西藏自治区  
準備委員会委員及び一切の職務を罷免。

达(達)理札雅 Darijaya

寧夏省の人。蒙古族。西北軍政委員会委員  
兼政治法律委員会副主任。53年1月西北行政  
委員会委員。12月寧夏省蒙古自治区準備委員  
会主任委員。54年4月寧夏省蒙古自治区人民  
政府主席。8月全国人民代表大会甘肅省代表。  
9月寧夏省人民政府副主任を解任。58年4月  
当時内蒙古自治区副主席。59年3月第二期全  
国人民代表大会内蒙古自治区代表。4月同大  
会第1次會議で「いわゆるダライラマの声明  
は恥しらずのデタラメである」について発言、  
民族委員会委員。

丹 科 Tenge

西藏族。54年1月海西蒙・藏・ハザック自  
治区青海省副主席。

丹 仁 Den Zin

蒙古族。54年4月当時青海省海西蒙・藏・  
ハザック自治区協商委員会副主席。

丹增嘉措(達賴喇嘛14世)

Tenzin Gyatso

西藏族。西藏教王。青海省湟中県の農家の  
生れ。40年ラサで即位。53年6月中国仏教協  
会名誉会長。54年2月当時西藏地方政府主席。  
54年第一期全国人民代表大会西藏代表。9月  
同大会第1次會議主席団員、同大会常務委  
員会副委員長。12月政治協商會議第二期全  
国委員会委員(少数民族西藏)。同常務委員。同  
月中ソ友好協会第2次全国代表会代表、同協  
会總會第二期理事会理事。55年3月西藏自  
治区準備委員会主任委員と予定さる。同月北  
京を出発、西北、西南等の地区を参観後西藏へ  
向う。56年4月西藏自治区準備委員会成立と

同時にその主任委員。59年3月第二期全国人  
民代表大会西省代表。3月10日チベット暴  
動発生し、チベット地方政府の若干の首脳部  
とともに同月末インドに亡命、引続き滞在中。  
4月同大会常務委員会副委員長。政治協商會  
議第三期全国委員会委員(少数民族代表)。

丹 彤 Tan Tung

60年12月国务院民族事務委員会副主任。

丹 德 尔(爾) Dandara

西藏族。53年12月青海省海南藏族自治州人  
民政府主席。54年12月青海省人民委員会委員。  
60年4月当時政協青海省委員会副主席。

丹 巴 Tempa

54年6月当時西北民族学院藏文教授。56年  
4月西藏自治区準備委員会公安処副処長。

丹巴 日則 Tempa Jitse

56年4月西藏自治区準備委員会衛生処副処  
長。

丹龙(龍) 才仁班覚

Tanlon Tsering Ponchuk

55年3月~56年4月班禅堪布會議庁委員会  
委員。

且 曾 尖 錯 Danzen Gyatso

西藏族。54年12月青海省人民委員会委員。

且 曾 尖 木 錯 Danzan Gyamtso

西藏族。54年1月青海省果洛藏族自治州人  
民政府副主席。

但 懋 辛 [怒剛] Tan Mao-hsin

[Nu-kang] 1879~

四川省榮県の人。元同盟会會員。日本留学。

四川陸軍第1師長。第1軍長、吳淞中国公学  
総務長等を歴任。中国国民党革命委員会川康  
臨時工作委員会常務委員。49年末~53年1月  
西南軍政委員会委員。53年1月兼西南軍政委  
員会司法部長。54年2月人民解放軍慰問代表  
団第3總分団(西南)副団長。8月全国人民  
代表大会四川省代表。55年1月政治協商會議  
第一期四川省委員会副主席。56年2月国民党  
革命委員会中央委員。58年12月国民党革命委  
員会第四期中央委員会委員。59年3月第二期  
全国人民代表大会四川省代表。

单 宗 肃(肅) Shan Tsung-su

59年4月政治協商會議第三期全国委員会委  
員(中国科学技術協会)。

覃 昇 之 Tan I-chih

56年2月国民党革命委員会候補中央委員。  
58年12月国民党革命委員会第四期中央委員会  
候補委員。59年4月政治協商會議第三期全  
国委員会委員(特別招請人士)。国防委員会委員。

覃 延 年 Tan Yèn-nien

僮族。55年2月広西省人民委員会委員。

覃 应(應)机(機) Tan Ying-chi

広西省東蘭県の人。僮族。延安紅軍軍官学  
校および民族学院卒業。新4軍張雲逸部隊の  
団長兼政治委員、副師長を歴任。後広西省人  
民政府公安庁庁長兼広西第6公安師長。中南  
軍政委員会委員。広西省桂西僮族自治区人民  
政府主席。53年1月中南行政委員会委員。54  
年2月人民解放軍慰問代表団第5總分団(中  
南)副団長。8月全国人民代表大会広西省代  
表。9月同大会民族委員会委員。55年2月広  
西省第一期人民代表大会第2次會議で、広西  
省人民政府を代表して54年度政府工作報告を  
行う。同月広西省副省長。56年3月広西省桂

西僮族自治州州長。同月西藏訪問中央代表団  
委員会委員。58年月当時広西僮族自治区副主  
席。59年3月第二期全国人民代表大会広西僮  
族自治区代表。4月民族委員会委員。60年8  
月中国、ヴェトナム友好協会広西分会成立  
会長。9月当時中共広西僮族自治区委員会書  
記、広西僮族自治区副主席。

覃 勤 [醒羣] Tan Chin

[Hsing-chün] 1905~

湖南省常德県家塆の人。早くより国民党に  
入党。戦時中医師法衛生制度の確立に努力、  
中国全国中医師公会連合会、全国的人民団体  
連誼会等を組織。戦後立法委員。また李宗仁  
の違憲を指摘、蔣介石の総統復職を促す。

覃 孝 方 Tan Hsiao-fang

55年2月湖北省人民委員会委員。

覃 士 冕 Tan Shih-mien

55年6月当時人民解放軍広西軍区副司令員。

覃 修 典 Tan Hsiu-tien

福建省の人。現在60歳位。米国留学。厦  
門大学教授。福建水利發電工程処主任、福建  
省政府委員歴任。59年3月第二期全国人民代  
表大会広東省代表。

覃 心 齐(齊) Tan Hsin-chi

54年2月人民解放軍慰問代表団第5總分団  
(中南)副団長。4月河南省人民政府副主席。

覃 振 [理民] Tan Chên

[Li-min] 1883~

湖南省の人。早稲田大学に留学。立法院院  
長、司法院副院長を歴任。43年国民政府委員。  
44年司法院公務員懲罰委員会主席。48年退官。



## 覃 波 Tan Po

54年8月第一期全国人民代表大会広西省代表。59年3月第二期全国人民代表大会広西僑族自治区代表。4月同大会第1次会議で「衛生工作は偉大な成果をおさめた」について合同発言。

## 端木 愷 Tuan-mu Kai

[Twanmoh, Josephk] 1903~

安徽省の人。25年蘇州大学卒業。27年米ニューヨーク大学修業後大学公法教授。37年~38年安徽省民政庁長。38年~41年行政院参事。41年~42年行政院監査官。43年~45年総動員会議秘書長。45年~47年国民参政会議員、上海・南京にて弁護士開業。48年立法委員、司法院秘書長。48年~49年行政院秘書長。49年中央行政法院長。49年以来弁護士、総統府顧問。

## 端木 杰(傑) Tuan-mu Chieh

54年12月政治協商会議第二期全国委員会委員。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(特別招請人士)。

## 端木 良 Tuan-mu Liang

作家。蕭軍と併称されるいわゆる東北作家の1人。作品集「憎恨」、代表作は長編「呼爾沁旗草原」。

## 譚 伟(偉) Tan Wei

54年3月当時中央人民政府第1機械工業部財務司司長。12月当時中ソ造船会社中国側株主代表。60年6月駐ソ大使館参事官。

## 譚 英 富 Tan Ying-fu

53年3月当時中共党江西省樂平県委員会書記。

## 譚 延 闈 Tan Yèn-kai 1876~1930

湖南人。清の進士。湖南督軍兼省長、広東軍政府秘書長、内政部長等を歴任。1924年国民党第1次中央執行委員会委員。26年北伐の際には国民政府軍事部長兼革命軍第2軍長。27年武漢政府に参加して国民政府委員、政治委員会主席団員。28年北伐完成後行政院長兼政府委員。国民党政府の長老として重きをなした。

## 譚 家 述 Tan Chia-shu

55年9月1級八一勳章および1級解放勳章を授与さる。10月人民解放軍中將。60年10月当時空軍中將。

## 譚 学 荣(榮) Tan Hsiieh-jung

55年2月遼寧省人民委員会委員。

## 譚 嶽 泉 Tan Yüeh-chüan 1900~

湖南省湘潭県の人。26年武漢大学在学中国国民党に入党。卒業後党政機関中級幹部。35年鉄道部簡任秘書。37年湘桂鉄路局主任秘書。38年浙桂鉄路局主任秘書。同年浙贛鉄路局総務処長。40年滇緬鉄路督辦公署総務処長。42年公路局総務処長。43年湖北省建設庁長。49年台湾省公路局長、国民党台湾区公路党部改造委員会主任委員。60年3月台湾省交通処処長。

## 譚 冠 三 Tan Kuan-san

軍人。53年2月~55年10月当時中国人民解放軍西藏軍区政治委員。53年4月ラサにおいて国営チベット貿易総会社とチベット羊毛商人との間の52年産羊毛買入契約書調印式に参列。55年10月~56年5月当時中共チベット工作委員会副書記。56年4月当時人民解放軍中將。同月西藏自治区準備委員会全体委員。60年1月チベット地区各界人民春節部隊傷病兵慰問団総団長。当時政協チベット委員会主席。5月当時チベット体育運動委員会主任委員。

61年9月当時中共西北工作委員会副書記、西北軍区政治委員。

## 譚 希 林 Tan Hsi-lin

陳毅の下に江北遊撃支隊司令。41年新4軍第2師第5旅長兼政治委員。淮南蘇皖辺区軍区路西軍分区司令。44年3月張鼎丞の後を継ぎ、第7師代理師長。同年秋師長。抗日大学第10分校長。皖中軍区司令。50年9月~54年10月中共駐チェコスロヴァキア大使。53年3月チェコ大統領ゴットワルト葬儀参列の中共代表団員。7月チェコ解放8周年記念中央人民政府特派代表団員。

## 譚 启(啓)龙(龍) Tan Chi-lung

江西省の人。現在51歳。農民出身。江西において長期間遊撃戦に従事。43年春三北遊撃隊の政治委員。44年3月浙東遊撃隊に改編。何克希の下に政治委員。後浙東遊撃隊の政治委員。中国人民解放軍浙江軍区副政治委員。51年譚震林主席の下に浙江省人民政府副主席。54年6月浙江省人民政府主席。54年6月華東軍政委員会土地改革委員会委員を解任。55年1月政治協商会議第一期山東省委員会主席。3月山東省人民委員会委員。56年1月当時中共党山東省委員会第2書記。9月当時同委員会書記。同月中共8全大会において「山東省農業生産発展の重要問題」について発言、中共第八期中央委員会候補中央委員。58年11月山東省省長。59年3月第二期全国人民代表大会山東省代表。同大会第1次会議で「山東工農業生産の巨大な発展は党の総路線を實行した結果である」について発言。

## 譚 光 廷 Tan Kuang-ting

52年12月~53年7月当時政務院鉄道部政治部主任。53年7月全国鉄路工作会議にて「53年鉄道營業線路政治工作」を報告。

## 譚 克 兴(興) [女] Tan Kê-hsing

53年4月当時中国第2次全国婦人代表大会出席西南区代表。

## 譚 志 清 Tan Chih-ching

53年11月全国工商業連合会執行委員。54年8月第一期全国人民代表大会天津市代表。58年2月第一期全国人民代表大会第5次会議に於て「右派分子」の理由により代表資格を剝奪される。

## 譚 紹 華 Tan Shao-hua 1897~

広東省の人。米シカゴ大学博士。45年以来国府駐米大使館公使。58年9月駐アルゼンティン大使兼ウルグァイ公使。11月駐ウルグァイ公使の兼任を解く。60年2月アルゼンティン共和国革命第150周年記念祝賀典禮副特使。

## 譚 振 雄 Tan Chen-hsiung

59年3月第二期全国人民代表大会内蒙古自治区代表。4月同大会第1次会議で「高炉設計と施行はともに大躍進」について発言。

## 譚 眞 Tan Chên

54年8月全国人民代表大会天津市代表。59年3月第二期全国人民代表大会河北省代表。9月国務院交通部副部長。

## 譚 震 林 Tan Chên-lin 1903~

湖南省の人。青少年時代武漢で職工。瑞金紅軍大学、モスクワ赤軍大学卒業。27年湖南秋収暴動参加。紅軍第12軍政治委員、閩粵贛軍区司令兼政治委員を歴任。紅軍の西遷に加わらず張鼎丞、鄧子恢等とともに華南で活動。日華事変後江南抗日義勇軍新4軍第3支隊司令。41年新4軍第6師長、政治委員。42年淮南蘇皖辺区党委員会書記。43年第2師政治委員



兼任。終戦前新4軍第2師羅炳輝部隊政治委員。45年中共第七期中央委員。後浙江省委員会書記。49年5月杭州軍管会委員長。50年華東軍政委員会委員兼土地改革委員会主任。浙江省人民政府主席。第3野戦軍副政治委員。52年11月江蘇省人民政府主席。11月中共中央華東局第3書記。53年1月華東行政委員会副主席。同月華東軍政委員会副主席解任。54年6月華東軍政委員会土地改革委員会主任を解任。12月政治協商会議第二期全国委員会委員(共産党)、同常務委員。56年2月ソ共第20回代表大会に中共代表団団員として参加。9月中共第八期中央委員会中央委員、中央書記処書記。57年5月「わが国農民の収入と生活水準の初歩的研究」と題して論文を発表。58年5月中央政治局委員。59年2月論文「今夏季にさらに大豊作をかちとろう」を発表(紅旗4号)3月第二期全国人民代表大会上海市代表。4月國務院副総理。11月ハンガリー社会主義労働者第7回大会(ブタベスト)参加中国共産党代表団団長。60年論文「わが国の農業機械化実現に関する若干の問題について」を発表(紅旗6号)。

譚 瑞 华(華) Tan Jui-hua

現在50歳。57年10月訪日中国食品出口公司代表団団員。

譚 生 彬 Tan Shêng-pin

55年7月國務院監察部部長助理。

譚 政 Tan Chêng 1900~

湖南省の人。42年頃蕭勁光の下に第18集團軍留守兵団司令部政治委員。45年中共第七期候補中央委員。48年1月当時東北人民解放軍(後第4野戦軍)政治部主任。49年1月天津軍事管制委員会副主任。5月武漢地区軍事管制委員会主任委員。中南軍政委員会委員兼人

民監察委員会主任。人民解放軍第4野戦軍副政治委員。中南軍区副政治委員。中共中央華南分局第3書記。53年1月中南行政委員会委員。3月当時中共中央中南局第1副書記、人民解放軍第4野戦軍、および中南軍区第3政治委員。54年8月第一期全国人民代表大会中南軍区代表。9月同大会常務委員会委員。同月国防委員会委員。11月国防部副部長。12月中ソ友好協会第2次全国代表会代表(軍隊)。55年1月~56年9月当時人民解放軍総政治部副主任。55年9月1級八一勳章、1級独立自由勳章および1級解放勳章を授与さる。同月人民解放軍大将。56年6月全国人民代表大会第3次会議主席団団員。9月中共第八期中央委員会委員、中央書記処書記、8全大会において「建軍の新段階における政治工作の若干の問題」について発言。12月人民解放軍総政治部主任。59年3月第二期全国人民代表大会軍隊代表。4月国防委員会委員。9月国防部副部長。60年3月第二期全国人民代表大会第二次会議主席団。2月教育、文化、衛生、体育関係社会主義建設先進グループ先進活動家全国代表大会準備委員会副主任委員。6月全国文教先進工作者代表大会主席団。

譚 政 文 Tan Chêng-wên ~1961

華南軍区第2副司令員兼保衛部部長。広東省人民檢察署檢察長。広東人民政府委員兼公安庁長。54年6月中央人民政府最高人民檢察署副檢察長。11月最高人民檢察院副檢察長。58年11月最高人民檢察院檢察委員会委員。61年12月死去(51歳)。

譚 善 和 Tan Shan-hè

54年12月当時中国人民志願軍将官。

譚 卓 芬 Tan Chuo-fèn

60年5月当時中国共産主義青年団広州市委

員会書記。

譚 楊 吾〔女〕 Tan Ti-wu

53年1月婚姻法貫徹運動委員会委員。2月抗米援朝総会組織部副部長。4月中華全国民主婦女連合会第二期執行委員。10月第3回訪鮮慰問団第1総分団副秘書長。54年7月当時中ソ友好協会理事。8月第一期全国人民代表大会湖南省代表。12月中ソ友好協会第2次全国代表会代表(全国民主婦女連合会)。56年2月国民党革命委員会中央委員。3月同常務委員、政治協商会議全国委員会学習委員会委員。57年2月国民党革命委員会婦女工作委員会副主任委員。9月首都政法界の會議において右派分子として批判さる。58年2月第一期全国人民代表大会第5次會議に於て「右派分子」の理由により代表資格を剝奪。60年11月右派分子のレッテルを除かれる。

譚 天 度 Tan Tien-tu

広東省西江区専員。広東省人民政府民族事務委員会副主任。53年7月広東省人民政府工作団団長として海南黎族苗族自治区成立1周年記念大会に出席。55年2月広東省人民委員会委員。59年2月政治協商会議広東省第二期委員会常務委員。

譚 冬 菁 Tan Tung-ching

国府時代第19路軍高級職員。56年2月国民党革命委員会中央委員。57年2月当時広東省農業庁副庁長。58年12月国民党革命委員会第四期中央委員会委員。

譚 白 羽 Tan Po-yü

57年9月国際貨幣基金及び国際復興開発銀行第12回理事会中華民国代表。59年9月同第14回理事会代表。

譚 丕 模 Tan Pi-mo

55年6月当時北京師範大学国文学系教授。56年6月同大学中国古典文学教研組主任教授。

譚 富 英 Tan Fu-ying

著名な京劇俳優。53年10月中国人民第3回訪鮮慰問団員。59年3月中共へ入党。

譚 文 斌 Tan Wên-pin

59年3月第二期全国人民代表大会四川省代表。

譚 平 山 Tan Ping-shan 1886~1956

広東省高明県の人。波止場人足の家庭に生る。陳独秀、李大釗とともに共産党初期の三領袖の1人。20年北京大學卒業、共産党入党。23年上海における中共第3次全国大会広東代表。24年国民党に入党し、第1次中央執行委員、同組織部長。26年国民党第2次中央執行委員、同農民および工人部長。同年末モスクワのコミンテルン會議中共代表および中央執行委員。中共広東区執行委員会委員。27年帰国、武漢国民党政治委員会主席団員、政府委員、農民部長。7月国共分裂で国民党を除名され、11月さらに中共中央臨時擴大會議において日和見主義者として除名。12月上海で「中華革命党」を組織。29年香港に亡命、鄧演達とともに第三党組織運動を起す。戦後国共内戦期に再び中共側に接近。48年9月三民主義同志連合会代表として中共地区に入る。49年1月李濟深、蔡廷鍇等とともに新政治協商會議開催促進のため瀋陽に集り、その後北平にて中共と協力。三民主義同志連合会責任者、国民党革命委員会常任委員、中央人民政府委員、政務院政務委員、人民監察委員会主任。54年8月第一期全国人民代表大会広東省代表。9月同大会第1次會議主席団団員、同大会常務



委員会委員。12月中ソ友好協会第2次全国代表会代表(国民党革命委員会)。55年7月全国人民代表大会第2次会議主席団団員。56年2月国民党革命委員会中央委員。3月同中央委員会副主席。4月病死。

譚甫仁 Tan Fu-jên

54年9月広西省人民政府委員, 当時人民解放軍広西軍区政治委員。55年7月~56年2月当時人民解放軍武漢駐軍領導機關首長。解放軍中將。

譚葆端 Tan Pao-tuan

56年6月当時国府駐キューバ公使。56年7月駐ハイティ公使(兼任)。57年駐キューバ公使兼ハイティ公使解任。

譚明昭 Tan Ming-chao

56年2月国民党革命委員会中央委員。

譚余保 Tan Yü-pao

49年9月政治協商会議全国委員会委員。54年2月人民解放軍慰問代表団副総団長。8月第一期全国人民代表大会湖南省代表。55年2月湖南省副省長。58年7月湖南省副省長。59年3月第二期全国人民代表大会湖南省代表。4月同大会第1次会議で「大衆に頼り, 万難を排して計画を実現しよう」について発言。60年6月当時湖南省第二期委員会書記。

段云(雲) Tuan Yün

54年9月西南軍政委員会文化教育委員会委員解任。11月国務院總理辦公室副主任。55年4月国務院第5辦公室副主任。59年6月論文「流動資金, 信貸資金およびその管理の諸問題」を發表(紅旗11号)。59年9月国務院財政貿易辦公室副主任。

段永杰(傑) Tuan Yung-chieh

55年3月~12月当時安東市市長。60年6月当時中国人民保衛世界平和委員会安東市分会主席。10月当時中共安東市委員会書記。

段永新 Tuan Yung-hsin

54年12月甘肅省人民委員会委員。

段华(華)民 Tuan Hua-min

53年7月雲南省德宏傣族景頗族自治区人民政府副主席。

段学复(復) Tuan Hsüeh-fu

55年5月中国科学院物理学数学化学学部委員。59年3月中共へ入党。60年1月当時中国数学会常務理事。

段祺瑞 [字, 芝泉。合肥]

Tuan Chi-jui

[Chih-chüan, Hè-fei] 1864~1936

安徽省合肥の人。北洋武備学堂卒業後ドイツに留学, 軍事学を修め, 帰国後袁世凱の下で清末北洋陸軍建設に努力。陸軍総長, 国務総理, 臨時執政等の要職に任じ, 民国初期における袁世凱に次ぐ軍閥領袖。三・一八事件(26年)を中心とする学生運動弾圧の主動者ともいわれる。

段毅 Tuan I

55年2月河北省人民委員会委員。60年2月河北省副省長。

段金平 Tuan Chin-ping

54年5月当時上海総工会労保部副部長。

段君毅 Tuan Chün-i

山東省の人。済南大学工学院卒業。西南軍

段茂瀾 [觀海] Tuan Mao-lan

[Kuan-hai] 1899~

安徽省の人。27年米コロンビア大学博士。41年~45年駐濠公使館参事官。45年~47年駐マニラ総領事。47年~49年駐英大使館参事官。49年当時駐仏代理大使。56年6月~59年7月駐パナマ大使。9月パナマ大統領就任祝賀特使。11月第11回国連総会全権代表。57年4月ニカラガ大統領就任祝賀特使。12月ホンデュラス大統領就任祝賀特使。59年1月ヴェネズエラ大統領就任祝賀特使。7月駐フィリピン大使。58年8月第13回国連総会全権代表。60年12月亜州各国郵政大会首席代表。

談家楨 Tan Chia-chên

59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(教育界)。60年4月当時復旦大学生物系主任。

団康 索南刀杰

Tuan-kang Suo-nan-tao-chieh

西藏族。56年4月西藏自治区準備委員会全体委員。同月西藏自治区準備委員会財政処副処長。

## ち

池际(際)尙 [女] Chih Chi-shang

56年4月当時北京地質学院岩石教研室主任教授。

池必卿 Chi Pi-ching

54年4月当時中共山西省委員会常務委員。

都占元 Chih Chan-yüan

53年4月総工会東独メーカー参観団団長。

政委員会工業部部長。52年8月政務院第1機械工業部副部長。53年1月西南軍政委員会委員を解任。54年8月第一期全国人民代表大会山東省代表。9月西南軍政委員会財政經濟委員会副主任を解任。11月国務院第1機械工業部副部長。59年9月第1機械工業部副部長。60年9月第1機械工業部長。

段慧軒 Tuan Hui-hsüan

55年2月河北省人民委員会委員。

段子俊 Tuan Tzu-chün

53年2月当時政務院第2機械工業部第4局副局長。

段书(書)友 Tuan Shu-yu

54年7月当時浙江省嘉興市副市長。

段德彰 Tuan Tê-chang

53年3月~54年3月当時解放軍海軍政治部副主任。55年9月1級解放勳章を授与さる。60年10月当時海軍政治部主任。

段巴图(圖) Tuan Pa-tu

蒙古族。54年4月当時寧夏省蒙古自治区人民政府委員。

段伯宇 Tuan Po-yü

55年7月中国人民外交学会副秘書長。同月同学会第三期理事会理事。

段秉善 Tuan Ping-shan

56年2月当時人民解放軍広州駐軍領導機關代表, 解放軍上將。

段輔堯 Tuan Fu-yao

61年3月国府財政部参事。



当時東北総工会副主席。5月中華全国総工会第七期執行委員。54年12月政治協商会議第二期全国委員会委員(中華全国総工会)。57年12月中華全国総工会第八期執行委員会主席団委員、同書記処書記、同執行委員。59年3月第二期全国人民代表大會河北省代表。3月先進生産者代表会議準備委員会委員。61年1月國務院労働部副部長。

智 澤 民 Chih Tsê-min

56年4月西藏自治区準備委員会公安処処長。58年6月最高人民検察院西藏分院検察長。

迟(遲) 浩 田 Chih Hao-tien

59年3月第二期全国人民代表大會軍隊代表(少校)。

竹 淑 貞 Chu Shu-chên

53年6月中華全国民主青年連合会第二期全国委員会候補委員。

丑 子 岡(岡)〔女〕 Chou Tzu-kang

53年4月世界婦女大会出席代表団員。同月中華全国民主婦女連合会第二期執行委員。6月コペンハーゲンにて開催の世界婦女大会に出席の中共婦女代表団代表。54年12月政治協商会議第二期全国委員会委員(社会救済福祉団体)。

仲 曦 东 Chung Hsi-tung

61年6月中共駐チエコスロバキア大使。

鈕 永 建〔惕生〕 Niu Yung-chien

〔Ti-shêng〕 1869~

江蘇省松江県の人。江西武備学堂卒業、日本および独逸に留学、第1革命に際し滬軍軍政府軍務長、南北和議に南方代表参贊。南京臨時政府組織参謀次長。南北統一後北京大總統府軍事顧問。第2革命に際し松江軍司令官。

16年駐滬軍事代表。22年広東軍政府参謀次長。26年国民党中央政治会議秘書長。27年国民革命軍上海占領後松滬防守総司令。国民革命軍総司令部総参謀。南京国民政府成立後政府秘書長政府委員、江蘇政治委員会主席委員兼江蘇省政府民政庁長、上海臨時政府委員会委員、国民政府軍事委員会委員。武漢南京合体後国民政府委員、軍事委員会委員。28年~30年江蘇省政府委員兼主席。29年兼国民政府禁煙委員会副委員長。29年~50年国民党中央執行委員。30年内政部長代理兼禁煙委員会副委員長、考試院銓叙部長。32年~41年考試院副院長兼銓叙部長。41年~48年国府政府委員。48年総統府資政。49年~52年考試院副院長。52年総統府資政。52年以来国民党中央評議委員。

鈕 先 銘 Niu Hsien-ming

(Sean-ming) 1912~

江西省江の人。31年日本士官学校卒業。帰国後第35軍連長、参謀、隊長および砲兵学校教官等を歴任。36年~37年フランス留学。37年中央軍事政治学校教導総隊工兵營長。40年軍令部第2庁科長。43年少将。独立工兵15団団長。44年昆明陸軍総司令部第2処処長。45年同処長。同年北平軍事調処執行部副参謀長。国防部第2庁第三処処長。47年台湾全省警備司令部参謀長。同副司令。49年国防部第2庁副庁長。戦略顧問委員会辦公室高級参謀。50年大陸工作処副処長。55年4月国府国防部計画局副局長。

褚 应(應)璜 Chu Ying-huang

53年1月東北人民政府委員を解任。54年8月第1期全国人民代表大會ハルビン市代表。55年5月中国科学院技術科学学部委員。6月同学部常務委員会委員。同月電機工程学会副主任委員。59年3月第二期全国人民代表委員

黒竜江省委代表。

褚 启(啓)元 Chu Chi-yüan

55年6月当時中共駐ノールウェー大使館臨時代辦。9月駐ノールウェー大使館参事官。

褚 圣(聖)麟 Chu Shêng-lin

54年7月当時北京大学物理系主任。

褚 輔 成 Chu Fu-chêng 1872~

浙江省の人。教育家。日本東洋大学卒業。国会副議長、浙江省政府代理主席、国政参政会常置委員会委員、上海法政大学総長等を歴任。

褚 凤(鳳)岐 Chu Fêng-chi

58年1月当時遼寧省副省長。

褚 凤(鳳)儀(儀) Chu Fêng-i

56年2月九三学社第四期中央委員会委員。

儲 安 平 Chu An-ping

江蘇省宜興の人。新聞政治評論家。英国に留学、帰国後上海復旦大学教授。45年上海で時事週刊雑誌「觀察」を編集、自らも時事評論の筆をとったが政府を非難したため停刊を命ぜられた。49年秋「新觀察」と改題して北京で復刊後も同誌の発行に関係。54年8月第一期全国人民代表大會江蘇省代表。56年2月九三学社第四期中央委員会委員。58年2月第一期全国人民代表大會第五次會議において「右派分子」の理由により代表資格を剝奪。

儲 一 石 Chu I-shih

56年2月民主同盟第二期中央委員会委員。

晁 秀 将 Chao Hsiu-chiang

53年12月当時雲南省紅河哈尼族自治区第一期協商会議副主席。

晁 哲 甫 Chao Chê-fu 1894~

河南省の人。日華事変中晋冀魯予辺区政府教育局長。48年8月華北人民政府委員。49年平原省人民政府主席。52年11月山東省人民政府副主席。53年1月華東行政委員会委員。54年8月第一期全国人民代表大會山東省代表。55年1月政治協商会議第一期山東省委員会副主席。2月山東省第一期全国人民代表大會において山東省人民政府主席として政府報告を行う。3月山東省副省長。56年7月山東大学校長。59年3月第二期全国人民代表大會山東省代表。

张 爱(愛)国 Chang Ai-kuo

53年11月全国工商業連合会執行委員。55年11月当時上海市工商連文教委員会委員。56年12月全国工商連第二期執行委員(上海市)。

张 爱(愛)萍 Chang Ai-ping

四川省の人。現在54歳位。江西省瑞金紅軍大学卒業。中共軍軍長、浙江軍区司令員。19歳の時湖南における彭徳懐の反乱に加わり以後彭の紅軍第五軍に加わる。30年江蘇省の紅軍第14軍第1師第2隊の司令となる。39年安徽省において抗日ゲリラ戦に従い、40年初め新4軍准北隊司令となりこの隊が黄克誠の下に新4軍第3師に編成されるに及んでその副司令となる。その後蘇北軍区副司令兼塩阜軍分区司令。53年1月華東行政委員会委員。人民解放軍華東軍区参謀長。54年9月国防委員会委員。55年6月当時人民解放軍副総参謀長。9月1級八一勳章、1級独立自由勳章および



1級解放勳章を受く。10月人民解放軍上將。58年5月中共第八期中央委員会候補委員。59年4月国防委員会委員。60年12月ビルマ訪問中国軍事代表団団長。

張 夷 Chang I

53年10月中国文学芸術界連合会第二期委員会委員。

張 唯一 Chang Wei-i

50年1月中央人民政府政務院情報総署副署長。9月政務院副秘書長。54年12月政治協商會議第二期全国委員会委員(共産党)。55年1月政治協商會議全国委員会副秘書長。

張 惟和 Chang Wei-hê

55年2月江西省人民委員会委員。

張 伟(偉)振 Chang Wei-chên

53年9月~54年1月当時中共松江省直屬機関委員会副書記。

張 伟(偉)良 Chang Wei-liang

江蘇省の人。現在33歳位。12歳の頃新4軍小鬼隊に参加。その後新4軍の通信員、警衛員、衛生員となり、陳毅の推薦により連長、政治指導員、副政治教導員に昇進、54年中共航空学校卒業後朝鮮戦線に出動。55年1月大陳島爆撃に参加し空軍2級英雄、中共空軍爆撃隊副隊長といわれる。

張 伟(偉)烈 Chang Wei-lieh

56年10月~60年8月中共駐ソ大使館参事官。60年9月駐イラク大使。

張 为(爲)炯 Chang Wei-chiung

西康省の人。国府時代西康省政府秘書長。49年末頃西康省人民政府副主席。中国国民党

革命委員会西康省分部準備委員会召集人。50年西南軍政委員会委員。53年1月西南行政委員会委員。54年8月第一期全国人民代表大会西康省代表。55年1月西康省副省長。56年2月国民党革命委員会中央委員。58年12月国民党革命委員会第四期中央委員会委員。59年3月第二期全国人民代表大会四川省代表。

張 維 Chang Wei

建築学家。55年2月武漢長江大橋技術顧問委員会委員。5月中国科学院技術科学学部委員。56年1月当時清華大学土木工程系主任。4月当時北京大学外国留学生中国語文專修班教員。11月清華大学副校長。58年4月当時中国力学学会秘書長、当時中国土木工程学会副理事長。60年3月中国ラテンアメリカ友好協会理事。

張 維翰 [蘊鳴] Chang Wei-han

[Yün-ou] 1886~

雲南省大関県の人。8年雲南法政専門学校卒業。18年東京で市政を研究。22年昆明市長。28年雲南省政府委員兼国府外交部特派雲南交渉員として対仏条約改訂会議に出席。29年国民党第三次全国代表大会雲南代表。30年~31年雲南省政府委員兼民政庁長。35年立法委員。国民政府文官処参事。53年当時監察委員。

張 維城 Chang Wei-chêng

54年6月華東軍政委員会土地改革委員会委員を解任。12月政治協商會議第二期全国委員会委員(農民)。59年4月政治協商會議第三期全国委員会委員(農民代表)。

張 維楨 Chang Wei-chên

湖南省の人。48年8月中華全国総工会執行委員兼常務委員。東北職工総会主席。49年東北人民政府委員兼労働部部長。53年1月東北

行政委員会委員。同月東北人民政府委員を解任。2月政治協商會議全国委員会委員。3月当時東北総工会主席。5月中華全国総工会第七期執行委員会執行委員兼主席団委員。10月中国人民第3回訪鮮慰問団総団副団長として訪鮮。54年8月第一期全国人民代表大会本溪市代表。9月中央人民政府最高人民政府最高人民檢察署東北分署檢察長ならびに東北行政委員会委員を解任。10月~56年4月当時中華全国総工会書記処記。55年8月中印友好協会理事。56年4月全国先進生産者代表会議主席団員。57年12月中華全国総工会第八期執行委員。59年3月第二期全国人民代表大会上海市代表。3月先進生産者代表会議準備委員会委員。

張 蔚兮 Chang Yü-hsi

58年1月訪日中国中共煤鉱工会代表団団員。

張 蔚岑 Chang Yü-tsên

59年4月政治協商會議第三期全国委員会委員(中国民主建国会)。60年5月当時中国民主建国会山東省委員会委員。

張 頤 Chang I

59年4月政治協商會議第三期全国委員会委員(社会科学団体)。

張 彝鼎 Chang I-ting 1902~

山西省靈石県の人。33年米コロンビア大学国際法学博士。国民政府軍事委員会委員長。南昌行營設計委員。33年~37年侍従室秘書。38年~40年中央政治学校教授、中政会法制専門委員。国防最高委員会法制専門委員。40年~45年第8戦区長官部政治部主任。綏遠省政府委員兼建設庁長。45年~47年善後救済総署晋綏察分署署長。京滬杭警備総司令部政務委員会副秘書長。47年国防部総政治部副主任。第一回国民大会代表。54年~56年7月国防部

総政治部主任。56年7月国防部常務次長。著書「条約如何解釈」(英文)「国際法庭適用的証拠法」「国際法庭引用私法原則」。

張 育民 Chang Yü-min

陝西省の人。現在42歳位。53年1月当時陝西省人民政府労働庁庁長。同月陝西省人民政府委員。59年6月当時陝西省交通庁庁長。

張 毓新 Chang Yü-hsin

55年8月当時広州海運管理局海務監督室主室。

張 一鳴 Chang I-ming

55年8月中共芸術団秘書長として北ヴェトナムを訪問。60年5月駐フィンランド大使館参事官。

張 逸鳴 Chang I-ming

53年5月当時広州市総工会織組部副部長。

張 允中 Chang Yün-chung

[Teo Woon-tiong] 1919~

福建省の人。シンガポール在住華僑。船舶、輸出入貿易業祺福船務有限公司經理。泰興源兄弟公司經理。56年8月シンガポール工業貿易視察団運輸保險組正組長として中共を訪問。

張 允文 Chang Yün-wên

54年11月~58年6月最高人民檢察院檢察員。

張 印泉 Chang Yin-chüan

60年8月中国文学芸術界連合会第三期全国委員会委員。中国撮影学界副主席。

張 于克 Chang Yü-kê

55年10月当時中共吉林省委員会委員、吉林



省副省長。

張 雨 帆 Chang Yü-fan

54年10月当時政務院商業部政治部主任。11月國務院商業部副部長。59年9月水産部副部長。

張 云 瑩 Chang Yün-ying

55年11月当時中華全国総工会幹部学校副校長。57年12月中華全国総工会第八期候補委員。

張 云(雲) Chang Yün

54年2月当時北京運輸分局局長。3月当時中共駐フィンランド公使館商務専員。56年9月当時中共広東省海関区委員会第一書記。同月八全大会にて海南島の農業資源開発につき発言。60年10月当時北京鉄路局副局長、瀋陽人民委員会副秘書長。

張 云(雲)逸 Chang Yün-i 1891~

海南島の人。保定軍官学校第六期卒業後、広東軍第1師参謀部勤務。孫文が国民革命軍を編成し李済深が第4軍軍長となるやその下で中佐参謀、北伐軍に従い、その後南昌暴動に参加、江西ソ区に入る。42年新4軍第2師師長(当時副師長は羅炳輝、政治委員は鄭位三)。長江以南の紅軍を集めて新4軍を組織。49年華東軍区副司令兼参謀長(司令員陳毅、政治委員饒漱石)として上海攻略戦に参加、後広西省人民政府主席。中共中央華南分局第二書記。広西軍区司令員兼政治委員。53年1月中南行政委員会副主席。同月中南軍政委員会委員を解任。54年8月第一期全国人民代表大会広西省代表。9月同大会常務委員会委員、国防委員会委員。55年9月1級八一勳章1級独立自由勳章および1級解放勳章を授与さる。56年9月中共第八期中央委員。59年3月第二期人民代表大会広西僮族自治区代表。4月同大

会常務委員会委員。国防委員会委員

張 云(雲)溪 Chang Yün-hsi

京劇俳優。53年5月中国人民抗米援朝總會慰問文芸工作団第一団団長として赴鮮。55年1月京劇院下劇団中の1団長。

張 云(雲)霄 Chang Yün-hsiao

52年5月中共駐デンマーク公使館商務参事官、フィンランド、スウェーデン両公使館兼務、(ストックホルム常駐)。54年8月当時駐フィンランド公使館商務専員。55年5月駐スイス大使館商務参事官。

張 云(雲)樵 Chang Yün-chiao

55年5月当時中共南昌市委委員会第一副書記。

張 云(雲)生 Chang Yün-shêng

55年2月河南省人民委員会委員。

張 云(雲)川 Chang Yün-chuan

54年8月第一期全国人民代表大会河南省代表。56年2月民主同盟第二期中央委員会委員。7月中国農工民主党中央委員会委員。58年2月第一期全国人民代表大会第5次會議において「右派分子」の理由により代表及び法案委員会委員資格を剝奪。

張 云(雲)驥 [張驥] Chang Yün-fan [Chang Hsiang]

四川省の人。張羣(国府総統府秘書長)の弟。政治協商會議四川省委員会委員。

張 永 才 Chang Yung-tsai

54年1月当時天津市七区東里治安保衛委員会主任。

張 永 清 Chang Yung-ching

54年9月西南軍政委員会文化教育委員会委員を解任。55年7月西南師範学院院長。

張 永 勵(勵) Chang Yung-li

北京に中共政權樹立前陝甘寧辺区政府の塩務局長。50年広東省人民政府財政部副部長、同年2月中南軍管委員会、財政經濟委員。のち同委員会華南分会副主任。同年末アメリカ財産管理広東市委員会副主事。55年2月広東省人民委員会委員。59年9月國務院商業部副部長、華僑事務委員会委員。

張 映 吾 Chang Ying-wu

55年9月中共駐ソ大使館文化参事官。56年7月駐ソ文化共定締結の際の中共代表団員。

張 英 才 Chang Ying-tsai

54年4月西南軍区戦闘英雄。8月第一期全国人民代表大会西南軍区代表。10月当時人民解放軍某師参謀長。

張 英 和 Chang Ying-hê

53年4月当時中国人民銀行ラサ辦事処責任者。同月ラサにおいて西藏羊毛商人と国营西藏貿易総公司との間に52年度産羊毛買入れについての契約書の調印式に参列。

張 榮(榮) Chang Jung

54年8月第一期全国人民代表大会西康省代表。

張 亦 樺 Chang I-hua

57年当時中国ネパール友好協会総幹事。60年3月当時対外文化協会理事。

張 越 Chang Yüeh

中国人民外交学会理事。55年4月西欧非洲(アフリカ)司長。7月中国人民外交学会第

三期理事会理事。56年4月中共駐エジプト商務代表処副代表。6月駐エジプト大使館参事官。58年12月駐アラブ連合大使館参事官を免ず。58年12月~61年4月駐イエメン公使館参事官。61年3月駐ソマリア大使。

張 越 霞 Chang Yüeh-hsia

54年12月政治協商會議第二期全国委員会委員(合作社)。56年2月中国亜洲団結委員会委員。59年4月政治協商會議第三期全国委員会委員(合作社代表)。

張 炎 元 Chang Yèn-yüan

60年11月当時中国国民党中央委員会第2組主任。

張 燕 卿 Chang Yèn-ching

河北省の人。現在65歳。在日華僑。故張之洞の子息。日本の学習院卒業。初め天津市長。満洲事変後奉天市長、經濟部大臣、外交部大臣を歴任。日華事変後華北新民会副会長。戦後国府に逮捕され三年監禁。釈放後台湾に赴き、後香港に転じ、51年来日。亜東工商協会を組織し同会幹事。

張 旺 午 Chang Wang-wu

55年2月湖北省人民委員会委員。

張 应(應)春 Chang Ying-chun

56年2月当時湖南農業院講師。同月中共に入党。

張 化 东 Chang Hua-tung

国营中国輸入公司(50年3月北京に設立)の責任者。53年当時政務院対外貿易部進口(輸入)局局長。54年3月対東独商務代表団副団長。54年10月当時國務院対外貿易部進口局局長。



張加爵 Chang Chia-chüeh

55年1月当時東京華僑総会理事会主席。

張家樹(樹) Chang Chia-shu

59年4月政治商會議第三期全国委員会委員(特別招請人士)。

張華(華)增 Chang Hua-tsêng

國務院對外貿易部秘書。55年3、4月の間中共貿易代表団秘書として来日。56年8月～59年6月中共シリア商務代表処代表。

張嘉勛 [公權] Chang Chia-ao

[Kung-chüan] 1888～

江蘇省宝山区の人。張君勳の実兄。上海言文館卒業後、日本に留学、慶応義塾大学理財科卒業後、14年在日当時相識した梁啓超の抜擢により、浙江都督朱瑞の秘書、參議院秘書長を経て、同年国会解散後銀行界に入り、上海中国銀行長に就任。爾来13年間北洋政府時代を通じ同銀行を經營、銀行界南派の総帥として北派(金城・塩業・中南・大陸の四銀行)の総帥吳遠鎔と比肩された。国府成立後同行は政府支配下に入り上海銀行界を代表して中央銀行副総裁に就任。35年英国の經濟専門家リースロスの来華に伴う幣制改革実施(同年11月)後、鉄道部長に左遷。日華事変後は重慶に在って交通部長、国防會議會員、全国經濟委員会委員、西南經濟建設研究所長を兼職。45年11月中ソ共同管理の長春鐵路公司理事長。47年再び中央銀行総裁に補せられ、中央信託局総裁を兼任して、通貨為替貿易統合掌握したが、内部的軋轢により辞任。現在米国に在任。

張稼夫 Chang Chia-fu

歴史学者。中共中央西北局委員兼宣伝部部长。西北軍政委員会委員兼文化教育委員会副

主任。53年1月中国科学院副院長。同月西北軍政委員会委員解任。2月中国科学院代表団員として訪ソ。54年4月科学院社会科学部副主任。8月第一期全国人民代表大会山西省代表。55年6月中国科学院哲学社会科学学部委員。56年3月國務院科学規劃委員会委員兼副秘書長。58年4月当時國務院第二辦公室副主任。59年3月第二期全国人民代表大会内蒙古自治区代表。9月國務院文教辦公室副主任。

張海棠 Chang Hai-tang

55年2月遼寧省人民委員会委員。

張海峰 Chang Hai-fêng

59年10月当時中共貴州省委員会書記処書記。

張开(開)基 Chang Kai-chi

54年11月最高人民法院審判員。

張开(開)荆 Chang Kai-ching

55年9月1級解放勳章を授与さる。59年8月当時黒竜江軍区司令員。

張会亭 Chang Hui-ting

54年8月第一期全国人民代表大会安徽省代表。

張怀(懷)英 Chang Huai-ying

53年10月当時志願軍特等功臣。55年12月当時中共山西省昔陽県委員会書記。

張凱 Chang Kai

49年華東軍管区第3野戦軍政治部副部長。53年1月華東婚姻法貫徹運動委員会副主任。6月当時華東軍区政治部主任。10月中国人民第3回訪鮮慰問団総団副秘書長兼第7総分団秘書長として訪鮮。54年11月國務院衛生部副部長。57年12月中華全国総工会第八期候補執

行委員。58年4月衛生部副部長。59年3月第二期全国人民代表大会遼寧省代表。9月衛生部副部長、華僑事務委員会委員。60年1月業余教育委員会委員。

張駭青 Chang Hsieh-ching

河北省の人。黒竜江省人民政府委員兼民政庁長。53年1月～12月黒竜江省人民政府副主席。

張愷帆 Chang Kai-fan

54年8月安徽省人民政府副主席。当時中共安徽省委員会統一戦線工作部長。55年3月安徽省副省長。56年9月中共8全大会にて「小売業者家庭の補助労働力の利用配置」につき発言。

張鶴泉 Chang Hê-kao

現在37歳。57年10月訪日中国食品出口公司代表団員。

張学彦 Chang Hsüeh-yên

53年6月当時中国新民主主義青年団黒竜江省委員会副書記。同月中国新民主主義青年団第二期中央委員会候補委員。61年6月訪ソ黒竜江省青年代表団。

張学思 Chang Hsüeh-ssu 1903～

遼寧省海城の人。張学良の実弟。南京中央軍官学校卒業後東北軍に勤務。36年西安事変後兄学良軟禁されるや呂正操、聶榮臻ら中共将領とともに華北でゲリラ闘争。中共軍冀熱遼軍分区司令。45年満州に帰り、東北各省代表連席大会に出席。その後遼寧省主席、東北行政委員会副主席、東北大学学長、人民解放軍海軍学校副校長を歴任。49年8月東北人民政府委員。53年1月東北行政委員会委員。同月東北人民政府委員を解任。54年8月第一期全国人民代表大会遼寧省代表。9月東北行政

委員会委員を解任。56年2月当時人民解放軍海軍少将。

張学儒 Chang Hsüeh-ju

56年3月当時國務院鉄道部第1設計院代理院長。

張学清 Chang Hsüeh-ching

53年7月中国新民主主義青年団第二期中央委員会候補委員。55年7月ワルシヤにおける第5回世界青年および学生平和友誼交歓節参加の中共青年代表団員。

張学銘 [西卿] Chang Hsüeh-ming

[Hsi-ching] 1908～

遼寧省海城県の人。張学良の弟。日本陸軍歩兵学校卒。30年東北軍関内進出後天津市政府公安局長、その後東北政務委員会財政整理委員会委員等を歴任。59年4月政治協商會議第三期全国委員会委員(特別招請人士)。

張學良 [漢卿] Chang Hsüeh-liang

[Han-ching] 1898～

遼寧省海城の人。1928年父張作霖の爆死後、旧東北軍総司令。その後国府陸海軍副総司令、東北政務委員会委員長を歴任。満州事変後東北を放棄。中共の抗日民族統一戦線政策に共鳴、36年12月楊虎城とともに西安事変をおこした。終戦後10年の禁錮を解かれ南京、奉化、華南を転々し、中共の大陸支配後台湾新竹に軟禁されていたが最近禁を緩和されたといわれる。

張譚 Chang Ê

60年8月当時中国ヴェトナム友好協会理事、当時美術家協会副主席。

張干(幹)承 Chang Kan-chêng

53年11月当時政務院華僑事務委員会辦公庁



主任。

張 漢(漢)武 Chang Han-wu

59年4月政治協商會議第三期全國委員會委員(特別招請人士)。

張 漢(漢)明 Chang Han-ming

59年3月第二期全國人民代表大會廣東省代表。4月同大會第1次會議で「祖國工業化の前途は錦で飾られている」と題して合同發言。

張 含 英 [華(華)甫] Chang Han-ying  
[Hua-fu] 1900~

山東省荷沢県の人。米イリノイ大学修学、コーネル大学土木工学科卒業。国立青島大学教授。北洋大学講師。山東省建設技正科長。山東全省河工委員会委員兼主任技師。華北水利委員会秘書主任。葫蘆島築港主任工程師。北方大港準備委員会主任工程師。黄河水利委員会委員兼秘書長。49年10月政務院水利部副部長。53年9月ブタベストにて開催の国際科学工作者協会第3回代表大会に中華全国自然科学専門学会連合会全国委員会委員として出席。54年8月第一期全国人民代表大会山東省代表。55年7月同大会第2次會議提案審査委員会委員。56年6月同大会第3次會議提案審査委員会委員。57年4月中国水利学会理事長。59年3月第二期全国人民代表大会山東省代表。4月同大会提案審査委員会委員。同大会第1次會議で「新しく生れた水利科学の効用を最大限に發揮させよ」について發言。9月水利電力部副部長。60年3月第二期全国人民代表大会第2次會議提案審査委員会委員。著書「水力学」。

張 巖 Chang Yèn

54年8月全国人民代表大会河北省代表。59

年3月第二期全国人民代表大会河北省代表。

張 希 欽 Chang Hsi-chin

56年7月当時人民解放軍新疆軍区副司令員。少将。

張 希 哲 Chang Hsi-chê

(Chang David Hsi Cheh) 1918~

広東省の人。国立政治大学卒業。米ワシントン大学に留学。広東中山日報発行人。広東省政府顧問。広東立法大会委員。教育部總務司司長。現在国府立法院委員。著書「計画管理と統制経済」「新県制度について」。

張 其 畝 [曉峯] Chang Chi-yün

[Hsiao-fêng] 1900~

浙江省勤県の人。国立南京高等師範学校卒業。参謀本部専員。「国風」半月刊主筆。国民政府主計顧問。建設委員会委員。国防委員会専門委員。27年~36年中央大学政治学校教授。資源委員会委員。高等試験委員。35年中央研究院第1次評議員。36年~37年浙江大学文学院院长。国防設計委員会委員。中国地理学会総幹事。41年国民参政会第二期参政員。中央常務委員。49年考試委員。高等試験委員を兼任。36年~48年浙江大学史地学系主任兼師範学院史地学系主任。国民党總裁辦公室秘書組組長。49年~50年国民党宣傳部長。50年~52年国民党中央改造委員会秘書長。52年~54年国民党中央委員兼秘書長。50年中国地理学会会長。53年中国科学協進会幹事。54年6月~58年7月教育部部長。59年4月国防研究院(院長蔣中正)開校され同院組織準備委员会主任委員より同院主任となる。60年11月当時中国国民党中央委員会中央委員。同常務委員。著書「中国民族誌」「中国經濟地理」「浙江省史地紀要」「人生地理学」「高中本国地理」「人生地理教科書」「高中外国地理」「民族思想」

「東亜文化」「三民主義概論」「精神教育」「總理偉大之人格」「新生活運動」「張洩泉先生之學術思想」「党史概要」「清史序」。

張 季 純 Chang Chi-chun

60年1月当時北京市文芸工作者連合会副主席。8月中国文学芸術界連合会第三期全国委員会委員。

張 紀 元 Chang Chi-yüan

53年6月中華全国民主青年連合会第二期全国委員会委員。58年12月中国民主促進会第五期中央委員会常務委員兼副秘書長。59年4月政治協商會議第三期全国委員会委員(中国民主促進会)。

張 紀 明 Chang Chi-ming

日本早大聴講生。かつて中共中央西北局委員兼同局經濟計画委員会副主任。秘書。新聞工作者連誼会副秘書長兼外国放送局長。中国国際貿易促進委員会經濟研究室主任。中国对外文化協会經濟研究室主任。55年3~4月の間中共貿易代表团副秘書長として来日。

張 紀 域 Chang Chi-yü

56年2月民主同盟第二期中央委員会候補委員。

張 喜 瑩 Chang Hsi-ying

61年3月国府駐イタリア大使館参事官。

張 祺 Chang Chi

浙江省の人。中華全国総工会執行委員。49年未~53年1月華東軍政委員会委員。上海総工会副主席。53年1月華東行政委員会委員。54年6月華東軍政委員会人民監察委員会委員を解任。8月第一期全国人民代表大会上海市代表。55年1月上海市工会連合会第二期委員

会委員。2月上海市人民委員会委員。56年4月全国先進生産者代表會議主席団員。57年12月中華全国総工会第八期執行委員。59年4月政治協商會議第三期全国委員会委員(中華全国総工会)。

張 毅 Chang I

55年2月遼寧省人民委員会委員。59年4月政治協商會議第三期全国委員会委員(医業衛生界)。60年5月当時昆明市民兵政治委員。中共昆明市委員会書記処書記。

張 毅 忱 Chang I-chên

53年1月当時陝西省人民政府工業庁庁長。同月陝西省人民政府委員。54年12月陝西省人民委員会委員。58年4月当時陝西省副省長。7月青海省副省長。

張 吉 平 Chang Chi-ping

56年11月中共駐ボンベイ総領事。

張 杏 花 [女] Chang Hsing-hua

54年8月第一期全国人民代表大会浙江省代表。

張 曉 宋 Chang Hsiao-tung

55年2月~58年12月山西省副省長。

張 曉 梅 [女]

Chang Hsiao-mei 1901~

河北省良郷出身。北京市民主婦女連合会主席。51年2月北京市人民政府委員会委員。53年3月当時北京市婚姻法貫徹運動委員会副主任。4月世界婦人大会出席代表団団員。同月中華全国民主婦女連合会第二期執行委員。5月北京市選挙委員会委員。8月第一期全国人民代表大会北京市代表。57年9月中華人民共和国全国婦女連合会第三期執行委員会主席団委員。同執行委員。59年3月第二期全国人



代表大会北京市代表。4月同大会第1次會議で「家庭の婦女が大規模に社会労働の持場についている」について発言。60年2月三八国際婦人節準備委員会委員。60年4月中国アメリカ人民友好協会理事。6月全国文教先進工作者代表大会主席団員。

張 旭 Chang Hsü

民家族。54年8月雲南省僳僳族自治区人民政府副主席。

張 玉 Chang Yü

56年1月当時新民主主義青年団天津市委員会副書記長。57年5月中国共産主義青年団中央委員会委員。60年5月当時同団河北省委員会書記。9月モンゴル訪問中国青年団団長。

張 玉 環 (環) Chang Yü-huan

53年9月当時中共貴州省鎮遠地方委員会書記。

張 玉 珍 Chang Yü-chên

53年5月中国イスラム教協会委員会委員。54年7月当時中南各民族參觀団員、湖南省苗族代表として北京訪問。55年7月当時中国イスラム教協会秘書長。

張 玉 美 Chang Yü-mei

55年6月中共河北省邢台県委員会書記。

張 玉 僕 Chang Yü-pu

56年12月当時中国進出口公司副經理。

張 鈺 哲 Chang Yü-chê 1902~

福建省の人。29年米シカゴ大学碩士。天文学者。29年~41年南京中央大学教授。41年中国科学院南京紫金山天文台台長。53年2月中国科学院訪ソ代表団団員として訪ソ。55年5

月中国科学院物理数学化学学部委員。58年4月当時中国天文学会理事長。59年4月政治協商會議第三期全国委員会委員(中国科学技術協会)。

張 金 輝 Chang Chin-hui

53年7月中国新民主主義青年団第二期中央委員。60年8月中国文学芸術界連合会第三期全国委員会委員。

張 金 聚 Chang Chin-chü

59年3月第二期全国人民代表大会陝西省代表。

張 金 保 [女] Chang Chin-pao

湖北省の人。48年8月ハルビンで開催された第6次全国労働大会の準備委員、同大会で中華全国総工会執行委員。49年4月中華全国民主婦女連合会執行委員。9月同連合会を代表して政治協商會議に出席、中南軍政委員会委員、武漢市総工会副主席。53年1月中南行政委員会委員、同月中南軍政委員会委員を解任。54年12月政治協商會議第二期全国委員会委員(中華全国総工会)。57年12月中華全国総工会第八期執行委員。59年4月政治協商會議第三期全国委員会委員(中華全国総工会)。

張 欽 Chang Chin

元綏遠省参議會議長。49年~54年6月綏遠省軍政委員会委員。53年1月~54年6月綏遠省人民政府委員。54年8月内蒙古自治区人民政府委員、当時内蒙古自治区人民政府参事室副主任。55年4月内蒙古自治区人民委員会委員。

張 琴 秋 [女] Chang Chin-chiu

浙江省の人。紅軍の大西遷に従軍。中共の陳昌浩と結婚。戦時中は延安の陝北公学、女子

大学で教育関係の仕事に従事し、陝北公学校長成仿吾や同教授孟慶樹の助手。49年蔡暢、鄧穎超らとともに婦人運動の指導者として活動し、4月中華全国民主婦女連合会執行委員。9月政治協商會議全国委員会委員。10月政務院紡織工業部副部長。53年4月中国第2回全国婦人代表大会主席団員。同月中華全国民主婦女連合会第二期執行委員。8月中国紡織工業第2回全国代表大会に紡織工業部副部長として出席。9月中国ルーマニア間、科学、技術合作連合会委員会第1回會議代表団員としてルーマニア訪問。12月中国紡織工業部參觀団団長として訪ソ。54年8月第一期全国人民代表大会浙江省代表。11月国務院紡織工業部副部長に再任。12月中ソ友好協会第2次全国代表大会代表(中華全国民主婦女連合会)。59年3月第二期全国人民代表大会浙江省代表。9月紡織工業部副部長。

張 琴 南 Chang Chin-nan

54年7月当時大公報總編集。56年2月民主同盟第二期中央委員会候補委員。

張 錦 城 Chang Chin-chêng

55年1月当時北京市商業局副局長。

張 君 Chang Chün

53年6月当時中共河北省紀律検査委員会書記。60年3月北京建築工業学院院長。

張 君 勳 [嘉森] Chang Chün-mai

[Chia-sên] (Carson Chang) 1886~

江蘇省宝山の人。日本、ドイツ、英国に留学。蘇州法律学校長。38年~48年国民参政会参政員。40年~42年同会常任委員。中国民主社会党主席。45年サンフランシスコ會議の中国代表の一員。47年12月渡米。48年總統府資

政。52年中国自由民主化闘争同盟會長。現在米国在住。

張 勳 Chang Hsün 1854~1923

1908年雲南提督。11年江南提督。民国革命後江蘇都督。16年安徽督軍に任したが終始復辟を志し、17年第1次大戦参戦問題をめぐる紛糾に乗じ、黎元洪、段祺瑞間調停に藉口して部隊とともに北京に入り、7月清帝の復辟を断行。数日にして段祺瑞、馮国璋の連合軍に敗られて失脚、18年赦免されて天津に引退し後病没。

張 羣 [岳軍] Chang Chün

[Yüeh-chün] 1889~

四川省華陽県の人。日本陸軍士官学校卒業。17年広東大元帥府参軍、軍政府副官長。18年四川全省警務処長兼省会警察庁長。24年国民革命第2軍参加、河南警務処長兼省会警察庁長。26年~28年国民革命軍総司令部参議軍事委員会委員。28年~29年軍政部政務次長。28年以来国民党中央執行委員会執行委員、中央政務會議外交委員会委員、同済大学校長。29年~31年上海特別市市長。33年~35年湖北省政府主席。35年~37年外交部長。37年国民党中央政治會議秘書長。38年~39年行政院副院長兼重慶行營主任。38年~42年国防最高委員会秘書長兼中央建設局秘書長。40年~45年軍事委員会委員長成都行轅主任。四川省主席。46年5月重慶行營主任代理。46年政治協商會議を前にしてマーシャル元帥の斡旋になる中共との話合いに国府を代表して周恩来と折衝。47年4月~48年行政院長。同年国府委員。48年11月国民党中央政治委員会秘書長。同年12月孫科内閣政務委員。49年1月重慶治安公署主任。3月何応欽内閣に留任。4月西南軍政長官(四川、西康、貴州、雲南)。6月閻錫山内閣の政務委員。7月国民党委員会委員。50



年3月総統府資政。54年8月総統府秘書長。革命実践研究院主任。57年8月～59年6月兼任国防会議秘書長。48年11月～49年3月政務委員。60年11月当時総統府秘書長。61年2月中央銀行理事同常務理事。

#### 張 勁 夫 Chang Ching-fu

浙江省の人。49年杭州市副市長。50年浙江省人民政府辦公庁主任。52年浙江財政經濟委員會主任。52年10月～54年9月華東軍政委員會財政經濟委員會副主任。53年華東軍管委員會財政經濟委員會副主任。54年8月第一期全國人民代表大會安徽省代表。11月國務院地方工業部副部長。56年3月國務院科學規畫委員會委員，同委員會秘書長。58年2月中国科学院副院長。4月当時科學規畫委員會秘書長。5月中共第八期中央委員會候補委員。59年3月第二期全國人民代表大會安徽省代表。先進生産者代表會議準備委員會委員。4月政治協商會議第三期全國委員會委員（中国科學技術協會）。同會常務委員。60年1月國務院業餘教育委員會委員。60年2月教育，文化，衛生，體育關係，社會主義建設先進グループ，先進活動家全國代表大會準備委員會委員。6月全國文教先進工作者代表大會主席團員。

#### 張 奚 若 Chang Hsi-juo 1889～

陝西省朝邑の人。同盟會員として辛亥革命に奮闘したが、同盟會が国民党に改組されるや脱會。13年米國留学，米コロンビア大學卒業。歸國後，北京法政大學，中國大學，南京中央大學の教授を歴任。29年以降清華大學政治學系教授。日華事變勃發後昆明の西南連合大學教授となり，「蔣介石を斥く」を發表して蔣介石の獨裁に反対。清華大學教授。49年9月政治協商會議全國委員會委員，同常務委員。10月中央人民政府委員會委員，中央人民政府政治法律委員會副主任。53年1月選挙法

起草委員會委員。同月～56年9月当時中国人民世界平和擁護委員會北京市分會主席。53年1月当時北京市抗米援朝分會主席。4月～56年2月当時中国人民外交學會會長。53年6月当時政務院教育部部長。中国抗米援朝總會常務委員。54年5月中国人民對外文化協會理事，常務理事。8月第一期全國人民代表大會北京市代表。9月同大會第1次會議主席團團員。同月～58年2月國務院教育部長。12月政治協商會議第二期全國委員會委員（無黨派民主人士），同常務委員，中ソ友好協會第2次全國代表會代表，同協會總會第二期理事會理事。55年2月北京市人民原子武器使用反對署名運動委員會主席。7月中国人民外交學會會長再任。11月北京における日本憲法擁護國民連合訪華代表團との共同コミュニケ調印式に参加。56年2月中央標準語普及工作委員會副主任。3月全國文盲一掃協會副會長兼同協會委員。4月全國先進生産者代表會議主席團員。57年9月10月社會主義革命40周年慶祝準備委員會委員。58年2月對外文化連絡委員會主任。同月中蒙文化協會協定に調印。4月当時國務院中央擴充普通話委員會副主任，漢語拼音方案審計委員會副主任。7月中国人民保衛世界和平委員會常務委員。59年3月第二期全國人民代表大會北京市代表。日中關係打開に関する淺沼，張奚若共同聲明發表。中蘇文化協力協定實施計畫に調印。4月政治協商會議第三期全國委員會委員（無黨派民主人士）。同常務委員。同會1次全體會議主席團。第二期全國人民代表大會第1次會議主席團。對外文化連絡委員會主任，同委員。中国人民對外文化協會常務理事。5月中ソ友好總會第三期理事會理事。9月對外文化連絡委員會委員。10月日本各界中國建國10周年祝賀代表團と中國側7団体との共同聲明に調印。59年当時中国人民外交學會會長。10月中国，アルバニア文化合作協定1961年～1962執行計畫調印。60年2月教育，

文化，衛生，體育關係，社會主義建設先進グループ，先進活動家全國代表大會準備委員會副主任委員。6月全國文教先進工作者代表大會主席團員。61年2月1961年中ソ文化合作計畫，4月同中国，キューバ文化執行計畫，5月同中独文化執行計畫交換書にそれぞれ署名。

#### 張 啓(啓)龍(龍) Chang Chi-lung

53年1月東北人民政府委員を解任。10月当時中華全國合作社連合總社副主任。54年2月当時人民解放軍慰問代表團總副團長。7月当時中華全國合作社連合總社臨時理事會副主任。同月中華全國供銷合作總社全國委員會委員，同理事會副主任。12月政治協商會議第二期全國委員會委員（合作社）。同月中ソ友好協會第2次全國代表會代表（中華全國供銷合作總社）。56年9月中共第八期中央委員會候補中央委員。58年4月当時中華全國供銷合作總社理事會副主任。59年3月第二期全國人民代表大會湖南省代表。4月同大會常務委員會委員。60年1月國務院業餘教育委員會委員。6月全國文教先進工作者代表大會主席團員。

#### 張 綱 伯 Chang Chiung-po 1885～

浙江省寧波の人。上海大學の前身南洋公學出身。日本留学。歸國後杭州，寧波等中等學校教師。後財政部塩務署勤務。後金融界に転じ青島民華銀行，上海民華銀行總經理。上海事變後蟄居して中国の政治經濟研究に専念。日華事變後「内戦反対」の平和運動に挺身。46年下関事件の時郭沫若らと一緒に暴徒に殴打された。49年政治協商會議に商工會代表として出席。54年8月第一期全國人民代表大會江蘇省代表。12月中ソ友好協會第2次全國代表會代表（中国民主建國會）。55年7月中国人民外交學會第三期理事會理事。59年3月第二

期全國人民代表大會江蘇省代表。

#### 張 惠 英〔女〕 Chang Hui-ying

54年8月第一期全國人民代表大會雲南省代表。59年3月第二期全國人民代表大會雲南省代表。

#### 張 惠 民〔女〕 Chang Hui-min

53年7月中国新民主主義青年團第二期中央委員會候補委員。

#### 張 景 鉞 Chang Ching-yüeh

55年5月中国科学院生物学地学学部委員。

#### 張 景 惠 Chang Ching-hui 1871～

遼寧省人。清末張作霖の帰順と共に巡防隊に入り後奉天講武堂に学ぶ。以来張作霖と共に張作霖を助け奉天派軍界において栄進。1926年奉天督軍署参議。27年顧維鈞内閣陸軍総長。同年潘復内閣の実業総長。28年張作霖爆死の際側近にありて重傷を負う。その後張作霖と共に奉天派の重鎮として東省特別区行政長官，国民政府軍事参議院長，東北政務委員會委員を歴任。31年滿州事変勃發後は日本軍と協力治安維持に任じ，32年春滿州国成立と共に参議府議長兼東省特別区長官。次いで軍政部総長馬占山背叛に伴いその後任を兼ね。34年國務總理大臣，37年外交部，蒙政部兩大臣を兼任。45年終戦後ソ連に拉致されたが以後不詳。

#### 張 景 祐 Chang Ching-hu

民間芸術家。54年12月政治協商會議第一期全國委員會委員（中国文学芸術界連合會）。59年4月政治協商會議第三期全國委員會委員（中国文学芸術界連合會）。60年1月全國文芸工作者代表大會主席團員。8月中国文学芸術界連合會第三期全國委員會委員。



張景宁(寧) Chang Ching-ning  
55年2月広西省人民委員会委員。56年8月中国民主促進会第四期中央委員会委員。

張敬寬 Chang Ching-kuan  
55年2月熱河省人民委員会委員。

張敬堂 Chang Ching-tang  
55年1月浙江省人民委員会委員。

張敬礼 Chang Ching-li  
53年11月全国工商業連合会執行委員。54年12月政治協商會議第二期全国委員会委員(中華全国工商業連合会)。55年2月江蘇省人民委員会委員。11月当時江蘇省工商連副主任委員。56年12月全国工商連第二期執行委員(江蘇省)。59年4月政治協商會議第三期全国委員会委員(中華全国工商業連合会代表)。60年3月第二期全国人民代表大会江蘇省代表(補選)。

張經武 Chang Ching-wu 1906~  
河南省生れ。42年頃8路軍山東總指揮部(司令徐向前)山東縦隊司令。44年18集団軍留守兵团(司令蕭勁光)の参謀長。49年西南軍区(司令賀竜)副参謀長。51年8月中央人民政府代表として西藏駐在。54年8月第一期全国人民代表大会四川省代表。12月政治協商會議第二期全国委員会委員(共産党),同常務委員。同月中ソ友好協会第2次全国代表会代表(軍隊)。55年1月当時中央人民政府駐西藏代表。7月中華人民共和国主席辦公庁主任。9月1級八一勳章,1級独立自由勳章および1級解放勳章を授けらる。56年3月西藏訪問中央代表団副団長。9月中共第八期中央委員会候補中央委員。59年3月第二期全国人民代表大会四川省代表。4月政治協商會議第三期全国委員会委員(共産党代表)。同会常務委員。60年論文「西藏民主改革の勝利」を發表(紅旗5期)。

60年1月当時中共西藏工作委員会書記。3月第二期全国人民代表大会第2次會議主席団員。61年9月当時中央人民政府駐西藏代表。

張庆(慶)华(華) Chang Ching-hua  
54年11月最高人民法院審判員。

張庆(慶)洪  
Chang Ching-hung 1928~  
遼寧省の人。北京中央新聞記録電影(映画)製片廠記者。56年5~6月の間訪日京劇代表団撮影記者として来日。

張庆(慶)春 Chang Ching-chun  
54年8月第一期全国人民代表大会広東省代表。10月当時中国店員工会全国委員会秘書長。12月当時中国商業工会全国委員会執行委員。56年4月全国先進生産者代表会議主席団員。57年12月全国総工会第八期執行委員。58年4月当時中国商業工会全国委員会主席。59年3月第二期全国人民代表大会河北省代表,先進生産者代表会議準備委員会委員。

張庆(慶)孚 Chang Ching-fu  
56年10月~58年9月国務院林業部副部長。59年4月政治協商會議第三期全国委員会委員(農民代表)。

張繼英 Chang Chi-ying  
54年2月河南省開封市第一期人民代表大会代表。

張繼中 Chang Chi-chung  
60年6月当時中共福州市委員会書記処書記。福州市市長,福州市民兵指揮員。

張繼明 Chang Chi-ming  
53年7月中国新民主主義青年団第二期中央

委員。54年7月当時中国新民主主義青年団西北工作委員会青工部部長。57年5月中国共産主義青年団中央委員会委員。59年8月当時同団辦公庁副主任。60年9月キューバ訪問中国青年代表団長。61年5月訪ソ中国共産主義青年団工作代表団長。

張子夫 Chang Chieh-fu  
55年4月中国海員工会全国委員会副主席。57年12月中華全国総工会第八期候補執行委員。

張杰 Chang Chieh  
56年5月当時中国パキスタン友好協会理事。12月中国イスラム教協会副主任。59年9月国務院民族事務委員会委員。60年4月中国アフリカ人民友好協会常務理事。

張竭誠 Chang Chieh-chêng  
60年12月当時少将。駐瀋陽部隊首長。

張洁(潔)珣〔女〕 Chang Chieh-hsün  
55年8月当時北京市民主婦女連合会秘書長。61年6月当時全国婦女連合会国際連絡部副部長。

張月潭 Chang Yüeh-tan  
55年3月安徽省人民委員会委員。

張月亭 Chang Yüeh-ting  
53年9月当時北票礦務局副局長。

張建平 Chang Chien-ping  
53年8月当時政務院農業部辦公庁副主任。

張健 Chang Chien  
53年7月当時全国高等学校学生募集委員会

辦公室副主任。10月~54年1月当時政務院高等教育部計画財務司副司長。55年8月当時国務院高等教育部計画司副司長。

張健民 Chang Chien-min  
53年8月当時中共河南省鄭州地方委員会書記。

張劍鋒 Chang Chien-fêng  
55年6月当時国務院建築工程部計画司副司長。10月当時同部計画統計司副司長。

張賢約 Chang Hsien-yüeh  
中將。55年9月1級解放勳章を授けらる。

張(張)元培 Chang Yüan-pei  
60年9月アラブ連合訪問中国軍事代表団団員(海軍少将)。

張沅長 Chang Yüan-chang 1903~  
上海の人。24年復旦大学卒業。31年米シオンズホプキンス大学博士。31年~33年国立武漢大学英语教授。33年~34年国立中央大学英语教授。35年~36年米ノースカロライナ大学交換教授。45年~48年外交部情報司顧問。50年~51年香港 Newsdom 主筆。52年以来中国知識階級難民救済会台湾事務所副所長。

張彦 Chang Yèn  
40年頃新4軍蘇皖縦隊政治委員。54年2月当時中共中央華東局秘書長。6月華東軍政委員会土地改革委員会委員を解任。55年4月国務院總理辦公室副主任。56年2月中国亞洲団結委員会委員。56年11月~57年2月周恩来に随行し,東南アジア,ソ連,東欧諸国訪問。58年7月中国人民保衛世界和平委員会常務委員。59年9月国務院外事辦公室副主任。60年



4月中国アフリカ人民友好協会理事。周総理のビルマ、インド、ネパール訪問に随行。61年5月ラオス問題ジュネーブ会議中共代表団秘書長。

張 嚴 Chang Yèn  
55年2月河北省人民委員会委員。

張 呼 晨 Chang Hu-chên  
55年1月四川省人民委員会委員。56年12月当時四川省人民委員会 財政庁内 中共支部書記。

張 公 制 Chang Kung-chih  
53年3月当時青島市人民政府副市長。全国乙等衛生模範。54年8月第一期全国人民代表大會山東省代表。59年3月第二期全国人民代表大會山東省代表。4月同大会第1次会議で「印度の政治家が当面する局面に対して賢明なる行動を取るよう希望する」について合同発言。

張 光 旭 Chang Kuang-hsü  
54年8月中国キリスト教三自愛国運動委員会常務委員。

張 光 岱 Chang Kuang-tai  
53年4月中華全国総工会執行委員。

張 光 天 Chang Kuang-tien  
60年5月中共駐モンゴル大使館参事官。

張 光 斗 Chang Kuang-tou  
53年3月当時清華大学水利学教授。53年4月当時中共駐東独外交使節団商務参事官。同月北京における中独53年度パーター取引と支払協定調印式に参列。54年3月～55年4月当時中共駐東独大使館商務参事官。55年6月中国科学院技術科学学部委員。56年2月中国亞洲

團結委員会委員。3月当時清華大学水工結構教研組主任。4月当時全国先進生産者代表会議主席団員。

張 光 年 Chang Kuang-nien  
作家。54年4月当時中ソ友好協会ソ連メーデー参観団団員として訪ソ。11月当時中国戲劇家協会副秘書長。56年3月中国作家協会理事。12月中国作家協会書記処書記。60年7月全国文芸工作者代表大會主席団員。8月中国文学芸術界連合会第三期全国委員会委員。61年5月中独文化合作協定執行計画に基き訪独。

張 向 前 Chang Hsiang-chien  
54年11月最高人民法院審判員。58年6月右派分子の理由により最高人民法院審判員の職務を罷免。

張 向 凌 Chang Hsiang-ling  
53年5月当時中共黒竜江省委員会宣伝部副部長。

張 江 樹(樹) Chang Chiang-shu  
南京大学教務長。53年12月華東化工学院院長。55年2月上海市人民委員会委員。55年2月民主同盟第二期中央委員会委員。3月当時華東化学学院院長。

張 行 言 Chang Hsing-yên  
55年3月国務院專家工作局副局長。58年4月当時国務院外国專家局副局長。

張 孝 华(華) Chang Hsiao-hua  
労働模範。中共黨員。上海蒸気タービン廠技術工。55年10月～11月の間中共見本市代表団工作員として来日。

張 孝 齋 Chang Hsiao-chien  
53年12月当時医科大学内科教授。55年5月

中国科学院生物学地学学部委員。56年1月政治協商会議第二期全国委員会特別招請委員。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(医薬衛生界代表)。同会第1次全体会議主席団員。60年3月同会第2次会議提案審査委員会委員。4月当時医学科学院内科主任。

張 効 曾 Chang Hsiao-tsêng  
55年3月国務院機關事務管理局副局長。

張 庚 Chang Kêng  
戲劇家、作家。53年8月当時中華全国戲劇工作者協会副主席。55年6月当時中国戯曲院副院長。59年1月戯曲学院院長。4月中国人民对外文化協会常務理事。60年7月全国文芸工作者代表大會主席団員。8月中国文学芸術界連合会第三期全国委員会委員。61年8月中国戯曲学院副院長。

張 香 山 Chang Hsiang-shan  
59年2月当時中共中央機關責任工作者の1人。61年3月第3回全国アフリカ人民大会(カイロ)参加中国・アジア・アフリカ團結委員会觀察員。

張 香 桐 Chang Hsiang-tung  
57年5月中国科学院地学学部委員。59年3月第二期全国人民代表大會河北省代表。

張 香 圃 Chang Hsiang-pu  
56年12月全国 商工連合会 第二期執行委員(広西省)。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(中華全国工商業連合会代表)。

張 効 中 Chang Hsiao-chung  
60年6月当時中国科学院 对外連絡局副局長。

張 浩 波 Chang Hao-po  
53年7月中国新民主主義青年団第二期中央委員。57年5月中国共産主義青年団中央委員会委員。59年9月当時同上海市委員会副書記。

張 耿 Chang Kêng  
61年4月当時中共駐ハンガリー大使館商務参事官。

張 广(廣)才 Chang Kuang-tsai  
55年2月湖北省人民委員会委員。9月1級八一勳章および1級解放勳章を受く。56年9月当時少将、駐武漢部隊長。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(特別招請人士)。60年1月当時武漢軍区首長。

張 广(廣)標 Chang Kuang-piao  
56年2月民主同盟第二期中央委員会候補委員。

張 鴻 Chang Hung  
53年6月中華全国民主青年連合会第二期全国委員会委員。56年2月九三学社第四期中央委員会委員。60年7月全国文芸工作者代表大會主席団員。8月中国文学芸術界連合会第三期全国委員会委員。

張 鴻 鈞 Chang Hung-chün  
53年7月新民主主義青年団第二期中央委員。54年9月遼寧省撫順市人民政府委員を解任。55年11月当時中国新民主主義青年団瀋陽市委員会書記。

張 鴻 志 Chang Hung-chih  
53年4月中華全国民主婦女連合会第二期執行委員候補。55年2月貴州省人民委員会委員。



張 鴻 烈 [幼山] Chang Hung-lieh  
[Yu-shan] (J.L. Chang) 1886~

河南省固始県の人。米ボールドウイン、ウ  
オース大学およびイリノイ大学卒業。19年河  
南開封中州大学校長。28年河南省政府委員。  
30年兼教育庁長。同年山東省政府委員兼建設  
庁長。58年12月国府立法委員。

張 克 Chang Kè

56年12月全国工商連合会副秘書長兼辦公室  
主任。

張 克 俠 Chang Kè-hsia

北京生れ。上海市警備司令部參謀長。48年  
11月淮海作戦において2万余人の部隊を率い  
て中共軍に寝返る。直ちに人民解放軍第11兵  
団第33軍長となる。49年末華東軍政委員会委員  
兼農林部部长。53年1月華東行政委員会委員  
兼農林部部长。54年6月華東軍政委員会財政  
經濟委員会委員解任。11月国務院林業部副部  
長。55年9月1級解放勳章を受く。59年9月林  
業部副部長。59年当時中国林学会理事長。60  
年1月モスクワでソ護林防火協定に調印。  
2月教育、文化、衛生、体育関係、社会主義  
建設先進グループ、先進活動家全国代表大會  
準備委員会委員。6月全国文教先進工作者代  
表大會主席団員。

張 克 讓 Chang Kè-jiang

53年3月当時河北省人民政府農業庁長。  
55年2月河北省人民委員会委員。58年10月河  
北省副省長。

張 克 明 Chang Kè-ming

56年2月国民党革命委員会中央委員。58年  
12月国民党革命委員会第四期中央委員会委員。

張 国 華(華) Chang kuo-hua

江西省の人。人民解放軍軍長。50年7月西  
南軍政委員会委員。西藏進駐の主力部隊約5  
千人を率い、51年10月ラサ到着。52年人民解  
放軍西藏軍区創設とともにその司令員。53年  
1月西南行政委員会委員。54年1月当時西藏  
軍区軍人代表大會代表。第一期全国人民代表  
大會西藏代表。9月国防委員会委員。55年3  
月西藏自治区準備委員会第二副主任委員に予  
定さる(56年4月就任)。7月全国人民代表大  
會第2次會議主席団員。9月1級独立自由勳  
章および解放勳章を受く。56年2月当時中共  
西藏工作委員会代理書記。9月当時中共西藏  
工作委員会副書記。57年12月中華全国總工  
會第八期執行委員。59年3月第二期全国人民  
代表大會西藏代表、中国人民解放軍西藏軍区司  
令員。4月国防委員会委員。60年8月当時西  
藏工作委員会副書記。

張 国 淦 [乾若] Chang Kuo-kan  
[Chien-juo] 1873~

湖北省蒲圻県の人。貧家に生れ幼年父を喪  
い後進士となる。清朝憲政編查館員。民国成  
立後北京政府に入り統計局副局長、国務院銓  
叙局長、国務院秘書長。14年徐世昌内閣の内  
務次長、參議院參政。16年段祺瑞内閣の教育  
總長、農商總長兼司法總長。黒龍江省長。17  
年再び段内閣の農商總長兼全国水利局長。20  
年漢口港務局長。21年平政院長(平政院とは  
行政官吏の違法不正行為を審理する大總統直  
轄の官庁)。22年顔惠慶内閣の農商總長兼内務  
總長。24年孫宝琦内閣の教育總長。26年顔内  
閣の内務總長。同年下野後は方志考証の著作  
に専念。56年1月政治協商會議第二期全国委  
員会特別招請委員。

張 国 基 Chang Kuo-chi

湖南省益陽県の人。現在66歳位。40年李春  
鳴と協力して、ジャカルタ中華中学を創立。

ジャカルタ中華教師公会執行委員、中華總商  
會理事、中華僑団工作員を歴任。ジャカルタ  
總商會理事、中華僑団總會副主席。54年9月  
第一期全国人民代表大會華僑代表。59年3月  
第二期全国人民代表大會華僑代表。60年12月  
当時北京帰僑学生中等補修学校長。

張 国 器 Chang Kuo-chi

61年6月中緬辺界連合委員会地図小組中国  
側顧問。

張 国 旭 Chang Kuo-hsu

56年12月全国工商業連合会第二期執行委員  
(河北省)。

張 国 堅 Chang Kuo-chien

50年まで華北人民政府交通部事業局長。50  
年国務院財政經濟委員会中央財政經濟企画局  
交通運輸企画局長。54年11月国務院第9辦公  
室副主任。56年3月国務院科学規劃委員会副  
秘書長。59年9月国務院国家經濟委員会副主  
任兼委員。

張 国 权(權) Chang Kuo-chüan

55年5月国務院川・甘・康・青四省(四川、  
甘肅、西康、青海)辺境工作団副団長。57年  
12月中華全国總工會第八期執行委員。

張 国 声 Chang Kuo-shèng

解放軍政治部副主任。49年青海省人民政府  
委員兼秘書長。54年12月青海省副省長。

張 国 忠 Chang Kuo-chung

59年3月第二期全国人民代表大會河北省代  
表。

張 国 燾 [特立] Chang Kuo-tao  
[Tè-li] 1898~

江西省吉永県の人。江西中学を経て北京大  
学卒業。20年イルクーツクにおける極東諸民  
族會議に中国代表として出席、中共創立者の  
一人で、21年中共第1次大會には北京代表と  
して出席。党組織部長。24年第1次国共合作  
の際国民党第1次中央候補執行委員。27年国  
共分裂に伴い国民党籍を除かる。30年中共駐  
ソ代表として入ソ。31年帰国、中華ソヴェト  
臨時政府副主席。35年工農紅軍西遷の途次毛  
児蓋會議以降、中国革命の根拠地等の問題に  
つき毛澤東と意見合わず、また36年西安事変  
の際も蔣介石の処分問題について毛澤東派と  
意見を異にした。日華事変発生後の態度は日  
和見主義的であるとの理由、その他党中央の  
指導に従わないとの理由で、38年4月中共党  
から除籍。その後香港に渡り隠遁生活を送っ  
ている。

張 国 藩 Chang Kuo-fan

湖北省の人。49年北洋大学教養学部部長、中  
共出現とともに同年全国自然科学工作者第1  
回會議準備委員会委員、全国教員會議準備委  
員会委員、天津市人民政府教育局長。50年全  
国科学協會連合会組織委員、この間北洋大学  
の職はそのまま。52年中国民主同盟天津支部  
副主任。53年1月華北行政委員会委員。54年2  
月人民解放軍慰問団代表団第6總分団副団長。  
8月第一期全国人民代表大會天津市代表。9  
月華北行政委員会委員を解任。55年1月天津  
市人民委員会委員。56年2月民主同盟第二期  
中央委員会委員。58年4月当時天津市副市長。  
12月中国民主同盟第三期中央常務委員会常務  
委員。59年3月第二期全国人民代表大會河北  
省代表。4月同大會第1次會議で「高等学校で  
教育と生産労働を結びつけることを貫徹する



についてのいくつかの認識」について発言。60年5月当時中国人民世界平和保衛委員会天津市分会副主席。12月当時民盟天津市委員会主任委員、天津大学校長。

張 国 屏 Chang Kuo-ping  
55年2月山西省人民委員会委員。

張 恨 水 Chang Hên-shui 1895~  
安徽省潜山県の人。大衆作家。通俗小説「啼笑因縁」で人気を得、一時華北美術専門学校校長。後南方で執筆生活。

張 根 生 Chang Kên-shêng  
55年9月当時中共広東省粵北区委員会書記。60年7月当時中共広東省委員会秘書長。

張 查 理 Chang Cha-li  
山東省の人。53年1月当時西北軍政委員会衛生部副部長。同月西北行政委員会委員。55年11月中華医学会副理事長。同月同会副理事長として日本訪華医学代表团との医学交流の協議調印式に参加。

張 才 千 Chang Tsai-chien  
58年7月当時南京陸軍部隊副司令員。60年10月当時華南部隊首長（中将）。

張 际(際)春 Chang Chi-chun 1899~  
湖南省の人。中学卒業後ソ連留学。27年湖南暴動に参加、のち工農紅軍に参加し政治工作に従事。29年上海に至り同年8月労働運動に従事中彭湃と共に工部局警察に検挙され、龍華国民政府軍に引渡されたが逃亡。第5軍団宣伝部長として大西遷に参加。45年中共第七期中央委員会候補委員。49年人民解放軍第2野戦軍副政治委員。50年7月西南軍政委員会委

員。53年11月西南行政委員会委員。3月当時中共中央西南局第2副書記。10月当時解放軍西南軍区副政治委員。54年8月第一期全国人民代表大会四川省代表。10月当時中共中央宣伝部副部長。12月政治協商会議第二期全国委員会委員（共産党）、同常務委員。同月中ソ友好協会第2次全国代表会代表。56年9月中共第八期中央委員。58年3月当時中共中央宣伝部副部長。58年4月当時国務院第2辦公室副主任。59年3月第二期全国人民代表大会四川省代表。4月政治協商会議第三期全国委員会委員（中国共産党代表）。同常務委員。9月国務院文教辦公室主任。60年1月業余教育委員会副主任。2月教育、文化、衛生、体育関係、社会主義建設先進グループ、先進活動家全国代表大会準備委員会副主任委員。6月全国文教先進工作者代表大会主席団員。61年スウェーデン（ストックホルム）の共産党第19回会議に出席。

張 作 霖 Chang Tsuo-lin 1873~1928  
奉天省海城県の人。弱冠緑林に投じ日露戦争に先だち東三省総督趙爾巽に帰順。1911年第1革命には奉天省城を守備。16年第3革命後奉天將軍段芝貴を追い、奉天軍務督理兼巡按使。次いで奉天督軍兼省長代理となり奉天省の全権を掌握。17年麾下鮑貴卿を黒龍江督軍に任じ、18年段祺瑞の安徽派と結び関内に出兵、東三省巡閱使となり、19年孟恩遠を逐って鮑を吉林、孫烈臣を黒龍江の各督軍に任じ東三省の兵馬の権を握る。20年直隸派と結んで安徽派を倒し北方政界の覇者となる。21年外蒙征討問題起るや蒙疆経略使を兼ね内蒙全域をその勢力下に収む。22年第1奉直戦に呉佩孚に敗れ東三省保安総司令に自任し、24年第2奉直戦には馮玉祥の北京クーデターにより直隸派を潰滅せしめ、戦後馮と提携して段祺瑞を臨時執政に推し、自らは東三省軍務善後事宜督辦兼東北辺防事宜督辦に任じその勢

力は直隸、山東次いで25年江蘇、安徽に及ぶ。同年秋孫伝芳の蹶起により江蘇、安徽を失い、又馮と衝突して天津より退く。同年末部將郭松齡の叛乱軍は正に奉天を陥れんとせるも漸く平定す。26年張宗昌、李景林の直魯連軍天津を奪回北京に馮軍を圧するや、再び入関して呉佩孚と結び馮の国民軍を北京、張家口より逐い、北京に安国軍を組織これが総司令となる。27年大元帥に就任、軍政府を組織、国民革命軍を迎撃せるも成らず、28年6月北京より引揚の途次奉天西郊において坐乗列車爆破により死去。

張 策 [策安] Chang Tsê  
[Tsê-an]

山西省沁水県の人。日華事変前は国民政府外交部条約委員会委員。46年興安省副主席のち松江省党委員会主任。51年松江省人民政府委員、中共松江省委員会書記。52年末政務院交通部副部長。53年11月全国工商業連合会執行委員。54年11月国務院副秘書長。60年2月当時中共陝西省委員会書記処書記。5月当時中共西安市委員会第1書記。

張 山 鐘 Chang Shan-chung 1886~  
台湾屏東県の人。台湾医学校卒業。医師。屏東県参議員。屏東民選県長を経て54年6月~57年8月台湾省政府委員。

張 燦 明 Chang Tsan-ming  
53年1月当時中華全国総工会華東辦事処第1副主任。4月総工会訪ソ・メーデー参観団団員。54年6月華東軍政委員会政治法律委員会委員解任。55年10月国務院外交部領事司司長。57年5月駐セイロン大使。61年4月セイロンとの1961年物資交換議定書調印。

張 贊 美 Chang Tsan-mei  
(Thio Chan-bee) 1904~  
スマトラ島メダン生れ。福建省廈門市出身者の子孫。シンガポール在住華僑。シンガポール英華書院卒業。メソジスト系教会の理事および学校教職員を歴任。46年スイスで開催されたMRAの会議にシンガポール代表として出席。48年シンガポール立法院議員。

張 士 英 Chang Shih-ying  
53年6月当時中共黒龍江省委員会副書記。

張 士 毅 Chang Shih-i  
55年2月遼寧省人民委員会委員。

張 士 勤 [女] Chang Shih-chin  
59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員（中国文学芸術界連合会）。

張 士 琅 Chang Shih-lang  
56年1月政治協商会議第二期全国委員会特別招請委員。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員（宗教界代表）。

張 子 意 Chang Tzu-i  
湖南省の人。49年人民解放軍西南軍区政治部副主任。50年6月西南軍政委員会委員兼文化教育委員会副主任。53年1月西南行政委員会委員。9月当時中共中央西南局宣伝部長。54年12月政治協商会議第二期全国委員会委員（共産党）。58年3月当時中共中央宣伝部副部長。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員（中国共産党代表）、同常務委員。60年2月教育、文化、衛生、体育関係社会主義建設先進グループ、先進活動家全国代表大会準備委員会副主任委員。6月全国文教先進工作者代表大会主席団員。



張子高 Chang Tzu-kaio

59年4月政治協商會議第三期全國委員會委員（無黨派民主人士）。

張子克 Chang Tzu-kè

53年9月当時中国ルーマニア科学技術合作連合委員会中共側委員。同月～56年10月まで中共駐ルーマニア大使館商務参事官。

張子齋(齋) Chang Tzu-chai

民家族。54年8月第一期全國人民代表大會雲南省代表。55年2月雲南省人民委員會委員。59年3月第二期全國人民代表大會雲南省代表。4月同大会第1次會議で「社会主義祖国の統一と民族の団結は各民族人民の最大の利益である」について合同発言。民族委員会委員。60年9月当時雲南省人民委員會秘書長。

張子泉 Chang Tzu-chüan 1924～

中国国際貿易促進委員会科長。55年10、11月の間中共見本市代表団工作員として来日。56年12月当時中国国際貿易促進委員会展覽部部長。60年8月ダマスカス国際博覧会中国館館長。

張子宗 Chang Tzu-Tsung

(Teoh Chzè-chong) 1914～

マライのパハン生れ。クラング在住華僑。マラヤ連邦立法議員、治安判事、劇場経営者、マライ華僑公会クラング支部長。ジョホールノサルタンよりS.M.Jの称号を受く。

張子富 Chang Tzu-fu

撫順市労働模範。54年8月第一期全國人民代表大會撫順市代表。57年12月中華全國總工会第八期候補執行委員。

張子武 Chang Tzu-wu

55年3月山東省人民委員會委員。58年12月中国国民党革命委員會第四期中央委員會委員。59年4月政治協商會議第三期全國委員會委員（特別招請人士）。

張子芳〔女〕 Chang Tzu-fang

陝西省の人。49年西北軍政委員會委員。53年1月当時中華全國民主婦女連合会執行委員兼陝甘寧辺区民主婦女連合会主任。同月西北行政委員會委員。4月中華全國民主婦女連合会第二期執行委員、同常務委員。54年6月西北軍政委員會土地改革委員會委員を解任。

張子良 Chang Tzu-liang

55年5月当時國務院林業部木材生産局局長。56年10月國務院森林工業部部長助理。

張之槐 Chang Chih-huai

54年8月当時中央人民政府体育運動委員會幹部訓練司副司長。55年7月ワルシャワにおける第5回世界青年および学生平和友誼交歓参加の中共青年代表団体育隊副監督。10月当時排球協会主席。56年1月中国オリンピック委員会委員。60年9月当時國務院体育運動委員會球類司司長。11月当時同会運動司司長。

張之強 Chang Chih-chiang

60年4月当時医学科学院副校長。8月当時中共中国医学科学院委員会第1書記。

張之江 Chang Chih-chiang

54年12月政治協商會議第二期全國委員會特別招請委員。56年2月国民党革命委員會中央委員。

張仕齋 Chang Shih-chien

53年6月当時広州華興貿易行副經理、中華

全國青年連合第2次代表大會に出席。同月中華全國民主青年連合会第二期全國委員會委員。

張志讓〔季龍〕 Chang Chih-jang  
[Chi-lung] 1899～

江蘇省武進県の人。復旦大学卒。米コロロンビア大学碩士。国民政府高等法院検事。復旦大学法学院院長。国府に逮捕された抗日「七君子」のために弁護士となる。日軍事変中復旦大学とともに重慶に移り、雑誌「文摘」を出版。戦後上海に帰り「復旦文摘」を經營。49年中央人民政府最高人民法院副院長。53年4月中国政治法律学会成立大会に主席団員。同月中国政治法律学会副主席。54年8月第一期全國人民代表大會江蘇省代表。11月最高人民法院副院長。55年1月カルカッタのアジア法律工作者会議参加の中国政治法律学会代表団団長。2月最高人民法院審判委員會委員。56年2月中国亞洲團結委員會委員。3月政治法律学会第二期副會長。5月ブラッセルの国際民主法律工作者協會第六期大会参加の中国政治法律学会代表団団長。11月中国エジプト協会理事。57年アジア・アフリカ法律家會議（ダマスカス）中国代表団団長。58年2月中国・アラブ連合友好協會理事。当時中国・アジア・アフリカ團結委員會委員。7月中国人民保衛世界和平委員會委員。8月中国政治法律学会第三期理事会副會長。59年当時中国・アジア・アフリカ團結委員會委員。3月第二期全國人民代表大會江蘇省代表。4月同法案委員會委員。61年3月訪日中国法律家代表団団長。

張志专(專) Chang Chih-chuan

53年4月中華全國民主婦女連合会第二期執行委員候補。54年9月3級人民英雄。

張志和 Chang Chih-hè

54年9月西南軍政委員會財政經濟委員會委員解任。56年2月民主同盟第二期中央委員會委員。

張使 Chang Shih

54年6月当時広東省海南黎族苗族自治州人民政府副主席（漢族）。

張泗洲 Chang Ssu-chou

54年8月第一期全國人民代表大會四川省代表。59年3月第二期全國人民代表大會四川省代表。

張茲闖 Chang Tzu-kai 1900～

広東省の人。32年米ニューヨーク大学卒業。38年～44年經濟部工鉱管理局次長。44年～45年戦略物資生産局原料科長。47年～50年中国石油公社総經理。50年～51年財政部次長。51年3月マニラ交通銀行総經理。52年經濟部長。53年以来台湾銀行理事、役員会會長。56年9月国際通貨基金及び国際復興開發銀行理事会第13、14回及び15回理事会に中華民國代表団代表として出席。61年2月中央銀行理事。

張紫常 Chang Tzu-chang

(Tse-chang, Kent Chang) 1906～

広東省中山県の人。嶺南大学卒業。37年コロロンビア大学卒業。28年外交官試験合格。サンフランシスコ領事見習。ニューヨーク副領事。37年～45年駐ロスアンゼルス領事。45年以来サンフランシスコ総領事。58年12月～60年9月外交部参事。60年11月～61年9月外交部美洲司司長。61年7月駐ニカラグワ公使。

張資平 Chang Tzu-Ping 1895～

広東省梅県の人。日本第5高等学校卒。東京帝大理学部地質科卒。武昌師範大学磁物学教授。後郁達夫とともに創造社により恋愛小



説作家となり、中国の菊地寛といわれ、長篇「最後の幸福」「青春」短篇集「愛の焦点」等で人気を得たが、後国民党藍衣社機関紙「国民文学」編集者となる。

張 詩 英 Chang Shih-ying

59年3月第二期全国人民代表大会江西省代表。

張 治 中 [文白] Chang Chih-chung  
[Wên-po] 1891~

安徽省巢県の人。16年保定陸軍軍官学校卒業後、広東軍政府に入り、黄埔陸軍軍官学校学生総隊長、軍官団長。広州衛戍司令部参謀長、党軍第2師参謀長、黄埔陸軍軍官学校武漢分校教育長、国民革命軍総司令部訓練処長を経て、軍政視察のため欧米および日本に派遣され、28年帰国。爾来国民政府軍事委員会軍政庁長、中央陸軍軍官学校訓練部主任、同校教育長等を歴任。29年馮玉祥討伐に際し、陸海軍総司令武漢行營主任。30年教導第2師を編成し、同師長となり、閩錫山、馮玉祥等の反蔣軍興るや津浦線方面に作戦。31年再び中央陸軍軍官学校教育長に任ぜられ、将校養成に当る。32年上海事変勃発後、第5軍長および第87師長を兼ね日本と戦い敗れて、浙江に退く。35年第五期中央執行委員。45年9月新疆反乱軍と交渉のため迪化に赴く。46年1月国府を代表してマーシャル周恩来と国共整軍協定を締結。48年11月~49年3月中華民国第二期行政院に於て政務委員に任ず。49年4月国共和平会談の国府側首席代表。9月政治協商会議全国委員会委員、中央人民政府委員会委員、人民革命軍事委員会委員、西北軍政委員会副主席。52年当時人民革命軍事委員会国防研究小組組長。53年1月当時国民党革命委員会中央委員会委員。同月選挙法起草委員会委員。同月機構改革により西北行政委員

会副主席。2月政治協商会議全国委員会常務委員。10月当時国民党革命委員会中央常務委員。11月当時西北中ソ友好協会副会長。54年7月当時国民党革命委員会西北工作指導委員会主任委員。8月第一期全国人民代表大会甘肅省代表。9月同大会第1次会繼主席団員、同大会常務委員会委員、国防委員会副主席。12月政治協商会議第二期全国委員会委員、同常務委員。同月中ソ友好協会第2次全国代表大会代表。同協会総会第二期理事会理事。55年7月ポーランド人民共和国成立10周年記念式典参加の中共政府代表団員。同月各国議會連盟参加の人民代表団執行委員会委員。9月1級解放勳章を受く。56年2月国民党革命委員会中央委員に再任。3月国民党革命委員会中央委員会副主席に再任。6月全国人民代表大会第3次会議主席団員。57年2月国民党革命委員会台湾平和解放工作委員会主任委員。58年12月中国国民党革命委員会第四期中央委員会副主席。59年3月第二期全国人民代表大会甘肅省代表。4月政治協商会議第三期全国委員会委員(中国国民党革命委員会)。同会第1次全体会議主席団員。同常務委員会委員。4月国防委員会副主席。5月中ソ友好協会第三期理事会理事。60年3月第二期全国人民代表大会第2次議会議主席団員。

張 扱(執)一 Chang Chih-i

武漢市生れ。日華事変中新4軍第5師第15旅政治部主任。予鄂辺軍区第3軍分区政治部主任。中共政府成立後中共中央中南局統一戦線工作部長。51年11月中南軍政委員会民族事務委員会主任。52年8月中南軍政委員会政治法律委員会副主任(兼)。11月中央民族事務委員会副主任委員。53年1月中南行政委員会委員兼秘書長。同月在河南少数民族訪問団団長。54年8月第一期全国人民代表大会湖北省代表。55年4月当時中共中央統一戦線工作

部副部長。5月国务院第8辦公室副主任。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(中国共産党)、同常務委員。60年7月当時政治協商会議第三期全国委員会副秘書長。

張 錫 鈞 Chang Hsi-chün

54年12月中ソ友好協会総会第二期理事会理事。55年2月北京市人民委員会委員。5月中国科学院生物学地学学部委員。6月同学部常務委員会委員。59年5月中ソ友好協会第三期理事会理事。8月当時中国生理科学会理事長。60年12月訪英中国医学代表団員。

張 若 谷 Chang Juo-ku

54年5月当時湖北省委員会農村工作部副部長。

張 殊 明 Chang Shu-ming

中国民主同盟南方総支部主任委員。49年10月中央人民政府華僑事務委員会委員。53年9月当時同華僑事務委員会生産救済司副司長。56年10月中華全国帰国華僑連合会常務委員会委員。59年9月国务院華僑事務委員会委員。

張 寿 蔭 Chang Shou-yin

59年3月第二期全国人民代表大会陝西省代表。

張 樹(樹)榮(榮) Chang Shu-jung

59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(中華全国総工会)。

張 壽 賢 Chang Shou-hsien

60年8月国府交通部政務次長。

張 壽 仁 Chang Shou-jèn

(Teo Siew-jin) 1908~

広東省の人。シンガポール在住華僑。米、土産品、食品、飼料等を取扱う祥利号經理。56年7月シンガポール工商業貿易視察団食品組副組長として日本ついで中共を訪問。

張 樹(樹)德 Chang Shu-tè

53年9月当時中共中央東北局副秘書長。60年5月当時中共ハルビン市委員会書記。

張 秀 岩 [女] Chang Hsiu-yên

中共黨員。49年4月中華全国民主婦女連合会常務委員。10月政務院人民監察委員会委員。53年4月中華全国民主婦女連合会第二期執行委員。54年8月第一期全国人民代表大会山東省代表。55年1月~58年12月国务院監察部部長助理。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(中華全国婦女連合会)。

張 秀 山 Chang Hsiu-shan

陝西省横山県の人。延安中共中央党校卒業。解放軍東北軍区副政治委員兼中共中央東北局副秘書長。50年東北人民政府委員兼人民監察委員会主任。53年1月東北行政委員会委員。3月当時中共中央東北局第2副書記。54年9月東北人民政府人民監察委員会主任並びに東北行政委員会委員を解任。55年4月中共中央発表の高崗、饒漱石反党連盟に関する決議により反党連盟参加者として処分を受けた旨明らかにされた。

張 秀 熟 Chang Hsiu-shu

54年8月第一期全国人民代表大会四川省代表。9月西南軍政委員会文化教育委員会委員を解任。55年1月四川省人民委員会委員。58年4月当時四川省副省長。59年3月第二期全



国人民代表大会四川省代表。60年5月当時中国人民保衛世界和平委員会四川省分会主席。

張 秀 純 Chang Hsiu-chun

53年10月中国文学芸術界連合会第二期全国委員会委員。55年1月北京市文学芸術工作者連合会副主席として中国京劇院成立大会に出席。10月当時北京市文化局局長。

張 秋 香〔女〕 Chang Chiu-hsiang

59年3月第二期全国人民代表大会陝西省代表。4月同大会第1次会議で「我々の棉花生産はどうしてそんなに高いのか」について発言。

張 修 己 Chang Hsiu-chi

60年3月北京建築工業学院副院長。

張 修 竹 Chang Hsiu-chu

53年1月当時中華全国総工会文教部副部長。中国人民世界平和擁護委員会常務委員会委員。5月中国工会第7次全国代表大会副秘書長。同月全国総工会第七期執行委員。54年6月～56年3月当時同総工会宣伝部長。54年12月政治協商会議第二期全国委員会委員。同月中ソ友好協会第2次全国代表会代表。55年11月当時全国総工会書記処書記。56年3月政治協商会議全国委員会学習委員会委員。4月全国先進生産者代表会議主席団員。57年12月全国総工会第八期執行委員、同会主席団員、同書記処書記。59年3月先進生産者代表会議準備委員会委員。4月政治協商会議第三期全国委員会委員(中華全国総工会)。同会第1次全体会議主席団員。「五四」40周年記念準備委員会委員。9月国務院体育運動委員会委員。60年1月同業余教育委員会委員。8月中国文

学芸術界連合会第三期全国委員会委員。

張 輯 五 Chang Chi-wu

53年8月当時中共中央山東分局秘書長。

張 重 羽 Chang Chung-yü

遼寧省の人。61年3月国府財政部主任秘書。3月当時同部参事。

張 淑 良 Chang Shu-liang

国民政府時代綏遠省教育庁庁長。49年綏遠省人民政府委員兼人民監察委員会副主任。54年6月綏遠省人民政府委員を解任。55年4月内蒙古自治区人民委員会委員。8月当時内蒙古自治区文化局局長。

張 述 祖 Chang Shu-tsu

56年1月政治協商会議第二期全国委員会特別招請委員。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(特別招請人士)。

張 俊 卿 Chang Chün-ching

55年2月河南省人民委員会委員。

張 俊 秀 Chang Chün-hsiu

55～6年頃全国人民代表大会福建省代表に補選。59年3月第二期全国人民代表大会遼寧省代表。

張 春 橋(橋) Chang Chun-chiao

55年4月当時中国新聞工作者連誼会上海市分会副会長。59年4月当時上海市委員会常務委員。60年3月中国・ラテンアメリカ友好協会理事。10月当時中国・ラテンアメリカ友好協会在上海理事。当時対外文化協会上海市分会会長。

張 駿 祥〔別名、袁俊〕

Chang Chün-hsiang

〔Yüan-chün〕1907～

江蘇省鎮江生れ。米エール大学芸術学士。かつて中電劇団を主宰。劇作に「小城故事」「山城故事」「万世師表」「鷄毛信」等がある。51年10月訪問インド、ビルマ文化代表団員。映画監督。53年10月中国文学芸術界連合会第二期全国委員会委員。54年12月政治協商会議第二期全国委員会委員。55年2月当時中国戲劇家協会常務理事。56年2月中国亞洲團結委員会委員。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(中国文学芸術界連合会)。60年7月全国文芸工作者代表大会主席団員。8月中国文学芸術界連合会第三期全国委員会委員。10月当時対外文化協会上海市分会副会長。中国アジアアフリカ團結委員会在上海委員。中国、ビルマ友好協会上海理事。上海市電影局局長。

張 純 之 Chang Chun-chih

54年9月広西省人民政府委員。当時中国農工民主党広西省工作委員会副主任委員。55年2月広西省人民委員会委員。

張 遵 敬 Chang Tsun-ching

現在43歳。57年10月訪日中共技術団員。

張 书(書)田 Chang Shu-tien

60年1月重慶郵電学院副院長。

張 曙 光 Chang Shu-kuang

53年7月中国新民主主義青年団第二期中央会員。56年3月当時五省・自治区青年造林大会主席。

張 曙 时 Chang Shu-shih

江蘇省の人。中共中央西南局紀律監察委員会副書記。華北人民政府監察院副院長。49年

10月政務院法制委員会副主任委員兼政治法律委員会委員。50年7月西南軍政会委員委員兼中央人民政府最高人民法院西南分院院長。53年1月西南行政委員会委員。4月中国政治法律学会理事。54年12月政治協商会議第二期全国委員会委員(共産党)。55年1月四川省人民委員会委員。同月政治協商会議第一期四川省委員会副主席。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(共産党)。

張 如 崗 Chang Ju-kang

陝西省の人。現在47歳位。瑞金紅軍大学卒業。中共軍団長、師長を歴任。49年～54年6月綏遠省人民政府委員兼公安庁庁長。54年8月内蒙古自治区人民政府委員、当時内蒙古自治区人民政府政治法律委員会副主任、公安部副部長。57年11月内蒙古自治区人民検察院検察委員会委員。

張 如 心 Chang Ju-hsin

54年8月第一期全国人民代表大会安徽省代表。9月東北人民政府文化教育委員会委員解任。55年5月中国科学院哲学社会科学学部委員。

張 少 康 Chang Shao-kang

52年11月当時西安市公安局副局長。

張 肖 松〔女〕

Chang Hsiao-sung 1902～

湖北省の人。金陵女子大学学士。米シガン大学博士。心理学を専攻。金陵女子大学復旦大学教授。52年当時台湾大学心理学系教授。

張 尙 德 Chang Shang-tê

56年12月全国工商業連合会第二期執行委員(四川省)。



張 承 先 Chang Chêng-hsien

山東省の人。中共平原省委員会宣伝部部長。53年1月～54年9月華北行政委員会委員。55年2月河北省副省長。60年2月当時中共河北省委員会書記処書記。同月当時河北省中ソ友好協会会長。

張 承 武 Chang Chêng-wu

52年12月四川省 藏族自治州 人民政府副主席。55年5月國務院川・甘・康・青四省辺境工作団副団長。59年10月西藏政治協商會議準備委員会主任。

張 承 標 [蓬生] Chang Chêng-yu

[Pêng-shêng] 1885～

湖北省枝江県の人。米ワシントン大学卒業。11年交通部調査員。11年～14年在米国民党代表。35年～36年審計部常務次長。36年～42年審計部江蘇省審計処長。43年～44年浙江省審計処長。44年～46年湖南省審計処長。46年～47年湖北省審計処長。49年～56年9月審計部審計長。57年7月中央銀行監事を辞任。

張 松 齡(齡) Chang Sung-ling

59年4月政治協商會議第三期全国委員会委員(特別招請人士)。

張 昭 Chang Chao

49年松江省人民政府委員。50年12月政務院林墾部造林局長。55年5月当時國務院林業部造林局長。56年7月～59年9月同林業部部長助理。57年11月中国科学技術代表団顧問として訪ソ。58年中国森林協会副会長。60年4月國務院林業部副部長。

張 昭 娣 Chang Chao-ti

55年2月福建省人民委員会委員。

張 省 三 Chang Hsing-san

江西省の人。現在46歳位。北京大学卒業。54年10月当時國務院農業部東北国営農場管理局副局長。12月～55年4月当時農業部国営農場管理総局副局長。54年12月「国営友誼農場」建場委員会委員。

張 韶 方 Chang Shao-fang

53年1月四川財經学院院長。同月当時四川省人民政府財政經濟委員会副主任。54年1月当時中共四川省委員会財政經濟委員会副主任。55年1月四川省人民委員会委員。58年4月当時四川省副省長。

張 植 民 Chang Chih-min

54年7月当時華北軍区後勤軍需生産部処長。

張 申 福 Chang Shên-fu 1908～

北京関務学校卒業。42年西安関務署次長。43年～44年重慶海関総署副秘書長。45年～48年台湾稅務司。48以来海関総稅務司署台北関稅務司。59年12月第2回エカフエ地域内貿易促進会代表代理。当時外貿会加工貿易主任。

張 振 汉(漢)

Chang Chên-han 1890～

江蘇省銅山県人。保定軍官学校卒。徐源泉麾下において累進し旅長、師長を歴任。59年4月政治協商會議第三期全国委員会委員(特別招請人士)。

張 振 国 Chang Chen-kuo

61年4月当時杭州市副市長。

張 振 生 Chang Chên-shêng

54年1月当時中国最初の農業生産合作社である河北省饒陽県五公村耿長鎖農業生産合作

社副社長。同合作社党支部書記。

張 振 东 Chang Chên-tung

現在39歳。57年12月訪日中国放送技術代表団団員。

張 振 南 Chang Chên-nan

54年8月第一期全国人民代表大会広東省代表。

張 振 发(發) Chang Chên-fa

54年8月第一期全国人民代表大会瀋陽市代表。59年3月第二期全国人民代表大会遼寧省代表。

張 振 和 Chang Chên-hé

56年5月当時國務院国家建設委員会区域規劃局区域規画処処長。

張 軫 Chang Chên 1884～

湖南省羅山の人。日本陸軍士官学校出身。国民革命軍第13軍軍長。48年華中剿共副總司令兼綏靖区司令官、河南省主席を兼任。48年11月部隊を率いて中共軍に投降、解放軍第4野戦軍に編入。49年9月人民解放軍第4野戦軍代表として人民政治協商會議に出席、同會議全国委員会委員。53年1月中南行政委員会委員。当時湖北軍区副司令員。11月当時中央人民政府体育運動委員会委員。54年2月当時抗米援朝總會常任委員。8月第一期全国人民代表大会河南省代表。12月政治協商會議第二期全国委員会特別招請委員。55年9月1級解放勳章を受く、56年2月国民党革命委員会中央委員。58年2月第一期全国人民代表大会第5次會議に於て「右派分子」の理由により代表資格を剥奪された。

張 进(進) Chang Chin

55年4月華南工学院副院長。56年4月全国先進生産者代表會議主席団員。54年4月～56年5月当時中国建築工会準備委員会副主任。57年12月中華全国總工会第八期執行委員。58年4月当時中国建築工会全国委員会副主席。

張 进(進)霖 Chang Chin-lin

55年11月～56年1月当時新民主主義青年団北京市委員会副書記。57年5月中共共產主義青年団中央委員会委員。59年12月当時同青年団北京市委員会書記。

張 斟 滋 Chang Chên-tzu

55年3月山東省人民委員会委員。

張 璫 Chang Chin

55年3月山東省人民委員会委員。

張 震 Chang Chên

53年3月当時中央人民政府人民革命軍事委員会作戦部部長。5月中央防汛総指揮部副主任。6月当時中ソ友好協会總會連絡部副主任。54年4月当時中ソ友好協会總會幹事会幹事、中ソ友好協会ソ連メーデー参観団副秘書長。

張 震 球 Chang Chên-chiu

59年4月政治協商會議第三期全国委員会委員(特別招請人士)。60年12月当時科学技術協会書記処書記。

張 濬 川 Chang Shên-chuan

54年11月最高人民檢察院檢察員。

張 仁 初 Chang Jên-chu

59年4月政治協商會議第三期全国委員会委員(特別招請人士)。



張 仁 滔 Chang Jen-tao 1907~

江蘇省嘉定の人。交通大学卒。米ミシガン大卒。帰国後鉄道部鐵路工程司工務長、処長等。戦後上海市公用局局長。49年台湾省建設庁副庁長、後物資局局長。57年3月經濟視察団員として来日。

張 水 华(華) Chang Shui-hua

53年10月当時中国文学芸術界連合会第二期全国委員会委員。55年2月訪印中国電影工作者觀察員。3月アジヤ国家会議出席の中国代表団団員。8月中印友好協会理事。56年4月カンヌ映画祭参加の中国代表団団員。60年7月全国文芸工作者代表大会主席団員。8月中国文学芸術界連合会第三期全国委員会委員。

張 瑞 Chang Jui

55年2月熱河省高級人民法院院長。9月1級解放勳章を受く。

張 瑞 奸〔女〕 Chang Jui-chien 1924~

台湾省の人。高雄女学校卒業。元高雄婦女協会幹事、Chung-mei School 教師。高雄高等女学校教師、高雄市市議員、高雄体育協会会長。

張 瑞 权 Chang Jui-chüan

61年1月当時広州市副市長。

張 瑞 芳〔女〕 Chang Jui-fang

映画女優。55年3月アジヤ諸国会議出席中共代表団員。56年2月中国亞洲團結委員会委員。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(中国文学芸術界連合会)。60年6月当時中国アジヤアフリカ團結委員会上海委員。8月中国文学芸術界連合会第三期全国委員会委員。

張 瑞 麟 Chang Jui-lin

55年1月黒龍江省人民委員会委員。59年4月政治協商会議全国委員会委員(特別招請人士)。60年5月当時中共黒龍江省委員会常務委員、同委員会組織部長。

張 世 英 Chang Shih-ying

61年4月国務院外国專家局副局長。

張 世 荣 Chang Shih-jung

55年3月安徽省人民委員会委員。56年4月当時安徽省農業庁庁長。

張 世 杰 Chang Shih-chieh

60年7月当時外交部第1亜洲司副司長。7月中共駐ネパール大使。61年1月中国、ネパール境界連合委員中国側首席代表。

張 世 功 Chang Shih-kung

59年8月当時イリ軍区政治委員。60年5月当時中共伊犁ハザック族自治州委員会第1書記。60年8月当時中共新疆ウイグル自治区委員会イリ区委員会第1書記。

張 世 祥 Chang Shih-hsiang

60年10月当時杭州市副市長。

張 正 德 Chang Chêng-tê

安徽省の人。現在54歳位。53年1月当時熱河省人民政府民政庁庁長。同月熱河省人民政府副主席。55年2月熱河省副省長。60年10月当時遼寧省副省長。

張 生 龙(龍) Chang Shêng-lung

労働模範。上海医療機械廠技術工人。55年10月中共見本市代表団工作員として来日。

張 西 华(華) Chang Hsi-hua

53年6月中華全国民主青年連合会第二期全

国委員会委員。

張 西 三 Chang Hsi-san

61年9月空軍少将。広州駐屯。

張 青 季 Chang Ching-chi

58年3月当時北京市委員会副部長。59年9月国務院体育運動委員会委員。60年4月当時北京市体育委員会主任。

張 青 溥 Chang Ching-pu

54年11月最高人民法院審判員。

張 青 蓮 Chang Ching-lien

55年5月中国科学院物理学数学化学学部委員。

張 靖 Chang ching

90年8月鄭州糧食学院副院長。

張 靖 林〔女〕 Chang Ching-lin

53年7月中国新民主主義青年団第二期中央委員会候補委員。

張 靜 Chang Ching

53年4月~54年4月当時中国紡織工会全国委員会副主席。54年3月全国総工会私営企業工作委員会委員。58年4月当時中国紡織工会全国委員会副主席。59年3月先進生産者代表会議準備委員会委員。60年6月紡織工会全国委員会副主席。12月キューバ紡織工人全国連合会との共同声明に調印。中国紡織工会全国委員会代表。

張 靜 愚 Chang Ching-yü 1897~

山東省高唐県の人。清華大学卒業。英リヴ

プール工業大学留学。北伐当時空軍司令官。28年~29年国民政府軍政部空軍署署長。32年~38年河南省政府委員、建設庁庁長。46年国民大会代表。48年~50年立法院委員。50年~54年行政院經濟部常務次長。59年5月第43回ILO大会国府資本家側主席代表。60年5月第44回同大会代表。61年5月第45回同大会国府雇傭者側主席代表。

張 靜 之 Chang Ching-chih

55年12月当時国務院鉄道部工程総局代理局長。同月中蒙ソ鐵路国際通運車記念式中共代表団員。

張 声 震 Chang Shêng-chên

僮族。54年8月第一期全国人民代表大会広西省代表。55年2月広西省人民委員会委員。59年3月第二期全国人民代表大会広西僮族自治区代表。

張 霽 中 Chang Chi-chung

61年7月当時瀋陽市副市長。

張 石 庵 Chang Shih-an

53年4月雲南省瀾滄拉祜族自治区人民政府副主席。

張 席 禔 Chang Hsi-ti

53年3月当時九三学社中央委員。56年1月当時北京地質学院地質学教授。2月九三学社第四期中央委員会委員。

張 积(積)慧 Chang Chi-hui

中共志願軍空軍英雄。山東省營城橋上村の普通農家に生る。駆逐機操縦者として志願軍に参加。米軍機撃墜との故により中共人民志願軍司令部から「特等功臣」の称号、北鮮か



ら「軍功章」を受く。55年3月空軍1級戦闘英雄として空軍英雄模範功臣代表大会に参加。

張 雪 岩 Chang Hsüeh-yên  
55年1月四川省人民委員会委員。

張 雪 軒 Chang Hsüeh-hsüan  
元遼東省人民政府副主席。54年8月遼寧省人民政府主席。55年3月政治協商會議遼寧省第一期委員会副主席。10月当時中共遼寧省委員会統一戦線工作部部長。58年4月当時遼寧省副省長。60年11月当時政協遼寧省委員会副主席。

張 先 成 Chang Hsien-chêng  
55年3月中国進出口公司派遣技術参観団団長としてフランス訪問。5月中共駐スウェーデン大使館商務参事官。

張 先 林 Chang Hsien-lin 1901~  
安徽省の人。北京協和医学院卒業。米コロロンビア大学附属病院研究員。29年ニューヨーク州大学卒業。36年~37年コロロンビア大学医科研究生。37年北京協和医学院助教授。41年~45年同医学院診療医師。45年~49年同医院外科部長。49年以来国府国防部診療所外科医。

張 茜 Chang Chien  
55年11月パキスタン訪問 中共 婦人 代表 団 員。56年5月中国パキスタン友好協会理事。58年11月カンボディア訪問中国婦人代表団団長。60年12月当時陳毅外交部長夫人。中国、カンボディア友好協会副会長。同会常務理事。

張 銑 Chang Hsien  
59年7月国府大陸回復設計研究委員会副秘書長。

張 銓 Chang Chüan  
59年4月政治協商會議第三期全国委員会委員(教育界代表)。

張 倩 軒 Chang Chün-hsüan  
55年2月政治協商會議第一期山西省委員会副主席。56年2月国民党革命委員会中央委員。

張 善 堂 Chang Shan-tang  
61年4月長春郵電学院副院長。

張 祚 蔭 Chang Tsuo-yin  
60年5月当時安徽省副省長。

張 楚 琨 Chang Chu-kun  
56年10月中華全国帰国華僑連合会常務委員、同会副秘書長。59年4月政治協商會議第三期全国委員会委員(華僑代表)。59年9月華僑事務委員会委員。60年3月政協第三期第2次會議提案審査委員会委員。4月当時厦門市副市長。

張 苏(蘇) Chang Su 1909~  
察哈爾省出身。中共黨員。中共の晋察冀辺区創設者の一人。33年馮玉祥の抗日連合軍に加わり、34年には福建事件に参加した。日華事変勃発とともに察南抗日県政府主席。44年冀察行政公署主任、ついで北嶽行政公署主任。45年11月中共側察哈爾政府委員兼主席。48年8月華北人民政府成立するや、その政府委員。52年1月~54年9月華北行政委員会副主任。53年4月中国政治法律学会成立大会主席団員。54年2月当時全国人民解放軍慰問代表団第6総分団団長。4月当時華北区憲法草案初稿討論委員会主任。8月第一期全国人民代表大会河北省代表。9月同大会常務委員会委員、同大会法案委員会主任委員。同月中央人民政府最高人民法院華北分院院長解任。同月最高人民法院副院長。10月全国人民代表大会常務委

員会副秘書長。12月中ソ友好協会第2次全国代表会代表(共産党)。56年8月宋慶齡に随行しインドネシア訪問。58年5月中共第八期中央委員会候補委員。59年3月第二期全国人民代表会河北省代表。4月同大会常務委員会委員、同副秘書長、法案委員会主任委員。5月全国人民代表会常務委員会副秘書長、同辦公庁主任。8月蒙古人民共和国訪問代表団員兼秘書長。60年4月南京航空学院副院長。61年2月中ソ友好同盟締結11周年慶祝団団長として訪ソ。

張 苏(蘇)华(華) Chang Su-hua  
60年4月当時国务院体育運動委員会国際連絡司司長。

張 苏(蘇)平 Chang Su-ping  
61年5月当時上海市人民委員会副秘書長。

張 宗 遜(遜) Chang Tsung-hsün  
陝西省の人。現在64歳。37年8月第18集團軍130師第358旅旅長。晋北軍区第2軍分区司令。45年中共第七期候補中央委員。49年人民解放軍第1野戦軍兼西北軍区副司令員。中共政府樹立後西北軍政委員会委員、同財政經濟委員会副主任。中央人民政府最高人民檢察署西北分署檢察長。52年11月人民革命軍事委員会副総参謀長となり北鮮戦区の軍事指揮に当たったといわれる。53年1月西北行政委員会委員。3月スターリン逝去弔問団団員として訪ソ。54年8月第一期全国人民代表大会西北軍区代表。9月国防委員会委員、中国人民解放軍副総参謀長。55年7月全国人民代表大会第2次會議提案審査委員会委員。9月1級八一勳章、1級独立自由勳章および1級解放勳章。10月上将。56年9月中共第八期中央委員会候補中央委員。59年4月国防委員会委員、60年9月軍事代表団団長としてアラブ連合訪問、

当時中国人民解放軍副総参謀長。

張 体 学 Chang Ti-hsieh  
54年3月~56年1月当時中共湖北省委員会第1副書記。54年8月第一期全国人民代表大会湖北省代表。55年2月湖北省副省長。56年1月当時湖北省血吸虫病防治委員会委員長。8月湖北省省長。59年3月第二期全国人民代表大会湖北省代表。60年4月湖北省第2委員会書記。7月当時湖北省省長、10月湖北省三秋検査団副総団長。

張 泰 祥 Chang Tai-hsiang  
60年11月当時中国国民党中央委員会第5組副主任。

張 乃 維 Chang Nai-wei 1917~  
江蘇省の人。40年中央政治学校卒。44年米コーネル大学卒。46年ハーバード大学卒。48年ハーバード大学博士。40年~42年外交部部員、42年~43年ニューヨーク副領事。49年~51年国連派遣中国代表部秘書。52年国立台湾大学教授。54年~55年政府情報部第2科長。55年教育部国際文化教育事業処処長。59年7月当時教育部国際文化教育事業処処長。著書「国際法上個人の取扱に就ての裁判基準」。「カシミール問題」。

張 乃 召 Chang Nai-chao  
54年11月国务院中央气象局副局長。60年7月当時同局副局長。

張 大 煜 Chang Ta-yü  
54年8月第一期全国人民代表大会旅大市代表。55年5月中国科学院技術科学学部委員。6月同学部常務委員会委員。科学工程学者。56年2月民主同盟第二期中央委員会委員。58年12月中国民主同盟第三期中央委員会委員。59年3月第二期全国人民代表大会遼寧省代表。



4月同大会第1次会議で「石油科学の研究における新しい成果」について発言。

張大千 Chang Ta-chien 1899~

四川省の人。張沢(善子)の弟。中国現代国画界の知名画家。よく古画を究めてもっとも清の新羅山人の筆致を追っているといわれる。北京湖社画会の主班者。38年に一時北京芸術専科学校教授。56年渡仏、パリ博物館において敦煌その他絵画の展覧会を開催。甘肅省敦煌の壁画模写の名手として知名。

張大中 Chang Ta-chung

53年3月~6月当時中国新民主主義青年団北京市委員会書記。5月北京市選挙委員会委員。7月中国新民主主義青年団第二期中央委員。54年12月政治協商会議第二期全国委員会委員。55年2月北京市人民委員会委員。

張大嶺 Chang Ta-tien

55年8月当時国務院第1機械工業部供应局辦公室主任。

張大田【雅泉】 Chang Ta-tien

【Ya-chüan】 1899~

熱河省凌源県の人。北京俄(ロシア)文法政専門学校卒業。外交部露事委員会中露會議辦事員。駐露領極東共和国外交代表処随員。駐チタ領事館領事官補。黒河領事館副領事。北京文化大学教授。南京砲兵学校教官。35年ノヴォシビルクス総領事館領事。48年国府立法委員。訳書「ソ連5カ年計画」。

張迺藩 Chang Nai-fan 1905~

江蘇省の人。国立中央大学卒。39年~45年軍事委員会委員長、行營代理科長。49年~50年総裁室秘書、50年国民党情報部第1科長。50年~52年国民党中央改造委員会秘書。52年

以来国民党中央委員会秘書。

張濯清 Chang Chuo-ching

回教族。国府時代綏遠省保安副司令。49年~54年6月同省軍政委員会委員。53年1月同省人民政府民族事務委員会副主任委員、綏遠市人民政府副市長。53年1月~54年6月同省人民政府委員。54年8月内蒙古自治区人民政府委員、同区呼和浩特市人民政府副市長。55年4月内蒙古自治区人民委員会委員。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(特別招請人士)。

張達(達)志 Chang Ta-chih

陝西省の人。50年西北軍政委員会公安部部長。53年1月西北行政委員会委員。54年9月国防委員会委員。56年9月中共第八期中央委員会候補中央委員。60年7月当時国防委員会委員。

張達碧 Chang Ta-pi

【Chong Thutt-pitt】 1900~

マライ・ペラク洲生れ。広東省河源県出身者の子孫。シンガポール在住華僑。27年ロンドンに赴き法律を研究。32年英国法律協会試験に合格、ロンドン高等法院弁護士資格を獲得。同年シンガポールに法律事務所を開設。シンガポール進歩党黨員にして、50年3月市政府議員。後海通銀行および同保険公司董事、馬華公会シンガポール分会主席。

張池明 Chang Chih-ming

54年2月当時人民解放軍第4野戦軍後勤部政治委員。55年9月1級解放勲章を受く。60年12月当時解放軍後勤学院院长。

張知本【懷九】 Chang Chih-pên

【Huai-chiu】 1881~

湖北省江陵県の人。5年日本法政大学卒業。

辛亥革命に際し同盟会支部評論長。武昌の中華民国軍政府司法部長。第1回参議院議員。27年~28年湖北省政府主席、湖北省立法科大学、江漢大学、上海法科大学校長、国民党武漢政治分会委員、私立朝陽学院院长。33年~36年立法院憲法起草委員会副委員長。31年以来国民党中央執行委員、司法院秘書長。43年~49年行政院院長。49年3月何応欽内閣司法行政部長。53年国民大会代表、国民党中央監察委員、總統府国策顧問。56年8月1956年度公務員高等試験試験委員。57年当時中国憲法学会責任者。著書「憲法論」「法学通論」「破産法論」「社会法律学」「民事証拠法」「土地公有論」「憲政要論」「憲法僭擬」「辛亥革命論」。

張致远(遠) Chang Chih Yüan

中共黨員、大連埠頭幹部といわれる。55年3月当時国務院交通部海運管理総局副局長、中国外輪代理公司代表。3月~4月の間中共訪日貿易代表団団員として来日。56年6月当時交通部対外連絡局長。7月モスクワにおいてソ連、中共、北鮮海難救護協定に調印。

張致祥 Chang Chih-hsiang

49年全国文学芸術団体連合会常任委員。52年華北軍区政治部副主任。53年3月~54年3月当時中国人民解放軍華北軍区政治部副主任。54年11月~58年3月国務院文化部副部長。55年6月当時中国芸術団団長、パリ第2回国際演劇祭に出席。10月世界各国首都市長大会代表。58年9月中国、モンゴール友好協会会長。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(中国対外和平友好協会)。中国、ブルガリア文化協力協定調印。60年2月中国、北ヴェトナム文化協力協定調印。中国文化芸術代表団団長、中国ポーランド文化合作協定執行計画に調印、同資格で中国モンゴル文化合

作協定1960年執行計画に調印。3月中国ラテンアメリカ友好協会常務理事、理事。4月中国アフリカ人民友好協会常務理事兼理事。7月当時対外文化連絡委員会副主任。12月当時対外文化連絡委員会副主任、同会委員。中国文化芸術代表団長としてビルマ訪問。61年2月当時中ソ友好協会代理秘書長。7月モンゴル人民革命40周年記念行事に参加。中国、モンゴル友好協会代表団団長。

張智康 Chang Chih-kang

58年9月第9回世界保健機関西太平洋区域會議国府首席代表。59年5月第12回世界保健機関會議首席代表。9月世界衛生組織第10回西太平洋区域會議中華民国首席代表。60年4月第13回同会議主席代表。6月国府内政部衛生司長。61年1月第14回同会議代表。

張竹生 Chang Chu-shêng

58年11月~60年7月当時山東省副省長。

張中 Chang Chung

53年12月当時中共中央西北局辦公庁主任。55年3月国務院国家檔案局(記録文書)副局長。59年9月同局副局長。

張仲翰 Chang Chung-han

54年人民解放軍新疆省軍区政治部委員代理。57年新疆省党書記、人民解放軍生産軍団政治委員代理。56年10月国務院農墾部副部長。58年12月北ヴェトナム、ハノイに中共が「国有農場土地開墾」展を催した際の団長。59年9月農墾部副部長。60年3月対ヴェトナム農場農業学校建設援助議定書調印。60年7月当時新疆生産建設兵団副政治委、農墾部副部長。61年3月農墾代表団を率いヴェトナム訪問。



張 仲 賢 Chang Chung-hsien

53年12月当時中共中央西北局 宣伝部副部長。

張 仲 實(實) Chang Chung-shih

54年5月中国人民对外文化協会理事。

張 仲 仁 Chang Chung-jên

59年3月国府駐トルコ大使館1等秘書。6月当時駐ブラジル国大使館1等秘書。

張 仲 良 Chang Chung-liang

陝西省の人。49年青海省人民政府副主席、西北軍政委員会委員、中共青海省委員会書記。人民解放軍軍政治委員。53年1月西北行政委員会委員。54年1月当時青海省主席。8月第一期全国人民代表大会甘肅省代表。9月同大会民族委員会委員。56年9月当時中共甘肅省委員会第1書記。58年5月中共第八期中央委員会候補委員。60年5月当時甘肅省委員会第1書記。

張 仲 魯 Chang Chung-lu

54年12月政治協商会議第2回全国委員会特別招請委員。

張 冲 [云(雲)鵬] Chang Chung

[Yün-pêng] 1898~

彝族。雲南省瀘西生れ。中学1年の時父を殺され、復仇のため土匪に投ず。17年国府軍胡若愚の部下に改編され、後營長、団長、師長、軍長、雲南塩運使。38年台兒莊で日本軍と交戦。46年中共軍に寝返り、東北に従軍し松江省人民政府副主席。49年政治協商会議に少数民族代表として出席。50年中央人民政府民族事務委員会委員、西南軍政委員会委員。機構改革により53年1月西南行政委員会委員。

54年8月第一期全国人民代表大会雲南省代表。12月中ソ友好協会第2次全国代表会代表。55年2月雲南省副省長、当時雲南省軍区司令部参謀長。59年3月第二期全国人民代表大会雲南省代表。4月同会議で「異なる民族がともに共通の道を歩んでいる」について発言、民族委員会委員。60年7月当時雲南省副省長。61年1月周総理に随行ビルマ訪問、雲南省代表団副団長。

張 忠 良 Chang Chung-liang

54年2月当時政務院燃料工業部石油管理總局鑽探局副局長。

張 兆 美 Chang Chao-mei

53年10月中国工会代表団員として10月革命36周年典礼出席のため訪ソ。11月当時松江省工会連合会主席。54年8月松江省人民政府委員解任。55年11月石油工会工作委員会主任。56年2月当時中国石油工会準備委員会主任。4月全国先進生産者代表会議主席団員。57年12月中国工会第8次全国代表大会中華全国總工会第八期執行委員。58年4月当時中国石油工会全国委員会主席。59年3月第二期全国人民代表大会山東省代表、先進生産者代表会議準備委員会委員。

張 超 Chang Chao

53年4月当時中共湖南省委員会副秘書長。7月中国新民主主義青年団第二期中央委員。54年12月政治協商会議第二期全国委員会委員(新民主主義青年団)。55年3月山東省人民委員会委員。56年4月当時焦作礦務局局長。57年5月中国共産主義青年団中央委員会書記処書記、常務委員。58年4月中華全国青年連合会副主席、同会常務委員。同月当時中華全国民主青年連合会秘書長。7月中国人民保衛世

界和平委員会常務委員、同委員。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(中華全国青年連合会代表)。「五四」40周年記念準備委員会委員。9月体育運動委員会委員。60年3月中国共産主義青年団中央委員会書記処書記。7月中国青年代表団団長としてラテンアメリカ青年代表大会に参加。9月中国全青連日本総評青年婦女代表団共同声明調印。10月中国人民8団体、訪華日本12代表回共同声明に署名。61年5月中華全国青年連合会日本社会主義青年同監共同声明に調印。

張 超 倫 Chang Chao-lun

苗族。54年12月政治協商会議第二期全国委員会委員(少数民族)。同月中ソ友好協会第二次全国代表会代表。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(少数民族)。

張 肇 騫 Chang Chao-chien

植物学者。53年11月~56年4月当時中国科学院植物研究所副所長。55年5月中国科学院植物学地学学部委員。

張 潮 Chang Chao

53年7月当時中国教育工会全国委員会國際部副部長。53年7月ウィーンにて開催の世界教育工作者代表大会に出席の中共代表団団員兼秘書。54年4月当時人民日報記者。

張 珍 Chang Chên

56年3月当時国務院重工業部化学工業管理局局長。7月中国化学学会準備委員会副主任委員。59年9月化学工業部副部長。著書「第1個5年計画中的化学工業」。

張 竹 Chang Ting

54年8月全国水彩速写展に参加、画家。60

年3月中国ラテンアメリカ友好協会理事。当時中央美術工芸学院副院長。

張 廷 禹 Chang Ting-yü

60年3月当時駐モロッコ中共大使館商務参事官。モロッコからの燐酸塩60万トン輸入契約に調印。

張 廷 休 Chang Ting-hsiu 1899~

貴州省安順県の人。東京高等師範学校、国立南京大学卒業。英ロンドン大学卒業。国民党中央党部宣伝部秘書兼首都衛戍司令部参事を経て、30年劉峙河南省政府主席となるや河南省政府秘書長。国民党河南党部執行委員。32年辞任。42年~49年貴陽貴州大学長。50年正中書局總經理。56年8月1956年度公務員高等試験試験委員。57年2月1957年特種試験、交通部電信總局業務技術人員試験、民用航究事業人員試験、気象技術人員試験、試験委員長。6月民国49年度特殊考試警察官試験委員長。60年8月考試院考試委員。著書「近代革命史綱要」。

張 廷 孟 Chang Ting-mêng

60年11月当時総統府戰略顧問委員会顧問。

張 定 釗 Chang Ting-chao

56年1月当時中国科学院応用化学研究所学術委員会委員。

張 貞 [幹之] Chang Chên

[Kan-chih] 1885~

福建省紹安県の人。14年保定軍官学校卒業。後方聲濤、宋淵源等の福建靖国自治軍に入る。20年方、宋等失脚後紹安方面に在り、25年国民革命軍に投じ旅長となり、26年何応欽の北伐軍福建に入るや、独立第14師長に任ぜられ



先導として浙江に入る。27年福建省政府委員。北伐完了後潭洲に入り暫編第1師長（同師はその後間もなく新編第1と改編さらに30年第49師と改称）。29年国民党第3次中央候補執行委員に挙げられ、その後執行委員に補任。31年第4次中央執行委員会委員。35年第五期候補中央執行委員軍事委員会委員長。広洲行營參謀長。53年～60年11月当時国府立法委員。

張 鼎 丞 [鼎信]

Chang Ting-chêng  
[Ting-hsin] 1897～

福建省永定の人。（一説に現在61歳）貧農出身。25年頃広東農民講習所に入り、毛沢東の訓陶を受けたといわれる。27年国共分裂後、福建西部一帯で鄧子恢とともに閩西紅軍游撃隊を組織、閩西ソヴィエト政府主席。31年頃紅軍第21軍軍長。34年瑞金の中華ソヴィエト政府第2次全国代表大会中央執行委員。34年10月紅軍西遷の際は閩贛辺区に残留して游撃戦に従事す。日華事変勃発するや国民革命軍第57師に加わり、40年延安到着。皖南事変により新4軍に改編後、4月皖南地方の新4軍第7師師長。45年中共第七期中央委員。福建省委員会書記、福建軍区政治委員。49年10月政務院華僑事務委員会委員。52年11月福建省政府主席。53年1月機構改革により華東軍政委員会委員をやめ華東行政委員会副主席。同月華東婚姻法貫徹運動委員会主任。2月当時中共中央華東局第4書記。54年11月華東抗米援朝總分會にて結成の人民解放軍慰問代表団第4分団長。6月華東軍政委員会政治法律委員会主任解任。8月全国人民代表大会福建省福州市代表。9月最高人民檢察院檢察長。56年9月中共第八期中央委員会中央委員、監察委員会委員。57年7月第一期全国人民代表大会第4次會議において「1956年以來の檢察工作

情況に関する報告」を行う。59年3月第二期全国人民代表大会福建省代表。4月同大会第1次會議で「西藏反動グループの武装反乱は明らかに大胆に国家の憲法を破るものである」について発言、最高人民檢察院檢察長。60年3月第二期全国人民代表大会主席団団員。12月当時最高人民檢察院檢察長。

張 鉄 生 Chang Tieh-shêng

54年5月中国人民对外文化協会理事。55年7月中国人民外交学会第三期理事会理事。58年2月中国、アラブ連合友好協会副会長、同会理事。7月中国・アジア・アフリカ團結委員会委員。60年4月中国 アフリカ人民友好協会副会長、常務理事。12月四川歌舞団を率いアラブ連合ダマスカス訪問。当時中国人民外交学会理事。

張 鉄 錚 Chang Tieh-chêng

53年10月当時政務院燃料工業部水力発電工程局副局長。

張 鉄 民 Chang Tieh-min

53年2月全パキスタン第2回医学会議出席中共医師代表団団員としてパキスタン訪問。5月世界医学会議の中共代表団秘書。54年6月西康省人民政府委員。中共西康省委員会組織部部长。55年1月西康省人民委員会委員。

張 天 乙 Chang Tien-i

58年12月山西省副省長。

張 天 開 Chang Tien-kai

56年5月第39回ILO大会国府代表顧問。

張 天 放 Chang Tien-fang

54年9月まで西南軍政委員会財政經濟委員

会委員。12月政治協商會議第二期全国委員会特別招請委員。55年2月雲南省人民委員会委員。56年2月国民党革命委員会中央委員。58年11月雲南省人民委員会委員。12月国民党革命委員会第四期中央委員会委員。59年3月第二期全国人民代表大会雲南省代表。4月第二期人民代表大会第1次會議で「民主党派の人たちの自己改造」について発言。60年6月当時（政協）雲南省委員会副主席。11月当時（民革）雲南省委員会主任委員。

張 天 民 Chang Tien-min

54年8月第一期全国人民代表大会山東省代表。55年11月当時建築工会準備委員会主任。56年4月オーストラリア訪問中国工会代表団団員。同月全国先進生産者代表會議主席団員。57年12月中華全国總工会第八期執行委員。58年4月当時中国建築工会全国委員会主席。8月中華全国總工会第八期執行委員会主席団委員、同執行委員。59年3月第二期全国人民代表大会山東省代表。先進生産者代表會議準備委員会委員。12月当時中華建築工会全国委員会主席、同会主席団委員。60年12月中国、カンボディア友好協会副会長、常務理事、同理事。

張 天 翼 [筆名・老倚]

Chang Tien-i [Lao-kua]

湖南省湘郷県の人。張黙君の弟。作家。処女作「三月半の夢」(29年)以後、鋭い諷刺を秘めた「蜜蜂」「鬼土日記」「仇恨」等を続々発表。「清明詩節」(35年)は佳作といわれる。戦時の代表作には「華威先生」、戦後には「羅文応的故事」「他們和我們」などがある。53年10月中国作家協会理事。54年5月当時保衛兒童全国委員会主催の全国兒童文芸創作評獎委員会委員。同月作品「羅文応

的故事」により全国兒童文芸創作評獎委員会より1等賞を受く。6月兒童文学芸術創作評獎委員会副主任。8月全国第一期人民代表大会旅大市代表。11月当時中国作家協会、同会創作委員会兒童文学組員。59年3月第二期全国人民代表大会四川省代表。60年7月全国文芸工作者代表大会主席団員。

張 天 林 Chang Tien-lin

61年4月当時湖北省總工会副主席。

張 傳 海 Chang Chuan-hai

(Teo Thuang-hai) 1915～

福建省の人。シンガポール在住華僑。貿易業孟加里実達有限公司董事。56年8月シンガポール工商業貿易視察団団員として中共を訪問。

張 形 Chang Tung

56年9月当時中共駐インド大使館武官。

張 东 川 Chang Tung-chuan

53年10月当時東北行政委員会文化局副局長。54年2月人民解放軍慰問代表団第7分団（東北）副団長。60年3月中国、ラテン・アメリカ友好協会理事。5月当時中国芸術団副団長となってヴェネズエラ共和国訪問。

張 东 蓀 [聖心] Chang Tung-sun

[Shêng-hsin] 1884～

浙江省杭県人。上海時事新報總編輯、中国公学代理校長、国立南京政治大学教授、光華大学文学院長、広州学海書院長、29年燕京大学哲学系教授を歴任。プラトン、カント、ベルグソンの哲学を中国に紹介した哲学者。34年張君勳等の国家社会党に参加。38年～40年第一期国民参政会に参加。44年9月民主同盟が創設されると、国社党（のち民主社会党と



改名)も民主同盟に参加し、党のファッションに反対し連合政権樹立を主張した。民社党が民主同盟を脱退した際彼は張君勳と関係を断ち民主同盟に残り、中共側についた。49年9月中国民主同盟中央常務委員として同盟を代表して人民協商会議に出席。49年9月中央人民政府委員。10月文化教育委員会委員。著書「新哲学論叢」「価値哲学」「認識論」「近世西洋哲学史綱要」等。

#### 張 東 木 Chang Tung-mu

53年11月全国工商業連合会執行委員。54年8月第一期全国人民代表大会山東省代表。55年3月山東省人民委員会委員。11月当時山東省工商業連合会副主任委員。56年12月全国工商業連合会第二期執行委員(山東省)。58年2月第一期全国人民代表大会第5次會議において「右派分子」の理由により代表資格を剥奪。11月山東省第二期全国人民代表大会第1次會議において右派分子として代表資格を取消す。

#### 張 濤 Chang Tao

53年3月当時人民日報朝鮮前線特派記者。55年2月貴州省人民委員会委員。59年7月当時新華社記者。

#### 張 同 鈺 Chang Tung-yü

56年10月～60年1月國務院地質部部長助理。

#### 張 道 吾 Chang Tao-wu

49年12月政務院財政部製塩管理局局長(後に輕工業部に移管)。53年11月～55年全国工商業連合会執行委員。54年7月全華仕入販売協同組合連合会の国家委員。56年2月～56年末輕工業部助理。57年6月～58年2月食品工業部部長助理。59年9月輕工業部副部長。

#### 張 道 行 Chang Tao-hsing 1908～

江蘇省の人。34年米アィオワ大学博士。34年～39年中央政治学校教授。39年～44年外交部首席秘書兼顧問。38年～44年「Foreign Affairs」の主筆。46年国連會議中国代表顧問。48年～50年立法委員。50年以来駐ドミニカ共和国代理公使。56年1月3等景星勳章、当時駐コスタリカ公使。58年4月コスタリカ国總統就任式慶祝特使。8月中国、コスタリカ文化協定批准書交換全權代表。59年9月駐コスタリカ大使。著書「東支鉄道に関する國際論争」「大学校用教科書國際法」。

#### 張 道 時 Chang Tao-shih

湖南省の人。現在45歳位。48年人民解放軍第3野戦軍第10兵団師副政治委員。52年厦門警備司令部政治部副主任。54年中共厦門市委員会書記。55年6月当時厦門市長。

#### 張 道 中 Chang Tao-chung

54年8月第一期全国人民代表大会山西省代表。

#### 張 道 藩 Chang Tao-fan 1897～

貴州省盤県の人。27年貴州省党務指導員。24年ロンドン・ユニバーサルカレッジ、スレード・スクール卒業。ロンドン支部評議長。フランス国立最高美術専門学院研究生。26年広東省政府農工庁秘書。28年組織部秘書、南京市政府秘書長。30年国立青島大学教務長。31年中央組織部副部長。浙江省政府教育庁庁長。32年南京中央党部留守專員。33年～35年国民政府交通部次長、内政専門委員会委員、文化事業計画委員会副主任委員、中国美術会会長、国立戲劇学校院務委員会主任委員。35年～50年国民党中央執行委員会委員。35年国民党中央執行委員会常務委員。36年～37年内政部次長。38年～39年教育部次長。40年～41

年中央政治学校副校長。42年～43年中央党部宣伝部長。43年～44年国民党海外党部部長。40年～48年国民党文化運動委員会主任委員。48年以来立法委員。50年～52年国民党中央改造委員会委員。52年3月立法院長。52年以来国民党中央常務委員。中国文芸協会常務理事。56年4月中華民国各界日本親善訪問団団長として来日。元中央電影公司董事長、中国廣播公司董事長。56年月当時中国文芸協会責任者。61年2月立法院院長辞任。著書「近代歐洲絵画」「自救」「蜜月旅行」「自誤」「密電碼」「狄四娘」「最後関頭」「殺敵報国」「再相逢」「忘記了因素」。

#### 張 導 民 Chang Tao-min

57年11月国府行政院主計処副主計長。

#### 張 德 含 Chang Tè-han

56年4月当時全国先進生産者代表會議主席団員。59年4月政治協商會議第三期全国委員会委員(特別招請人士)。

#### 張 德 群 Chang Tè-chün

60年8月中共駐ソ大使館參事官。

#### 張 德 庆(慶) Chang Tè-ching

54年1月当時全国労働模範、中央人民政府第1機械工業部自動車実験室主任。54年北京市区人民代表大会代表。12月政治協商會議第二期全国委員会委員(自然科学団体)。55年5月中国科学院技術科学学部委員。59年4月政治協商會議第三期全国委員会委員(中国科学技術協会代表)。

#### 張 德 馨 Chang Tè-hsing

53年10月中国人民第3回訪鮮慰問団第7総分団副団長として北鮮を訪問。54年8月第一期

全国人民代表大会長春市代表。9月まで東北人民政府文化教育委員会委員。59年3月第二期全国人民代表大会吉林省代表。61年2月政協吉林省委員会副主席。

#### 張 德 生 Chang Tè-shèng

陝西省の人。現在52歳。49年～54年4月当時中共甘肅省委員会書記。49年西北軍政委員会委員、甘肅省人民政府副主席。53年1月西北行政委員会委員。54年8月第一期全国人民代表大会甘肅省代表。55年3月政治協商會議陝西省第一期委員会主席。11月当時中共陝西省委員会第1書記。56年9月中共第八期中央委員会候補中央委員。59年4月当時陝西省委員会第1書記。60年12月「農業を基礎として国民經濟の發展を促進する」を発表。

#### 張 德 尊 Chang Tè-tsun

54年2月当時中共中央東北局秘書長。

#### 張 德 緒 [南龍] Chang Tè-hsü

[Nan-lung] 1902～

広東省文昌県の人。タイ在住華僑。上海滬江大学商科卒業。德興盛、香港德興利公司、鴻泰股份有限公司等の経営者。タイ・キリスト教青年会主席、その他同教会関係団体の役員。52年米国國務省の招待を受け米国各地の教育、実業事情を視察。55年パリの世界キリスト教青年会百周年記念大会にタイ代表団長として出席、帰路欧州各国を歴訪。

#### 張 德 宝 Chang Tè-pao

59年3月第二期全国人民代表大会安徽省代表。60年4月当時馬鞍山鋼鐵公司機械処副処長。

#### 張 德 隆 Chang Tè-lung

53年7月中国新民主主義青年団第2次全国代



表大会にて第二期中央委員会候補委員。57年5月中国共産主義青年団中央委員会委員。60年4月中国 アフリカ人民友好協会理事。5月当時共青团湖南省委員会書記。

張 南 生 Chang Nan-shêng

福建省の人。厦門大学卒業。かつて国民政府の僑務委員会委員。張鼎丞の部隊に従軍し瑞金ソヴィエト地区において政治工作に従事。西遷に参加し延安に赴く。ソ連において訓練を受け戦時中8路軍の政治部主任。戦後中共軍晋冀察野戦軍団聶榮臻部隊の師政治委員、軍政治部主任、軍政治委員。人民解放軍華北軍区政治部副主任。53年1月～54年9月華北行政委員会委員。53年8月～55年10月当時人民志願軍政治部副主任。60年10月当時中將。

張 難(難)先 [义(義)痴]

Chang Nan-hsien [I-chih] 1874～

湖北省沔陽県の人。27年広東省政府委員兼建設庁長。28年湖北省政府委員兼財政庁長。29年国民政府考試院銓叙部長。30年浙江省政府委員兼主席および民政庁長を歴任。31年辞任し郷里に帰る。32年国民党湖北党政委員会委員長。49年中央人民政府政府委員、武漢軍事管制委員会高級参議。49年～53年1月中南軍政委員会副主席。53年～54年1月中南行政委員会副主席。53年11月当時中南中ソ友好協会副会長。54年8月第一期全国人民代表大会湖北省代表。9月同大会第1次会議主席団員、同大会常務委員会委員。55年7月同大会第2次会議主席団員。同月各国議會連盟参加の人民代表団執行委員会委員。56年6月全国人民代表大会第3次会議主席団員。59年3月第二期全国人民代表大会湖北省代表。4月同大会第1次会議主席団員、常務委員会委員。60年3月第二期全国人民代表大会第2次会議主席団員。

張 农(農) Chang Nung

56年3月当時華南農学院教授。同月政治協商會議広州市第一期委員会特別招請委員。

張 伯 謹 Chang Po-chin

(Pe-chin) 1899～

河北省行唐県の人。日本留学。32年米コネル大学卒業。34年同大学博士。36年～37年欧州の教育事情を視察。帰国後燕京大学教授。38年南京に赴き国防最高委員会教育専門委員兼軍事委員会政治部設計委員。39年国民参政会参政委員。同年ニューヨークの世界青年代表大会に中国青年代表団顧問として出席。39年～44年湖北省政府委員兼教育庁長。46年渡米。45年～48年北平市政府副市長。49年行政院教育部次長。50年駐日中国代表団第2組組長。59年10月免駐日大使館参事官。61年4月駐日大使館公使。

張 伯 秋 Chang Po-chiu

54年8月第一期全国人民代表大会山東省代表。55年1月政治協商會議第一期山東省委員会副主席。

張 伯 声 Chang Po-shêng

54年8月第一期全国人民代表大会河南省代表。56年2月九三学社第四期中央委員会委員。3月当時西北大学地質学系主任兼教授。58年12月九三学社第五期中央委員会委員。59年3月第二期全国人民代表大会河南省代表。

張 柏 園(園) Chang Po-yüan

54年6月まで河南大学副校長。55年2月河南省人民委員会委員。58年3月当時河南省委員会文教部部長。58年12月河南省副省長。60年6月全国文教先進工作者代表大会主席団員。

張 發 奎 Chang Fa-kui 1896～

広東省の人。武昌軍官学校卒業。後李濟深將軍の部下となる。26年北伐に加わり、武漢衛戍副司令。27年第4軍(鉄軍)軍長。31年国民党監察委員会委員。36年浙江福建安徽江西辺区司令。39年～44年第4戦区総司令。45年第2軍管区総司令。46年第4戦区司令官。47年11月戦略顧問委員会委員(兼任広東行営主任)。49年1月海南特区行政長官、2月陸軍総司令、6月これを辞任した。その後香港に居住。

張 帆 Chang Fan

60年3月中国新聞工作者協会常務理事。3月中国・ラテン アメ리카友好協会理事。12月中国、カンボディア友好協会理事。

張 藩 Chang Fan

60年10月当時駐南京部隊首長。

張 盤(盤)新 Chang Pan-hsin

54年2月東北抗米援朝総分会の人民解放軍慰問代表団第7分団副団長。55年2月遼寧省人民委員会委員。60年8月当時瀋陽市副市長。

張 盤(盤)石 Chang Pan-shih

山西省の人。中共中央華北局宣伝部部長。50年政務院華北行政委員会委員。53年1月機構改革後の華北行政委員会委員に再任。同月華北大行政区婚姻法貫徹運動委员会主任。54年3月当時中共中央華北局第4副書記。9月華北行政委員会委員を解任。12月政治協商會議第二期全国委員会委員(新聞出版界)。56年3月政治協商會議全国委員会学習委員会副主任委員。60年2月教育、文化、衛生、体育関係、社会主義建設先進グループ、先進活動家全国代表大会準備委員会委員。6月全国文教

先進工作者代表大会主席団員。

張 彼 德 Chang Pi-tè

(Peter B. T. Chang) 1913～

広東省の人。35年暨南大学卒業。宣伝部公共関係課長。上海市政府委員。49年台湾省参議會議員。51年台湾省政府新聞処長。54年以来僑務委員会顧問。

張 非 Chang Fei

54年3月当時群衆歌曲評選委員。11月当時中国人民解放軍華北軍区文工団団長。55年8月当時中国音楽協会常務理事。

張 非 垢 Chang Fei-kou

53年10月中国人民第3回訪鮮慰問団第3総分団副団長。54年2月人民解放軍慰問代表団第3分団(西南)副団長。9月西南軍政委員会文化教育委員会委員解任。56年10月国務院体育運動委員会副主任。

張 美 娟 Chang Mei-chüan

55年6月中国インドネシア友好協会理事。

張 毕(畢)来 Chang Pi-lai

56年2月民主同盟第二期中央委員会委員。61年4月当時民主同盟中央宣伝部副部長。

張 百 发(發) Chang Po-fa

55年7月ワルシャワにおける第5次世界青年及び学生和平友誼連歡節参加の中国青年代表団員。9月全国青年社会主義建設積極分子大会主席団員。11月当時北京市工業労働模範。59年3月第二期全国人民代表大会北京市代表。4月第二期人民代表大会第1次会議で「いろいろの技術を学び、技術の大革新をやろう」について発言。



張 萍 Chang Ping

53年11月当時天津鐵路管理局副局長。

張 彬 Chang Pin

51年～54年2月当時政務院燃料工業部電業管理総局副局長。56年4月当時国務院電力工業部基本建設総局局長。

張 賓(賓) Chang Pin

55年2月熱河省人民委員会委員。

張 武 Chang Wu 1903～

広東省中山県の人。27年京都帝国大学経済学部卒業。29年以来中国銀行に勤務。53年頃以来国府中国銀行東京支店長。60年同行総経理。

張 風(風)伍 Chang Fêng-wu

55年11月当時中共四川省江津地区委員会書記。

張 復(復)海 Chang Fu-hai

54年11月最高人民檢察院檢察員。58年4月当時同職。

張 復(復)生 Chang Fu-shêng

56年12月当時中国国際貿易促進委員会展覽部副部長。

張 復(復)南 Chang Fu-nan

53年11月全国工商業連合会執行委員。

張 福 生 Chang Fu-shêng

55年10月当時中国国際貿易促進委員会委員。

張 福 林 Chang Fu-lin

16歳の時山東省棗莊炭礦工夫となる。26年

以降工夫を指導し棗莊礦区工会を組織。28年国府官憲に逮捕され徒刑6年に処せらる。34年出獄。再び棗莊礦区に帰り、37年全礦区工会総代表。日本軍の徐州占領後工夫を率いて山地地区に入り魯南(山東省南部)義勇隊を組織(人民解放軍第3野戦軍第8師の前身といわれる)。40年以降魯南の工会指導者。45年山東省総工会副主任。48年8月中華全国総工会執行委員。49年政治協商会議に労働者代表として出席。

張 文 華(華) Chang Wên-hua

61年6月当時国防体協陸上運動部副部長。国際通信射撃試合主任(審判長兼任)。

張 文 海 Chang Wên-hai

59年3月第二期全国人民代表大会吉林省代表。4月第二期人民代表大会第1次會議で「人工降雨実験の成功はわが国気象科学発展の新しい成果」について発言。58年7月吉林省副省長。8月吉林省党政代表团副団長となって朝鮮解放15周年祝賀訪問。

張 文 奇 Chang Wên-chi

53年11月当時北京市公共衛生局副局長。54年12月北京鋼鐵工業学院副院長。58年4月当時中国金属学会副理事長。

張 文 义(義) Chang Wên-i 1929～

労働模範。中共黨員。張家口釵山機器廠技術工人。55年10月～11月の間中共見本市代表团工作員として来日。

張 文 金 Chang Wên-chin

59年3月第二期全国人民代表大会四川省代表。4月第二期人民代表大会第1次會議で「硫磺分を除去し、良質の土法鋼を生産している」

について合同発言。

張 文 浩 Chang Wên-hao

53年10月～54年8月当時中華全国学生連合会副主席。

張 文 綱 Chang Wên-kang

音楽家。少年文学作家。「我們快樂地歌唱」の作曲者。上記作品により全国児童文芸創作評奨委員会の1等受賞者。55年8月当時中国音楽家協会理事。

張 文 广(廣) Chang Wên-kuang

53年6月中華全国民主青年連合会第2次全国代表大会にて第二期全国委員会委員。

張 文 治 Chang Wên-chih

54年8月第一期全国人民代表大会四川省代表。58年4月当時中国造船工程学会籌備委員会副主任委員。59年3月第二期全国人民代表大会四川省代表。4月第二期人民代表大会第1次會議で「造船工業を發展させよう」について発言。

張 文 秀 Chang Wên-hsiu

53年4月中華全国民主婦女連合会第二期執行委員。

張 文 春 Chang Wên-chun

54年8月第一期全国人民代表大会遼寧省代表。59年3月第二期全国人民代表大会遼寧省代表。

張 文 超 Chang Wên-chao

54年8月第一期全国人民代表大会広州市代表。

張 文 彬 Chang Wên-Pin 1911～

湖南省平江県の人。少年の時キリスト教徒だったが、27年共産主義青年団に入団、無神論者となり、青年革命運動に没頭。その後毛沢東が所長をしていた「農民運動人員訓練所」に入り教育を受けた後、農民ゲリラ隊を組織し、一度平江県を占領したが、間もなく国府軍に逮捕投獄。出獄後再び彭徳懐の指導する平江暴動に参加し、平江赤衛隊党代表に選出(18歳の時)。その後紅軍第5軍に入り、第3軍団および第5軍団の政警隊長などを歴任。32年紅軍第2軍団政治警察隊長。大西遷後は陝西において第15軍団警察隊長。36年西安会谈の時周恩来にしたがって西安に派遣され国共合作に活躍、国民党側により逮捕。戦後は香港において雑誌「群衆」によって活躍。53年2月吉林省人民委員会委員。

張 文 普 Chang Wên-pu

54年1月当時錦州鉄道管理局局長。

張 文 佑 Chang Wên-yu

地質学者。53年2月中国科学院訪ソ代表团団員として訪ソ。54年4月当時科学院秘書処勤務。55年6月中国科学院生物学地学学部委員。56年4月当時科学院地質研究所副処長。

張 文 裕 Chang Wên-yü

59年3月第二期全国人民代表大会遼寧省代表。

張 聞 天 [洛甫] Chang Wên-tien

[Luo-fu] 1900～

江蘇省上海附近の南匯の富農の家に生る。(一説に現在66歳)。吳淞中学、河南工程学校(南京)に学び、21年米カリフォルニア大学に学ぶ。23年～24年四川で教員。25年中共に入党。27年モスクワ留学、29年帰国。33年ま



で上海中共中央政治局にあって、中央農民部長、組織部長を歴任。33年江西ソヴェト区に入り、その後書記局総書記。34年中華ソヴェト政府人民委員会主席。39年中共中央委員会ならびに書記局総書記続任といわれる。45年7全大会で第七期中央委員、政治局委員。この間一時期茅盾、沈沢民、瞿秋白等とともに「文学研究会」に所属す。また党機関紙に多くの政治論文を発表、その執筆になる中国革命の基本問題に関する教本は、共産党の学校でテキストに採用された。戦後49年5月まで東北行政委員会財政経済委員会副主任。8月東北人民政府委員、当時中共中央東北局常務委員、中共遼東省委員会書記。中共政権成立後、国連および安保理事会中共代表に任命。51年4月中共駐ソ大使。53年3月スターリン逝去弔問団員。54年4月政務院外交部副部長(駐ソ大使兼任)。同月ジュネーブ会議中共政府代表団代表。8月第一期全国人民代表大会江蘇省代表。9月同大会第1次会議主席団員、同大会常務委員会委員。11月国務院外交部副部長に再任。12月欧州8カ国集団安全保障会議にオブザーバーとして参加。同月中ソ友好協会第2次全国代表会代表(共産党)、同協会総会第二期理事会理事。55年1月駐ソ大使解任、外交部副部長に専任。55年7月全国人民代表大会第2次会議主席団員。同月各国議会連盟参加の人民代表団執行委員会委員。56年9月中共第八期中央委員会委員、同政治局候補委員。57年9月十月社会主義革命40周年慶祝準備委員会委員。58年4月当時外交部副部長。59年3月第二期全国人民代表大会江蘇省代表。4月同大会第1次会議主席団員。4月ワルシャワで開かれた外相會議に出席。第二期全国人民代表大会常務委員会委員。5月中ソ友好協会第三期理事会理事。9月外交部副部長解任。「青春的夢」長編小説「長途」を書き、ダモンテオ、ワイルド、ト

ルストイおよびツルゲーネフの作品を翻訳。

#### 張 平 Chang Ping

59年6月当時国府駐メキシコ国大使館1等秘書。

#### 張 平 化 Chang Ping-hua

49年当時中共武漢市委員会書記。49年~53年1月中南軍政委員会委員。53年3月~54年3月当時中共武漢市委員会第2書記。54年3月当時武漢市各界人民代表會議協商委員会主席。55年3月政治協商會議湖北省武漢市第一期委員会主席。7月当時中共湖北省委員会第3書記。58年5月中共第八期中央委員会候補委員。58年9月~59年7月当時湖北省委員会書記処書記。60年10月当時湖南省委員会第1書記。12月湖南省第二期人大第3次會議で省人民委員会委員に改補選。

#### 張 平 群 [乘助(勳)] Chang Ping-chün (P. H. Chang,) [Chêng-hsün] 1902~

河北省天津の人。20年南開大学卒業。20年~25年英、独に留学。24年ロンドン大学東方研究院の漢文講師、南開大学商学院教授。4年の後商学院院長。31年上海英文「民衆論壇報」編集副主任、平津衛戍司令部上校秘書、国際貿易顧問、内政部専門委員、実業部秘書。33年外交部秘書、行政院簡任秘書。33年~46年行政院政務委員。46年~56年当時ニューヨーク総領事。46年~47年ニューヨーク・チャイニーズ・ニュース・サービス社長。59年2月外交部欧洲司長。60年6月ソマリア共和国独立式典副特使。著書「独幕劇集」。

#### 張 平 江 Chang Ping-chiang

53年1月当時中国国民党革命委員会重慶市分部準備委員会常務委員。54年9月まで西南

軍政委員会人民監察委員会委員。56年2月国民党革命委員会候補中央委員。58年12月同第四期中央委員会委員。

#### 張 平 之 Chang Ping-chih

53年11月全国工商業連合会執行委員。56年12月全国工商連第二期執行委員(国营企業、合作社全国総機構)。

#### 張 秉 玉 Chang Ping-yü

60年3月当時中共国防部外事処副処長、大佐。9月アラブ連合訪問中国軍事代表団員。

#### 張 秉 均 Chang Ping-chün

60年11月当時総統府戰略顧問委員会顧問。

#### 張 炳 光 Chang Ping-kuang

60年3月当時北京大学学生会主席。7月当時北京市学連主席。

#### 張 屏 东 Chang Ping-tung

60年10月石家荘市市長、同市委員会書記。

#### 張 輔 忠 Chang Fu-chung

上海医学院薬学院院長。54年6月華東薬学院院長。12月政治協商會議第二期全国委員会委員(医業衛生界)。

#### 張 慕 尧(堯) Chang Mu-yao

中共黨員。48年華北人民政府監察委員会委員。49年政務院人民監察委員会委員。54年4月当時政務院人民監察委員会辦公庁第1庁長。55年1月国務院監察部部長助理。58年4月当時中華全国供銷合作總社監事。59年4月政治協商會議第三期全国委員会委員(特別招請人士)。

#### 張 方 佐 Chang Fang-tsoo

日本藏前高工紡績科卒業。国府時代の国営

中国紡績建設公司工化処長。華東紡織管理局副局長兼華東紡織学院長。54年8月第一期全国人民代表大会上海市代表。55年3月~4月の間中共貿易代表団専門家(紡織)として来日。59年3月第二期全国人民代表大会上海市代表。60年1月北京紡織工学院院長。

#### 張 邦 英 Chang Pang-ying

陝西省の人。中共陝南区委員会書記を経て陝西省人民政府副主席。53年1月西北軍政委員会委員を免ぜられ西北行政委員会委員。9月当時中共中央新疆分局第3書記。54年8月第一期全国人民代表大会新疆省代表。9月同大会常務委員会委員。57年8月全国人民代表大会フィンランド訪問代表団員。59年4月政治協商會議第三期全国委員会常務委員(中国共産党代表)。11月同委員会第5回拡大會議で交通郵電事業の成果に関し報告、当時中共中央交通工作部副部長。60年1月業余教育委員会委員。

#### 張 邦 信 Chang Pang-hsin

60年11月当時中共湖南省委員会農村辦公室副主任。

#### 張 逢 时(時) Chang Fêng-shih

55年10月当時国務院第1機械工業部汽車(自動車)工業管理局代理局長。60年1月国務院農業機械部副部長。

#### 張 彭 春 [仲述] Chang Pêng-chun [Chung-shu] 1892~

河北省天津の人。清華学校卒。24年米コロンビア大学博士。26年~37年南開大学教授。31年シカゴ大学視察教授。36年西南連合大学師範学院教育学系教授。40年~42年駐トルコ公使。42年~45年チリ公使。46年~50年国連総会中国代表。46年国連教育經濟會議中国代



表。47年国連人權委員会副委員長および委員。

張 鋤 Chang Fang 1886~

湖南省新安県の人。保定軍官学校卒業。38年第12集団軍総司令。38年~46年軍事顧問委員会副主席。48年政策委員会常任委員州徐兼反乱鎮圧軍指揮官。54年12月政治協商会議第二期全国委員会特別招請委員。

張(張) 鋒 伯 Chang Fêng-po

53年10月~55年7月当時西安市副市長。中国民主同盟西安市支部主任委員。54年2月当時人民解放軍慰問代表団第2総分団(西北)副団長。12月陝西省人民委員会委員。56年2月民主同盟第二期中央委員会候補委員。4月中印友好協会理事。60年3月中国ラテンアメリカ友好協会理事。11月当時西安市副市長。61年2月当時陝西中ソ友好協会会長。

張(張) 鵬 图(圖) Chang Pêng-tu

湖北省人民政府民政庁副庁長。49年10月政務院人民監察委員会辦公庁主任。58年10月~60年7月当時甘肅省副省長。

張 宝 樹 Chang pao-shu

60年11月当時中国国民党中央委員会第5組主任。

張 宝 和 Chang Pao-hè

中国国際貿易促進委員会職員。55年10月中共見本市代表団工作員として来日。

張(張) 望 Chang Wang

広東省の人。上海美専卒。木刻研究会の主要メンバー。日華事変発生後政治工作に従事。39年重慶に赴き、育才学校の絵画科指導

員。42年延安に行き、魯迅芸術学院美術研究室にて勉学。45年美術教員。60年4月中国アフリカ人民友好協会理事。

張 北 华(華) Chang Pei-hua

53年4月当時中国機器製造業工会準備委員会主任。56年11月国務院国家經濟委員会委員。

張 北 辰 Chang Pei-Chèn

60年1月当時鄭州市副市長。

張 勃 川 Chang Po-chuan

教育学者。政務院高等教育部綜合文学教育司司長。53年2月中国科学院訪ソ代表団員として訪ソ。5月中国国民文化協進会副主任。54年6月武漢大学副校長。

張 万 宏 Chang Wan-hung

59年3月第二期全国人民代表大会湖南省代表。4月同大会第1次会議で「東風はすべての山を緑化する」について発言。

張 万 春 Chang Wan-chun

60年11月当時黒竜江軍区副司令員。

張 曼 筠 Chang Man-yün

53年4月中華全国民主婦女連合会第二期候補執行委員。54年8月全国人民代表大会江蘇省代表。56年2月民主同盟第二期中央委員会委員。59年3月第二期全国人民代表大会江蘇省代表。

張 夢(夢) 庚 Chang Mêng-kêng

53年2月北京市戯曲編導委員会主任。4月当時スウェーデン訪問人民雜伎団副団長。

張 夢 齡 Chang Mêng-ling

56年6月~59年6月当時国府駐ダヴェオ領

事。

張 明 远(遠) Chang Ming-yüan

河北省の人。東北人民政府秘書長。53年1月~54年9月東北行政委員会副主席。53年2月~54年1月当時中共中央東北局第3副書記。「反党連盟」に参加の故をもって処分をうけた旨55年4月公表された。

張 明 河 Chang Ming-hé

55年2月河北省副省長。58年10月再選。61年4月当時同省委員会常務委員。

張 明 山 Chang Ming-shan

国营鞍山鋼鉄公司小型廠工人。全国労働模範。53年4月総工会メーデー参観団団員として訪ソ。54年8月第一期全国人民代表大会鞍山市代表。

張 明 养(養) Chang Ming-yang

54年12月政治協商会議第二期全国委員会委員(新聞出版界)。同月中ソ友好協会第2次全国代表会代表(新聞出版界)。55年3月アジア諸国会議出席の中共代表団団員。7月中国人民外交学会第三期理事会理事、常務理事。56年5月中国パキスタン友好協会理事。8月中国民主促進会第四期中央委員会委員。58年12月同第五期中央委員会常務委員。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(新聞出版界代表)。同委員会第一次全体会議主席団員。60年1月当時政治協商会議全国委員会国際問題組組長、中国人民外交学会理事。

張 鳴 鈞 Chang Ming-chün

60年5月当時中共青年団遼寧省委員会副書記、中共青年団瀋陽市委員会書記。

張(張) 孟 旭 Chang Mêng-hsü

54年5月当時湖南省人民政府副主席。55年2月湖南省副省長。60年7月当時湖南省副省長。12月第二期全国人民代表大会湖南省代表(補選)。

張 默 君〔女〕 Chang Mo-chün

(Chang, M. K. Sophie) 1898~

湖南省湘郷県の人。米コロンビア大学卒。上海神州女学校長。神州日報を創刊。19年江蘇省立第1女子師範学校校長。24年当時立法院院長邵元冲と結婚。27年杭州市政府教育局局長。立法委員、南京市党部監察委員。35年中央監察委員。44年国史館名誉編纂、中央監察委員会常務委員。48年考試院委員。50年国民党中央評議員。56年8月56年度公務員高等試験試験委員。60年8月考試院考試委員。著書「默君詩草」2巻、「中国政治与民生哲学」「憲政評論」「欧米教育考察録」。

張 跃(躍) 生〔女〕 Chang Yüeh-shêng

61年3月当時青海婦女連合会副主任。

張 友 漁 Chang Yu-yü 1901~

山西省介休生れ。日本問題の専門家といわれる。北平法政専門学校卒業。一時中美晚報記者。東京法政専門学校留学。30年天津市政府参事。31年世界日報主筆、北平大学法学院、民国学院、中法大学教授兼任。40年香港華商報主筆。太平洋戦争勃発とともに重慶に帰り文筆生活。45年重慶新華日報総編集。46年1月政治協商会議の際、一時中共代表団顧問。47年12月晋冀魯豫辺区政府副主席。49年1月天津市人民政府副市長。9月政治協商会議第一期全国委員会委員。52年12月当時中共北京市委委員会常務委員。53年1月~56年2月当時北京市人民政府副市長。53年1月北京市婚姻法貫徹運動委員会主任。53年1月~54年9月



華北行政委員会委員。54年2月当時人民解放軍慰問代表団第6總分団副団長。6月北京市憲法草案討論委員会主任。8月第一期全国人民代表大會北京市代表。56年2月～9月当時中共北京市委員会副書記。6月全国人民代表大會第3次會議提案審查委員会委員。11月北京市人民委員会代表団副団長としてソ連東歐を訪問。57年9月北京市副市長兼中共北京市委員会委員。8月中国政治法律学会副会長、同書記処書記。59年3月第二期全国人民代表大會北京市代表。4月同大會提案審查委員会主任委員、同大會法案委員会委員、同月政治協商會議第三期全國委員会委員（社会科学団体）、常務委員、同第一次全体會議提案審查委員会委員、当時中国科学院法学研究所所長。7月当時中国科学院哲学社会科学学部副主任。11月中国ビルマ友好協会会長。60年10月ブルガリアのソフィアにおける国際民主法律工作者第7回大會団長となり参加。61年6月訪ソ科学院代表団副団長。

張 友 仁 Chang Yu-jên

59年4月政治協商會議第三期全國委員会委員（中国致公党代表）。

張 有 萱 Chang Yu-hsüan

54年11月國務院国家計画委員会委員。58年4月当時國務院国家技術委員会副主任。59年9月科学技術委員会副主任兼委員。60年7月当時同職。61年11月訪日中国人民救済總會代表団員（清華大学機械学教授）。

張 有 权 Chang Yu-chüan

59年4月政治協商會議第三期全國委員会委員（華僑代表）。

張 有 谷 Chang Yu-ku

元国府軍南京空軍總指揮部參謀長、成都空

軍第3路司令部司令。56年1月政治協商會議第二期全國委員会委員（特別招請人士）。59年4月同第三期全國委員会委員（特別招請人士）。

張 有 昌 Chang Yu-chang

56年1月当時中国科学院応用化学研究所學術委員会委員。

張 有 生 Chang Yu-shêng 1926～

遼寧省の人。北京新聞記録電影制片廠（ニュース記録映画製作所）記者。56年5月～6月京劇代表団撮影記者として来日。

張 有 德 Chang Yu-tê

57年4月第13回国際電信連合会行政理事会會議国府代表団専門委員。58年8月国際電信連合会 国際 電報電話行政 會議代表 団専門委員。59年4月第14回同上會議専門委員。

張 雄 飛(飛) Chang Hsiung-fèi

60年10月当時駐ソ大使館参事官。

張 庸 夫 Chang Yung-fu

60年10月国府在大阪総領事館領事。

張 揚 Chang Yang

55年3月～4月エカフェ會議にオブザーバーとして出席の世界労連代表団団員として来日。59年10月当時新華社ジュネーブ駐在員。

張 曄 Chang Yeh

元中共中央山東分局組織部長。49年9月各解放区農民団体主席代表として政治協商會議に出席。同年～54年6月華東軍政委員会人民監察委員会委員。

張 耀 Chang Yao

58年12月政府間海事協議會議国府代表団顧問。

張 耀 輝 Chang Yao-hui

56年3月当時上海市人民委員会副秘書長。59年2月当時中国人民外交学会理事。60年4月中国アフリカ人民友好協会理事、当時上海市中ソ友好協会副秘書長。5月当時上海市人民委員会副秘書長。10月当時对外文化協會上海市分会副会長。

張 耀 祥 Chang Yao-hsiang

55年2月上海市人民委員会委員。56年1月当時上海市郊区農民協会主任。

張 耀 曾 Chang Yao-tsêng

55年3月山東省人民委員会委員。

張 翼【易徳】 Chang I [I-tê]

広東省潮安県の人。現在46歳位。ヴィエトナム・サイゴン市シロン全日日報編集員、越南報、中華報の社務委員、ヴィエトナム華僑解放連合会主席を歴任。54年9月第一期全国人民代表大會華僑代表。

張 翼 翔 Chang I-hsiang

60年11月当時中將、福州地区部隊首長。

張 乐(樂)亭 Chang Lê-ting

60年10月当時上校、駐北鮮大使館武官。

張 瀾【表方】 Chang Lan

〔Piao-fang〕 1872～1955

四川省南充県生れ。11年辛亥革命の時、四川保路同志会領袖。20年四川省長。21年政変により辞任。26年成都師範大学校長。28年～31年成都大学校長。45年国民参政會議員、

民主同盟総裁。46年1月政治協商會議の民主同盟代表。48年民主同盟解散を命ぜられ、香港に逃避。49年6月の新政治協商準備会には民主同盟を代表して出席。9月政治協商會議第一期全國委員会委員、同常務委員。10月中央人民政府委員会副主席。53年1月憲法起草委員会委員。2月中央選挙委員会委員。3月スターリン追悼首都各界人民大會主席団員、当時中国民主同盟主席。54年8月第一期全国人民代表大會四川省代表。9月同大會第1次會議主席団員、同大會常務委員会副委員長。12月政治協商會議第二期全國委員会委員、同全國委員会副主席、同月中ソ友好協會第2次全国代表會代表、同協會總會第二期副会長。55年2月北京にて逝去。

張 兰(蘭)生 Chang Lan-shêng

61年4月当時雲南省大理市長。

張 利 珍〔女〕 Chang Li-chên

59年3月第二期全国人民代表大會四川省代表。4月同大會第1次會議で「党の指導は賢明かつ偉大であり、労働者の力は無限である」について発言。

張 力 克 Chang Li-kê

60年10月当時瀋陽市副市長、中共瀋陽市委員会書記処候補書記。

張 立 长 Chang Li-chang

ハザック族。54年3月当時新疆工程第1師副政治委員、新疆省水利參觀団副団長。

張 立 范(範) Chang Li-fan

53年1月当時綏遠省農林庁庁長。1月～54年6月綏遠省人民政府委員。54年8月当時内蒙古自治区人民政府農牧部副部長、同月内蒙



古自治区人民政府委員。55年4月内蒙古自治区人民委員会委員。

張 林 池 Chang Lin-chih

48年華北人民政府農業部副部長。49年12月政務院農業部辦公主任。52年~56年11月農業部副部長。54年12月中ソ友好協会第2次全国代表会代表(中国共産党)。56年10月國務院農墾部副部長。59年9月農墾部副部長。

張 霖 之 Chang Lin-chih

49年中共重慶市委員会書記, 重慶軍管会副主任。51年西南軍政委員会委員。52年9月政務院第2機械工業部副部長。54年6月まで重慶市人民政府委員。8月第一期全国人民代表大會河北省代表。54年11月國務院第2機械工業部副部長。55年4月國務院第3機械工業部部長。56年5月電機製造工業部部長。4月当時全国先進生産者代表会議主席団員。9月中共第八期中央委員会候補委員。57年9月煤炭工業部部長。58年11月第二期全国人民代表大會雲南省代表に補選。59年3月第二期全国人民代表大會雲南省代表, 先進生産者代表会議準備委員会委員。4月全国人民代表大會にて石炭生産について報告を行う。第二期人民代表大會第1次会議で「石炭工業の躍進的歩調」について発言。60年7月当時, 煤炭工業部部長。

張 令 德 Chang Ling-tê

53年10月当時中共河北省通県委員会書記。

張 令 彬 Chang Ling-pin

54年2月当時人民革命軍事委員会総後勤部副部長。12月中ソ友好協会第2次全国代表会代表(軍隊)。55年9月1級解放勳章を受く。56

年3月当時人民解放軍中將。59年3月第二期全国人民代表大會軍隊代表。59年5月当時総後勤部副部長。

張 黎 羣 Chang Li-chün

53年6月中華全国民主青年連合会第二期全国委員会委員。7月中国新民主主義青年団第二期中央委員。

張 厲 生 [少武] Chang Li-shêng  
[Shao-wu] 1900~

河北省出身。パリ大学卒業。31年~50年国民党中央執行委員会委員。36年~39年国民党組織部長。41年~42年中央政治会議秘書課長。42年~44年行政院秘書長。44年~48年内政部長。44年~45年国家総動員会議秘書長。45年宋子文行政院長の下に内政部長。46年1月政治協商会議国民党代表。48年5月行政院副院長。8月天津地区経済統制指導員。49年初頭天津が中共軍の手に帰したため辞職南下。その後台湾省地方自治研究会主任委員。50年国民党中央評議委員。50年~54年行政院副院長。54年国民党中央委員会秘書長。59年3月駐日大使。61年5月中日貿易支払い協定に調印, 当時駐日大使。

張 礪 生 Chang Li-shêng

54年8月第一期全国人民代表大會河北省代表。58年2月第一期全国人民代表大會第5次會議法案委員会委員に補選。59年3月第二期全国人民代表大會河北省代表。4月同大会法案委員会委員。同大会第1次会議において「農民の働きぶりは万馬奔走するがごとき勢いである」と題して発言。

張 烈 Chang Lieh

53年7月当時中共遼東省委員会秘書長。54

年12月政治協商会議第二期全国委員会委員(中華全国総工会)。55年2月遼寧省人民委員会委員。

張 連 奎 Chang Lien-kui

政務院第2機械工業部第2局長を経て, 54年6月同部副部長。11月國務院第2機械工業部副部長。59年9月第1機械工業部副部長。60年9月國務院第3機械工業部長。61年4月第3機械工業部副部長。

張 連 权(權) Chang Lien-chün

労働模範。新民主主義青年団員。かつて中共見本市代表団随員として東ドイツに赴く。瀋陽機床廠旋盤工。55年10月~11月の間中共見本市代表団工作員として来日。

張 联(聯)华(華) Chang Lien-hua

54年6月当時中華全国体育総会代表としてスイス訪問。55年1月~11月当時國務院体育運動委員会国際連絡司副司長。6月当時中国オリンピック委員会委員として国際オリンピック委員会執行委員会および各国オリンピック委員会代表連席會議に出席。56年1月中国オリンピック委員会委員。6月当時中華全国体育総会常務委員。56年10月中華全国体育総会秘書長, 常務委員。60年3月中国ラテンアメリカ友好協会常務理事, 理事。4月当時中国ハンガリー友好協会秘書長。

張 隴 村 Chang Lu-tsun

55年1月政治協商会議第一期広東省委員会副主席。2月広東省人民委員会委員。59年2月政治協商会議広東省第二期委員会副主席。4月政治協商会議第三期全国委員会委員(対外和平友好団体代表)。60年11月当時(政協)広東省委員会副主席。12月当時広東市中ソ友好協会副会長。

張 淮 Chang Huai

54年12月中ソ友好協会第2次全国代表会代表(中華全国学生連合会)。

張 汇(匯)兰(蘭) [女] Chang Hui-lan

59年3月第二期全国人民代表大會江蘇省代表。

朝 日 加 Chao Jih-chia

西藏族。53年12月青海省海南藏族自治州人民政府副主席。

朝 廉 Chao Lien

53年7月中国新民主主義青年団第二期中央委員会候補委員。

超 荃 Chao Chün

53年6月当時中国仏教協会理事。

趙(趙) 安 博 Chao An-po 1915~

日本一高に留学。中共中央社会部職員, 元東北人民政府外事局外事処副処長, 東北日僑管理委員会委員長といわれる。中国人民外交学会理事。中国紅十字総会顧問。54年10~11月の間中共紅十字会代表団員として来日。55年1月中国漁業協会準備委員会顧問として北京における日中漁業交渉に出席。55年7月中国人民外交学会第三期理事会理事。8月原水爆禁止世界大会(広島)参加のため来日。11月北京における日本憲法擁護国民連合訪華代表団との共同コミュニケ調印式に参加。56年5月日中民間漁業協議会中共代表団員。6月中国紅十字会代表として「釈放日本人戦犯引渡書」に署名。11~12月の間中共漁業代表団代表として来日。当時中国漁業協会顧問。57年12月訪日中国紅十字会代表団員。58年7月中国人民保衛世界和平委員会委員。59年9月当時中国人民外交学会理事。60年7月第



6 回原水爆禁止世界大会(広島)参加中共代表団副団長。10月当時中国紅十字会総会顧問。61年1月当時中国人民救済総会副秘書長。

赵(趙) 以 炳 Chao I-ping

53年9月~56年7月当時中国生理学会理事長。

赵(趙) 昱 Chao Yü

59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(華僑)。59年9月華僑事務委員会委員。

趙 毓 松 Chao Yü-sung

四川省の人。現在65歳。在日華僑。中国青年党中央委員。一時汪政權の工商部長。50年来日。

赵(趙) 一 民 Chao I-min

60年5月当時中共河北省委員会常務委員。

赵(趙) 雨 亭 Chao Yü-ting

60年2月当時中共山西省晋南地区委員会第1書記。

赵(趙) 云(雲) 駛 Chao Yün-shih

54年8月当時内蒙古自治区人民政府財政經濟委員会副主任, 内蒙古自治区人民政府委員。55年4月内蒙古自治区人民委員会委員。6月当時中共内蒙古東部区委員会副書記。57年12月中華全国総工会第八期執行委員。

赵(趙) 易 亞(亞) Chao I-ya

53年当時華東軍区, 第3野戦軍政治部宣傳部部长。

赵(趙) 延 寿(壽) Chao Yèn-shou

54年6月当時山西省人民政府平順県長,

同県人民代表大会憲法草案討論委员会主任。

赵(趙) 开(開) 五 Chao Kai-wu

53年7月中国新民主主義青年団第二期中央委員会候補委員。

赵(趙) 凱 Chao Kai

55年3月安徽省人民委員会委員。56年4月全国話劇大会にて「戦闘裡成長」で1等演出監督賞を獲得。60年10月当時合肥市市長, 同市委員会書記処書記。

赵(趙) 季 平 Chao Chi-ping

55年5月政治協商会議上海市第一期委員会副主席。

赵(趙) 起 Chao Chi

56年12月当時中国五金進口公司(中共側)副經理。

赵(趙) 喜 民 Chao Hsi-min

60年6月当時中共青年団青海省委員会常務委員。

赵(趙) 毅 敏 [一民]

Chao I-min [I-min]

河北省の人。43年当時延安大学副校長, 魯迅芸術学院院長。中共中央中南局宣傳部部长兼青年工作委員会書記。49年末中南軍政委員会委員兼文化教育委员会主任。53年1月中南行政委員会委員。11月当時中南区中ソ友好協会副会長。54年7月テリ-訪問文化代表団団長。54年12月政治協商会議第二期全国委員会委員(共産党)。同月中ソ友好協会第2次全国代表会代表。55年3月中国人民对外文化協会副会長, 常務理事。11月北京における日本憲法擁護国民連合訪華代表団との共同コミニケ調印式に参加。56年2月中国亞洲團結委員会委員。58年5月中共第八期中央委員会候補

委員。7月中国人民保衛世界和平委員会常務委員, 当時中央機関責任工作者。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(対外和平友好団体代表)。中国人民对外文化協会常務理事。当時中国アジアアフリカ團結委員会委員。60年9月英共産党指導者ハリ・ポルト葬儀(ロンドン)に中共代表として参加。

赵(趙) 輝 Chao Hui

53年4月当時中華全国民主婦女連合会第二期執行委員。

赵(趙) 輝 楼 Chao Hui-lou

55年1月政治協商会議第一期河北省委員会副主席。

赵(趙) 九 章 Chao Chiu-chang

浙江省の人。現在54歳。地球物理学者。53年2月訪ソ中国科学院代表団団員。54年8月中国気象学会常務理事。10月中国科学院地球物理研究所所長。12月政治協商会議第二期全国委員会委員(自然科学団体)。同月中ソ友好協会第2次全国代表会代表。55年5月中国科学院生物学地学学部委員。56年2月九三学社第四期中央委員会委員。57年2月国際地球観測年西太平洋地域連絡協議会(東京)に出席。58年4月当時中国地球物理学会理事長。12月九三学社第五期中央委員会委員。59年3月第二期全国人民代表大会雲南省代表。4月政治協商会議第三期全国委員会委員(中国科学技術協会代表), 常務委員。59年当時中国気象学会理事長。60年12月当時科学院学部委員。

赵(趙) 去 非 Chao Chü-fei

53年12月当時松江省人民政府公安厅庁長。同月~54年8月松江省人民政府副主席。55年

1月黒竜江省人民委員会委員。58年4月当時黒竜江省副省長。

赵(趙) 玉 祥 Chao Yü-hsiang

53年7月煤礦工会全国委員会副主席。

赵(趙) 玉 亭 Chao Yü-ting

55年8月当時満洲里市副市長。

赵(趙) 玉 文 Chao Yü-wèn

60年11月当時中共江蘇省揚州地区委員会工業部副部長。

赵(趙) 禁 Chao chin

60年8月駐モンゴル大使館参事官。10月中国代表団長として援助建設物の移管証に調印。61年2月当時駐モンゴル臨時代理大使。

赵(趙) 君 邁 Chao Chün-mai

56年1月政治協商会議第二期全国委員会特別招請委員。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(特別招請人士)。

赵(趙) 启(啓) 民 Chao Chi-min

43年頃新4軍第2師第5旅政治委員。56年2月人民解放軍広州駐軍領導機関責任者, 海軍中將。59年6月当時南海艦隊司令員。60年9月第3機械工業部副部長。

赵(趙) 启(啓) 駿 Chao Chi-lu

54年12月政治協商会議第二期全国委員会特別招請委員。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(特別招請人士)。

赵(趙) 繼 昌 Chao Chi-chang

61年1月免中共駐東独大使館商務参事官。



赵(趙)庆(慶)杰 Chao Ching-chieh  
56年1月政治協商會議第二期全国委員会特別招請委員。59年4月政治協商會議第三期全国委員会委員(中国科学技術協会)。

赵(趙)庆(慶)夫 Chao Ching-fu  
54年8月第一期全国人民代表大会吉林省代表。56年11月~57年1月全国人民代表大会代表团団員としてソ連、東欧訪問。

赵(趙)健民 Chao Chien-min  
山東省の人。49年貴陽軍管委員会副主任。51年西南軍政委員会交通部部長。52年西南軍政委員会の財政經濟委員会委員。53年1月政務院鉄道部副部長。54年9月西南軍政委員会財政經濟委員会委員解任。11月国務院鉄道部副部長。55年3月山東省省長。55年8月~56年6月の間に全国人民代表大会山東省代表に補選。9月中共第八期中央委員会候補中央委員。58年4月当時山東省省長。

趙元任 [宣重] Chao Yüan-jên  
[Hsüan-chung] 1892~  
江蘇省武進県の人。清華学校、米コーネル大学卒業。18年ハーバード大学卒業、博士。コーネル大学物理教員、ハーバード大学教授。在学時代同志と共に中国科学社を組織。米国哲学学会、米国数学学会、中国科学社、中国物理学会等の学術団体に加入。27年~28年国立清華大学教授。28年中央研究院歴史語言研究所長。41年ハーバード大学、ハーバード燕京学院教授。48年中央研究院院士。著書「国音新詩韻」「新詩歌集」「現代英語の研究」「国語羅馬字常用字表」「現代吳語的研究」「上古中国音における幾つかの問題」「中英文語調比較研究」「字根語調」「注音符号総表」「再注音字母訳音法」「南京音示」「語音的物理成素」「高爾漢(カールグレン)的諧声説」「中

国言語之実験研究法」「国語羅馬字之研究」「官話字羅訳音法」。

赵(趙)源 Chao Yüan  
55年2月福建省人民委員会委員。59年2月福建省高級人民法院院長。12月駐ギニア臨時代理大使。60年1月駐ギニア大使館参事官。

赵(趙)光炬 Chao Kuang-chü  
59年3月第二期全国人民代表大会広東省代表。

赵(趙)光礼 Chao Kuang-li  
56年12月当時中国食品出口公司(中共側)副經理。

趙恒惕 Chao Hêng-ti 1880~  
湖南省衡山人。日本陸軍士官学校卒。第1革命に際し革命軍に投じ、ついで譚延闓に従いたるも20年程潜派と提携し譚を逐い湖南総司令となる。21年省長を兼ね湖南省の実権を握る。23年譚、程が広東政府北伐軍を率い湖南に侵入を企つや呉佩孚と結び対抗したが部将唐生智の背叛により失脚。27年南京政府より両湖宣撫使に任ぜられたが、同年蔣介石の下野と共に退任。現在総統府国策顧問。

赵(趙)洪璋 Chao Hung-chang  
優良小麦品種碧蚂号の培育者。55年5月中国科学院生物地学学部委員。12月西北農学院教授。56年1月政治協商會議第二期全国委員会特別招請委員。59年4月政治協商會議第三期全国委員会委員(教育界代表)。

赵(趙)兴(興)元 Chao Hsing-Yüan  
曾て戦闘英雄として全国戦闘英雄會議に出席。54年1月当時東北軍区勤務、東北軍区軍

人代表大会代表に選出さる。59年3月第二期全国人民代表大会軍隊代表。当時中校。

赵(趙)克 Chao Kè  
55年11月当時中共河北省天津地区委員会書記。60年9月蘭州鉄道学院副院長。

赵(趙)国卿 Chao Kuo-ching  
54年4月当時中共延安地方委員会副書記。

赵(趙)国强 Chao Kuo-chiang  
48年8月中華全国総工会執行委員。51年2月中国五金冶煉工会準備委員会主任。53年5月中国工会第7次全国代表大会主席団員、全国総工会第七期執行委員会主席団員。9月ウィーンにて開催の世界労連第3回代表大会に中共工会代表団員として出席。54年8月第一期全国人民代表大会撫順市代表。10月中国重工業工会全国委員会主席。56年3月全国先進生産者代表会議準備委員会委員。4月オーストラリア訪問中共工会代表団団長。同月全国先進生産者代表会議主席団員。10月当時中華全国体育総会委員。11月総工会代表団員として来日。57年12月中国工会第8次全国代表大会において中華全国総工会第八期執行委員会主席団員、同執行委員。59年3月第二期全国人民代表大会遼寧省代表先進生産者代表会議準備委員会委員。60年6月当時世界労連候補理事。10月中国重工業工会全国委員会主席、同主席団員。

趙國鈞 Chao Kuo-chün  
1949年から58年まで、ハーヴァード大学、マサチューセッツ工科大学、コーネル大学で中国および印度研究の分野で研究と指導をなす。その後デリー大学の The Indian School of International Studies 訪問講師。著書

Mass Organization in Mainland China (1953), Agrarian Policies of Mainland China 1949~56 (1957), および Economic Planning and Organization in China (1944~58), その他諸雑誌に中国関係の論文を発表している。59年7月当時ハーヴァード大学博士。

赵(趙)国有 Chao Kuo-yu 1927~  
東北区全国工業労働模範代表。全国総工会生産部副部長。54年8月第一期全国人民代表大会瀋陽市代表。

赵(趙)士安 Chao Shih-an  
55年2月福建省人民委員会委員。

赵(趙)子謙 Chao Tzu-chien  
元察哈爾省人民政府委員兼工業庁庁長。53年1月山西省人民政府委員。55年2月山西省人民委員会委員。

赵(趙)子尚 Chao Tzu-shang  
60年1月石炭工業部副部長。

赵(趙)子平 Chao Tzu-ping  
53年5月当時中共黒竜江省委員会宣伝部副部長。60年5月当時中共白城地区委員会第1書記。

赵(趙)志强 [女] Chao Chih-chiang  
回族。54年8月第一期全国人民代表大会山東省代表。

赵(趙)志剛 Chao Chih-kang  
49年郵電部郵政総処副処長。50年郵電部供給局長。56年11月国務院郵電部副部長。60年7月当時同職。



趙(趙)紫宸 Chao Tzu-chên 1890~

浙江省呉興の人。米コロンビア大学神学部卒業。帰国後蘇州の東呉大学教授、北京の燕京大学哲学系および宗教学教授。中国キリスト教運動の指導者。49年9月宗教界民主人士代表として政治協商会議に出席。54年8月当時中国キリスト教三自愛国運動委員会常務委員。

趙(趙)紫陽(陽) Chao Tzu-yang

53年8月当時中共華南分局秘書長。55年2月広東省人民委員会委員。55年8月当時中共広東省委員会副書記。60年1月当時同委員会書記処書記。

趙(趙)自現 Chao Tzu-hsien

瑤族。54年8月第一期全国人民代表大会湖南省代表。55年11月湖南省江華瑤族自治県県長。59年3月第二期全国人民代表大会湖南省代表。

趙(趙)尔(爾)陆(陸) Chao Erh-lu

山西省の人。現在61歳。戦時中河北山西地方にて作戦。終戦時マーシャル将軍特使として来華の際張家口にて停戦委員を勤む。48年華北軍区参謀長。49年第4野戦軍副参謀長(参謀長は蕭克)。52年8月政務院第2機械工業部部長。54年9月国務院第2機械工業部部長。同月国防委員会委員。12月政治協商会議第二期全国委員会委員(共産党)。55年9月1級八一勳章、1級独立自由勳章および1級解放勳章を授与さる。56年4月全国先進生産者代表会議主席団員。9月中共第八期中央委員会委員。58年2月第2機械工業部部長解任。第1機械工業部部長。59年3月第二期全国人民代表大会四川省代表。先進生産者代表会議準備委員会委員。4月第1機械工業部部長、国防委

員会委員。60年7月当時国防委員会委員。9月国家經濟委員会副主任。

趙(趙)錫武 Chao Hsi-wu

59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(医薬衛生界代表)。

趙(趙)守一 Chao Shou-i

53年12月当時中共中央西北局宣伝部副部長。55年7月中国人民外交学会第三期理事會理事。58年4月当時陝西省委員会常務委員、5月当時陝西省委員会宣伝部部長。9月中華人民共和国科学技術協会第一期全国委員会主席団員。59年9月国務院副秘書長兼科学技術委員会委員。60年9月当時陝西省委員会候補書記。12月当時中国人民外交学会理事。

趙(趙)守攻 Chao Shou-kung

56年10月国務院專家局副局長。58年8月国務院專家局局長(同副局長を解任)。59年3月科学技術委員会委員。60年9月当時国務院副秘書長。

趙(趙)寿山 Chao Shou-shan

陝西省の人。農民出身。測量学校卒業後楊虎城軍旅長。西安事件当時西安の警備に任ず。戦後38軍軍長。掃共の前線に出征後左遷せられ軍事参議院参議。機を窺い天津より中共地区に入り、人民解放軍に加わる。48年以来西北地区における解放軍事に従事。第1野戦軍第2副司令員。49年9月政治協商会議第一期全国委員会委員。西北軍政委員会委員。50年1月青海省人民政府主席。52年11月陝西省人民政府主席。53年1月西北行政委員会委員。10月中国人民第3回訪鮮慰問団総団副団長兼第2総分団長として赴鮮。54年8月第一期全国人民代表大会陝西省代表。12月陝西省第一

期人民代表大会第2次會議で、陝西省省長に選出。58年4月当時陝西省省長。59年3月第二期全国人民代表大会陝西省代表。第二期全国人民代表大会常務委員会委員、国防委員会委員。第二期人民代表大会第1次會議で「陝西省の飛躍」について発言。60年8月当時陝西省省長。

趙(趙)树(樹)华(華) Chao Shu-hua

54年8月第一期全国人民代表大会貴州省代表。

趙(趙)树(樹)理 Chao Shu-li 1906~

山西省沁水県の人。沁水師範学校卒。文学者。作風は毛沢東が42年5月に指示した文艺文化の大衆化コースを具体化したものといわれ、また43年「小二黒結婚」を発表したときは中共地区で人気を呼んだ。作品は、ほかに中篇「李有才板話」、長編「李家莊的變遷」等。53年10月中国文学芸術界連合会第二期全国委員会委員。同月中国作家協会理事會理事。54年8月第一期全国人民代表大会河南省代表。56年9月中共八全大会で「更によい更に多くの文艺作品を群衆に供給せよ」と発言。59年3月第二期全国人民代表大会河南省代表。60年7月全国文艺工作者代表大会主席団。8月中国文学芸術界連合会第三期全国委員会委員。

趙聚鈺 Chao Chü-yü

57年6月国府行政院退役将兵就業輔導委員会秘書長。60年11月当時同会副主任委員。

趙(趙)潤普 Chao jun-pu

54年6月遼寧省人民政府委員。

趙(趙)如晏 Chao Ju-yên

現在53歳。48年接收委員として訪日。57年

12月訪日中共化学工業視察団団員。

趙(趙)承嘏 Chao Chêng-ku

54年7月第一期全国人民代表大会江西省代表。55年5月中国科学院物理学数学化学学部委員。59年3月第二期全国人民代表大会安徽省代表。4月第二期人民代表大会第1次會議で「祖国の医薬学遺産を發揚せよ」について発言。

趙(趙)承金 Chao Chêng-chin

55年2月熱河省人民委員会委員。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(特別招請人士)。

趙(趙)章成 Chao Chang-chêng

湖南省の人。現在48歳位。中共軍連長、營長、団長、師長、志願軍副参謀長を歴任といわれる。55年9月人民志願軍砲兵司令員。

趙(趙)鍾(鍾)奇 Chao Chung-chi

回族。53年5月中国国民文化協進会副主任。54年8月第一期全国人民代表大会雲南省代表。55年2月雲南省人民委員会委員。58年11月雲南省人民委員会委員および第二期全国人民代表大会雲南省代表。59年3月第二期全国人民代表大会雲南省代表。4月第二期人民代表大会第1次會議で「社会主义祖国の統一と民族の団結は各民族人民の最大の利益である」について合同発言。

趙(趙)辛初 Chao Hsin-chu

58年12月湖北省副省長。60年10月湖北省三秋検査団副総団長。11月当時中共湖北省委員会書記処書記。

趙琛 Chao Chên 1899~

浙江省の人。明治大学に学ぶ。23年以後中



国各地の大学の教授。32年～46年立法委員。46年～48年南京高等法院院長。48年11月～49年3月司法行政部長代理。49年司法行政部次長。51年行政院司法委員会および設計委員会委員。52年最高法院檢察長。56年8月1956年度公務員高等試験試験委員。著書「中国刑法」「行政法」。

赵(趙) 仁 虎 Chao Jên-hu

53年9月当時志願軍某部隊副団長。54年8月第一期全国人民代表大会志願軍代表。59年3月第二期全国人民代表大会軍隊代表。

赵(趙) 世 同 Chao Shih-tung

僮族。54年8月第一期全国人民代表大会広西省代表。59年3月第二期全国人民代表大会広西僮族自治区代表。4月同民族委員会委員。

赵(趙) 世 兰(蘭) Chao Shih-lan

53年4月中華全国民主婦女連合会第二期執行委員。54年8月第一期全国人民代表大会四川省代表。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(特別招請人士)。

赵(趙) 正 洪 Chao chêng-hung

54年6月遼東省人民政府委員を解任。61年5月当時国防体育協会副主任。同月当時訪ブラグ落下傘代表団長。

赵(趙) 政 一 Chao Chêng-i

53年6月当時中共駐ルーマニア大使館2等書記官。60年1月当時駐インドネシア大使館参事官。12月当時二重国籍問題条約実施合同委員会中国代表。

赵(趙) 青 Chao Ching

60年4月国際婦女大会(デンマーク)参加

中国婦女代表団員。

赵(趙) 清 Chao Ching

54年8月遼西省人民政府委員を解任。59年3月第二期全国人民代表大会遼寧省代表。

赵(趙) 誠 Chao Chêng

蒙古族。55年4月内蒙古自治区人民委員会委員。

赵(趙) 占 魁 Chao Chan-kui 1897~

山西省定襄の人。陝甘寧辺区特等労働英雄。赤貧の家に生れ、最初鍛冶屋の徒弟となり、後銅貨鑄造工場の職工となる。中共に入党後抗日大学および労働学校で学ぶ。40年甲種労働英雄勲章を受く。これを契機に中共におけるスタハノフ運動は趙占魁運動と呼ばれ、全辺区労働者階級の模範的旗じるしとされた。48年西北地区労働組合連合を代表してハルビンの第6回全国労働大会に参加、中華全国総工会執行委員。49年9月政治協商会議全国委員会委員。西北軍政委員会労働部副部長。53年3月当時西北行政委員会労働局長。54年7月当時中華全国総工会西北工作委員会副主任。同月第一期全国人民代表大会西安市代表。57年12月中国総工会第8次全国代表大会において中華全国総工会第八期執行委員。59年3月第二期全国人民代表大会陝西省代表。4月第二期人民代表大会第1次会議で「陝西の職員、労働者の創造的労働力」について発言。

赵(趙) 先〔女〕 Chao Hsien

55年2月上海市人民委員会委員。3月当時上海市民主婦女連合会主任。

赵(趙) 善 欢(歡) Chao Shan-huan

56年2月中国民主同盟第二期中央委員会候補委員。60年12月当時華南農学院副院長。

赵(趙) 祖 康 Chao Tsu-kang

浙江省の人。米留学。上海市工務局長。上海市規画建築管理局長。54年8月第一期全国人民代表大会上海市代表。55年2月武漢長江大橋技術顧問委員会委員。同月上海市人民委員会副主任委員。56年2月同会中央委員会委員。58年4月当時中国土木工程学会副理事長、上海市副市長。12月中国国民党革命委員会第四期中央委員会委員。59年3月第二期全国人民代表大会上海市代表。4月第二期人民代表大会第1次会議で「労働者大衆の智慧は無限」について発言。60年5月当時民革上海市委員会主任委員、政協上海市委員会常務委員。7月当時上海市副市長。

赵(趙) 宗 燠 Chao Tsung-yü

54年8月遼西省人民政府委員を解任。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(中国科学技術協会代表)。

赵(趙) 宗 复(復) Chao Tsung-fu

54年6月山西大学副校長を解任。12月当時太原工学院院長。

赵(趙) 蒼 壁 Chao Tsang-pi

58年7月四川省副省長。60年1月四川省各界人民春節部隊傷病兵慰問団団長。7月当時中共四川省委員会書記。

赵(趙) 増 益 Chao Tsêng-i

60年2月～61年当時中共昆明市委員会第1書記。2月当時政協昆明市委員会主席。

赵(趙) 大 庆(慶) Chao Ta-ching

59年3月第二期全国人民代表大会山西省代表。

赵(趙) 卓 Chao Chuo

53年4月雲南瀾滄拉祜族自治区人民政府副主席。

赵(趙) 卓 云(雲) Chao Chuo-yün

55年2月広西省人民委員会委員。同月政治協商会議第一期広西省委員会副主席。59年9月第二期全国人民代表大会民族事務委員会委員。

赵(趙) 达(達) Chao Ta

現在51歳。57年10月訪日中共農業技術団員。

赵(趙) 丹 Chao Tan

映画人。54年8月第一期全国人民代表大会山東省代表。59年3月第二期全国人民代表大会山東省代表。60年7月チェコ国際映画祭参加中国映画界代表団員。8月中国文学芸術界連合会第三期全国委員会委員。

赵(趙) 仲 时(時) Chao Chung-shih

53年10月当時中共駐インドネシア総領事。57年7月免駐ジャカルタ総領事。

赵(趙) 忠 尧(堯) Chao Chung-yao

科学者。アメリカに留学、カリフォルニア州立工科大学卒業後、物理学研究を継続。51年帰国。銭三強とならぶ原子物理学者。在米当時「カ」大学での研究に「第3種放射線吸収率之測定」がある。54年8月第一期全国人民代表大会浙江省代表。55年5月中国科学院物理学数学化学学部委員。6月同学部常務委員会委員。56年6月全国人民代表大会第3次会議主席団員。58年8月当時原子力研究所(在北京)副所長。59年3月第二期全国人民代表大会浙江省代表。4月第二期人民代表大会第1次会議で「科学研究もやはり大衆とともに



歩まなければならない」について合同発言。同上会議で「印度干渉者の挑発を中国人民はもう黙ってほっておくわけにいかない」について合同発言。

趙(趙) 超 构(構) Chao Chao-kou

新民報記者。49年9月政治協商會議出席代表。54年6月華東軍政委員会人民監察委員会委員を解任。8月第一期全国人民代表大会四川省代表。59年3月第二期全国人民代表大会上海市代表。4月第二期人民代表大会第1次會議で「文教事業の徹底的革命」について合同発言。60年3月中華全国新聞工作者協會理事會常務理事。6月当時上海新民晚報社社長。

趙 廷 樞 Chao Ting-shu 1906~

広東省の人。29年上海学院卒業。36年米シガン大学卒業。37年~40年審計部副会計検査官。40年~45年中央政治学校および復旦大学教授。45年~49年中国農民銀行出納課副課長。49年同銀行総務課長。51年~53年政府顧問(スポークスマン)。52年台湾銀行稽核室主任。

趙(趙) 鼎 新 Chao Ting-hsin

60年7月全国文芸工作者代表大会主席団。8月中国文学芸術界連合会第三期全国委員会委員。

趙(趙) 鉄(鐵) 夫 Chao Tieh-fu

53年9月ウィーンにて開催の世界労連第3回代表大会に中共工会代表団員として出席。11月当時中華全国総工会中南区工作委員会副主任。同月中共工会代表団員としてソ連十月革命36周年式典に参加のため訪ソ。55年8月当時武漢市工会連合会主席。57年12月中国工会第8次全国代表大会において中華全国総工

会第八期執行委員。

趙(趙) 展 山 Chao Chan-shan

54年12月当時中共平地泉行政区地方委員会書記。55年4月内蒙古自治区人民委員会委員。

趙(趙) 得 賢 Chao Tè-hsien

53年10月中国文学芸術界連合会第二期全国委員会委員。54年12月政治協商會議第二期全国委員会委員(中国文学芸術界連合会)。59年4月政治協商會議第三期全国委員会委員(中国文学芸術界連合会)。第二期人民代表大会第1次會議で「インドの野心家はチベットの反徒を救い切れない」について合同発言。60年8月中国文学芸術界連合会第三期全国委員会委員。

趙(趙) 德 云(雲) Chao Tè-yün

中国国際貿易促進委員会職員。55年10月~11月の間中共見本市代表団工作員として来日。

趙 篤 生 Chao Tu-shêng

53年10月当時中共中央山東分局統一戦線工作部副部長。

趙(趙) 伯 平 Chao Po-ping

陝西省の人。中共西安市委員会書記。陝西省人民政府委員。49年末西北軍政委員会財政經濟委員会委員、同委員会労働部部長。53年1月西北行政委員会委員。5月~11月当時中共中央西北局宣伝部部長。54年5月当時中共西安市委員会第1書記。6月西北軍政委員会土地改革委員会委員を解任。7月第一期全国人民代表大会西安市代表。12月陝西省副省長。55年4月~11月当時中共陝西省委員会第2書記。58年4月当時陝西省副省長。5月中共第

八期中央委員会候補委員。59年3月第二期全国人民代表大会陝西省代表。4月当時陝西省委員会書記。60年1月陝西省各界人民春節部隊傷病兵慰問団団長。10月当時陝西省委員会書記。12月当時陝西省副省長。

趙(趙) 发(發) 生 Chao Fa-shêng

55年9月国务院農産品採購部部長助理。59年9月糧食部副部長。60年7月当時同職。

趙(趙) 瀾 Chao Fan

音楽家。53年2月当時政務院文化部辦公庁副主任。9月~54年7月当時文化部辦公庁主任。53年9月中国音楽家協会秘書長。54年3月当時群衆歌曲評選委員会副主任委員。5月人民对外文化協會理事、同常務理事。12月ソ連展覽接待辦公室副主任。同月中ソ友好協会總會第二期理事会理事。55年4月国务院文化部芸術事業管理局副局長。6月芸術団副団長として第2回パリ演劇祭のため訪仏。11月訪英芸術団副団長。59年4月中国人民对外文化協會常務理事。5月中ソ友好協会第三期理事会理事。12月当時中央音楽院副院長。60年3月中国ラテンアメリカ友好協会常務理事。7月全国文芸工作者代表大会主席団員。8月中国文学芸術界連合会第三期全国委員会委員。9月中ソ友好協会總會第三期委員会理事、同常務理事。10月中国音楽家協会書記処書記。12月キューバ訪問中国友好代表団団員。

趙(趙) 范(範) Chao Fan

53年6月当時中央人民政府民族事務委員会委員。

趙(趙) 飞(飛) 克 Chao Fei-kê

55年5月中国科学院技術科学学部委員。6

月同学部常務委員会委員。56年3月国务院科学規画委員会委員。

趙(趙) 品 三 Chao Pin-san

59年4月政治協商會議第三期全国委員会委員(合作社代表)。

趙(趙) 斌 Chao Pin

54年8月第一期全国人民代表大会熱河省代表。55年1月中央体育学院副校長。59年3月第二期全国人民代表大会内蒙古自治区代表。

趙(趙) 敏 Chao Min 1914~

江蘇省揚州の人。小学校教師から37年革命運動に入る。同年揚州文化界救亡協會宣伝団と大別山に入り、民衆工作に従事。その後合肥、信陽公路の労働者、農民を結集して赤色労働組合と農会を結成。ついで霍山県動員委員会主任委員。48年8月中華全国総工会候補執行委員。49年中原職工總會準備委員会主任。53年4月当時中華全国総工会中南区工作委員会委員、武漢市総工会主席。同月チェコ解放8周年記念大会参加中華全国総工会代表団長としてプラーク訪問。5月中華全国総工会第七期執行委員会執行委員、当時中共武漢市委員会第2副書記。10月当時武漢市工会連合会主席。57年12月中華全国総工会第8回執行委員。

趙(趙) 武 成 Chao Wu-chêng

中共黨員。中共鄭州市委員会書記。中ソ友好協会開封分会委員。55年9月当時中共広州市委員会副書記。56年1月当時広州市委員会第2書記。60年5月当時中共広州市委員会書記。

趙(趙) 复(復) 三 Chao Fu-san

河北省の人。現在56歳位。燕京大学卒業。54年5月中国人民对外文化協會理事。6月当



時中華聖公会華北教区総幹事。55年10月当時燕京協和神学院副教務長、中華聖公会会長。11月当時北京中華キリスト教青年会副総幹事。

趙(趙)文甫 Chao Wên-fu

54年8月第一期全国人民代表大会河南省代表。55年2月河南省副省長。58年12月同。59年3月第二期全国人民代表大会河南省代表。4月第二期人民代表大会第1次會議で「今月は小麦のさらに大きな豊収をかちとろう」について発言。60年3月当時河南省委員会書記。

趙(趙)文隆 Chao Wên-lung

54年11月最高人民檢察院檢察員。58年4月当時同職。

趙(趙)秉經 Chao ping-ching

61年10月当時雲南省農業庁長。

趙(趙)屏国 Chao Ping-kuo

60年9月第16回国際音楽コンクール(ジュネーブ)参加中国音楽工作者代表団員。

趙(趙)炳梓 Chao Ping-tzu

60年5月当時交通部辦公庁副主任。

趙(趙)炳南 Chao Ping-nan

56年5月当時著名な漢方医師、北京市漢方医院顧問。58年2月中国・アラブ連合友好協合理事。60年4月中国・アフリカ人民友好協合理事。

趙(趙)步洲 Chao Pu-chou

56年12月当時中国畜産出口公司天津分公司經理。

趙(趙)方 Chao Fang

55年1月四川省高級人民法院院長。

趙(趙)烽〔女〕 Chao Fêng

60年3月オーストラリア訪問中国婦女代表。当時全国婦女連合会執行委員。

趙(趙)凤(鳳)岐 Chao Fêng-chi

人民解放軍政治部宣伝部部長。53年1月貴州大学校長。54年8月昆明工学院院長。

趙(趙)宝(寶)桐 Chao Pao-tung

陝西省の人。現在41歳位。ソ連より帰国後51年中共軍華南空軍司令員。53年朝鮮戦線に出動、「空軍1級英雄」の称号を受く。

趙(趙)鵬(飛) Chao Pêng-fei

55年4月最高人民檢察院檢察員。58年4月当時同職。11月最高人民檢察院檢察委員会委員。60年6月当時北京市副市長。

趙(趙)朴(樸) Chao Pu

54年6月当時西康省人民檢察署檢察長。同月西康省人民政府委員。

趙(趙)朴(樸)初 Chao Pu-chu 1907~

49年9月政治協商會議全国委員会委員。50年4月中国民主促進会中央理事会理事。53年6月当時中国仏教協会準備処主任。同月中国仏教協会副会長兼常務理事。54年5月中国人民対外文化協合理事。8月第一期全国人民代表大会安徽省代表。12月政治協商會議第二期全国委員会委員(宗教界)。同月中ソ友好協会第2次全国代表会代表(宗教界)。55年4月中国仏教訪緬代表団秘書長としてビルマを訪問。7月当時中国人民救済総会執行委員会委員。8月原爆禁止世界大会(広島)代表団員

として来日。同月各国議會連盟参加の人民代表団執行委員会委員。同月中印友好協合理事。10月中国仏牙護送団団長としてビルマ訪問。55年当時中国民主促進会中央常務理事。56年2月中国亞洲團結委員会委員。57年8月第3回原水爆禁止世界大会(東京)参加代表団副団長。58年7月中国人民保衛世界和平委員会常務委員、同委員。中国アジアアフリカ團結委員会委員。12月中国民主促進会第五期中央委員会常務委員、同委員。59年3月第二期全国人民代表大会安徽省代表。4月政治協商會議第三期全国委員会委員(宗教界代表)。当時中国仏教協会副会長、同秘書長。59年8月当時中国ネパール友好協合理事。11月中国ビルマ友好協会副会長。60年1月ヴィエトナム中国文化友好訪問代表団副団長。8月第6回原水爆禁止世界大会(広島)参加中共代表団副団長。61年6月セイロン仏教代表団と共にセイロン訪問。7月世界宗教者平和會議(京都)参加。8月第7回原水爆禁止世界大会(東京)参加中共代表団団長。10月中国紅十字会副会長当選。

趙(趙)凡 Chao Fan

53年10月中国人民第3回訪鮮慰問団第6総分団副秘書長として赴鮮。12月北京市公債推銷(消化推進)委員会副主任委員。55年5月当時北京市人民委員会農林水利辦公室主任。60年2月当時中共北京市委員会農村工作部長。10月当時北京市人民委員会農村工作委员会主任。

趙(趙)夢(夢)朱 Chao Mêng-chu

55年2月遼寧省人民委員会委員。

趙(趙)明新 Chao Ming-hsin

53年1月華東婚姻法貫徹運動委員会副主任。54年6月華東軍政委員会人民監察委員会委員

解任。

趙(趙)明甫〔名、亮〕

Chao Ming-fu [Liang] 1904~

山西省渾源県の人。29年山西大学探礦冶金科卒。山西省工商庁科員。37年同省建設庁礦務科員。49年~54年8月当時中央人民政府水利部黄河水利委員会副主任。

趙(趙)毛臣 Chao Mao-chên

53年10月当時志願軍特等功臣。54年8月第一期全国人民代表大会志願軍代表。55年7月同大会第2次會議主席団団員。56年6月同大会第3次會議主席団団員。59年3月第二期全国人民代表大会軍隊代表。

趙(趙)孟明 Chao Mêng-ming

55年1月四川省人民委員会委員。

趙(趙)沐卿 Chao Mu-ching

53年11月全国工商業連合会執行委員。56年12月全国工商連第二期執行委員(山西省)。

趙(趙)鎔 Chao Jung

55年9月1級解放勳章授与さる。59年4月政治協商會議第三期全国委員会委員(特別招請人士)。

趙(趙)欲樵 Chao Yü-chiao

58年9月貴州省副省長。60年7月当時同職。

趙(趙)乐(樂)羣 Chao Lê-chün

僮族。54年8月第一期全国人民代表大会広西省代表。9月同大会民族委員会委員。10月広西省桂西僮族自治区協商委員会副秘書長。55年2月広西省人民委員会委員。56年3月桂西僮族自治区副州長。59年3月第二期全国人



民代表大会広西僑族自治区代表。4月同民族委員会委員。第二期人民代表大会第1次會議で「広西僑族自治区教育事業の大発展」について合同発言。

趙(趙) 立德 Chao Li-tê

54年9月西南軍政委員会財政經濟委員会委員を解任。55年11月國務院交通部部長助理。

趙(趙) 林 Chao Lin

江西省の人。49年末賀竜部隊に入り、四川省に赴き、川北区党委員会副書記兼西南軍政委員会副書記。51年～53年西南軍政委員会委員。53年1月西南行政委員会委員。55年1月四川省人民委員会委員。同月政治協商會議第一期四川省委員会副主席。60年6月当時中共吉林省委員会書記処第2書記。

趙(趙) 霖 Chao Lin

55年2月河南省人民委員会委員。

趙(趙) 令德 Chao Ling-tê

北鮮華僑連合總會委員長。49年10月中央人民政府華僑事務委員会委員。

趙 連 芳 [蘭屏] Chao Lien-fang  
[Lan-ping] 1894～

河南省羅山県の人。27年米ウイスクンシン大学博士。広西農務局農芸部主任兼技師。国立中央大学農林科教授。34年～36年全国經濟委員会農業処長。36年～45年全国農業調查局米穀部長。45年～47年台湾省政府農林処長。47年～48年農林部主任技士。48年以来立法委員、国立台湾大学教授。57年中央研究院院士。

沈 亞(亞)綱 Shên Ya-kang

60年6月当時中共吉林省委員会書記処書記。

沈 以 宏 Shên I-hung

53年11月 全国 工商業連合会 第一期 執行委員。55年6月当時武漢市商業局副局長。56年12月全国工商連第二期執行委員 (湖北省)。

沈 怡 [君怡] Shên-i

[Chün-i] 1901～

浙江省嘉興県の人。20年同済大学卒業。25年ドイツのドレスデン大学卒業、工学博士。中国工程師学会正会員、中国科学社員、漢口市工務局技師兼科長。27年～37年上海市政府工務局局長、導准委員会委員、黄河水利委員会委員。38年全国資源委員会実業委員会主席秘書兼委員長。41年甘肅省建設庁長。41年～45年甘肅農業開發公司(水利林牧公司)総経理。45年2月交通部政務次長。9月大連市長。45年～47年最高国家經濟會議公共土木事業委員会長。46年～48年南京市長。48年12月孫科内閣の水利部長。49年エカフェ洪水防止局長。60年5月交通部長、行政院政務委員。著書「市政工程概論」「社会進化史」「黄河年表」等。

沈 育 民 [女] Shên Yü-min

55年2月広東省人民委員会委員。

沈 一 公 Shên I-kung

55年2月広東省人民委員会委員。

沈 尹 默 Shên Yin-mo 1882～

浙江省呉興県の人。京都帝国大学文科卒業。五・四運動時代の新詩人。その後古詩に転向。国立北京大学教授、燕京大学教授、中法大学教授兼孔徳学校長を経て、28年河北省政府委員兼教育庁長。30年辞任。31年国立北平大学校長。55年2月上海市人民委員会委員。59年4月政治協商會議第三期全国委員会委員(無党派民主人士)。60年8月中国文学芸術界連合

会第三期全国委員会委員。著書「秋明集」。

沈 榮(榮)炫 Shên Jung-hsüan

55年10月～11月中共見本市代表团工作員として来日。当時中国国際貿易促進委員会職員。

沈 亦 珍 Shên I-chên

(Yi-tsên) 1900～

江蘇省の人。22年香港大学卒業。35年米ミシガン大学卒業。23年～34年教授。38年～41年甘肅省政府教育庁長。41年～44年復旦大学及び中央大学教授。44年～46年教育部視学。49年～50年台湾大学教授。50年教育部普通教育司長。著書「中学校に於ける天才児童の教育」「初級中学校用英語読本」。

沈 越 Shên Yüeh

吉林省の人。現在52歳位。もと中共中央東北局政策研究室主任。53年1月熱河省人民政府主席。54年1月当時中共熱河省委員会第2書記。

沈 涵 Shên Han

54年2月当時人民解放軍慰問代表团第4総分団(華東)副団長。54年4月当時上海総工会副主席、メーデー参列代表团団員。55年1月当時上海市工会連合会第二期委員会委員。57年12月中華全国総工会第八期執行委員。60年4月中国アフリカ人民友好協会理事。61年5月当時上海市総工会副主席。

沈 翰 卿 Shên Han-ching

56年12月全国工商業連合会第二期執行委員(江西省)。

沈 雁 冰 [筆名、茅盾]

Shên Yèn-ping [Mao Tun] 1896～

浙江省桐郷の人。作家、文芸評論家、初期は評論、海外文学紹介に努力。三部作「蝕」「大過渡期」以後ロマン作家として成長、魯迅の精神を継承したといわれる。日華事変中も創作活動をし「霜葉紅於二月花」を執筆。民族形式国語文学の問題を追求。戦後ソ連に招かれ、「ソ連見聞記」を書く。文匯報に長編「鍛錬」を連載。49年9月政治協商會議第一期全国委員会常務委員。10月政務院文化教育委員会副主任、政務院文化部長。当時中華全国文学芸術界連合会副主席、中華全国文学工作者協会主席。53年1月憲法起草委員会委員。同月文化代表団長としてポーランド訪問、中ポ文化協力協定に調印。2月中央選挙委員会委員。9月全国文学工作者代表大会にて「新しい現実と新任務」について報告。10月中国作家協会理事会主席。11月ウィーンにて開催の世界平和理事会に出席。54年1月当時抗米援朝總會常務委員。5月対外文化協会理事。同月世界平和理事会ベルリン特別會議に出席。8月第一期全国人民代表大会山東省代表。9月國務院文化部部長。12月政治協商會議第二期全国委員会常務委員。同月中ソ友好協会第二期副会長。55年5月中国科学院哲学社会科学学部委員。6月ヘルシンキの世界平和大会中共代表团団長。56年2月中国亞洲團結委員会副主席。同月中央標準語普及工作委員会委員。3月全国文盲一掃協会委員。57年3月中共・チェッコ文化合作協定(北京)調印。6月中共・ユーゴ文化協定(北京)調印。9月中国作家協会主席として丁玲、陳企霞グループの反党批判を作家協会會議においてなす。58年4月当時中国文学芸術界連合会副主席、中国作家協会書記処書記兼第1書記。國務院文化部部長。7月中国人民保衛世界和平委員会常務委員。中国・アジア・アフリカ團結委員会副主席。9月中国・ポーランド友好協会会長。59年3月第二期全国人民代表大会山東省代表。



4月政治協商會議第三期全國委員會委員（中國文學藝術界連合會），同常務委員，五四40周年紀念準備委員會委員。第三期全國人民政治協商會議第三期1次全體會議主席團員。文化部部长。5月中ソ友好協會第三期副會長。7月當時中國・ポーランド友好協會會長。10月論文「新中国社會主義文化藝術的輝煌成就」を文匯報に発表。60年2月教育文化衛生體育關係，社會主義建設先進グループ先進活動家全國代表大會準備委員會副主任委員，同會委員。6月全國文教先進工作者代表大會主席團員。7月當時全國文學藝術界連合會副主席。8月ポーランド訪問中國文化代表團團長。中國作家協會主席，中國文學藝術界連合會第三期全國委員會委員。

#### 沈其益 Shên Chi-i

植物學者。54年8月第一期全國人民代表大會安徽省代表，56年3月當時北京農業大學教務長。59年3月第二期全國人民代表大會安徽省代表。61年10月當時北京農業大學副校長。主要論文，「中國二屬半知菌之研究」「南北填菌記載」等。

#### 沈其震 Shên Chi-chên

醫學者。53年2月～5月中國科學院訪ソ代表團團員として訪ソ。10月當時中央衛生研究院院長。54年8月第一期全國人民代表大會湖南省代表。55年5月中國科學院生物學地學學部委員。6月同常務委員會委員。59年3月第二期全國人民代表大會湖南省代表。4月同大會第1次會議で「醫學科學躍進につぐ躍進」について合同發言。60年5月當時中國東獨友好協會理事。60年5月～61年10月當時中國醫學科學院副院長。

#### 沈其鑄 Shen Chi-chu

現在46歳。57年10月訪日中共農業技術團

員。

#### 沈起予 [綺雨] Shên Chi-yü

[Chi yü] 1904～

四川省巴縣の人。27年日本第3高等学校卒。帰国後郭沫若等の創造社の文学運動に参加。36年6月中国文芸家協会設立に奔走し同会理事，また洪深とともに同年6月より雑誌「光明」の編集に当る。作品「露」「碑」「出発之前」，およびロマン・ローランの訳註。

#### 沈 鎡 [春丞] Shên Chi

(Sampson C. Shen)[Chun-chêng] 1917～

浙江省の人。40年中央政治学校大学部新聞系卒業。インド国際大学研究員。45年インドベナルス大学文学博士。40年～47年中央宣伝部国際宣伝処辦事員，科員，專員，科長。47年～49年行政院新聞局専門委員，簡任秘書。49年台湾省政府参議，国立政治大学新聞系教授。51年～52年政府發言人辦公室組長兼室務代理主任。52年以來総統府秘書。54年以來国民党中央委員會第4組副主任。56年1月国府行政院新聞局長。58年7月行政院新聞局局長留任。61年6月駐コンゴ（ブラザヴィル）大使。

#### 沈協(協)和 Shên Hsieh-hâ 1913～

41年日本京都蚕糸専門学校卒業。57年3月訪日中国糸綢公司代表團員。

#### 沈鈞儒 [衡山] Shên Chün-ju

[Hêng-shan] 1873～

浙江省嘉興県の人。清朝進士。東京法政大学卒業。若くして同盟会に入る。27年浙江省政府委員兼秘書長。30年上海法科大学教務長。弁護士開業。上海弁護士会主席。36年11月全国各界救国連合会幹部として「危害民国緊急

治罪法」に触れて逮捕（いわゆる「救国七君子」の1人）。37年日華事変勃発後釈放。国民参政員となる。41年張瀾，章伯鈞，黄炎培，羅隆基，鄧初民，史良等と民主政団同盟（45年10月中国民主同盟と改称）を組織。46年1月政治協商會議民主同盟代表。48年9月中共地区に入る。49年9月政治協商會議第一期全國委員會副主席。10月～54年9月中央人民政府委員，最高人民法院院長。49年12月中国民主同盟副主席，中央常務委員，中央政治局員。51年9月ベルリンの国際民主法律家會議中共代表。53年1月米国のスパイ，ローゼンバーグ夫妻死刑に関し，国際民主法律工作者協會副主席として抗議。同月婚姻法貫徹運動委員會主任，憲法起草委員會委員。54年6月當時中国政治法律学会理事会副主席。8月第一期全國人民代表大會上海市代表。9月同大會常務委員會副委員長。12月政治協商會議第二期全國委員會副主席。55年2月張瀾死去のため中国民主同盟主席代理。56年2月民主同盟中央委員會主席。3月政治法律学会第二期副會長。57年9月當時中国民主同盟中央常務委員會主席。ソ連社會主義革命40周年慶祝準備委員會委員。12月中国民主同盟第三期中央委員會主席。59年3月第二期全國人民代表大會上海市代表。4月同大會第1次會議の主席團員。同月政治協商會議第三期全國委員會委員（中国民主同盟）。同會議第1次全體會議主席團員。同月第二期全國人民代表大會常務委員會副委員長。政治協商會議第三期全國委員會副主席。5月中ソ友好協會第二期副會長。同月中ソ友好協會第三期副會長。7月當時中国政治法律学会第三期副會長。国際民主法律工作者協會副主席。60年3月第二期全國人民代表大會第2次會議主席團員。

#### 沈 覬 鼎 [淪新] Shên Chin-ting

[Yüeh-hsin] 1895～

福建省閩侯県の人。9歳の時渡日。20年東京帝国大学農学部卒業。同年北京政府外交部秘書。条約委員會委員，中央政治會議民食委員會専門委員，中央政治学校講師，中央大学副教授，4全大会出席代表を歴任。22年ワシントン會議中国代表部附。27年特命全權公使待遇。28年北京政府外交部情報局副局長，北京政府倒壊後，南京国民政府考試院参事，外交部条約委員會顧問。32年外交部亞洲局長。同年秋寿府の国際連盟會議に参加。34年駐パナマ公使。46年4月対日理事会中国代表部首席顧問，中国駐日代表團副團長。50年～51年駐キューバ公使。51年～55年駐ブラジル大使，56年1月ブラジル新任大統領就任儀式慶賀特使。56年5月～59年3月駐日大使。59年8月政治大学外交研究所所長。60年6月コンゴ（白）共和国独立式典特使。61年1月駐コンゴ（白）大使。著書，日文「三民主義」「日本官制規之研究」「東文新教程」。

#### 沈 慧 蓮 [女] Shên Hui-lien

(Shun, Wei-lien) 1900～

広東省の人。亜東医学校卒業。広東貧民病院院長，重慶農業部落学校長，中国婦女福祉協會會長，国民党中国婦女運動委員會主席，国民党中央委員を歴任。56年當時中華婦女反共抗ソ連合会常任委員，国民大会代表，中国紅十字会副總裁，中華婦女福利協會會長，中国出征軍属福利協會會長。57年當時中国出征軍属福利協會及び中華婦女福利協會責任者。

#### 沈 劍 虹 Shên Chien hung 1908～

上海の人。燕京大学新聞学部卒。ミズリー新聞学院碩士。中共通訊社英文部編集部員，ロイター南京支社編集部員。もと国民党中央宣伝部国際宣伝処科長。国際宣伝処サンフランシスコ辦事処主任，行政院新聞局第2処長



歴任。56年総統府秘書，行政院新聞局顧問，中国放送会社顧問。59年11月外交部情報司長。61年7月国府行政院新聞局局長，陳誠副総統の訪米に随行。情報司長就任後も総統府参議の身分で，総統府秘書事務を兼任す。

沈 元 Shên Yüan

清華大学航空工程学院院長。53年1月北京航空学院副院長。

沈 元 暉〔女〕 Shên Yüan-hui

53年4月当時中華護士（看護婦）学会理事長。同月世界婦人大会出席代表団員。同月中華全国民主婦女連合会第二期執行委員，55年6月世界母親大会中共代表団員としてスイスに赴く。60年4月当時全国婦連執行委員。

沈 現 綸 Shên Hsien-lun

56年9月中共駐カンボディア経済使節団員。

沈 孔 Shên Kung

(Sim Khong) 1901~

福建省の人。シンガポール在住華僑。建築材料商。沈招茂号店主，新源順豊有限公司董事。56年7月シンガポール工商業貿易視察団員として日本ついで中共を訪問。

沈 鴻 Shên Hung

江蘇省上海生れ。リンネル商の徒弟，正規の教育を受けず。機械に興味を持ち，上海で機械商を開く。第2次上海事変前に工場連合会，工商業の奥地移転を主張し，労働者技師をつれ漢口へ，ついで8路軍辦事処と接衝して陝北に行き，安塞兵工廠の廠長兼技師となり，臼砲，投擲機，小型軽機関銃，綿繰機，

紡績機，梳き機などを考案，「辺区工業の父」と呼ばれた。44年5月陝甘寧辺区の労働英雄。48年晋察冀辺区政府工業局の機械技師。48年8月~53年8月全国総工会執行委員。48年8月~49年10月華北人民政府企業部に勤務。49年6月~50年8月第一期全華民族科学労働者会議準備委員会常任委員。49年9月第一期政治協商会議に総工会の候補代表。50年1月~2月周恩来に随行モスコウ訪問。6月政務院財政・経済問題委員会中央財政，経済計画局の重工業計画副主任。55年4月~56年5月第3機械工業部部長助理。57年中国ユーゴ科学，技術企業合同委員会中国部会議長。57年6月水利電力部副部長。57年11月煤炭工業部副部長。59年9月農業機械部副部長。60年7月当時同職。

沈 鴻 烈〔成章〕 Shên Hung-lich

[Chêng-chang] 1880~

湖北省天門県の人。清時代日本海軍に留学。民国成立以来，海軍部参謀本部華北各省に服務。22年東三省航警処長，爾来東北海軍の全権を掌握す。37年日華事変発生当時青島市長，後山東省政府主席兼同省党部主任委員。戦時中農林部長，国家総動員会議秘書長，党政工作考試委員会秘書長を歴任。戦後浙江省政府主席。48年~49年銓叙部部長。53年当時台湾在住。60年7月当時総統府国策顧問。

沈 克 非 Shên Kê-fei

(James K. Shen) 1898~

四川省重慶の人。19年国立北京清華大学卒業。24年米ウエスタンリザーブ大学医学博士。36年~40年中央病院長。40年~47年衛生保健管理処長。47年上海中山病院院長。49年末~54年6月華東軍政委員会文化教育委員会委員。54年8月第一期全国人民代表大會上海市代表。56年11月中国エジプト友好協会理事。58年2

月中国アラブ連合友好協会理事。4月当時中華医学会副会長。59年3月第二期全国人民代表大會上海市代表。4月第二期人民代表大會第1次會議で「努力して党の教育方針を貫徹しよう」について合同発言。

沈 谷 南〔女〕 Shên Ku-nan

53年4月中華全国民主婦女連合会第二期執行委員。10月北鮮慰問。54年7月第一期全国人民代表大會重慶市代表。59年3月第二期全国人民代表大會安徽省代表。

沈 濟(濟)川 Shên Chi-chuan

59年4月政治協商會議第三期全国委員会委員(特別招請人士)。

沈 策 Shên Tsé

54年8月第一期全国人民代表大會鞍山市代表。57年12月中国工会第8次全国人民代表大會において中華全国総工会第八期執行委員。58年4月当時中国重工業工会全国委員会主席団員。8月中華全国総工会執行委員。60年6月当時浙江省総工会主席。

沈 士 華 Shên Shih-hua

(Tze-hua) 1888~

浙江省の人。24年上海セントジョーンズ大学卒業，ベルリン大学留学。33年交通部管理局長。40年ベルリン大学博士号。42年運輸統制管理局ラングーン事務所長。42年~45年インド駐在員。45年~46年上海市政府秘書長。47年国府駐オーストラリア公使。

沈 子 修 Shên Tzu-hsiu

安徽省の人。現在72歳位。49年当時中国民主同盟皖北(安徽省北部)支部臨時工作委員

主任委員，皖北人民行政公署副主任。49年末~53年1月華東軍政委員会委員，同文化教育委員会委員。52年8月安徽省人民政府副主席。53年1月華東行政委員会委員。55年3月安徽省副省長。

沈 志 远(遠) Shên Chih-Yüan 1902~

浙江省蕭山県の人。暨南大学，中国公学，上海法学院，北京大学，東北大学各教授を歴任。49年中国人民救国会の代表として(当時同会中央委員)新政治協商會議準備会に参加。10月政務院文化教育委員会委員，同院出版總署翻譯局局長。燕京大学教授。12月民主同盟中央委員。49年末~53年1月華東軍政委員会委員，同文化教育委員会副主任。53年1月華東行政委員会委員。54年8月第一期全国人民代表大會上海市代表。12月中ソ友好協会第2次全国代表会代表。55年2月上海人民原子兵器使用反対署名運動委員会副主席，上海市人民委員会委員。5月政治協商會議上海市第一期委員会副主席，中国科学院哲学社会科学学部委員。56年2月民主同盟第二期中央常務委員会委員。58年2月第一期全国人民代表大會第5次會議において右派分子の理由により代表資格を剝奪。12月中国民主同盟第三期中央委員会委員。59年4月政治協商會議第三期全国委員会委員(特別招請人士)。60年1月右派分子としてのレッテルを除去せらる。著書「新経済大綱」「世界経済危機」「計画経済学大綱」「新人生観講話」等。

沈 茲 九〔女〕 Shên Tzu-chiu

杭州の人。左翼女流作家。現在51歳位。胡愈之の妻。日本の女子師範学校卒業。小学教員。一時国外に逃避し，30年帰国，33年申報社に入り「婦女生活」誌を創刊，その主筆。49年9月政治協商會議全国委員会委員。同年



末中央人民政府政務院文化教育委員会委員。  
当時中華全国民主婦女連合会宣教部部长。53年4月中華全国民主婦女連合会第二期執行委員会常務委員兼書記、コペンハーゲンの世界婦人大会に出席。当時「新中国婦女」社社長。54年8月第一期全国人民代表大會浙江省代表。12月政治協商會議第二期全国委員会委員。56年2月民主同盟第二期中央委員会委員。3月当時政治協商會議全国委員会婦女組副組長。10月中華全国婦国華僑連合会常務委員会委員。57年9月中華人民共和國全国婦女連合会主席団員、同執行委員。58年7月中国人民保衛世界和平委員会委員。12月中国民主同盟第三期中央常務委員会常務委員。59年3月第二期全国人民代表大會浙江省代表。4月政治協商會議第三期全国委員会委員（対外平和友好団体代表）、華僑事務委員会委員。9月当時全国婦女連合会主席団員。60年2月中ソ同盟10周年祝賀訪ソ中ソ友好協会代表団団員。4月中国アフリカ人民友好協会理事。10月当時中国政治法律学会理事。

沈 寿 銓 Shên Shou-chüan  
55年3月山東省人民委員会委員。

沈 從 文 Shên Tsung-wên 1902~  
湖南省鳳凰県の人。作家。少年時代を湖南の軍隊で送る。29年吳淞中国公学教授。31年武漢大学教授。33年青島大学教授。34年大公報文芸欄編集員。36年~45年西南連合大学教授。46年北京大学教授。この間胡適に認められ新月派の文学運動に参加、「辺城」（辺境の苗族生活）「従文自伝」（従軍生活）等を発表。戦時中は昆明で教鞭をとり創作を絶つ。戦後北京にもどり、「私の学習」（自己批判）を発表。54年4月当時民音研究所通信研究員。56年1月政治協商會議第二期全国委員会特別招請委員。59年4月政治協商會議第三期全国

委員会委員（特別招請人士）。

沈 昌 煥 Shên Chang-huan 1913~  
江蘇省呉県の人。33年光華大学卒業。34年~35年燕京大学に学ぶ。37年米ミシガン大学卒業。37年~40年広東中山大学教授。41年外交部に入る。43年~44年中国派遣米軍司令部参事。45年総統秘書。48年外交部礼賓司長。49年以来台湾省政府顧問。50年宣伝部次長。50年~52年国民党改造委員。50年~54年政府發言人。52年国府行政院新聞局長、国民党改造委員会第4組主任。52年以来国民党中央委員常務委員。52年~54年国民党中央委員会第4組主任。54年以来外交部政務次長。57年7月中南米各国訪問中華民國特使。ドミニカ共和国大統領就任式慶祝特使。58年7月外交部政務次長留任。59年3月外交部政務次長解任。59年3月~60年7月駐スペイン大使。8月第14回国連通常総会全権代表。60年5月外交部長、政務委員。61年4月中華民国・ニカラグア共和国間文化協定全権代表。6月立法院本会議で外蒙の国連加盟申請及び米国と外蒙古との国交樹立交渉問題について報告。

沈 粹 纘〔女〕 Shên Tsui-chên  
54年12月政治協商會議第二期全国委員会委員（中華全国民主婦女連合会）。55年5月~56年5月当時上海市民主婦女連合会副主任。59年4月政治協商會議第三期全国委員会委員（中華全国婦女連合会）。

沈 西 蒙 Shên Hsi-mêng  
61年2月当時対外文化協会南京分会副会長。

沈 霽 春 Shên Chi-chun  
生理学者。53年2月~5月中国科学院訪ソ代表団団員。

沈 祖 壽 Shên Tsu-hsün  
61年7月国府駐タヒチ総領事。

沈 宗 瀚〔海槎〕 Shên Tsung-han  
[Hai-cha] 1895~  
浙江省余姚県の人。18年北京国立農業専門学校、米ジョージア州立大学卒。27年コーネル大学農学博士、南京金陵大学農学院教授兼農芸系主任、実業部技正。34年~46年実業部中央農業実験所総技師、太平洋科学会議中国代表、江蘇、浙江、山東、湖北、河南、福建各省政府農業委員会委員を歴任。中国農業改進上の一指導者。46年中央農業実験所所長。48年中国農林復興委員会委員。著書「改良品種並増進中国之糧食」「小麦抗線虫病之遺伝研究」「雜交小麦對於稈黑粉病之抵抗遺伝」「水稻直播与移之比較試験」等30余編。中国、米国、カナダの雑誌に寄稿。

沈 宗 琳 Shên Tsung-lin 1912~  
江蘇省の人。34年~36年晨報記者。38年~40年民国日報主筆。41年~51年中央通訊社記者。52年~53年同社副主筆。53年以来同総編集。

沈 体 兰〔蘭〕 Shên Ti-lan 1900~  
江蘇省呉江の人。教育者。東呉大学卒業。英オックスフォード大学卒業。麦倫中学校長、東呉大学文学院院长、燕京大学秘書長、上海セント・ジョーンズ大学教授、YMCA 全国協会幹事等を歴任。49年末~54年9月政務院文化教育委員会委員。51年~54年6月華東軍政委員会文化教育委員会委員。54年12月政治協商會議第二期全国委員会委員。55年2月上海市人民委員会委員。59年4月政治協商會議第三期全国委員会委員（特別招請人士）。60年4月当時政協上海市委員会副主席。

沈 仲 剛 Shên Chung-kang  
江西省の人。現在48歳位。江西ソヴィエト区紅軍学校卒業。56年当時人民解放軍鉄道兵団訓練部長。

沈 鑄 东 Shên Chu-tung  
元国民政府第14兵団副司令、中将。川湘鄂綏靖公署副主任。56年7月当時政治協商會議江蘇省委員会委員。

沈 肇 Shên Chao  
54年12月政治協商會議第二期全国委員会委員（特別招請人士）。

沈 肇 年 Shên Chao-nien 1879~  
湖北省天門県の人。湖北省財政庁員、国府財政部庫蔵司長、湖北省政府財政庁長等を歴任。54年12月政治協商會議第二期全国委員会特別招請委員。55年2月湖北省人民委員会委員。59年4月政治協商會議第三期全国委員会委員（特別招請人士）。

沈 图〔圖〕 Shên Tu  
54年7月当時中ソ民用航空公司総経理。12月中共政府中ソ民用航空交渉代表団団員。61年5月中共、セイロン航空路試験飛行中共代表団団長。当時中国民間航空局副局長。

沈 德 建 Shên Tè-chien  
54年8月第一期全国人民代表大會上海市代表。59年3月第二期全国人民代表大會湖南省代表。

沈 德 燮 Shên Tè-hsieh 1895~  
福建省の人。英国ヴィッカーズとロールス・ロイスにおいて航空工学を学び、米国にて軍事飛行術を学ぶ。22年米国陸軍飛行部隊ポス



トフィールド・ケリーフィールドを卒業。44年～45年航空委員会主席代理。45年～47年中国航空会社総経理。47年～49年同社副董事長。

沈 德 溶 Shên Tè-jung

54年8月中国キリスト教三自愛国運動委員会全国委員会委員兼常務委員会常務委員。

沈 佩 华(華)〔女〕 Shên Pèi-hua

59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(中国文学芸術界連合会代表)。

沈 發 藻 Shên Fa-tsao

60年11月当時総統府戦略顧問委員会顧問。

沈 浮 Shên Fu

映画監督。49年当時上海崑崙影片公司監督。49年末～54年6月華東軍政委員会文化教育委員会委員。53年4月第7回労働大会上海市代表。10月中国文学芸術界連合会第二期全国委員会委員。54年12月政治協商会議第二期全国委員会委員。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(無党無派民主人士)。60年7月全国文芸工作者代表大会主席団員。8月中国文学芸術界連合会第三期全国委員会委員。

沈 文 Shên Wên

60年4月当時中国アフリカ人民友好協会副総幹事。

沈 平 Shên Ping

53年当時中央人民政府外交部交際処副処長として中共政府と外蒙、ルーマニア、ハンガリア、チェコ、ポーランド等との間の各種協定調印式に列席。55年7月～59年4月駐ジュネーブ総領事。59年4月外交部第1アジア司副司長。60年10月当時国務院外交部第1亜州司副司長。61年3月インドネシア友好訪問中

共政府代表団団員。

沈 方 成 Shên Fang-chêng

59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(中華全国婦女連合会代表)。

沈 凤(鳳)英 Shên Fêng-ying

59年3月第二期全国人民代表大会浙江省代表。

沈 鵬 飞(飛) Shên Pêng-fei

56年3月当時華南農学院林業系主任。同月政治協商会議広東省第一期委員会常務委員。

沈 养(養)山 Shên Yang-shan

54年11月国務院司法部副部長。

沈 膺 Shên Ying

55年3月山東省人民委員会委員。

沈 兰(蘭)之 Shên Lan-chih

50年～54年9月西南軍政委員会財政經濟委員会委員。54年1月当時中共四川省委員会財政委員会副主任。55年1月四川省人民委員会委員。

陈爱(愛)尔(爾)德尼巴图(圖)

Chenai Erdeni-bat

蒙古族。54年4月当時寧夏省蒙古自治区人民政府副主席。

陈 伊 林 Chên I-lin

59年4月第二期人民代表大会第1次会議で「祖国工業化の前途は錦で飾られている」について合同発言。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(中国農工民主党代表)。

陈 伟(偉)达(達) Chên Wei-ta

60年11月当時中共浙江省委員会書記処書記。61年5月当時浙江省副省長。

陈 維 稷 Chên Wei-chi

元中国紡織建設会社の技師長。49年末中央人民政府政務院紡績工業部副部長。52年4月モスクワ国際經濟会議に出席。5月中国国際貿易促進委員会委員兼任。当時民主建国会常務理事。53年11月全国工商業連合会第一期執行委員。54年11月国務院紡績工業部副部長。12月政治協商会議第二期全国委員会委員。56年12月全国工商業連合会第二期執行委員。58年4月当時中国紡織工程学会理事長。59年9月紡績工業部副部長。60年2月教育文化衛生体育関係、社会主義建設先進グループ先進活動家全国代表大会準備委員会委員。6月全国文教先進工作者代表大会主席団員。10月当時中国国際貿易促進委員会委員。

陈 維 博 Chên Wei-po

54年12月政治協商会議第二期全国委員会委員(社会救济福祉団体)。56年6月当時上海中国福祉会主任。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(社会救济福祉団体)。

陈 維 帆 Chên Wèi-fan

60年5月駐ソヴェト連邦中共大使館参事官。

陈 遺 Chên I

56年4月当時国務院鉄道部第3工程局局長。

陳 育 崧 Chên Yü-sung

(Ian Yoek-seong) 1903～

ベナン生れ。原籍福建省海澄県。シンガポール在住華僑。26年廈門大学卒業。同年海峽殖民地政府華文視学官。36年廈門大学林惠祥

教授とともに廈門人類学博物館を開設。38年第3回極東先史学者會議に出席。39年華文新聞検査処主任。同年上海に赴き華僑教材編審会を組織し、南洋華僑向教科書を編纂、ついで南洋書局有限公司監理となり、南洋華僑向教科書を発行。戦後マレイ少年新報(華文版および英文版)を発行。著書「婆羅史支那王伝説之研究」「華南史前遺跡発現記(英文)」等。

陈 郁 Chên Yü

広東省の人。元海員総工会の責任者。27年12月の広東コンミュニオンに際し、広東ソヴェトの人民司法委員。31年瑞金の中華ソヴェト臨時政府中央執行委員。45年中共第七期候補中央委員。48年8月第6次全国労働大会で全国総工会常務委員。49年東北行政委員会工業部長。9月総工会代表として政治協商会議に出席。10月中央人民政府政務院燃料工業部長。53年1月北京の「中国ルーマニア科学および技術協力協定」調印中共側代表。54年9月国務院燃料工業部長。12月政治協商会議第二期全国委員会委員。55年7月国務院石炭工業部長。56年9月中共第八期中央委員会委員、中共8全大会で「石炭工業建設を強化し、国民經濟の需要を満足させよ」と発言。57年9月石炭工業部部長解任。58年4月当時中共広東省委員会宣伝部長。広東省省長。59年3月中華人民共和国政府貿易訪問団の団長として北ヴェトナムを視察(当時広東省省長)。第二期全国人民代表大会広東省代表。4月同大会第1次会議の主席団員。60年3月当時広東省中ソ友協会長。61年5月当時広東省省長、中共広東省委員会書記。

陈 一 新 Chên I-hsin

54年6月湖北省人民政府副主席、当時湖北省人民政府公安厅庁長。55年2月湖北省副省



長。58年4月～60年9月当時湖北省副省長。9月当時中共湖北省委員会常務委員。

陳 一 凡 Chên I-fan

54年8月松江省人民政府委員を解任。55年2月当時東北煤礦管理局副局長。9月北京鋳業学院副院長。

陳 寅 恪 Chên Yin-kê

55年5月中国科学院哲学社会科学学部委員。59年4月政治協商會議第三期全国委員会委員(特別招請人士), 常務委員。

陳 蔭 谷(穀) Chên Yin-ku

電気工程学者。53年2月～5月中国科学院訪ソ代表团団員としてソ連訪問。54年10月当時天津大学電力工程系主任。

陳 蔭 南 Chên Yin-nan

49年末～54年6月華東軍政委員会土地改革委員会委員。54年8月第一期全国人民代表大会安徽省代表。56年2月当時民主同盟第二期中央委員会委員。58年4月～60年7月当時安徽省副省長。59年3月第二期全国人民代表大会安徽省代表。

陳 宇 Chên Yü 1916～

53年5月中華全国工総会第七期執行委員会委員。53年10月ウィーンの世界労連大会に中共工会代表団員として出席。11月当時労連アジア・オーストラリア連絡局秘書長。54年5月対外文化協会理事。55年3月～4月エカフェ会議にオブザーバーとして出席の世界労連代表团顧問として来日。57年12月中国工会第八次全国代表大会において中華全国総工会第八期執行委員。58年7月中国人民保衛世界和平委員会常務委員。中国・アジア・アフリカ

団結委員会委員。8月中華全国総工会執行委員。59年4月政治協商會議第三期全国委員会委員(中華全国総工会)。9月当時中華全国総工会国際部部长。60年3月中国ラテンアメリカ友好協会常務理事, 同会理事。5月中国総工会・日本総評・朝鮮職総共同声明調印。8月訪日総評記念式典出席中共代表团秘書長。第6回原水爆禁止世界大会(広島)参加中共代表团秘書長。61年1月世界労働組合連合会執行委員会参加中国工会代表团団員。当時中華全国総工会国際連絡部部长。

陳 雨 泉 Chên Yü-kuo

53年1月当時中国国民党革命委員会陝西省支部準備委員会委員, 陝西省人民政府委員。54年12月同省人民委員会委員。59年3月第二期全国人民代表大会陝西省代表。

陳 雨 田 Chên Yü-tien

53年4月当時安徽省総工会主席。同月総工会ルーマニア・メーデー参観団団長。55年3月安徽省人民委員会委員。56年3月当時国务院外交部礼賓司副司長。

陳 芸 田 Chên Yün-tien

55年2月湖南省人民委員会委員。56年12月全国工商業連合会第二期執行委員(湖南省)。

陳 云(雲) [舊姓名, 廖陳云, 廖云程]

Chên Yün [Liao Chên-yün,  
Liao Yün-chêng] 1905～

江蘇省青浦県の人。上海商務印書館植字工出身で, かつて労働運動を指導。25年中国共産党に入党。27年～30年中共江蘇省委員会委員。30年～31年中共中央委員会候補委員。35年頃中共の革命軍事委員会委員。39年頃中共中央農林部長。40年中共第六期中央委員兼

政治局員。45年6月中共第七期中央委員, 政治局員, 書記。48年8月中華全国総工会主席。49年5月まで東北行政委員会財政經濟委員会主任。9月政治協商會議第一期全国委員会委員。10月中央人民政府政務院副総理兼財政經濟委員会主任, 兼重工業部部长。52年9月周恩来総理とともにモスクワ訪問。53年1月憲法起草委員会委員。54年8月第一期全国人民代表大会上海市代表。9月国务院副総理。56年6月第一期全国人民代表大会第3次會議にて「私营工商業の社会主義的改造問題について」報告。9月中共第八期中央委員会委員, 中央委員会副主席, 中央政治局常務委員会委員。中共8全大会で「資本主義工商業の改造後に発生した問題」について発言。11月国务院商業部部长兼任。57年3月国务院副総理として政協第二期全国委員会第3次會議において「増産節約に関する問題」を発言。58年4月当時第1商業部部长。9月第1商業部部长兼務解任。10月国家基本建設委員会主任。59年3月紅旗に「当面する基本建設工作中のいくつかの重大な問題」と題する論文を発表。同月第二期全国人民代表大会上海市代表。4月同大会第1次會議の主席団員。国务院副総理兼国家基本建設委員会主任。9月国家基本建設委員会委員。60年5月当時中共中央副主席。12月当時中央政治局副主席, 同委員。61年1月国家基本建設委員会の廃止とともに解任。

陳 雲 Chên Yün

60年11月当時中国国民党中央委員会第2組副主任。

陳 云(雲)章 Chên Yün-chang

59年4月政治協商會議第三期全国委員会委員(特別招請人士)。

陳 云(雲)濤 Chên Yün-tao

53年2月～11月当時中央人民政府重工業部建築材料工業管理局局長。59年9月建築工程部副部長。60年7月当時同職。

陳 永 義 Chên Yung-i

(Tan Eng-ghee) 1922～

福建省の人。シンガポール在住華僑。ゴム, 紙類業。星加坡紙廠董事, 宜昌有限公司董事。56年8月シンガポール工商業貿易視察団秘書として中共を訪問。

陳 永 孝 Chên Yung-hsiao

国务院交通部海運管理総局科長。中ソ合辦大連造船公司幹部。55年3月～4月中共貿易代表团専門家(造船)として来日。

陳 永 康 Chên Yung-kang

貴州省の人。佈依族。54年6月当時貴定専区副専員。8月第一期全国人民代表大会貴州省代表。55年2月貴州省人民委員会委員。

陳 永 康 Chên Yung-kang

江蘇省松江県の農民。53年全国水稻農産模範。54年8月第一期全国人民代表大会江蘇省代表。54年中共に入党。55年1月当時江蘇省松江県連民農業生産合作社責任者。59年3月第二期全国人民代表大会江蘇省代表。

陳 永 昶 Chên Yung-chang

佈依族。54年8月第一期全国人民代表大会貴州省代表。

陳 永 進 Chên Yung-chin

(Tan Eng-chin) 1917～

福建省の人。シンガポール在住華僑。ゴム, 土産品, 船舶業, 益和有限公司董事, 亜洲保險有限公司重事, 連和有限公司經理, 宜昌有